

第4回板橋区高齢者保健福祉 ・介護保険事業計画委員会	資料1-2 参考
令和8年3月25日	

板橋区高齢者ニーズ調査

シニア世代の生活・健康・生きがい・仕事についてのアンケート調査
報告書

令和8年3月
板橋区

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査対象.....	1
3. 調査期間.....	1
4. 調査方法.....	1
5. 調査項目.....	1
6. 回収結果.....	1
7. 前回調査について.....	2
8. 調査結果を見る上での注意事項.....	2
第2章 調査結果の概要	3
1. 調査対象者の属性、現在の暮らし向きについて.....	3
2. 仕事、働くことについて.....	3
3. 健康について.....	4
4. 外出・人とのつきあいについて.....	4
5. 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用について.....	5
6. 地域活動などへの参加状況について.....	5
7. 事業について.....	6
8. 今後の取り組みについて.....	6
第3章 調査結果の詳細	7
1. 調査対象者の属性、現在の暮らし向きについて.....	7
(1) 調査票の記入者.....	7
(2) 現在の居住地.....	7
(3) 性別・年齢.....	8
(4) 居住地区.....	9
(5) 世帯構成.....	12
(6) 現在の暮らし向き.....	15
2. 仕事、働くことについて.....	19
(1) 現在の仕事.....	19
(2) 今後の就業意向.....	26
(3) 仕事に関する情報を提供している施設などの認知度・利用状況.....	35
3. 健康について.....	42
(1) 健康に対する自己認識.....	42
(2) 心配ごとや悩みごとの状況.....	43
(3) フレイルについて.....	45
4. 外出・人とのつきあいについて.....	53
(1) 外出頻度・外出の主な目的.....	53

(2) 現在やっていること・今後やりたいこと.....	56
(3) 孤独を感じること.....	58
(4) 近所づきあいの程度.....	61
(5) 友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度.....	65
(6) 友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度.....	66
(7) 予定がなくても気軽に行ける場所.....	67
5. 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用について.....	69
(1) 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況.....	69
(2) 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどで行っていること.....	79
(3) 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどについての希望.....	81
6. 地域活動などへの参加状況について.....	82
(1) 過去1年間に参加した活動・今後新たに参加したい活動.....	82
(2) 過去1年間に参加した活動を始めたきっかけ.....	100
(3) 活動に参加していない理由・活動に参加するきっかけになると思うこと.....	101
(4) シニアクラブ（旧老人クラブ）の認知・加入状況.....	103
7. 事業について.....	106
(1) 事業に対する認知度・利用または参加状況.....	106
(2) 事業を知った情報源.....	119
(3) 事業への参加による効果.....	120
(4) 事業に参加しない理由.....	121
(5) 事業に参加するときに重視すること.....	122
8. 今後の取り組みについて.....	123
(1) 今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいもの.....	123
(2) 板橋区に充実を希望する支援施策.....	126
(3) 生きがいについて.....	127
9. 自由意見.....	133
第4章 調査結果の分析.....	139
1. 現在の暮らし向きについて.....	139
2. 仕事、働くことについて.....	140
3. 健康について.....	142
4. 外出・人とのつきあいについて.....	143
5. 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用について.....	145
6. 地域活動などへの参加状況について.....	146
7. 事業について.....	148
8. 今後の取り組みについて.....	149
第5章 資料編.....	150

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

板橋区では、基本計画に掲げる「豊かな健康長寿社会」の実現に向け、皆様の生活・健康・生きがい・仕事などの状況やご意見をお聞きし、高齢者の社会参加と生きがいを推進する施策に活かしていくため、この調査を実施した。

2. 調査対象

60～84歳の板橋区民（要介護認定者を除く）3,000人

※日常生活圏域ごとの人口規模で、男女3,000人を無作為に案分抽出した。

3. 調査期間

令和7年11月10日（木）～11月28日（金）

4. 調査方法

調査票の配付は郵送方式、回収は郵送方式またはWeb回答方式

※調査期間中に1回、対象者全員に礼状兼協力依頼のはがきを送付した。

5. 調査項目

- （1）年齢、居住地区、世帯の状況などについて
- （2）仕事、働くことについて
- （3）健康について
- （4）外出、活動などについて
- （5）調査対象者自身のことについて

6. 回収結果

3,000票を配布し、回収数は1,735票（郵送：1,497票、Web：238票）、回収率は57.8%であった。

そのうち有効回収数は1,729票（郵送：1,491票、Web：238票）、有効回収率は57.6%であった。

第1章 調査の概要

7. 前回調査について

(1) 調査対象

今回と同じ60～84歳の板橋区民（要介護認定者を除く）3,000人

※調査ごとに改めて対象者を抽出しているため、前回と今回とで対象者は一致していない。

(2) 調査期間

令和5年12月7日（木）～12月22日（金）

(3) 調査方法

調査票の配付は郵送方式、回収は郵送方式またはWeb回答方式

(4) 調査項目

主な項目は今回調査と同様だが、一部の設問は変更している。

(5) 回収結果

3,000票を配布し、回収数は1,655票、回収率は55.2%であった。

当年度の調査においては無効回答票がなかったため、有効票数・有効回収数も上記と同数となっている。

8. 調査結果を見る上での注意事項

(1) 図表中の「n」は、各設問の調査対象者数を示し、比率算出の基数である。

(2) 調査結果の比率は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、すべての比率を合計しても100.0%にならないことがある。

(3) 複数回答の設問では、すべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

(4) クロス集計の図表については、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

(5) クロス集計による分析では、分析軸の項目のうち、件数が10以下の項目については、全体結果と比率に大きな差がある選択肢があっても、本文中ではふれていない場合がある。

第2章 調査結果の概要

1. 調査対象者の属性、現在の暮らし向きについて

①性別・年齢（問3）

調査対象者の性別は、男性が41.2%、女性が48.7%となっている。また、年齢は、60～64歳が17.6%、65～69歳が23.4%、70～74歳が21.9%、75～79歳が23.8%、80～84歳が12.1%となっている。（図表3-1-3・図表3-1-4）

②現在の暮らし向き（問6）・暮らし向きが苦しい理由（問7）

現在の暮らし向きについては、「ふつう」が54.6%と最も高く、「大変ゆとりがある」の2.9%と「ややゆとりがある」の12.3%を合わせた『ゆとりがある』が15.2%、「やや苦しい」の22.7%と「大変苦しい」の6.7%を合わせた『苦しい』が29.4%となっている。（図表3-1-11）

また、現在の暮らし向きが苦しい理由については、「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため」が77.2%と最も高く、次いで「賃金などの収入が減ったため」が27.4%、「税金や保険料の支払いが増えたため」が25.8%の順となっている。（図表3-1-13）

2. 仕事、働くことについて

①現在の職業（問8）

「無職・仕事からは引退した」が33.4%と最も高く、次いで「主婦・主夫（専業）」が19.7%、「その他」が8.3%、「会社・団体の役員、管理職」が6.2%、「事務」が5.8%の順となっている。（図表3-2-1）

②雇用形態（問9）

4割近くが「パート・アルバイト・契約社員」（38.1%）となっており、「自営業、自由業」が18.8%、「会社員・公務員」が18.6%と続いている。（図表3-2-3）

③今後の就業意向（問12）

「今は働いておらず、今後も働く予定はない」が44.8%、「今も働いており、今後も働き続けたい」が36.3%、「今は働いていないが、今後働きたい」が7.6%となっている。（図表3-2-8）

④働くことを決めるときに重視すること（問14）

7割以上が「体力的に無理なく続けられること」（76.2%）、次いで「自宅から近いこと」（37.8%）となっており、「自分のペースで進められること」が34.3%となっている。（図表3-2-10）

⑤現在働いていない理由（問17）

「健康上の理由」が32.1%、「専業主婦・専業主夫だから」が23.4%、「経済的余裕があるから」が16.0%となっている。（図表3-2-16）

第2章 調査結果の概要

3. 健康について

①健康に対する自己認識（問19）

「とても健康」の7.5%と「まあまあ健康」の66.8%を合わせた『健康』が74.3%、「あまり健康でない」の18.8%と「健康でない」の6.0%を合わせた『不健康』が24.8%となっている。

（図表3-3-1）

②現在の心配ごとや悩みごと（問20）

6割強が「自分の健康のこと」（62.6%）、4割強が「家族・親族の健康のこと」（43.2%）、約3割が「生活費など経済的なこと」（30.6%）となっている。（図表3-3-2）

③フレイルの認知度（問22）・フレイルになる心配（問23）

「内容まで知っている」の27.8%と「聞いたことはある」の30.5%を合わせた『知っている』が58.3%、「知らない」が40.7%となっている。（図表3-3-4・図表3-3-5）

また、フレイルになる心配については、「非常に心配である」の10.0%と「心配である」の52.6%を合わせた『心配である』が62.6%、「あまり心配でない」の28.8%と「心配でない」の5.7%を合わせた『心配でない』が34.5%となっている。（図表3-3-6）

4. 外出・人とのつきあいについて

①外出頻度（問26）

「毎日1回」（50.0%）が最も高く、次いで「毎日2回以上」（23.8%）、「2～3日に1回程度」（20.9%）の順となっている。（図表3-4-1）

②外出の主な目的（問26）

「買い物」（86.2%）が最も高く、次いで「運動、散歩」（50.6%）、「仕事」（40.6%）の順となっている。（図表3-4-3）

③現在やっていること・今後やりたいこと（問27）

現在やっていることは、「散歩」（48.1%）が最も高く、次いで「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞」（40.5%）、「旅行・ドライブ」（40.4%）の順となっている。（図表3-4-4）

今後やりたいことは、「旅行・ドライブ」（49.2%）が最も高く、次いで「散歩」（29.0%）、「映画鑑賞」（23.2%）の順となっている。（図表3-4-5）

④近所づきあいの程度（問29）

つきあいがあると回答している人の中で、3割を超えているのが「あいさつをする程度の人がいる」（36.1%）、「立ち話をする程度の人がいる」（35.1%）で、次いで「お互いに訪問しあう人がある」が11.4%となっている。一方、「つきあいはない」は14.1%となっている。

（図表3-4-9）

⑤予定がなくても気軽に行ける場所の有無（問33）

「1か所ある」（27.4%）・「2か所ある」（19.0%）・「3か所以上ある」（23.2%）を合わせた『気軽に行ける場所がある』は69.6%、「ない」は27.5%となっている。（図表3-4-15）

5. 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用について

①携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況（問35）

「使っている」は、「スマートフォン」が76.6%で最も高く、次いで「携帯電話」が50.4%、「パソコン」が46.0%、「タブレット」が20.8%の順となっている。（図表3-5-1）

②携帯電話・スマートフォン・パソコンなどで行っていること（問36）

7割を超えているのが「通話をする事」（83.9%）、「メールでやりとりすること」（77.4%）で、次いで「写真を撮影すること」（69.5%）、「ラインでやりとりすること」（67.0%）、「インターネットで検索すること」（64.8%）となっている。（図表3-5-11）

6. 地域活動などへの参加状況について

①過去1年間に参加した活動・今後新たに参加したい活動（問39）

過去1年間に参加した活動は、「趣味や学習の活動・習いごと」が19.4%で最も高く、次いで「健康・スポーツの活動、習いごと」が18.9%、「町会・自治会の活動」が16.8%、「スポーツジム」が13.2%、「祭りなど地域行事」が13.1%の順となっている。

また、今後新たに参加したい活動は、「健康・スポーツの活動、習いごと」が22.2%で最も高く、次いで「趣味や学習の活動・習いごと」が20.0%、「ボランティア活動（他の選択肢以外の活動）」が18.2%の順となっている。（図表3-6-1）

②シニアクラブ（旧老人クラブ）への認知・加入状況（問43）

「加入している」（5.0%）、「知っているが、加入していない」（41.4%）を合わせた『知っている』が46.4%、「知らない」が50.8%となっている。（図表3-6-21）

③シニアクラブ（旧老人クラブ）に加入していない理由（問44）

「仕事などで忙しいから」が31.4%で最も高く、次いで「会員同士の人間関係がわずらわしいから」が25.5%、「活動内容に魅力を感じないから」が20.3%の順となっている。（図表3-6-22）

第2章 調査結果の概要

7. 事業について

①事業に対する認知度・利用または参加状況（問45）

「過去1年間に利用・参加した」「知っているが利用・参加しなかった」を合わせた『認知度』は、「ふれあい館」（37.7%）で最も高く、次いで「いたばし総合ボランティアセンター」（18.2%）、「元気力測定会」（14.4%）となっている。

また、「過去1年間に利用・参加した」では、「ふれあい館」が6.5%で最も高く、次いで「高齢者見守りキーホルダー事業」が2.7%の順となっている。（図表3-7-1）

②事業に参加するときに重視すること（問49）

「自分のしたいこと・興味のあることに役立つ内容である」が56.3%と最も高く、次いで「健康に役立つ」が43.4%、「会場が近い」が38.0%の順となっている。（図表3-7-17）

8. 今後の取り組みについて

①今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいもの（問50）

取り組みたい・心がけたいものがあると回答している人の中では、「体を動かす（ウォーキングや体操など）」が49.3%と最も高く、次いで「友人・知人との交流」が45.9%、「趣味の活動（主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど）」が35.1%の順となっている。一方、「特になし」は11.6%である。（図表3-8-1）

②板橋区に充実を希望する支援施策（問51）

4割強が「見守りなど、ひとり暮らし高齢者等への支援」（41.5%）、3割強が「健康づくり・フレイル予防・介護予防に関する施策」（31.2%）となっており、「高齢者が気楽に活動できる場所の提供」が29.6%と続いている。（図表3-8-3）

③現在感じている生きがいの程度（問52）

「十分感じている」の31.1%と「多少感じている」の48.3%を合わせた『感じている』が79.4%、「あまり感じていない」の14.0%と「全く感じていない」の1.3%を合わせた『感じていない』が15.3%となっている。（図表3-8-4）

④生きがいを感じる時（問53）

5割を超えているのが「子や孫など家族・親族との団らんの時」（56.7%）、「友人や知人と食事・雑談している時」（56.3%）、「趣味やスポーツに熱中している時」（50.6%）で、次いで「おいしい物を食べている時」（49.7%）となっている。（図表3-8-7）

第3章 調査結果の詳細

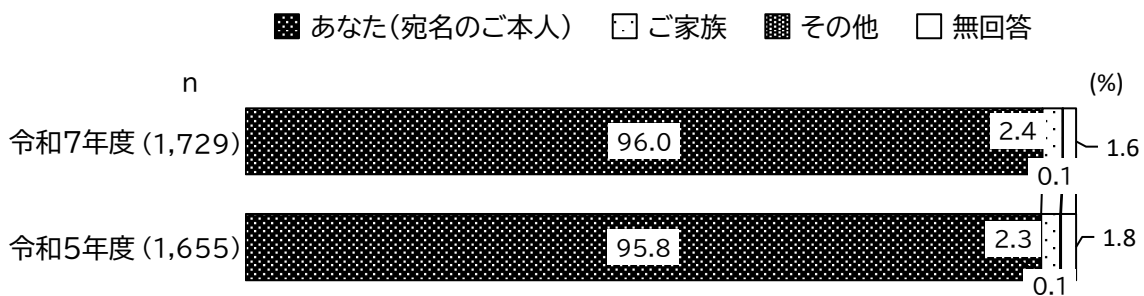
1. 調査対象者の属性、現在の暮らし向きについて

(1) 調査票の記入者

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。○をつけてください。(○は1つのみ)

調査票の記入者は、「あなた（宛名のご本人）」が96.0%、「ご家族」が2.4%、「その他」が0.1%となっている。

図表3-1-1 調査票の記入者



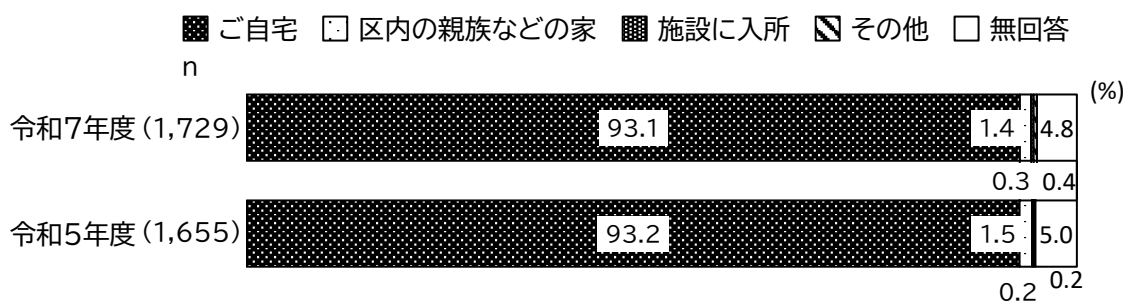
(2) 現在の居住地

問2 あなたは現在、どちらに住んでいますか。(○は1つのみ)

調査対象者（宛名本人）の現在の居住地は、「ご自宅（ショートステイ利用を含む）」が93.1%、「区内の親族などの家」が1.4%、「施設に入所」が0.3%、「その他（入院中、区外転出、亡くなったなど）」が0.4%となっている。

「施設に入所」「その他」の調査対象者（計12人）は、問2で調査終了とした。

図表3-1-2 現在の居住地



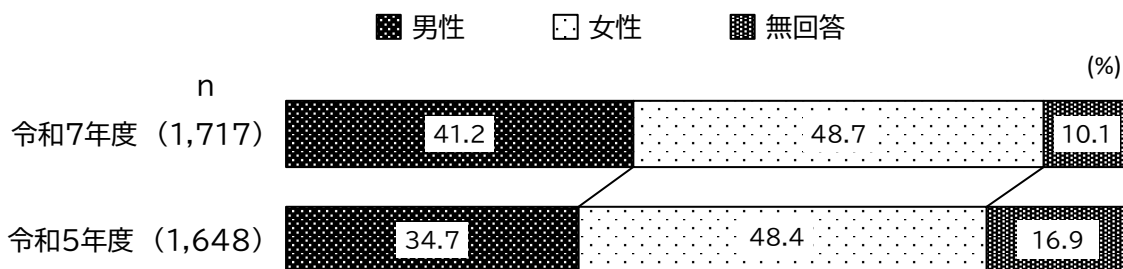
		ご自宅	区内の親族などの家	施設に入所	その他	無回答
	n					
令和7年度	1,729	1,610	24	5	7	83
		93.1%	1.4%	0.3%	0.4%	4.8%
令和5年度	1,655	93.2%	1.5%	0.2%	0.2%	5.0%

(3)性別・年齢

問3 あなたの性別と、令和7年10月15日現在の満年齢をお答えください。
(それぞれ○は1つ)

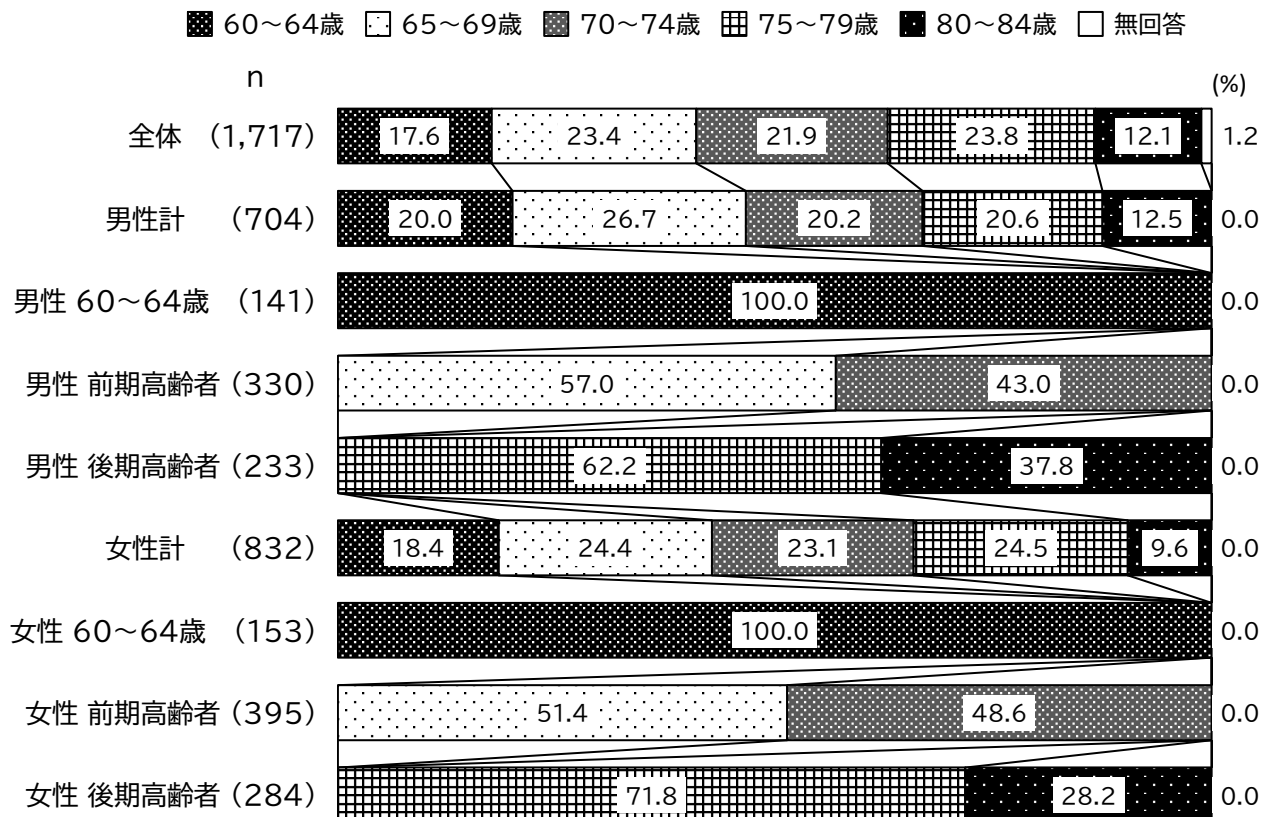
調査対象者の性別は、男性が41.2%、女性が48.7%となっている。

図表3-1-3 性別



調査対象者の年齢は、60～64歳が17.6%、65～69歳が23.4%、70～74歳が21.9%、75～79歳が23.8%、80～84歳が12.1%となっている。

図表3-1-4 年齢:性年代別



(4)居住地区

問4 あなたは、板橋区のどこの地区にお住まいですか。あてはまる地区に○をつけてください。
(○は1つのみ)

調査対象者の居住地区は、高島平が11.2%と最も高く、舟渡が1.5%と最も低くなっている。

図表3-1-5 居住地区

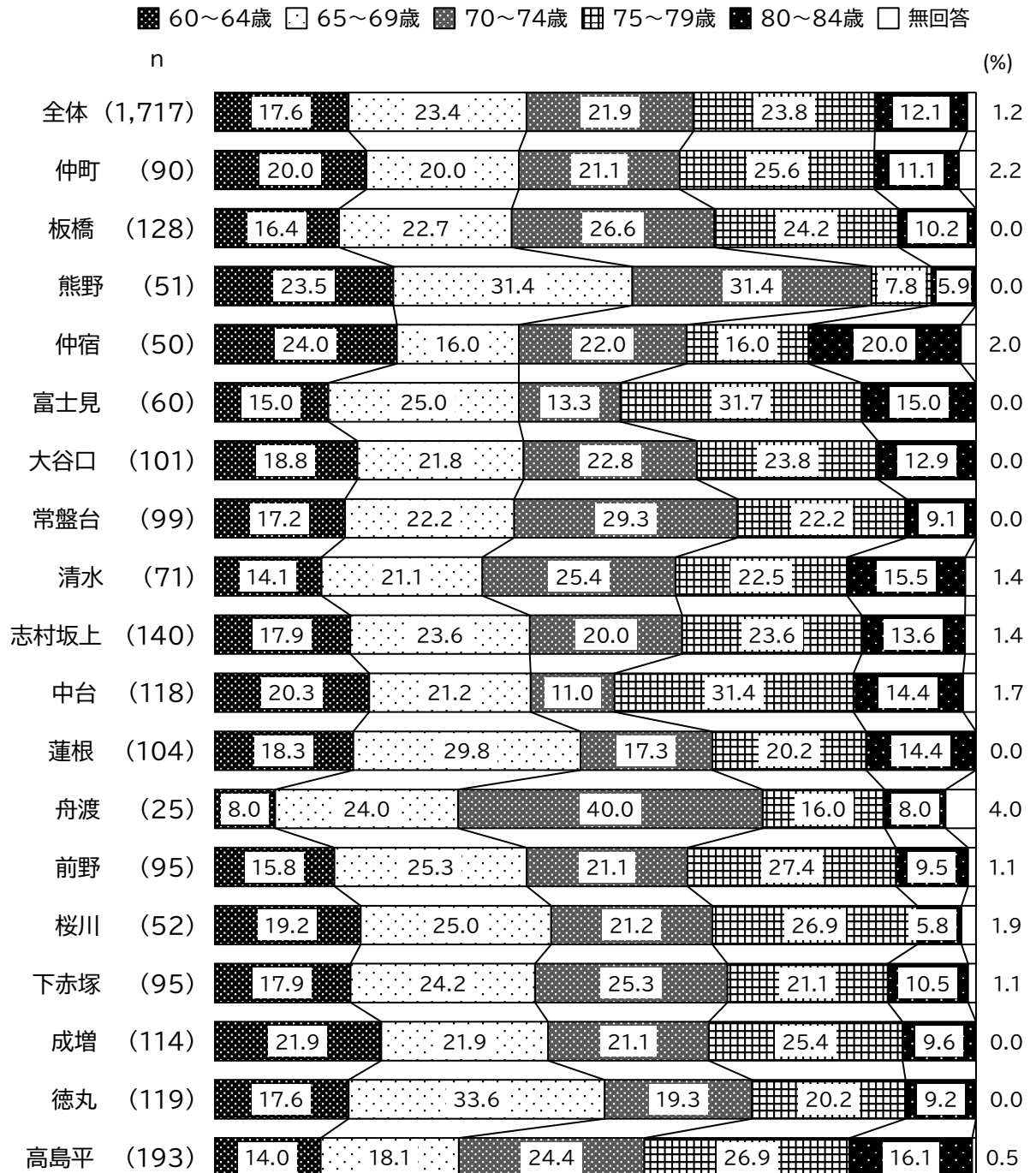
	n	仲町	板橋	熊野	仲宿	富士見	大谷口	常盤台	清水	志村坂上	中台
全体	1,717	5.2%	7.5%	3.0%	2.9%	3.5%	5.9%	5.8%	4.1%	8.2%	6.9%

	n	蓮根	舟渡	前野	桜川	下赤塚	成増	徳丸	高島平	無回答
全体	1,717	6.1%	1.5%	5.5%	3.0%	5.5%	6.6%	6.9%	11.2%	0.7%

第3章 調査結果の詳細

年代別で見ると、他の地域と比べて60～64歳が多いのは仲宿（24.0%）・熊野（23.5%）・成増（21.9%）、前期高齢者が多いのは舟渡（65～69歳が24.0%・70～74歳が40.0%で合わせて64.0%）・熊野（31.4%・31.4%で62.8%）・徳丸（33.6%・19.3%で52.9%）、後期高齢者が多いのは富士見（75～79歳が31.7%・80～84歳が15.0%で合わせて46.7%）・中台（31.4%・14.4%で45.8%）・高島平（26.9%・16.1%で43.0%）となっている。

図表3-1-6 年代(詳細):地区別



詳細な年齢区分別でみると、男性60～64歳は徳丸（12.6％）で、男性65～69歳は桜川（17.3％）で、男性70～74歳は舟渡（20.0％）で、男性75～79歳は成増（12.3％）で、男性80～84歳は仲宿（12.0％）でそれぞれ高くなっている。また、女性60～64歳は中台（15.3％）、女性65～69歳は徳丸（17.6％）で、女性70～74歳は熊野（21.6％）で、女性75～79歳は常盤台（18.2％）で、女性80～84歳は下赤塚（7.4％）でそれぞれ高くなっている。

図表3-1-7 性年代(詳細):地区別

	n	男性 60～64歳	男性 65～69歳	男性 70～74歳	男性 75～79歳	男性 80～84歳	女性 60～64歳	女性 65～69歳	女性 70～74歳	女性 75～79歳	女性 80～84歳	無回答
全体	1,717	8.2%	10.9%	8.3%	8.4%	5.1%	8.9%	11.8%	11.2%	11.9%	4.7%	10.5%
仲町	90	6.7%	11.1%	3.3%	10.0%	6.7%	13.3%	8.9%	16.7%	10.0%	4.4%	8.9%
板橋	128	9.4%	10.9%	11.7%	9.4%	4.7%	6.3%	10.9%	11.7%	10.9%	3.1%	10.9%
熊野	51	11.8%	15.7%	3.9%	3.9%	0.0%	11.8%	13.7%	21.6%	3.9%	5.9%	7.8%
仲宿	50	8.0%	4.0%	4.0%	10.0%	12.0%	14.0%	12.0%	10.0%	4.0%	6.0%	16.0%
富士見	60	5.0%	10.0%	1.7%	10.0%	6.7%	10.0%	15.0%	11.7%	16.7%	5.0%	8.3%
大谷口	101	7.9%	8.9%	7.9%	10.9%	4.0%	9.9%	12.9%	12.9%	10.9%	5.9%	7.9%
常盤台	99	10.1%	17.2%	13.1%	2.0%	3.0%	5.1%	4.0%	14.1%	18.2%	5.1%	8.1%
清水	71	8.5%	11.3%	11.3%	11.3%	7.0%	5.6%	9.9%	9.9%	9.9%	4.2%	11.3%
志村坂上	140	6.4%	7.1%	7.9%	10.0%	7.1%	11.4%	15.7%	10.0%	12.9%	4.3%	7.1%
中台	118	4.2%	8.5%	3.4%	11.9%	9.3%	15.3%	12.7%	5.9%	14.4%	4.2%	10.2%
蓮根	104	8.7%	15.4%	6.7%	3.8%	5.8%	7.7%	14.4%	9.6%	10.6%	1.9%	15.4%
舟渡	25	8.0%	12.0%	20.0%	0.0%	4.0%	0.0%	12.0%	12.0%	12.0%	4.0%	16.0%
前野	95	6.3%	13.7%	5.3%	10.5%	3.2%	9.5%	10.5%	13.7%	13.7%	3.2%	10.5%
桜川	52	9.6%	17.3%	11.5%	7.7%	0.0%	9.6%	7.7%	9.6%	11.5%	3.8%	11.5%
下赤塚	95	7.4%	8.4%	6.3%	9.5%	2.1%	10.5%	13.7%	17.9%	10.5%	7.4%	6.3%
成増	114	11.4%	9.6%	10.5%	12.3%	4.4%	9.6%	12.3%	8.8%	11.4%	2.6%	7.0%
徳丸	119	12.6%	15.1%	10.1%	7.6%	1.7%	5.0%	17.6%	8.4%	8.4%	5.0%	8.4%
高島平	193	7.8%	7.8%	11.4%	6.2%	6.7%	6.2%	9.3%	8.3%	14.5%	6.7%	15.0%

※表頭ごとに最も高い値を太字・網掛け

(5)世帯構成

問5 あなたの世帯の状況をお選びください。(○は1つのみ)

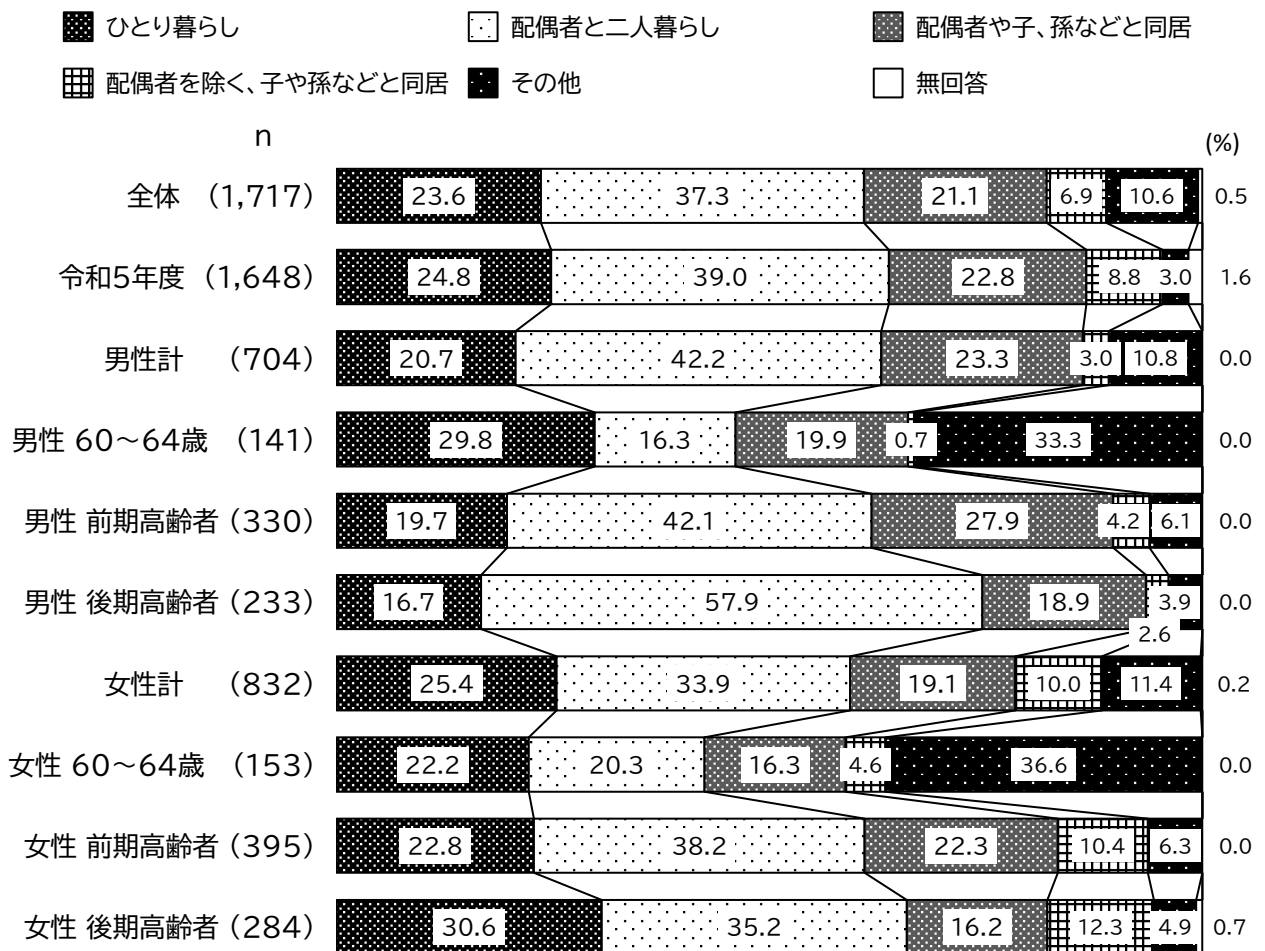
世帯構成については、「配偶者と二人暮らし」が37.3%と最も高く、次いで「ひとり暮らし」が23.6%、「配偶者や子、孫など同居」が21.1%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「配偶者と二人暮らし」(42.2%)、「配偶者や子、孫など同居」(23.3%)が高く、女性では男性よりも「ひとり暮らし」(25.4%)、「配偶者を除く、子や孫など同居」(10.0%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性前期高齢者では「配偶者や子、孫など同居」(27.9%)が、男性後期高齢者では「配偶者と二人暮らし」(57.9%)が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「配偶者を除く、子や孫など同居」(女性前期高齢者10.4%・女性後期高齢者12.3%)が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳・女性60～64歳では「配偶者と二人暮らし」(男性60～64歳16.3%・女性60～64歳20.3%)が全体の傾向よりも低くなっている。

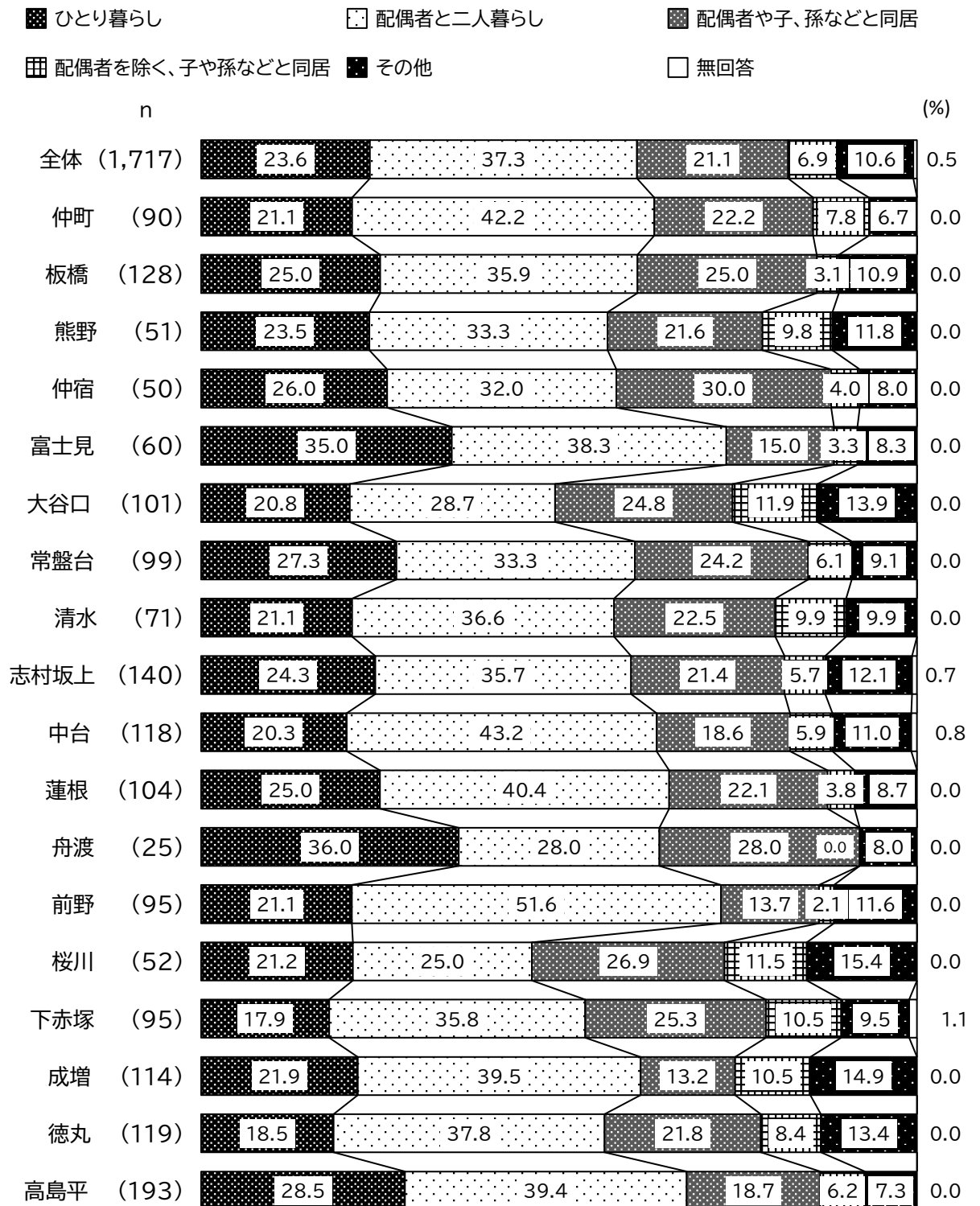
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-1-8 世帯構成:性年代別



地区別でみると、「ひとり暮らし」は舟渡（36.0％）で、「配偶者と二人暮らし」は前野（51.6％）で、「配偶者や子、孫など同居」は仲宿（30.0％）で、「配偶者を除く、子や孫など同居」は大谷口（11.9％）でそれぞれ他の地区と比べて高くなっている。

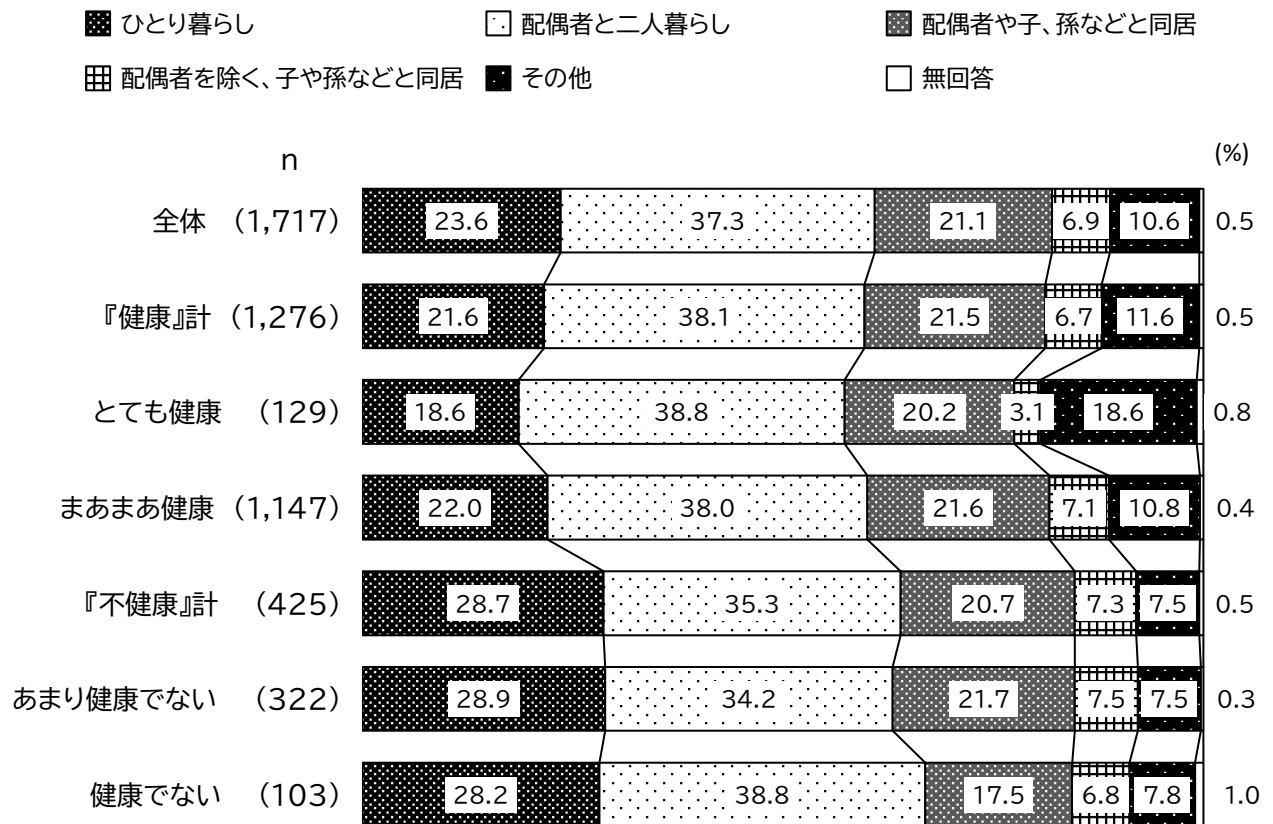
図表3-1-9 世帯構成:地区別



第3章 調査結果の詳細

健康に対する自己認識別でみると、「あまり健康でない」(28.9%)、「健康でない」(28.2%)で、ひとり暮らしの割合がやや高くなっている。

図表3-1-10 世帯構成:健康に対する自己認識別



(6)現在の暮らし向き

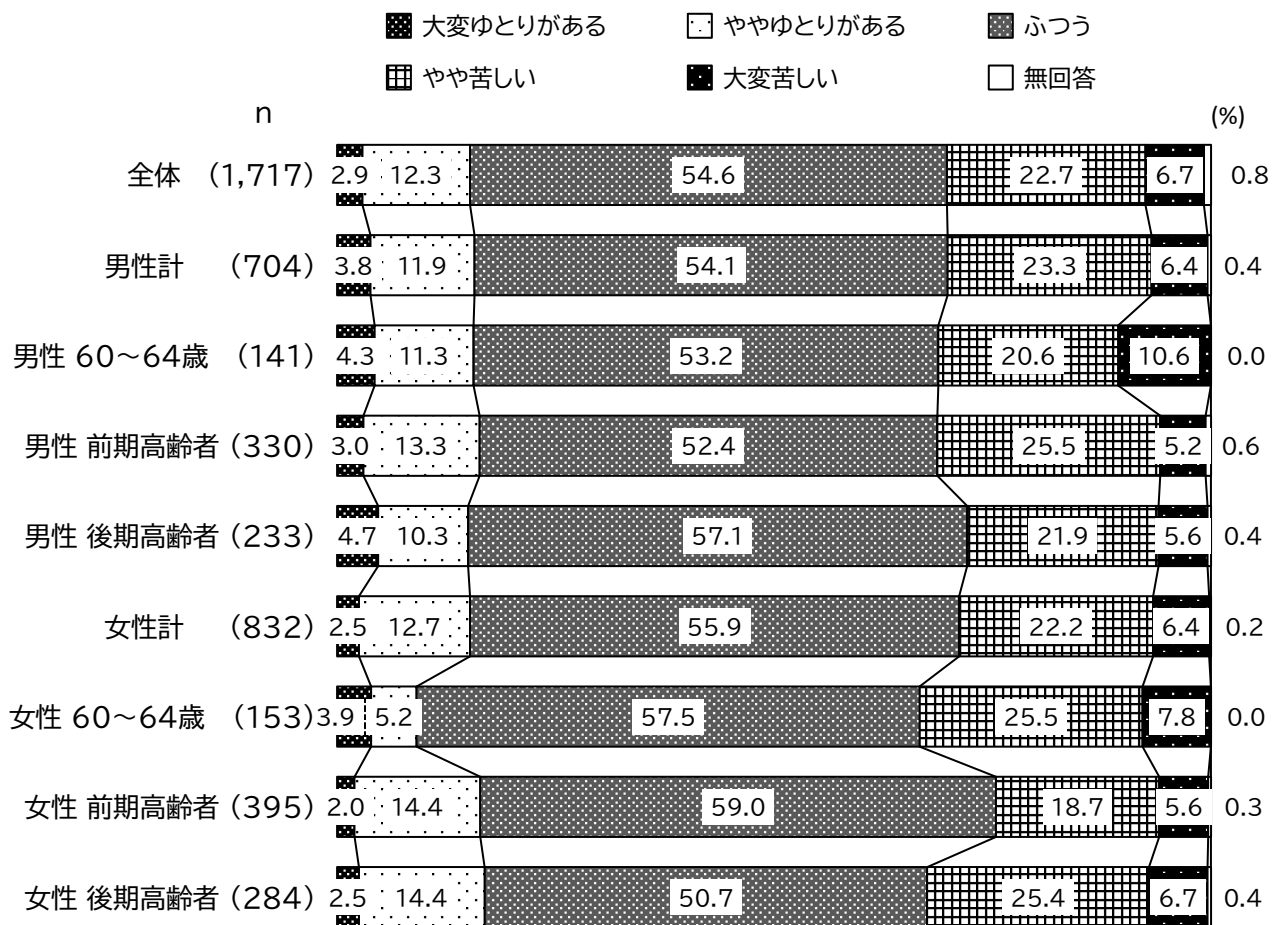
①現在の暮らし向き

問6 あなたの世帯の現在の暮らし向きはいかがですか。(○は1つのみ)

現在の暮らし向きについては、「ふつう」(54.6%)が最も高く、「大変ゆとりがある」(2.9%)と「ややゆとりがある」(12.3%)を合わせた『ゆとりがある』が15.2%、「やや苦しい」(22.7%)と「大変苦しい」(6.7%)を合わせた『苦しい』が29.4%となっている。

性別では、大きな違いはみられない。性年代別でみると、男性60～64歳で「大変苦しい」(10.6%)が、女性60～64歳で『苦しい』(33.3%)が全体傾向より高くなっている。

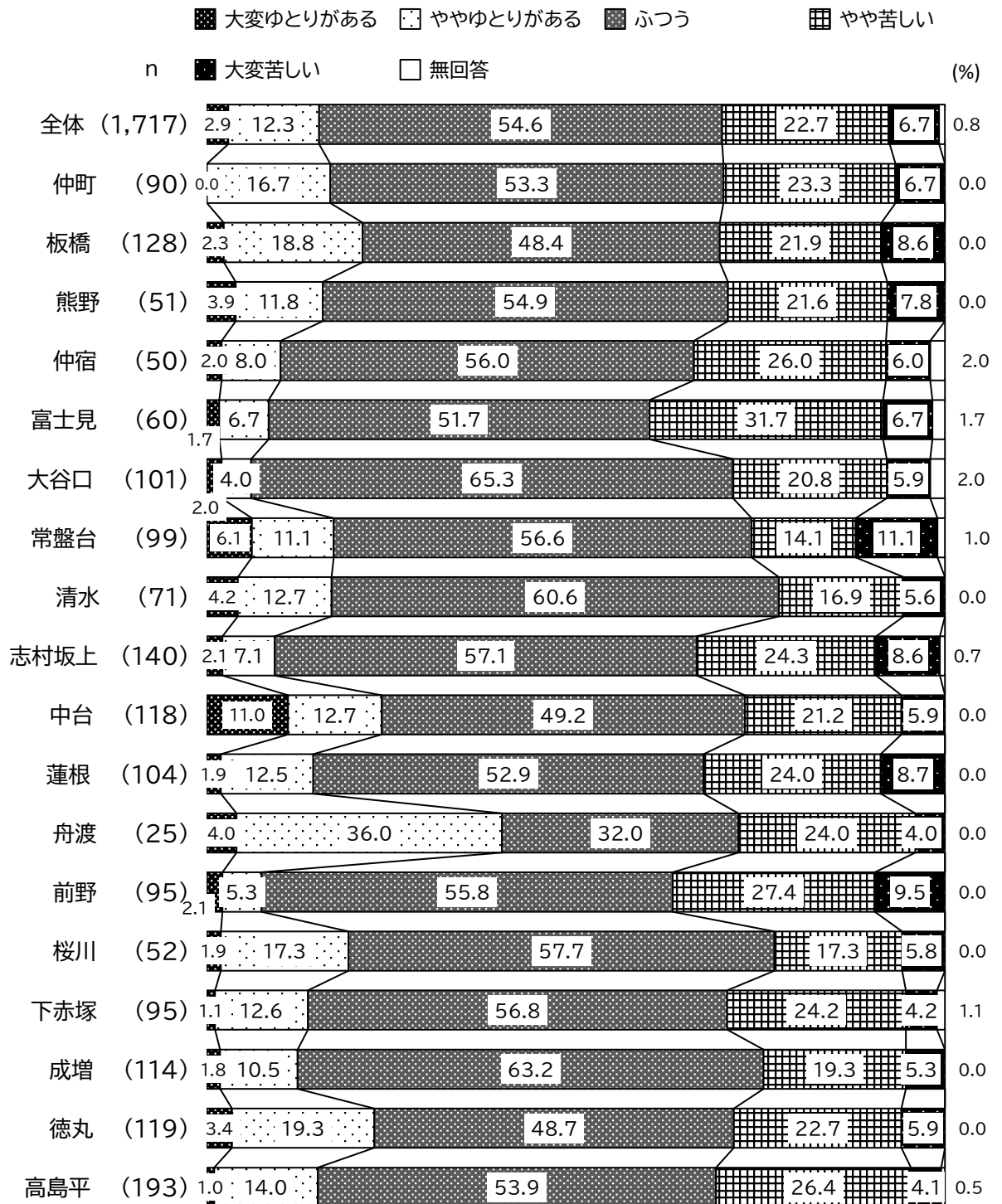
図表3-1-11 現在の暮らし向き:性年代別



第3章 調査結果の詳細

地区別でみると、『ゆとりがある』は舟渡 (40.0%)・中台 (23.7%)・徳丸 (22.7%) で、それぞれ他の地区と比べて高くなっている。これに対して『苦しい』は富士見 (38.4%)・前野 (36.9%)・志村坂上 (32.9%) で、それぞれ他の地区と比べて高くなっている。

図表3-1-12 現在の暮らし向き:地区別



②暮らし向きが苦しい理由

【問6で「4. やや苦しい」「5. 大変苦しい」とお答えの方におうかがいします。】

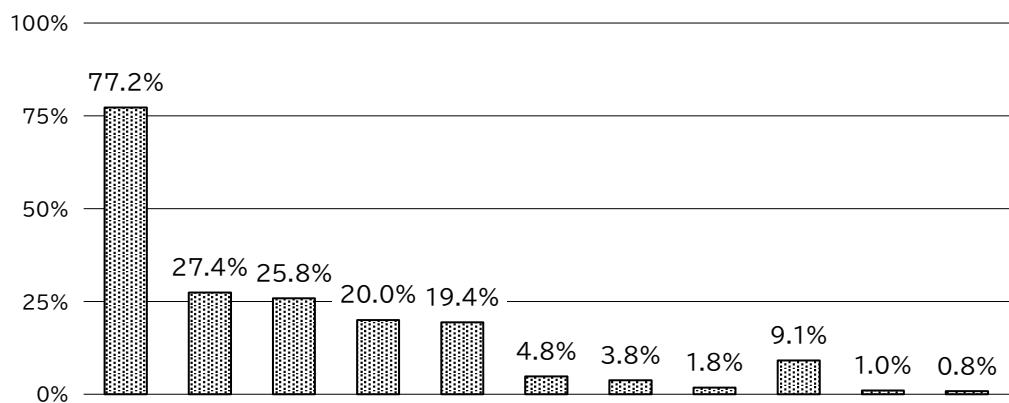
問7 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在の暮らし向きが苦しい理由については、「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため」が77.2%と最も高く、次いで「賃金などの収入が減ったため」が27.4%、「税金や保険料の支払いが増えたため」が25.8%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「退職・失業などのため」(23.9%)、「低金利が続いているため」(6.2%)、「事業などの経費が増えたため」(6.7%)が高くなっている。

また、性年代別で見ると、男性60～64歳では「退職・失業などのため」(40.9%)が、女性60～64歳では「賃金などの収入が減ったため」(37.3%)が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-1-13 暮らし向きが苦しい理由:性年代別



	n	日常生活費が増えたため、物価上昇の影響等により、	賃金などの収入が減ったため	税金や保険料の支払いが増えたため	特別な事情による(病気、怪我等)	退職・失業などのため	低金利が続いているため	事業などの経費が増えたため	家や自動車を購入したため	その他	特に理由はない、わからない	無回答
全体	504	389 77.2%	138 27.4%	130 25.8%	101 20.0%	98 19.4%	24 4.8%	19 3.8%	9 1.8%	46 9.1%	5 1.0%	4 0.8%
男性計	209	75.6%	28.7%	27.3%	22.0%	23.9%	6.2%	6.7%	1.9%	5.7%	1.4%	0.5%
男性 60～64歳	44	77.3%	43.2%	15.9%	27.3%	40.9%	4.5%	13.6%	4.5%	9.1%	2.3%	0.0%
男性 前期高齢者	101	76.2%	33.7%	33.7%	17.8%	23.8%	8.9%	6.9%	2.0%	4.0%	2.0%	0.0%
男性 後期高齢者	64	73.4%	10.9%	25.0%	25.0%	12.5%	3.1%	1.6%	0.0%	6.3%	0.0%	1.6%
女性計	238	79.0%	27.7%	24.4%	19.7%	17.2%	3.8%	2.1%	2.1%	12.6%	0.0%	0.8%
女性 60～64歳	51	78.4%	37.3%	29.4%	15.7%	13.7%	3.9%	5.9%	3.9%	11.8%	0.0%	0.0%
女性 前期高齢者	96	80.2%	31.3%	25.0%	24.0%	26.0%	5.2%	1.0%	1.0%	10.4%	0.0%	0.0%
女性 後期高齢者	91	78.0%	18.7%	20.9%	17.6%	9.9%	2.2%	1.1%	2.2%	15.4%	0.0%	2.2%

※表頭ごとに最も高い値を太字・網掛け

第3章 調査結果の詳細

地区別でみると、「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため」は高島平（88.1%）で、「賃金などの収入が減ったため」は大谷口（44.4%）で、「税金や保険料の支払いが増えたため」は桜川（41.7%）で、「特別の事情による（病気、怪我など）」は熊野（33.3%）でそれぞれ他の地区と比べて高くなっている。

図表3-1-14 暮らし向きが苦しい理由：地区別

	n	物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため	賃金などの収入が減ったため	税金や保険料の支払いが増えたため	特別の事情による（病気、怪我など）	退職・失業などのため	低金利が続いているため	事業などの経費が増えたため	家や自動車を購入したため	その他	特に理由はない、わからない	無回答
全体	504	77.2%	27.4%	25.8%	20.0%	19.4%	4.8%	3.8%	1.8%	9.1%	1.0%	0.8%
仲町	27	74.1%	29.6%	29.6%	14.8%	22.2%	0.0%	7.4%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%
板橋	39	74.4%	17.9%	17.9%	28.2%	12.8%	7.7%	0.0%	2.6%	5.1%	0.0%	0.0%
熊野	15	73.3%	33.3%	20.0%	33.3%	26.7%	6.7%	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
仲宿	16	75.0%	18.8%	12.5%	31.3%	25.0%	6.3%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
富士見	23	65.2%	30.4%	26.1%	30.4%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%
大谷口	27	81.5%	44.4%	29.6%	25.9%	18.5%	3.7%	3.7%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
常盤台	25	76.0%	32.0%	20.0%	20.0%	28.0%	0.0%	4.0%	4.0%	20.0%	0.0%	0.0%
清水	16	87.5%	12.5%	31.3%	18.8%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%
志村坂上	46	76.1%	26.1%	21.7%	23.9%	13.0%	0.0%	4.3%	2.2%	8.7%	0.0%	4.3%
中台	32	75.0%	9.4%	31.3%	3.1%	21.9%	0.0%	3.1%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%
蓮根	34	79.4%	17.6%	29.4%	14.7%	23.5%	14.7%	5.9%	0.0%	8.8%	2.9%	0.0%
舟渡	7	85.7%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前野	35	77.1%	28.6%	28.6%	22.9%	20.0%	8.6%	2.9%	5.7%	11.4%	2.9%	0.0%
桜川	12	75.0%	33.3%	41.7%	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
下赤塚	27	74.1%	37.0%	18.5%	11.1%	11.1%	3.7%	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%	7.4%
成増	28	71.4%	32.1%	32.1%	17.9%	14.3%	0.0%	7.1%	3.6%	14.3%	0.0%	0.0%
徳丸	34	76.5%	44.1%	32.4%	26.5%	20.6%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	0.0%
高島平	59	88.1%	25.4%	25.4%	15.3%	23.7%	8.5%	3.4%	1.7%	8.5%	0.0%	0.0%

※表頭ごとに最も高い値を太字・網掛け

2. 仕事、働くことについて

(1)現在の仕事

①現在の職業

問8 あなたの現在の職業をお答えください。副業があるなど複数の仕事をお持ちの場合は、主な職業1つだけに○をつけてください。(○は1つのみ)

現在の職業については、「無職・仕事からは引退した」が33.4%と最も高く、次いで「主婦・主夫（専業）」が19.7%、「その他」が8.3%、「会社・団体の役員、管理職」が6.2%、「事務」が5.8%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「無職・仕事からは引退した」（42.8%）・「会社・団体の役員、管理職」（10.4%）が高く、女性では男性よりも「主婦・主夫（専業）」（33.8%）が高い。

性年代別で見ると、男性60～64歳では「会社・団体の役員、管理職」（13.5%）が、男性前期高齢者では「専門技術者、教員、医療職」（5.2%）が、男性後期高齢者では「無職・仕事からは引退した」（59.2%）が、女性60～64歳では「事務」（22.2%）、「販売、営業」（5.2%）、「専門技術者、教員、医療職」（5.2%）が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「主婦・主夫（専業）」（女性前期36.5%・女性後期41.5%）が全体の傾向よりも高くなっている。

男性60～64歳では「主婦・主夫（専業）」（1.4%）、「無職・仕事からは引退した」（24.8%）が、男性前期高齢者・男性後期高齢者では「主婦・主夫（専業）」（男性前期0.3%・男性後期1.7%）が、女性60～64歳・女性前期高齢者では「無職・仕事からは引退した」（女性60～64歳21.6%・女性前期22.5%）が全体の傾向よりも低くなっている。

男女ともに年代が高くなるほど「無職・仕事からは引退した」が高く、「事務」が低くなっており、女性で年代が高くなるほど「主婦・主夫（専業）」が高くなっている。「会社・団体の役員、管理職」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-2-1 現在の職業：性年代別

	n	会社・団体の役員、管理職	専門技術者、教員、医療職	事務	販売、営業	調理、洗い場	管理人	警備	介護職	理・美容、その他サービス
全体	1,717	6.2%	3.2%	5.8%	2.2%	2.1%	1.6%	0.9%	1.9%	1.5%
男性計	704	10.4%	4.1%	3.6%	2.1%	2.6%	3.0%	2.0%	0.6%	1.4%
男性 60～64歳	141	13.5%	4.3%	6.4%	3.5%	2.8%	1.4%	2.1%	2.1%	3.5%
男性 前期高齢者	330	10.9%	5.2%	4.2%	2.1%	3.0%	3.6%	2.7%	0.3%	1.2%
男性 後期高齢者	233	7.7%	2.6%	0.9%	1.3%	1.7%	3.0%	0.9%	0.0%	0.4%
女性計	832	2.9%	3.0%	8.1%	2.2%	1.9%	0.4%	0.1%	3.1%	1.7%
女性 60～64歳	153	4.6%	5.2%	22.2%	5.2%	0.7%	0.0%	0.0%	3.3%	2.0%
女性 前期高齢者	395	2.3%	4.1%	5.6%	2.5%	2.3%	0.3%	0.3%	3.5%	1.8%
女性 後期高齢者	284	2.8%	0.4%	3.9%	0.0%	2.1%	0.7%	0.0%	2.5%	1.4%

	n	農業	製造・加工、機械整備・修理	輸送、運輸	建設、電気、土木	清掃、配達	その他	主婦・主夫（専業）	学生	無職・仕事からは引退した	無回答
全体	1,717	0.0%	1.7%	1.6%	2.2%	3.8%	8.3%	19.7%	0.1%	33.4%	4.0%
男性計	704	0.0%	3.1%	3.4%	4.8%	4.0%	7.8%	1.0%	0.0%	42.8%	3.4%
男性 60～64歳	141	0.0%	7.1%	4.3%	7.8%	2.8%	9.9%	1.4%	0.0%	24.8%	2.1%
男性 前期高齢者	330	0.0%	3.0%	4.5%	4.8%	4.2%	7.3%	0.3%	0.0%	38.8%	3.6%
男性 後期高齢者	233	0.0%	0.9%	1.3%	3.0%	4.3%	7.3%	1.7%	0.0%	59.2%	3.9%
女性計	832	0.0%	0.6%	0.1%	0.1%	3.4%	9.1%	33.8%	0.1%	25.5%	4.0%
女性 60～64歳	153	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	15.0%	12.4%	0.0%	21.6%	5.2%
女性 前期高齢者	395	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	4.3%	10.1%	36.5%	0.0%	22.5%	3.0%
女性 後期高齢者	284	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	4.6%	41.5%	0.4%	31.7%	4.6%

※表頭ごとに平均より高い値を太字・網掛け

第3章 調査結果の詳細

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「事務」（14.5%）、75～79歳では「主婦・主夫（専業）」（25.7%）で全体の傾向よりも高くなっている。

男性60～64歳・男性65～69歳では「会社・団体の役員、管理職」（男性60～64歳13.5%・男性65～69歳13.3%）、男性70～74歳では「清掃・配達」（7.7%）が全体の傾向より高くなっている。

女性60～64歳では「事務」（22.2%）、女性70～74歳・女性75～79歳・女性80～84歳では「主婦・主夫（専業）」（女性70～74歳43.2%・女性75～79歳41.2%・女性80～84歳42.5%）が全体の傾向よりも高くなっている。

また、年代が高くなるほど「無職・仕事からは引退した」が高くなっている。「無職・仕事からは引退した」はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、「主婦・主夫（専業）」はすべての年代において男性よりも女性の方が高い。

図表3-2-2 現在の職業：性年代別（詳細）

	n	会社・団体の 役員、管理職	専門技術者、 教員、医療職	事務	販売、営業	調理、 洗い場	管理人	警備	介護職	理・美容、 その他サービス
全体	1,717	6.2%	3.2%	5.8%	2.2%	2.1%	1.6%	0.9%	1.9%	1.5%
60～64歳	303	8.9%	4.6%	14.5%	4.6%	1.7%	0.7%	1.0%	2.6%	2.6%
65～69歳	401	7.7%	5.0%	6.0%	2.0%	3.2%	1.0%	1.2%	3.2%	1.2%
70～74歳	376	4.8%	3.5%	4.0%	2.9%	1.9%	2.4%	1.6%	0.5%	1.6%
75～79歳	409	4.9%	1.7%	2.7%	0.5%	2.4%	2.2%	0.5%	2.0%	1.0%
80～84歳	208	3.8%	0.5%	2.4%	1.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.5%	0.5%
男性 60～64歳	141	13.5%	4.3%	6.4%	3.5%	2.8%	1.4%	2.1%	2.1%	3.5%
男性 65～69歳	188	13.3%	6.4%	4.3%	2.7%	3.7%	1.6%	2.7%	0.5%	0.0%
男性 70～74歳	142	7.7%	3.5%	4.2%	1.4%	2.1%	6.3%	2.8%	0.0%	2.8%
男性 75～79歳	145	7.6%	4.1%	1.4%	1.4%	2.8%	2.8%	1.4%	0.0%	0.7%
男性 80～84歳	88	8.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
女性 60～64歳	153	4.6%	5.2%	22.2%	5.2%	0.7%	0.0%	0.0%	3.3%	2.0%
女性 65～69歳	203	2.0%	3.9%	7.9%	1.5%	3.0%	0.5%	0.0%	5.9%	2.5%
女性 70～74歳	192	2.6%	4.2%	3.1%	3.6%	1.6%	0.0%	0.5%	1.0%	1.0%
女性 75～79歳	204	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	2.9%	1.0%	0.0%	2.9%	1.5%
女性 80～84歳	80	1.3%	1.3%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%

	n	農業	製造・加工、機 械整備・修理	輸送、運転	建設、電 気、土木	清掃、配達	その他	主婦・主夫 (専業)	学生	無職・仕事か らは引退した	無回答
全体	1,717	0.0%	1.7%	1.6%	2.2%	3.8%	8.3%	19.7%	0.1%	33.4%	4.0%
60～64歳	303	0.0%	3.6%	2.6%	4.0%	2.0%	12.2%	7.6%	0.0%	22.8%	4.0%
65～69歳	401	0.0%	3.0%	3.5%	3.0%	2.0%	12.0%	16.5%	0.0%	27.2%	2.2%
70～74歳	376	0.0%	0.5%	0.5%	1.3%	6.9%	5.9%	24.7%	0.0%	32.7%	4.3%
75～79歳	409	0.0%	0.2%	0.5%	1.5%	4.2%	5.1%	25.7%	0.2%	40.8%	3.9%
80～84歳	208	0.0%	1.0%	0.5%	1.0%	3.8%	5.8%	23.1%	0.0%	47.6%	7.2%
男性 60～64歳	141	0.0%	7.1%	4.3%	7.8%	2.8%	9.9%	1.4%	0.0%	24.8%	2.1%
男性 65～69歳	188	0.0%	4.8%	7.4%	6.4%	1.6%	8.5%	0.5%	0.0%	33.5%	2.1%
男性 70～74歳	142	0.0%	0.7%	0.7%	2.8%	7.7%	5.6%	0.0%	0.0%	45.8%	5.6%
男性 75～79歳	145	0.0%	0.7%	1.4%	3.4%	4.8%	7.6%	2.1%	0.0%	53.8%	4.1%
男性 80～84歳	88	0.0%	1.1%	1.1%	2.3%	3.4%	6.8%	1.1%	0.0%	68.2%	3.4%
女性 60～64歳	153	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	15.0%	12.4%	0.0%	21.6%	5.2%
女性 65～69歳	203	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	2.5%	14.3%	30.0%	0.0%	22.7%	2.0%
女性 70～74歳	192	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	6.3%	5.7%	43.2%	0.0%	22.4%	4.2%
女性 75～79歳	204	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	3.9%	41.2%	0.5%	32.8%	2.9%
女性 80～84歳	80	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	6.3%	42.5%	0.0%	28.8%	8.8%

※表頭ごとに最も高い値を太字・網掛け

②現在の仕事の主な雇用形態

【問8で「1. 会社・団体の役員、管理職」～「15. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問9 現在の仕事の主な雇用形態は次のどれにあてはまりますか。(○は1つのみ)

現在の仕事の主な雇用形態については、「パート・アルバイト・契約社員」が38.1%と最も高く、次いで「自営業・自由業」が18.8%、「会社員・公務員」が18.6%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「自営業・自由業」(22.8%)、「会社員・公務員」(22.3%)が高く、女性では男性よりも「アルバイト・パート」(53.4%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳では「会社員・公務員」(36.6%)、男性前期高齢者では「自営業・自由業」(25.4%)が、男性後期高齢者では「会社役員」(15.9%)、女性60～64歳では「会社員・公務員」(24.7%)、女性前期高齢者では「アルバイト・パート」(68.0%)が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「会社員・公務員」(6.5%)が全体の傾向よりも低くなっている。

図表3-2-3 現在の仕事の主な雇用形態:性年代別

	n	会社員・ 公務員	自営業・ 自由業	会社役員	アルバイト・ パート	その他	無回答
全体	735	18.6%	18.8%	8.6%	38.1%	6.8%	9.1%
男性計	372	22.3%	22.8%	11.8%	26.6%	7.5%	8.9%
男性 60～64歳	101	36.6%	21.8%	9.9%	15.8%	7.9%	7.9%
男性 前期高齢者	189	21.2%	25.4%	11.1%	30.7%	3.7%	7.9%
男性 後期高齢者	82	7.3%	18.3%	15.9%	30.5%	15.9%	12.2%
女性計	305	12.8%	14.1%	4.9%	53.4%	6.2%	8.5%
女性 60～64歳	93	24.7%	20.4%	2.2%	39.8%	7.5%	5.4%
女性 前期高齢者	150	8.0%	10.0%	4.7%	68.0%	5.3%	4.0%
女性 後期高齢者	62	6.5%	14.5%	9.7%	38.7%	6.5%	24.2%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

③現在の働き方

【問8で「1. 会社・団体の役員、管理職」～「15. その他」とお答えの方におうかがいします。】

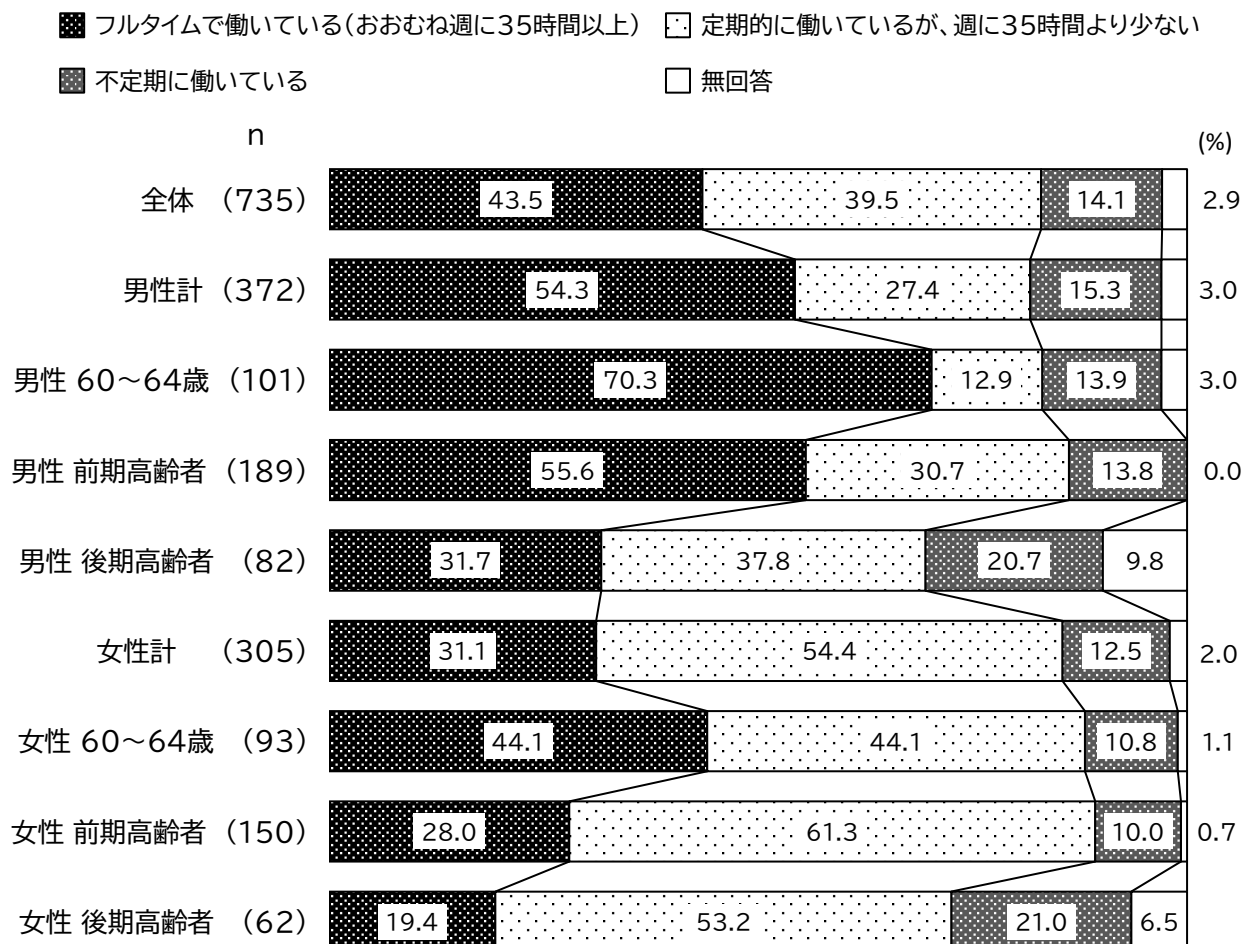
問10 あなたの現在の働き方は、どれにあてはまりますか。(○は1つのみ)

現在の働き方については、「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」が43.5%で最も高く、次いで「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」が39.5%、「不定期に働いている」が14.1%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」（54.3%）が高く、女性では男性よりも「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」（54.4%）が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」（男性60～64歳70.3%・男性前期高齢者55.6%・女性60～64歳44.1%）が全体の傾向より高い。また、女性後期高齢者では「不定期に働いている」（21.0%）が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」（12.9%）が、女性後期高齢者では「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」（19.4%）が全体の傾向よりも低くなっている。

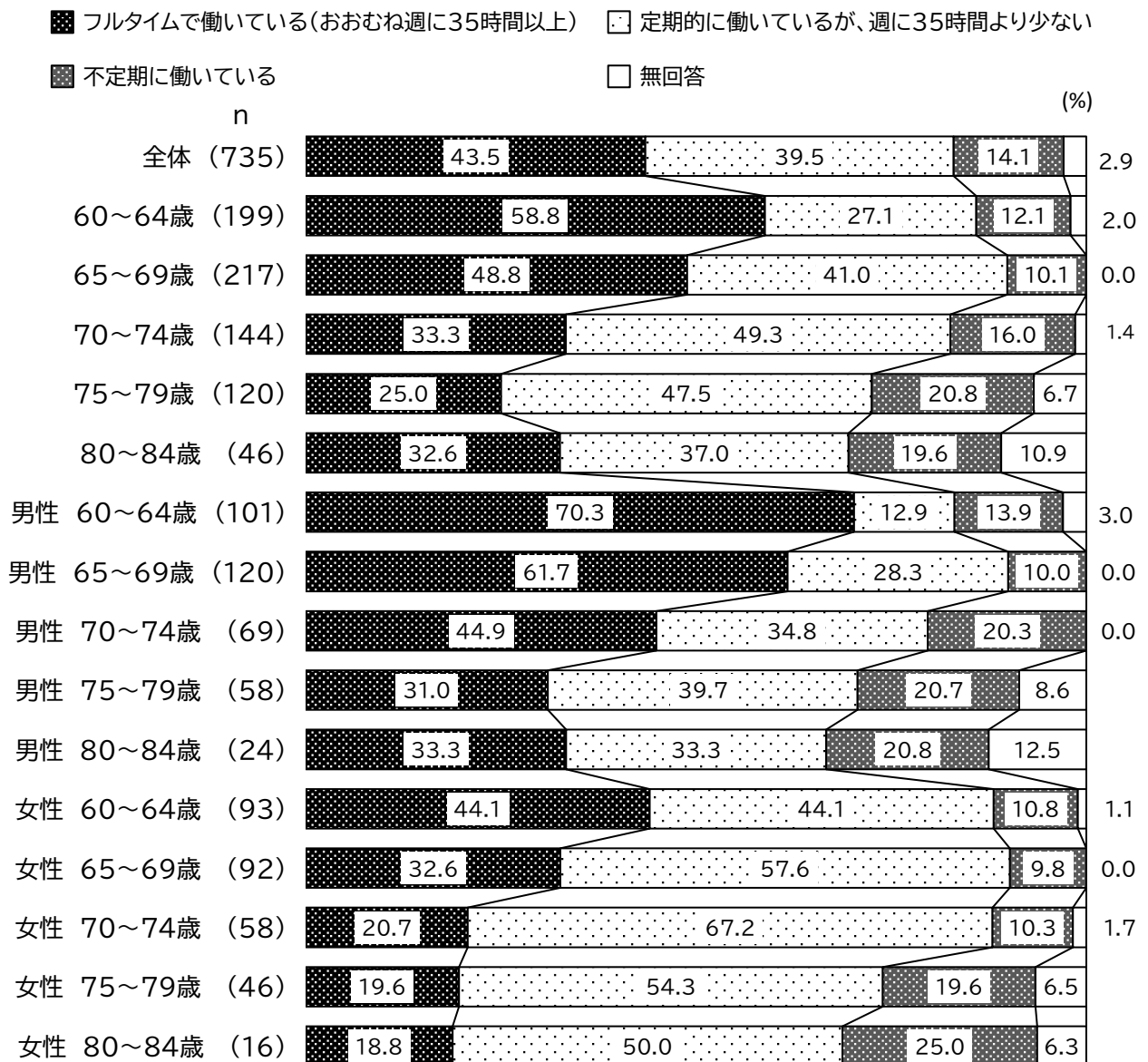
図表3-2-4 現在の働き方:性年代別



詳細な年齢区分別で見ると、60～64歳・65～69歳では「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」（60～64歳58.8%・65～69歳48.8%）、70～74歳では「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」（49.3%）がそれぞれ全体の傾向よりも高くなっている。

男性60～64歳・男性65～69歳では「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」（男性60～64歳70.3%・男性65～69歳61.7%）が全体の傾向より高くなっている。女性では「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」がすべての年代において全体の傾向より高く、最も割合が高いのは70～74歳（67.2%）となっている。

図表3-2-5 現在の働き方:性年代別(詳細)

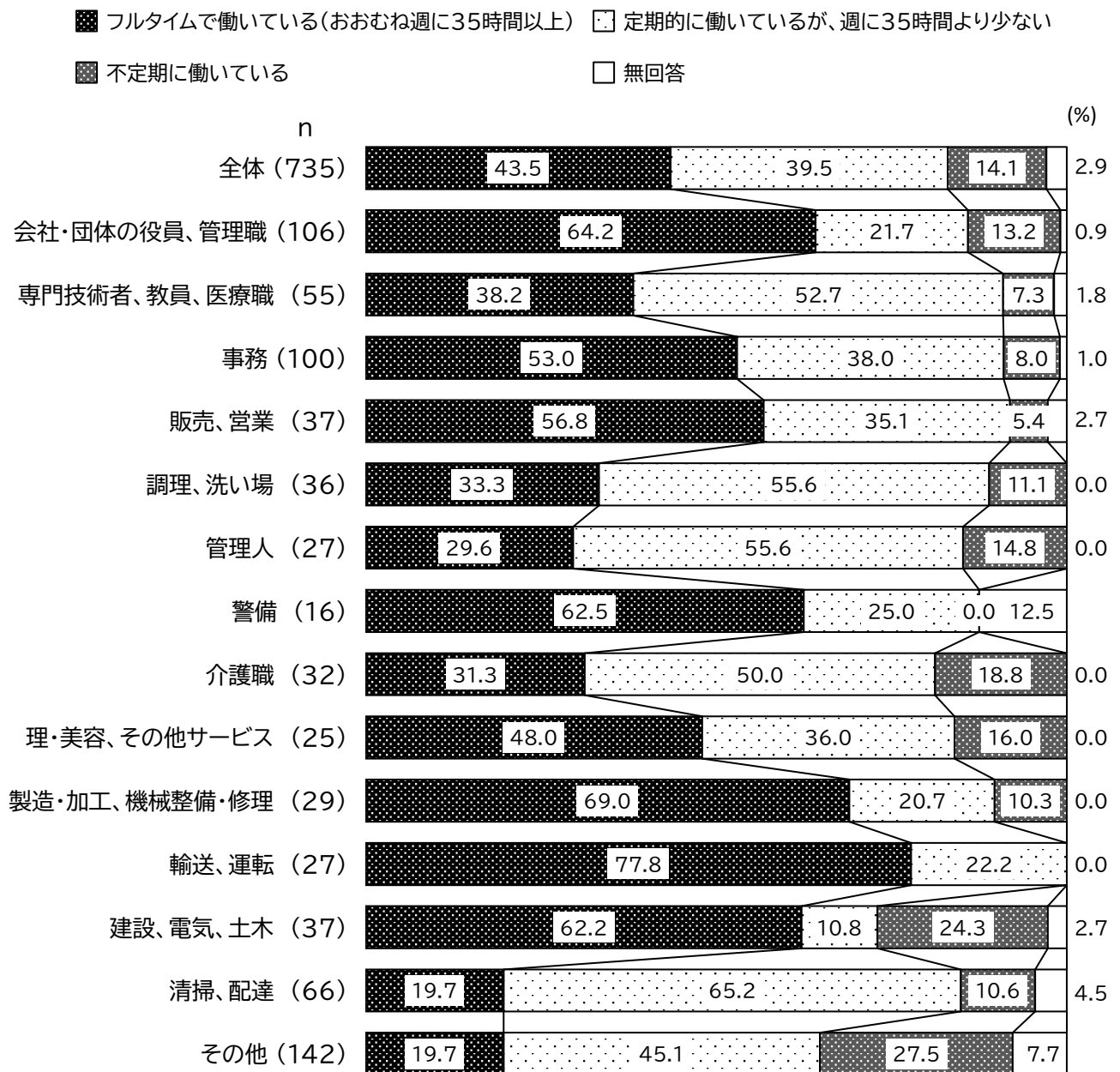


第3章 調査結果の詳細

現在の職業別でみると、「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」では「輸送・運転」（77.8%）、「製造・加工、機械整備・修理」（69.0%）、「会社・団体の役員、管理職」（64.2%）の順となっている。「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」では「清掃、配達」（65.2%）、「調理、洗い場」（55.6%）、「管理人」（55.6%）の順に高くなっている。

「不定期に働いている」では「その他」（27.5%）、「建設、電気、土木」（24.3%）、「介護職」（18.8%）の順に高くなっている。

図表3-2-6 現在の働き方:現在の職業別



④現在の仕事をどこで探したか

【問8で「1. 会社・団体の役員、管理職」～「15. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問11 あなたは、現在の仕事をどこで探しましたか。(あてはまるものすべてに○)

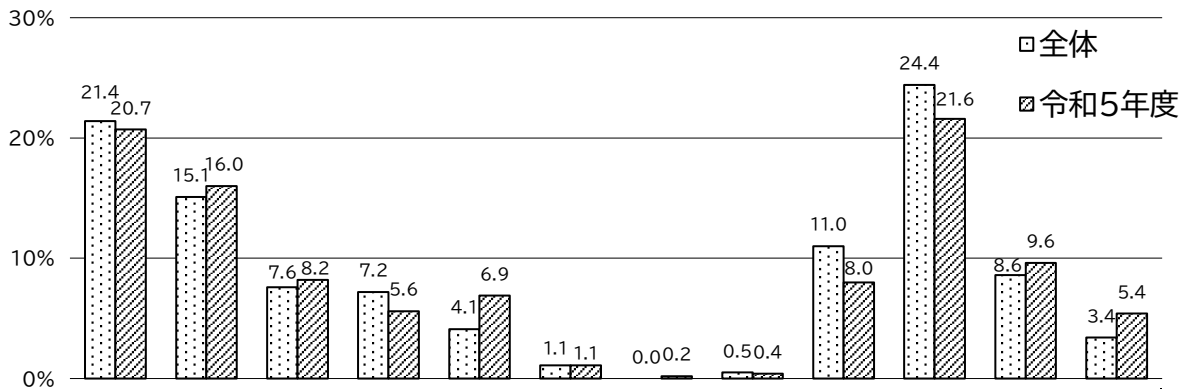
現在の仕事をどこで探したかについて、現在就業している人の中では、「友人・知人・家族などの紹介」が21.4%と最も高く、次いで「求人情報誌や求人広告」が15.1%、「その他」が8.6%、「ハローワーク」が7.6%の順となっている。一方、「再雇用」は11.0%、「就職活動はしていない（自営業、定年前など）」が24.4%となっている。

性別でみると、男性では女性よりも「就職活動はしていない（自営業、定年前など）」(28.8%)が高く、女性では男性よりも「友人・知人・家族などの紹介」(23.3%)、「求人情報誌や求人広告」(22.0%)が高くなっている。

また、性年代別でみると、男性はすべての年代において「就職活動はしていない（自営業、定年前など）」が全体の傾向よりも高く、女性60～64歳では「求人情報誌や求人広告」(23.7%)が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-7 現在の仕事をどこで探したか:性年代別



	n	友人・知人・家族などの紹介	求人情報誌や求人広告	ハローワーク	インターネット (求人情報サイトなど)	シルバー人材センター	アクティブシニア就業支援センター 「はつらつシニアいたばし」	MONS(ワークス)高島平	東京しごと財団	再雇用	就職活動はしていない (自営業、定年前など)	その他	無回答
全体	735	157 21.4%	111 15.1%	56 7.6%	53 7.2%	30 4.1%	8 1.1%	0 0.0%	4 0.5%	81 11.0%	179 24.4%	63 8.6%	25 3.4%
令和5年度	551	20.7%	16.0%	8.2%	5.6%	6.9%	1.1%	0.2%	0.4%	8.0%	21.6%	9.6%	5.4%
男性計	372	19.4%	10.8%	10.2%	8.1%	3.2%	0.8%	0.0%	0.5%	12.9%	28.8%	7.3%	3.2%
男性 60～64歳	101	20.8%	10.9%	15.8%	8.9%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.9%	28.7%	4.0%	2.0%
男性 前期高齢者	189	19.0%	10.1%	9.0%	9.0%	3.2%	1.1%	0.0%	0.5%	14.3%	29.1%	8.5%	0.5%
男性 後期高齢者	82	18.3%	12.2%	6.1%	4.9%	6.1%	1.2%	0.0%	1.2%	7.3%	28.0%	8.5%	11.0%
女性計	305	23.3%	22.0%	4.9%	7.2%	4.6%	1.6%	0.0%	0.3%	9.2%	18.4%	9.5%	2.6%
女性 60～64歳	93	14.0%	23.7%	5.4%	11.8%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	16.1%	20.4%	7.5%	3.2%
女性 前期高齢者	150	26.0%	24.7%	5.3%	7.3%	6.0%	2.0%	0.0%	0.0%	6.7%	15.3%	10.0%	0.7%
女性 後期高齢者	62	30.6%	12.9%	3.2%	0.0%	8.1%	1.6%	0.0%	0.0%	4.8%	22.6%	11.3%	6.5%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(2) 今後の就業意向

① 今後の就業意向

問12 あなたは今後、働こうと思っっていますか。(○は1つのみ)

今後の就業意向については、「今は働いておらず、今後も働く予定はない」が44.8%と最も高く、次いで「今も働いており、今後も働き続けたい」が36.3%、「今は働いていないが、今後働きたい」が7.6%の順となっている。

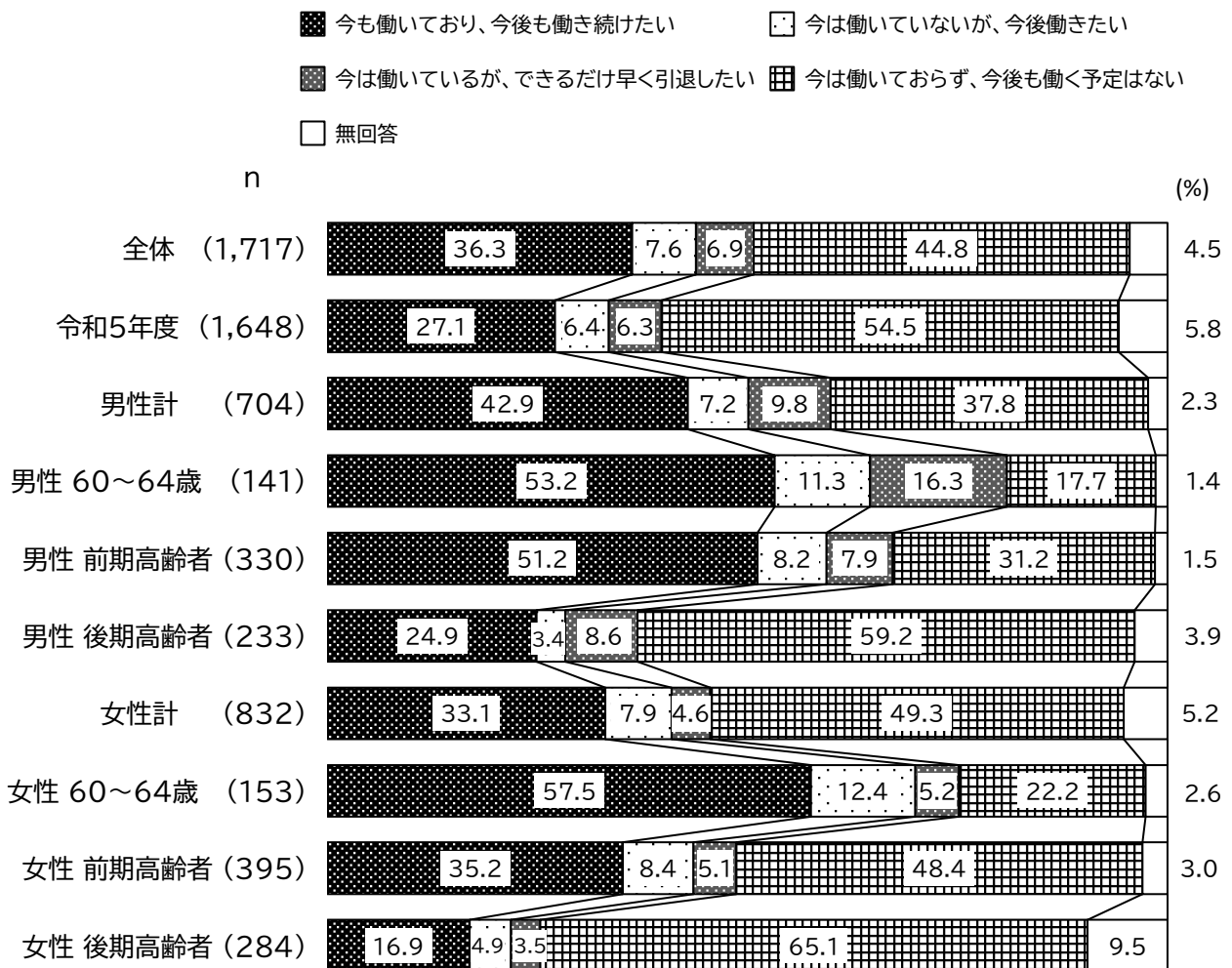
性別で見ると、男性では女性よりも「今も働いており、今後も働き続けたい」(42.9%)、「今は働いているが、できるだけ早く引退したい」(9.8%)が高く、女性では男性よりも「今は働いておらず、今後も働く予定はない」(49.3%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60~64歳では「今も働いており、今後も働き続けたい」(53.2%)、「今は働いているが、できるだけ早く引退したい」(16.3%)が、男性前期高齢者では「今も働いており、今後も働き続けたい」(51.2%)が、男性後期高齢者では「今は働いておらず、今後も働く予定はない」(59.2%)が全体の傾向より高くなっている。

女性60~64歳では「今も働いており、今後も働き続けたい」(57.5%)、女性後期高齢者では「今は働いておらず、今後も働く予定はない」(65.1%)が全体の傾向よりも高くなっている。

男女ともに年代が高くなるほど「今は働いておらず、今後も働く予定はない」が高くなっている。

図表3-2-8 今後の就業意向:性年代別



②何歳まで働きたいか

【問12で「1. 今も働いており、今後も働き続けたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

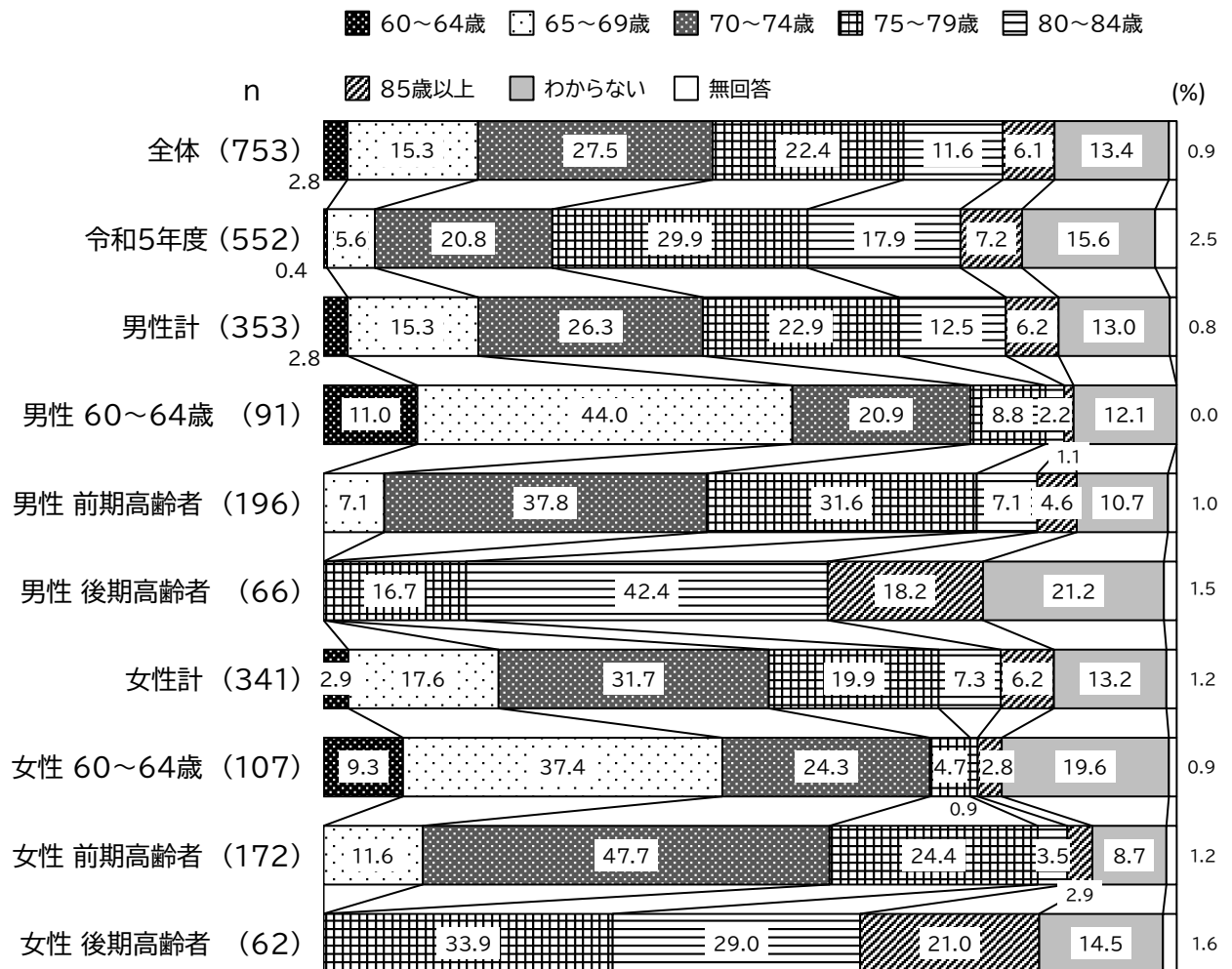
問13 何歳まで働きたいと思いますか。現在の仕事とは違う仕事をする場合を含みます。(〇は1つのみ)

年代ごとに性別でみると、60～64歳では、男女ともに「65～69歳」(男性44.0%・女性37.4%)が最も高く、男性では女性よりも「65～69歳」、「75～79歳」(男性8.8%・女性4.7%)が高い。

前期高齢者では、ともに「70～74歳」(男性37.8%・女性47.7%)が最も高い。男性では女性よりも「75～79歳」(男性31.6%・女性24.4%)が高く、「70～74歳」が低い。

後期高齢者では、女性では「75～79歳」(33.9%)が最も高く、男性(16.7%)より高い。男性では「80～84歳」(42.4%)が最も高く、女性(29.0%)より高い。

図表3-2-9 何歳まで働きたいか:性年代別



③働くことを決めるときに重視すること

【問12で「1. 今も働いており、今後も働き続けたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

問14 あなたは、働くことを決めるとき、どんなことを重視しますか。上位3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

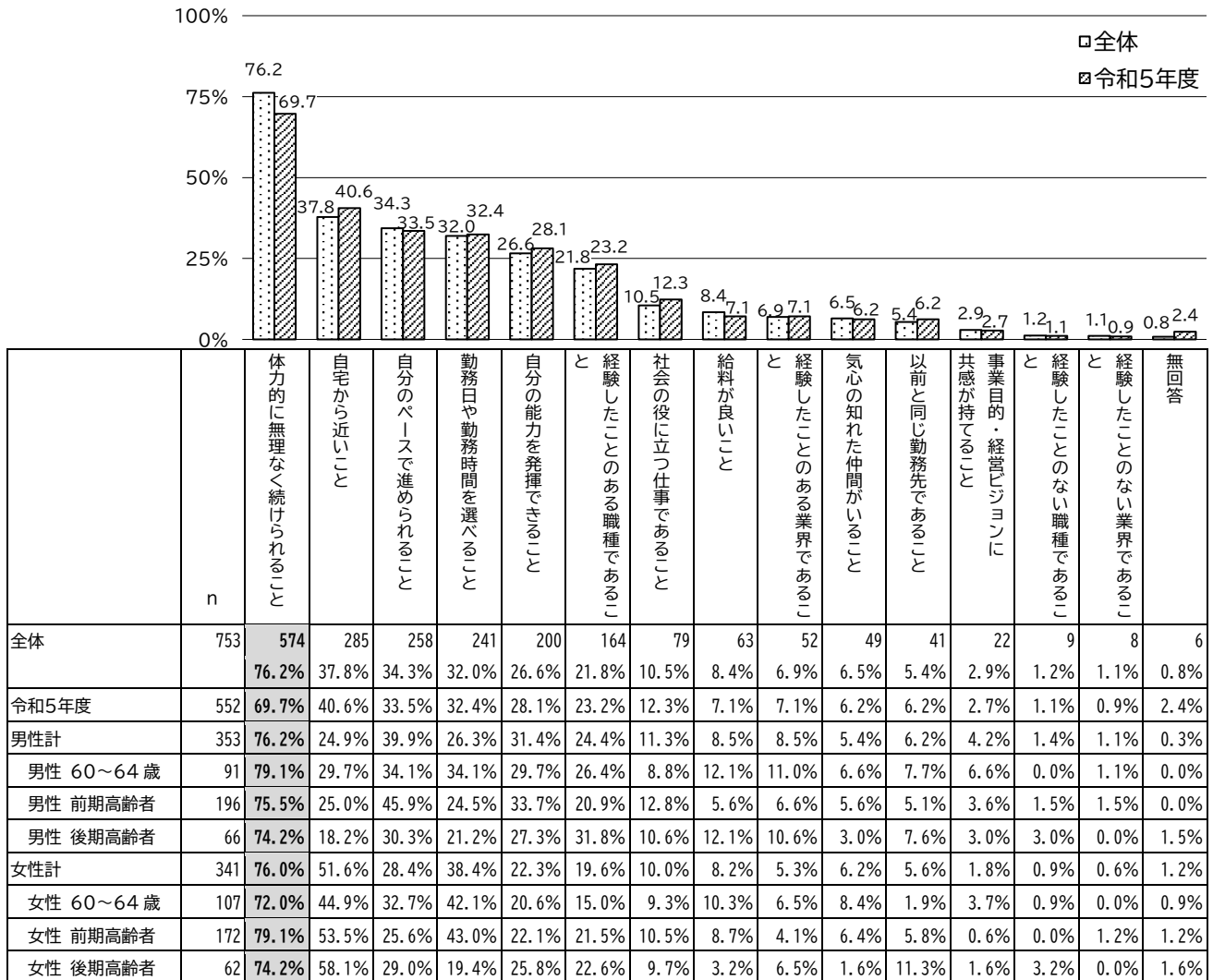
働くことを決めるときに重視することは、「体力的に無理なく続けられること」が76.2%と最も高く、次いで「自宅から近いこと」が37.8%、「自分のペースで進められること」が34.3%である。

性別で見ると、男性では女性よりも「自分のペースで進められること」(39.9%)、「自分の能力を發揮できること」(31.4%)が高く、女性では男性よりも「自宅から近いこと」(51.6%)、「勤務日や勤務時間を選べること」(38.4%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性後期高齢者では「経験したことがある職種であること」(男性60～64歳26.4%・男性後期31.8%)が、男性前期高齢者では「自分のペースで進められること」(45.9%)が、女性60～64歳では「勤務日や勤務時間を選べること」(42.1%)が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「自宅から近いこと」(女性前期53.5%・女性後期58.1%)が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、「体力的に無理なく続けられること」が6.5ポイント高くなっている。

図表3-2-10 働くことを決めるときに重視すること:性年代別



※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「勤務日や勤務時間を選べること」(38.6%)、80～84歳では「自分の能力を發揮できること」(34.9%)が全体の傾向よりも高くなっている。

男性65～69歳では「自分の能力を發揮できること」(40.7%)が、男性70～74歳では「自分のペースで進められること」(48.7%)が、男性75～79歳では「経験したことがある職種であること」(36.4%)、男性80～84歳では「以前と同じ勤務先であること」(13.6%)が全体の傾向よりも高くなっている。

女性65～69歳では「勤務日や勤務時間を選べること」(45.4%)、「自宅から近いこと」(54.6%)が、女性80～84歳では「自分の能力を發揮できること」(40.0%)が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-2-11 働くことを決めるときに重視すること:性年代別(詳細)

	n	体力的に無理なく続けられること	自宅から近いこと	自分のペースで進められること	勤務日や勤務時間を選べること	自分の能力を發揮できること	経験したことがある職種であること	社会の役に立つ仕事であること	給料が良いこと	経験したことがある業界であること	気心の知れた仲間がいること	以前と同じ勤務先であること	共感が持てること	事業目的・経営にシヨクに	経験したことはない職種であること	経験したことはない業界であること	無回答
全体	753	76.2%	37.8%	34.3%	32.0%	26.6%	21.8%	10.5%	8.4%	6.9%	6.5%	5.4%	2.9%	1.2%	1.1%	0.8%	
60～64歳	202	74.3%	37.6%	33.7%	38.6%	24.8%	19.8%	8.9%	11.4%	8.4%	8.4%	4.5%	5.0%	0.5%	0.5%	0.5%	
65～69歳	231	78.8%	37.7%	36.8%	33.3%	30.7%	20.3%	13.0%	7.8%	6.1%	7.8%	3.9%	2.2%	0.4%	0.4%	0.0%	
70～74歳	161	75.2%	37.9%	34.8%	32.3%	25.5%	23.0%	9.3%	6.2%	5.0%	3.7%	6.8%	1.9%	1.2%	3.1%	1.9%	
75～79歳	108	73.1%	43.5%	31.5%	22.2%	21.3%	26.9%	12.0%	5.6%	8.3%	4.6%	5.6%	2.8%	1.9%	0.0%	1.9%	
80～84歳	43	81.4%	32.6%	25.6%	18.6%	34.9%	20.9%	7.0%	14.0%	9.3%	4.7%	14.0%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	
男性 60～64歳	91	79.1%	29.7%	34.1%	34.1%	29.7%	26.4%	8.8%	12.1%	11.0%	6.6%	7.7%	6.6%	0.0%	1.1%	0.0%	
男性 65～69歳	118	78.0%	22.9%	44.1%	22.0%	40.7%	21.2%	11.9%	6.8%	7.6%	6.8%	5.1%	3.4%	0.8%	0.8%	0.0%	
男性 70～74歳	78	71.8%	28.2%	48.7%	28.2%	23.1%	20.5%	14.1%	3.8%	5.1%	3.8%	5.1%	3.8%	2.6%	2.6%	0.0%	
男性 75～79歳	44	68.2%	22.7%	34.1%	18.2%	25.0%	36.4%	13.6%	9.1%	9.1%	0.0%	4.5%	4.5%	2.3%	0.0%	2.3%	
男性 80～84歳	22	86.4%	9.1%	22.7%	27.3%	31.8%	22.7%	4.5%	18.2%	13.6%	9.1%	13.6%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	
女性 60～64歳	107	72.0%	44.9%	32.7%	42.1%	20.6%	15.0%	9.3%	10.3%	6.5%	8.4%	1.9%	3.7%	0.9%	0.0%	0.9%	
女性 65～69歳	108	81.5%	54.6%	28.7%	45.4%	19.4%	18.5%	13.9%	9.3%	4.6%	8.3%	2.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
女性 70～74歳	64	75.0%	51.6%	20.3%	39.1%	26.6%	26.6%	4.7%	7.8%	3.1%	3.1%	10.9%	0.0%	0.0%	3.1%	3.1%	
女性 75～79歳	47	72.3%	57.4%	31.9%	23.4%	21.3%	23.4%	8.5%	2.1%	6.4%	2.1%	8.5%	2.1%	2.1%	0.0%	2.1%	
女性 80～84歳	15	80.0%	60.0%	20.0%	6.7%	40.0%	20.0%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%	20.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

第3章 調査結果の詳細

④希望する職種

【問12で「1. 今も働いており、今後も働きたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

問15 あなたは、働く場合、どの職種を希望しますか。(○は1つのみ)

希望する職種については、「事務」が17.1%と最も高く、次いで「その他」が12.2%、「専門技術者、教育、医療職」が10.2%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「建設、電気、土木」(7.9%)、「管理人」(7.6%)、「輸送、運転」(7.1%)、「会社・団体の役員、管理職」(10.5%)、「警備」(3.4%)が高く、女性では男性よりも「事務」(25.5%)、「調理、洗い場」(9.1%)、「介護職」(7.0%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳では「製造・加工、機械整備・修理」(15.4%)、「輸送、運転」(9.9%)が、女性60～64歳では「事務」(38.3%)が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-2-12 希望する職種：性年代別

	n	会社・団体の 役員、管理職	専門技術者、 教員、医療職	事務	販売、営業	調理、洗い場	管理人	警備	介護職	理・美容、 その他サービス
全体	753	6.9%	10.2%	17.1%	5.6%	6.8%	4.9%	1.7%	3.7%	3.6%
男性計	353	10.5%	10.2%	9.6%	4.2%	5.4%	7.6%	3.4%	0.8%	2.0%
男性 60～64歳	91	9.9%	6.6%	11.0%	5.5%	3.3%	3.3%	3.3%	0.0%	4.4%
男性 前期高齢者	196	11.2%	11.7%	10.2%	2.6%	5.1%	8.7%	4.1%	1.5%	1.0%
男性 後期高齢者	66	9.1%	10.6%	6.1%	7.6%	9.1%	10.6%	1.5%	0.0%	1.5%
女性計	341	2.1%	11.4%	25.5%	6.2%	9.1%	1.8%	0.3%	7.0%	5.3%
女性 60～64歳	107	2.8%	9.3%	38.3%	7.5%	4.7%	0.0%	0.0%	6.5%	3.7%
女性 前期高齢者	172	1.2%	16.3%	19.2%	4.1%	8.7%	1.7%	0.6%	7.0%	7.6%
女性 後期高齢者	62	3.2%	1.6%	21.0%	9.7%	17.7%	4.8%	0.0%	8.1%	1.6%

	n	農業	製造・加工、 機械整備・修理	輸送、運転	建設、電気、 土木	清掃、配達	その他	無回答
全体	753	0.7%	4.5%	4.1%	3.9%	8.6%	12.2%	5.4%
男性計	353	0.8%	7.9%	7.1%	7.9%	9.3%	8.2%	4.8%
男性 60～64歳	91	2.2%	15.4%	9.9%	6.6%	7.7%	9.9%	1.1%
男性 前期高齢者	196	0.0%	6.1%	7.7%	9.2%	10.7%	7.1%	3.1%
男性 後期高齢者	66	1.5%	3.0%	1.5%	6.1%	7.6%	9.1%	15.2%
女性計	341	0.6%	1.5%	0.3%	0.0%	6.7%	16.7%	5.6%
女性 60～64歳	107	0.9%	2.8%	0.9%	0.0%	1.9%	16.8%	3.7%
女性 前期高齢者	172	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	8.7%	19.2%	4.7%
女性 後期高齢者	62	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	9.7%	11.3%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「事務」（25.7%）、「製造・加工、機械整備・修理」（8.4%）が、65～69歳では「専門技術者、教員、医療職」（13.9%）が、70～74歳では「清掃、配達」（14.9%）が、75～79歳では「調理、洗い場」（14.8%）が、80～84歳では「販売、営業」（11.6%）が全体の傾向よりも高くなっている。

男性60～64歳では「製造・加工、機械整備・修理」（15.4%）が、男性65～69歳では「会社・団体の役員、管理職」（12.7%）、「輸送、運転」（10.2%）、「建設、電気、土木」（10.2%）が全体の傾向よりも高くなっている。女性60～64歳では「事務」（38.3%）が、女性70～74歳では「専門技術者、教員、医療職」（17.2%）が、女性75～79歳では「調理、洗い場」（21.3%）が、女性80～84歳では「事務」（33.3%）、「販売、営業」（13.3%）が全体の傾向よりも高くなっている。また、「管理人」はすべての年代で男性の方が高く、「調理、洗い場」はすべての年代で女性の方が高くなっている。

図表3-2-13 希望する職種：性年代別（詳細）

	n	会社・団体の役員、管理職	専門技術者、教員、医療職	事務	販売、営業	調理、洗い場	管理人	警備	介護職	理・美容、その他サービス
全体	753	6.9%	10.2%	17.1%	5.6%	6.8%	4.9%	1.7%	3.7%	3.6%
60～64歳	202	6.4%	7.9%	25.7%	6.4%	4.0%	1.5%	1.5%	3.5%	4.0%
65～69歳	231	6.9%	13.9%	14.3%	3.9%	7.4%	3.0%	1.7%	5.2%	3.5%
70～74歳	161	6.8%	11.8%	14.9%	4.3%	5.6%	8.1%	3.1%	1.9%	5.0%
75～79歳	108	6.5%	7.4%	12.0%	7.4%	14.8%	9.3%	0.9%	4.6%	0.9%
80～84歳	43	7.0%	4.7%	16.3%	11.6%	2.3%	9.3%	0.0%	2.3%	2.3%
男性60～64歳	91	9.9%	6.6%	11.0%	5.5%	3.3%	3.3%	3.3%	0.0%	4.4%
男性65～69歳	118	12.7%	12.7%	9.3%	3.4%	5.9%	4.2%	3.4%	2.5%	0.0%
男性70～74歳	78	9.0%	10.3%	11.5%	1.3%	3.8%	15.4%	5.1%	0.0%	2.6%
男性75～79歳	44	9.1%	11.4%	6.8%	6.8%	13.6%	9.1%	2.3%	0.0%	2.3%
男性80～84歳	22	9.1%	9.1%	4.5%	9.1%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%
女性60～64歳	107	2.8%	9.3%	38.3%	7.5%	4.7%	0.0%	0.0%	6.5%	3.7%
女性65～69歳	108	0.0%	15.7%	19.4%	3.7%	9.3%	1.9%	0.0%	8.3%	7.4%
女性70～74歳	64	3.1%	17.2%	18.8%	4.7%	7.8%	1.6%	1.6%	4.7%	7.8%
女性75～79歳	47	2.1%	2.1%	17.0%	8.5%	21.3%	6.4%	0.0%	8.5%	0.0%
女性80～84歳	15	6.7%	0.0%	33.3%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%

	n	農業	製造・加工、機械整備・修理	輸送、運転	建設、電気、土木	清掃、配達	その他	無回答
全体	753	0.7%	4.5%	4.1%	3.9%	8.6%	12.2%	5.4%
60～64歳	202	1.5%	8.4%	5.0%	3.0%	5.0%	13.4%	3.0%
65～69歳	231	0.0%	4.3%	5.2%	5.2%	6.9%	16.9%	1.7%
70～74歳	161	0.0%	2.5%	3.1%	3.7%	14.9%	8.1%	6.2%
75～79歳	108	0.9%	0.0%	1.9%	2.8%	9.3%	10.2%	11.1%
80～84歳	43	2.3%	7.0%	0.0%	4.7%	9.3%	4.7%	16.3%
男性60～64歳	91	2.2%	15.4%	9.9%	6.6%	7.7%	9.9%	1.1%
男性65～69歳	118	0.0%	7.6%	10.2%	10.2%	7.6%	8.5%	1.7%
男性70～74歳	78	0.0%	3.8%	3.8%	7.7%	15.4%	5.1%	5.1%
男性75～79歳	44	0.0%	0.0%	2.3%	6.8%	6.8%	9.1%	13.6%
男性80～84歳	22	4.5%	9.1%	0.0%	4.5%	9.1%	9.1%	18.2%
女性60～64歳	107	0.9%	2.8%	0.9%	0.0%	1.9%	16.8%	3.7%
女性65～69歳	108	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	6.5%	25.0%	1.9%
女性70～74歳	64	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	12.5%	9.4%	9.4%
女性75～79歳	47	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%	12.8%	10.6%
女性80～84歳	15	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	13.3%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

第3章 調査結果の詳細

現在の職業別でみると、現在の職業をそのまま継続して続けたいという回答がそれぞれの中で過半数となっている。また、現在は「主婦・主夫（専業）」であると回答している人では「事務」と「販売、営業」（いずれも18.2%）が、「無職・仕事からは引退した」と回答している人では「事務」（25.0%）が、それぞれ他の職業に比べて高くなっている。

図表3-2-14 希望する職種：現在の職業別

	n	会社・団体の役員、管理職	専門技術者、教員、医療職	事務	販売、営業	調理、洗い場	管理人	警備	介護職	理・美容、その他サービス	農業	製造・加工、機械整備・修理	輸送、運転	建設、電気、土木	清掃、配達	その他	無回答
全体	753	6.9%	10.2%	17.1%	5.6%	6.8%	4.9%	1.7%	3.7%	3.6%	0.7%	4.5%	4.1%	3.9%	8.6%	12.2%	5.4%
会社・団体の役員、管理職	75	57.3%	9.3%	5.3%	5.3%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%	1.3%	1.3%	2.7%	0.0%	6.7%	6.7%
専門技術者、教員、医療職	48	4.2%	89.6%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%
事務	88	2.3%	0.0%	87.5%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	1.1%	0.0%	1.1%	3.4%	1.1%
販売、営業	31	0.0%	0.0%	3.2%	58.1%	3.2%	0.0%	0.0%	6.5%	3.2%	0.0%	6.5%	0.0%	0.0%	3.2%	12.9%	3.2%
調理、洗い場	30	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	86.7%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	3.3%	3.3%
管理人	25	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	84.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%
警備	15	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護職	27	0.0%	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%
理・美容、その他サービス	22	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%
農業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
製造・加工、機械整備・修理	24	0.0%	4.2%	4.2%	0.0%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	79.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
輸送、運転	24	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	4.2%	8.3%	8.3%
建設、電気、土木	31	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	3.2%	80.6%	0.0%	3.2%	3.2%
清掃、配達	55	0.0%	0.0%	5.5%	1.8%	3.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	70.9%	1.8%	12.7%
その他	110	0.9%	4.5%	8.2%	2.7%	5.5%	2.7%	0.0%	0.9%	2.7%	0.9%	3.6%	1.8%	0.0%	5.5%	51.8%	8.2%
主婦・主夫（専業）	33	0.0%	15.2%	18.2%	18.2%	15.2%	3.0%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	15.2%	3.0%
学生	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無職・仕事からは引退した	96	1.0%	9.4%	25.0%	8.3%	9.4%	5.2%	0.0%	1.0%	2.1%	2.1%	4.2%	7.3%	1.0%	12.5%	8.3%	3.1%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

⑤希望する雇用形態

【問12で「1. 今も働いており、今後も働きたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

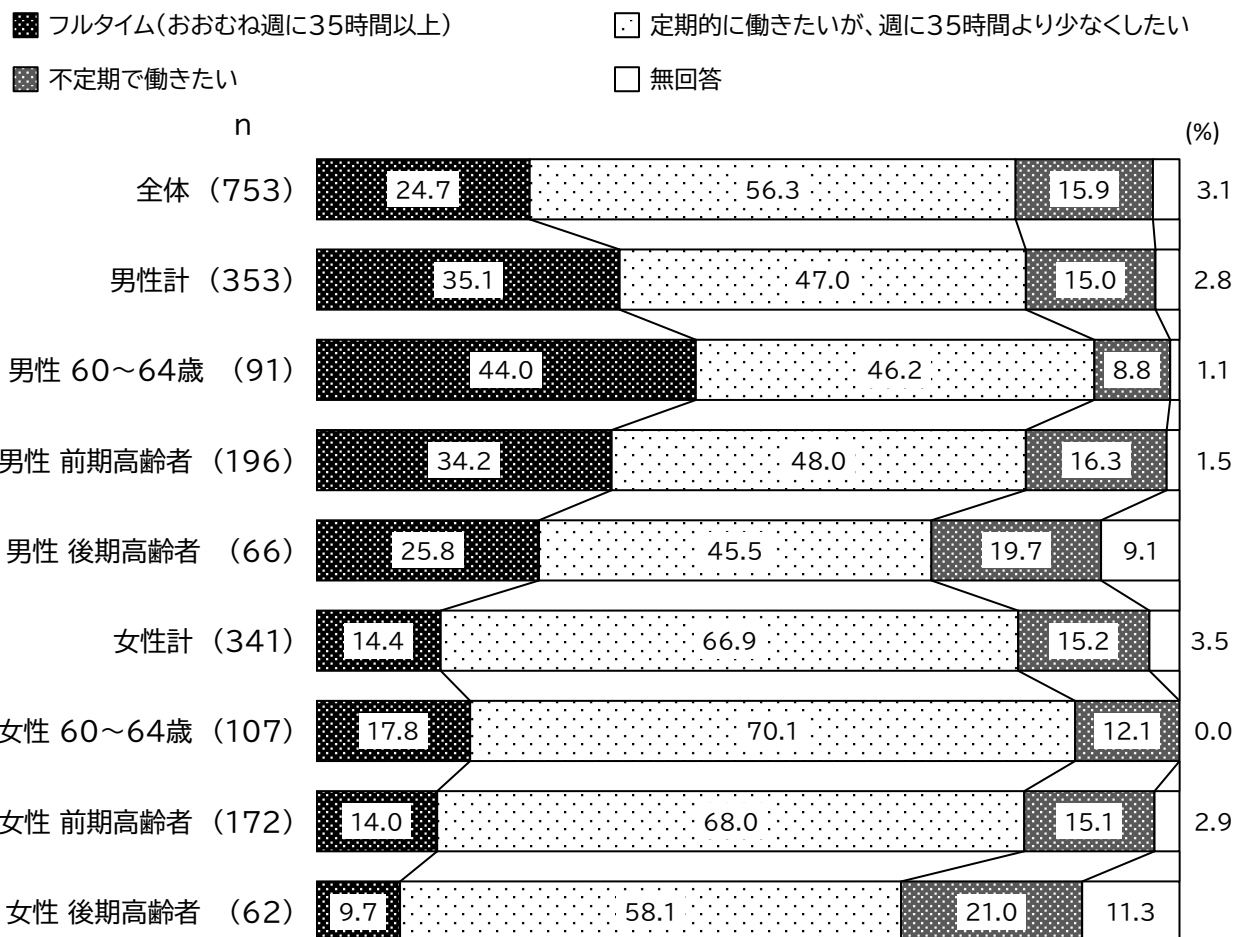
問16 あなたは、働く場合、どの働き方を希望しますか。(〇は1つのみ)

希望する働き方については、「定期的に働きたいが、週に35時間より少なくしたい」が56.3%で最も高く、次いで「フルタイム（おおむね週に35時間以上）」が24.7%、「不定期で働きたい」が15.9%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「フルタイム（おおむね週に35時間以上）」（35.1%）が高く、女性では男性よりも「定期的に働きたいが、週に35時間より少なくしたい」（66.9%）が高い。

性年代別で見ると、すべての年代で男性では「フルタイム（おおむね週に35時間以上）」が、女性では「定期的に働きたいが、週に35時間より少なくしたい」が全体の傾向よりも高い。男女ともに年代が高くなるほど「フルタイム（おおむね週に35時間以上）」が低くなっている。

図表3-2-15 希望する働き方:性年代別



⑥現在働いていない理由

【問12で「2.今は働いていないが、今後働きたい」「4.今は働いておらず、今後も働く予定はない」とお答えの方におうかがいします。】

問17 現在働いていない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

現在働いていない理由については、「健康上の理由」が32.1%で最も高く、次いで「専業主婦・専業主夫だから」が23.4%となっている。

性別で見ると、男性は「健康上の理由」(37.5%)、「経済的余裕があるから」(21.5%)が女性よりも高く、女性は「専業主婦・専業主夫だから」(36.1%)、「家庭の事情(介護、孫の世話など)があるから」(17.6%)が男性よりも高くなっている。

年代別で見ると、男性60～64歳・男性後期高齢者では、「健康上の理由」(男性60～64歳48.8%・男性後期41.8%)が、男性前期高齢者では「希望に合った仕事が見つからないから」(22.3%)が全体の傾向よりも高くなっている。女性60～64歳では「家庭の事情(介護、孫の世話など)があるから」(39.6%)が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「専業主婦・専業主夫だから」(女性前期37.5%・女性後期38.2%)が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-2-16 現在働いていない理由

	n	専業主婦・ 専業主夫 だから	経済的余裕が あるから	健康上の理由	家庭の事情 (介護、孫の 世話など)が あるから	希望に合った 仕事が見つか らないから	その他	無回答
全体	899	23.4%	16.0%	32.1%	13.7%	11.7%	13.7%	6.6%
男性計	317	3.5%	21.5%	37.5%	8.5%	15.8%	16.4%	9.1%
男性 60～64歳	41	0.0%	24.4%	48.8%	12.2%	17.1%	14.6%	2.4%
男性 前期高齢者	130	3.8%	21.5%	29.2%	10.0%	22.3%	13.1%	6.9%
男性 後期高齢者	146	4.1%	20.5%	41.8%	6.2%	9.6%	19.9%	13.0%
女性計	476	36.1%	12.0%	29.8%	17.6%	9.9%	11.8%	3.2%
女性 60～64歳	53	22.6%	17.0%	34.0%	39.6%	9.4%	5.7%	1.9%
女性 前期高齢者	224	37.5%	15.2%	27.2%	21.9%	13.8%	6.3%	2.7%
女性 後期高齢者	199	38.2%	7.0%	31.7%	7.0%	5.5%	19.6%	4.0%

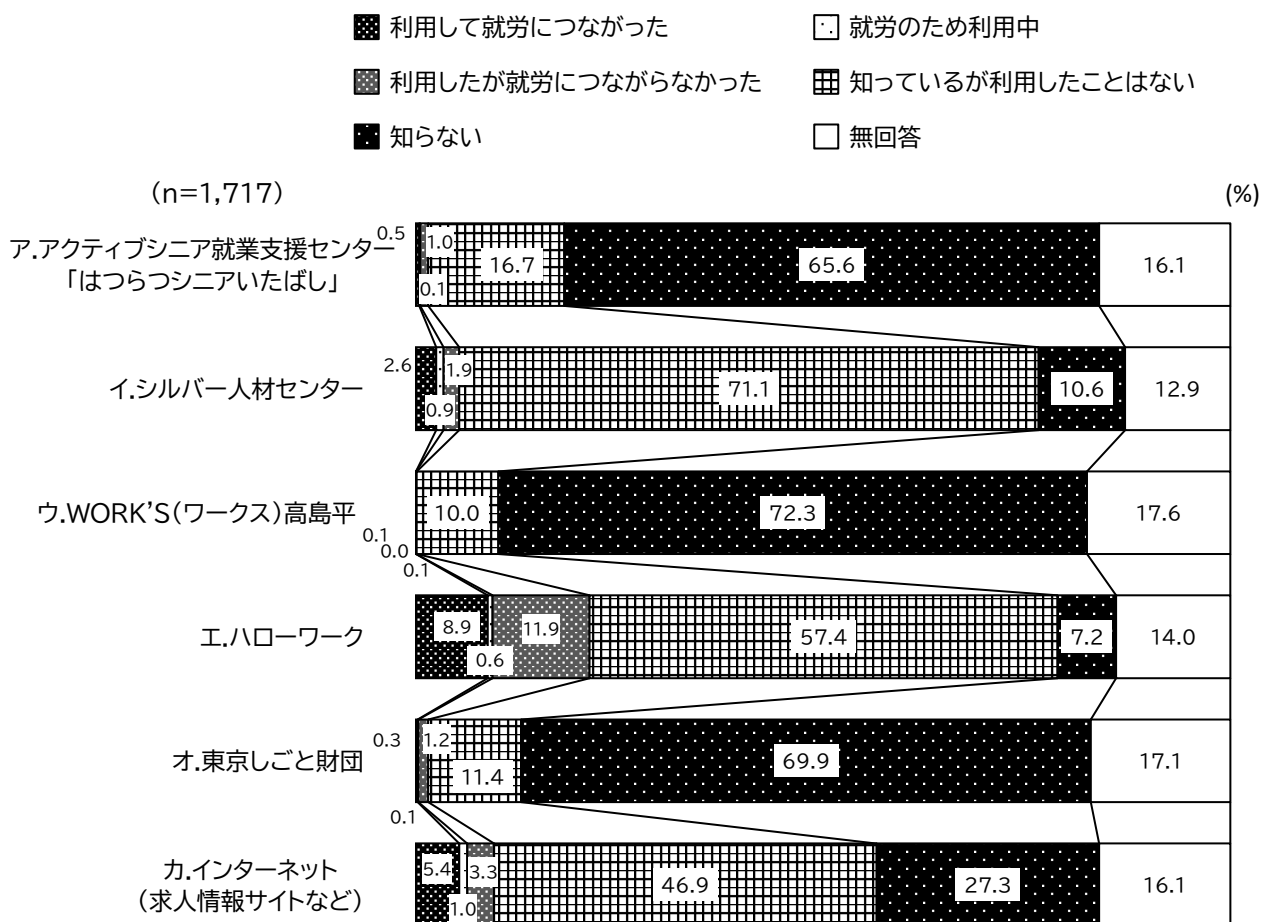
※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(3)仕事に関する情報を提供している施設などの認知度・利用状況

問18 仕事に関する情報を提供している施設などについておうかがいします。それぞれあてはまる番号をお選びください。(それぞれ○は1つ)

仕事に関する情報を提供している施設などの認知度・利用状況について、「利用して就労につながった」「就労のため利用中」「利用したが就労につながらなかった」を合わせて『利用状況』、さらに「知っているが利用したことはない」を合わせて『認知度』とすると、『認知度』は「ハローワーク」(認知度78.8%・利用状況21.4%・利用して就労につながった8.9%)が最も高く、次いで「シルバー人材センター」(76.5%・5.4%・2.6%)、「インターネット(求人情報サイトなど)」(56.6%・9.7%・5.4%)の順となっている。

図表3-2-17 仕事に関する情報を提供している施設などの認知度・利用状況



第3章 調査結果の詳細

① アクティブシニア就業支援センター「はつらつシニアいたばし」

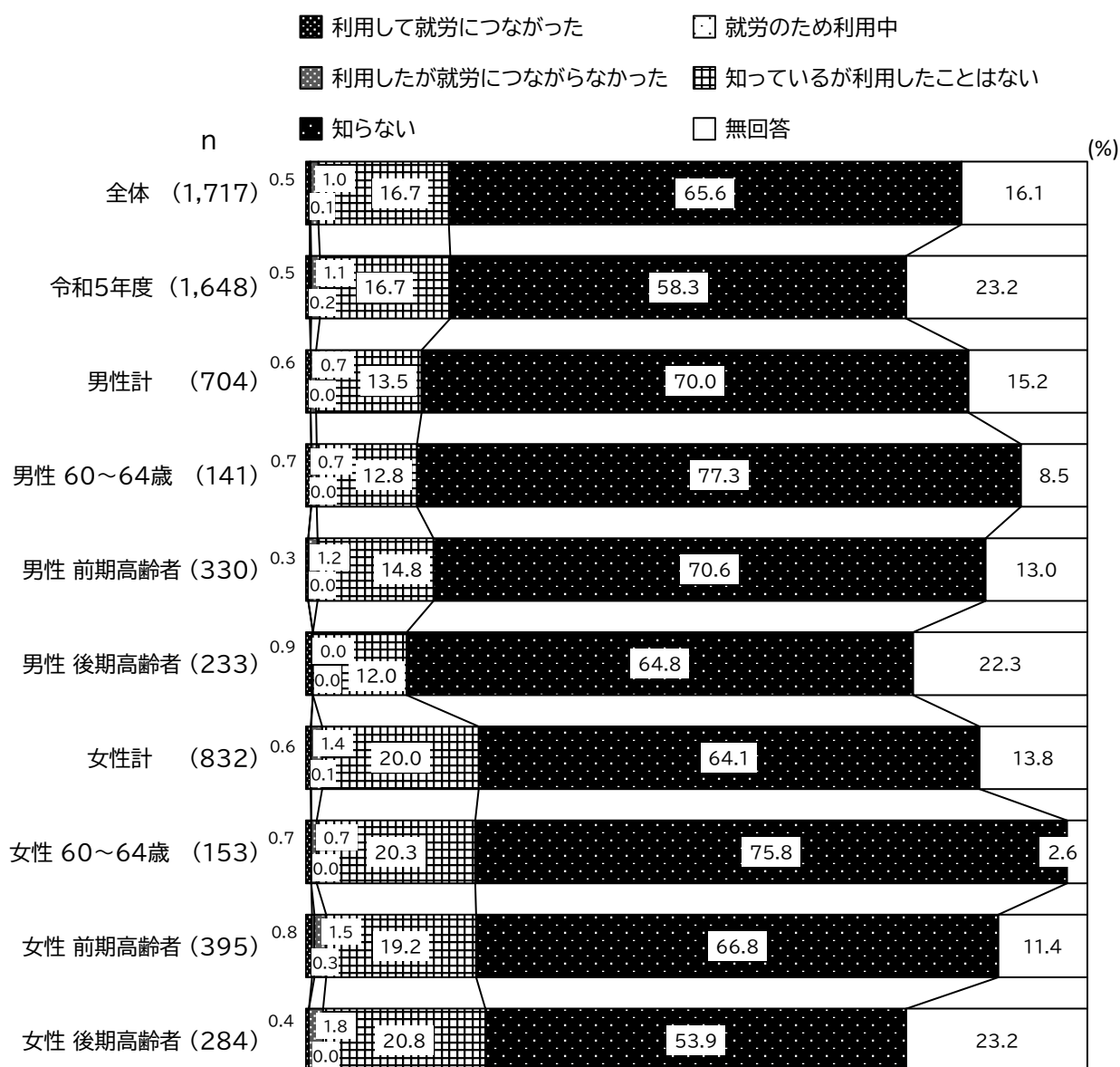
アクティブシニア就業支援センター「はつらつシニアいたばし」については、『認知度』が18.3%、『利用状況』が1.6%、「利用して就労につながった」が0.5%となっている。

性別で見ると、『認知度』は女性（22.1%）の方が男性（14.8%）よりも7.3ポイント高くなっている。『利用状況』「利用して就労につながった」では大きな違いがみられない。

性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（23.0%）が最も高くなっており、女性前期高齢者（21.8%）、女性60～64歳（21.7%）の順となっている。『利用状況』は女性前期高齢者（2.6%）、女性後期高齢者（2.2%）、男性前期高齢者（1.5%）の順となっている。「利用して就労につながった」は男性後期高齢者（0.9%）、女性前期高齢者（0.8%）の順に高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-18 アクティブシニア就業支援センター「はつらつシニアいたばし」の認知度・利用状況・性年代別



② シルバー人材センター

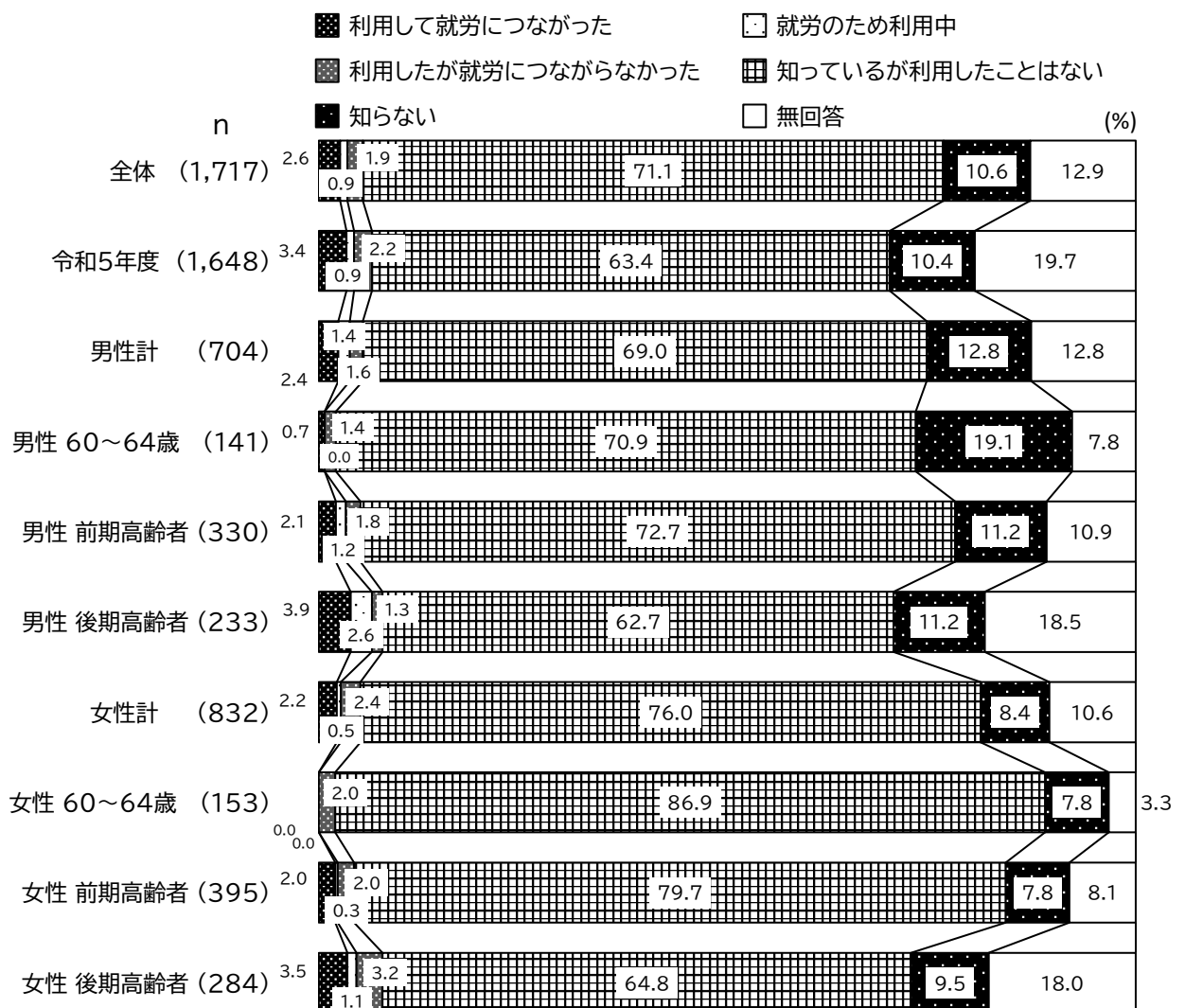
シルバー人材センターについては、『認知度』が76.5%、『利用状況』が5.4%、「利用して就労につながった」が2.6%となっている。

性別で見ると、『認知度』で女性（81.1%）の方が男性（74.4%）よりも6.7ポイント高い。『利用状況』「利用して就労につながった」については大きな違いがみられない。

性年代別で見ると、『認知度』は女性60歳～64歳（88.9%）、女性前期高齢者（84.0%）、男性前期高齢者（77.8%）の順で高くなっている。また、『利用状況』は男性後期高齢者（7.8%）、女性後期高齢者（7.8%）で全体の傾向よりも高くなっている。「利用して就労につながった」は男性後期高齢者（3.9%）、女性後期高齢者（3.5%）、で全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、『認知度』（前回69.9%・今回76.5%）が6.6ポイント上昇している。

図表3-2-19 シルバー人材センターの認知度・利用状況：性年代別



第3章 調査結果の詳細

③ WORK'S(ワークス)高島平

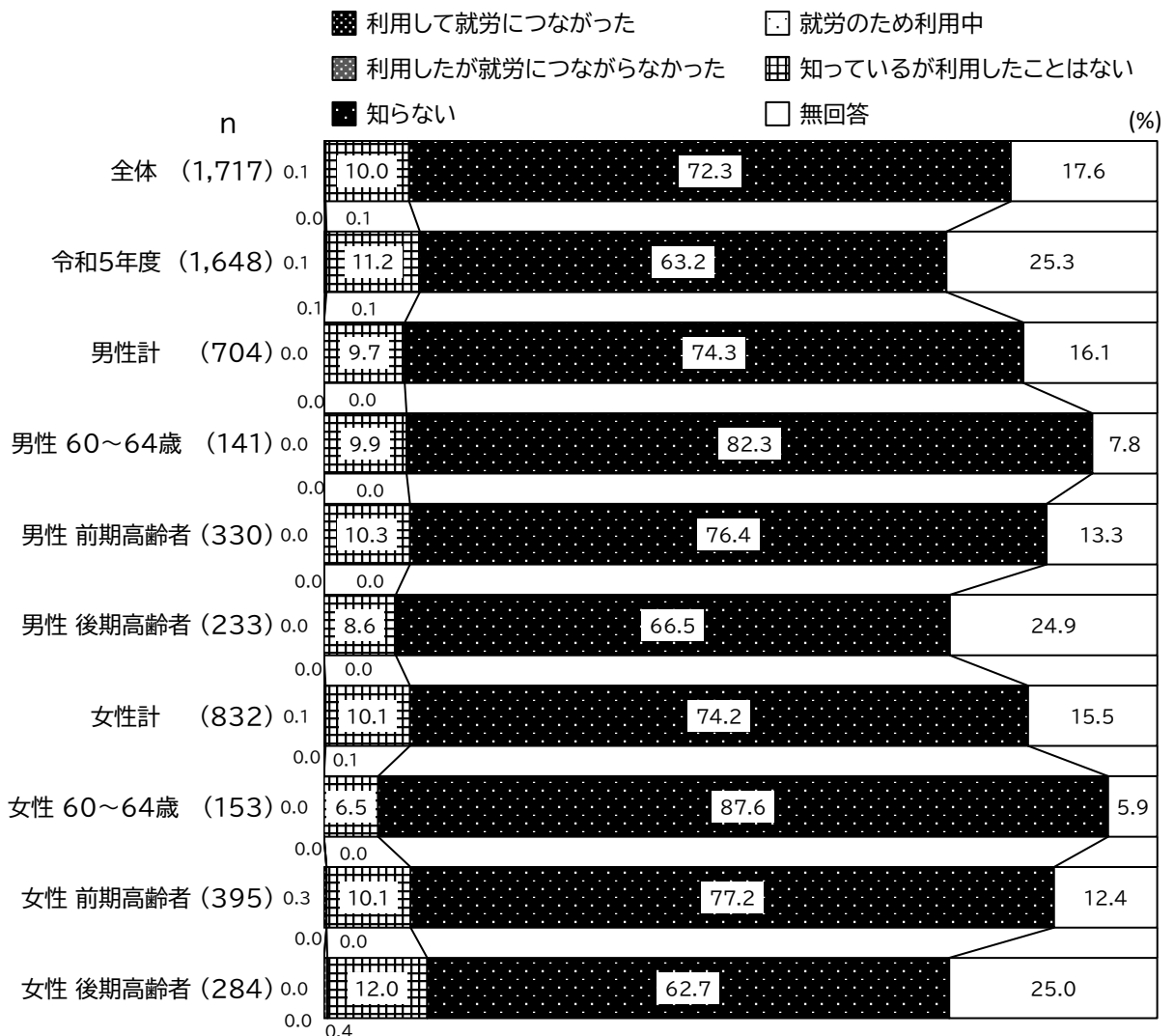
WORK'S (ワークス) 高島平については、『認知度』が10.2%、『利用状況』が0.2%、「利用して就労につながった」が0.1%となっている。

性別で見ると、『認知度』『利用状況』『利用して就労につながった』のすべてにおいて大きな違いがみられない。

性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（12.4%）で全体傾向より高く、女性前期高齢者（10.4%）、男性前期高齢者（10.3%）の順となっている。『利用状況』は女性後期高齢者（0.4%）、女性前期高齢者（0.3%）の順で、他の性年代ではすべて0.0%となっている。「利用して就労につながった」は女性前期高齢者（0.3%）以外の性年代ではすべて0.0%となっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-20 WORK'S(ワークス)高島平の認知度・利用状況：性年代別



④ ハローワーク

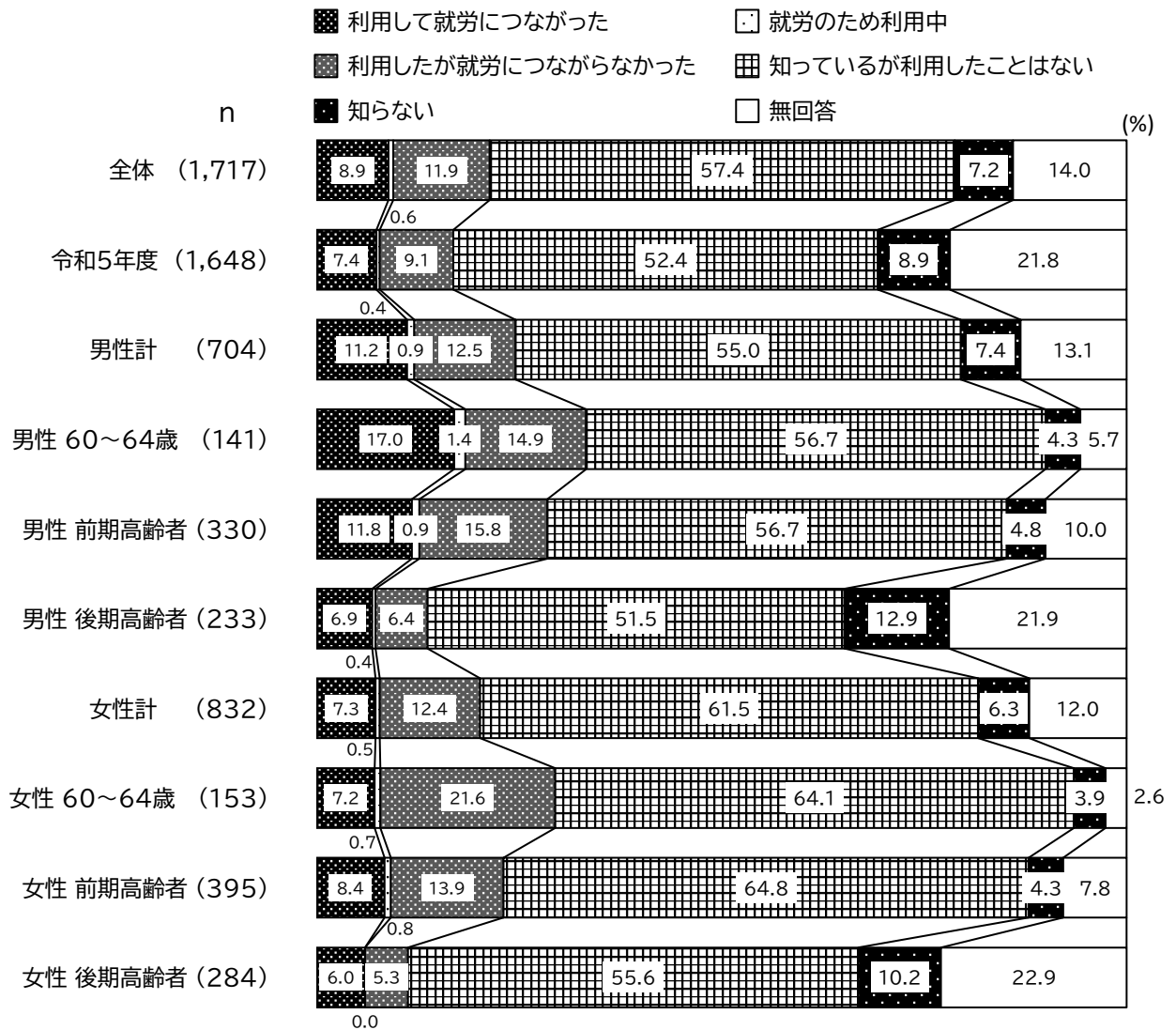
ハローワークについては、『認知度』が78.8%、『利用状況』が21.4%、「利用して就労につながった」が8.9%となっている。

性別でみると、『認知度』『利用状況』では男女で大きな違いがみられないものの、「利用して就労につながった」では男性（11.2%）の方が女性（7.3%）よりも3.9ポイント高くなっている。

性年代別でみると、『認知度』は女性60～64歳（93.6%）、男性60～64歳（90.0%）、女性前期高齢者（87.9%）、男性前期高齢者（85.2%）で全体の傾向より高くなっている。『利用状況』は男性60～64歳（33.3%）、女性60～64歳（29.5%）、男性前期高齢者（28.5%）の順に高くなっている。「利用して就労につながった」は男性60～64歳（17.0%）、男性前期高齢者（11.8%）の順に高くなっている。

前回調査と比較すると、『認知度』（前回69.3%・今回78.8%）が9.5ポイント、『利用状況』（前回16.9%・今回21.4%）が4.5ポイント上昇している。

図表3-2-21 ハローワークの認知度・利用状況：性年代別



⑤ 東京しごと財団

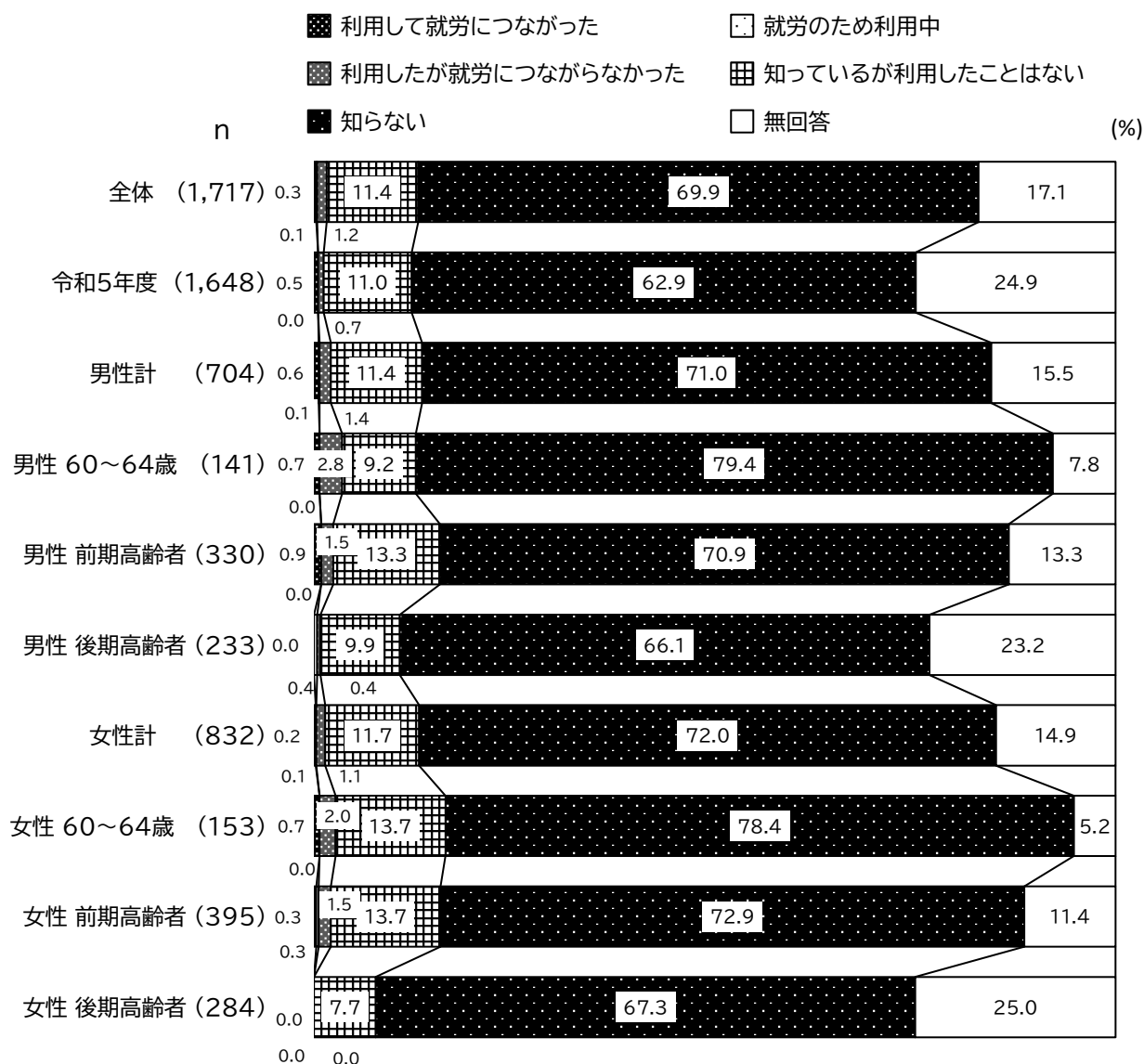
東京しごと財団については、『認知度』が13.0%、『利用状況』が1.6%、「利用して就労につながった」が0.3%となっている。

性別では、『認知度』『利用状況』『利用して就労につながった』のすべてにおいて大きな違いがみられない。

性年代別でみると、『認知度』は女性60～64歳（16.4%）、女性前期高齢者（15.8%）、男性前期高齢者（15.7%）の順に高くなっている。『利用状況』は男性60～64歳（3.5%）、女性60～64歳（2.7%）、男性前期高齢者（2.4%）の順に高くなっている。「利用して就労につながった」は男性前期高齢者（0.9%）、男性60～64歳（0.7%）、女性60～64歳（0.7%）の順に高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-2-22 東京しごと財団の認知度・利用状況：性年代別



⑥ インターネット(求人情報サイトなど)

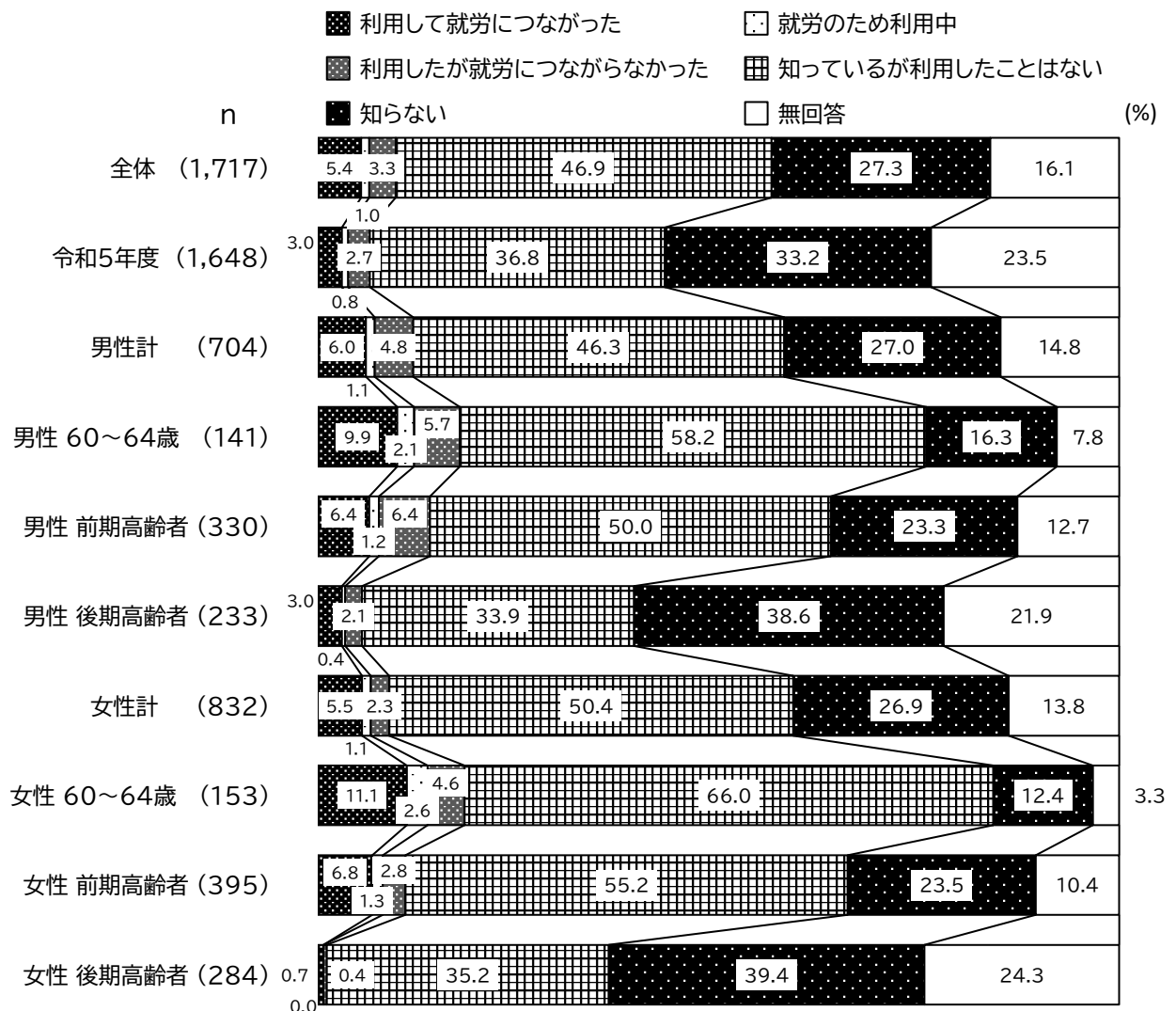
インターネット(求人情報サイトなど)については、『認知度』が56.6%、『利用状況』が9.7%、「利用して就労につながった」が5.4%となっている。

性別で見ると、『認知度』『利用状況』『利用して就労につながった』のすべてにおいて大きな違いがみられない。

性年代別で見ると、『認知度』は女性60～64歳(84.3%)、男性60～64歳(75.9%)、男性前期高齢者(64.0%)の順に高くなっている。『利用状況』は女性60～64歳(18.3%)、男性60～64歳(17.7%)、男性前期高齢者(14.0%)の順に高くなっている。「利用して就労につながった」は女性60～64歳(11.1%)、男性60～64歳(9.9%)、女性前期高齢者(6.8%)で全体の傾向よりも高くなっているのに対して、女性後期高齢者では0.7%となっている。

前回調査と比較すると、『認知度』(前回43.3%・今回56.6%)が13.3ポイント上昇している。

図表3-2-23 インターネット(求人情報サイトなど)の認知度・利用状況:性年代別



3. 健康について

(1)健康に対する自己認識

問19 あなたは、普段、ご自分で健康だと思いますか。(○は1つのみ)

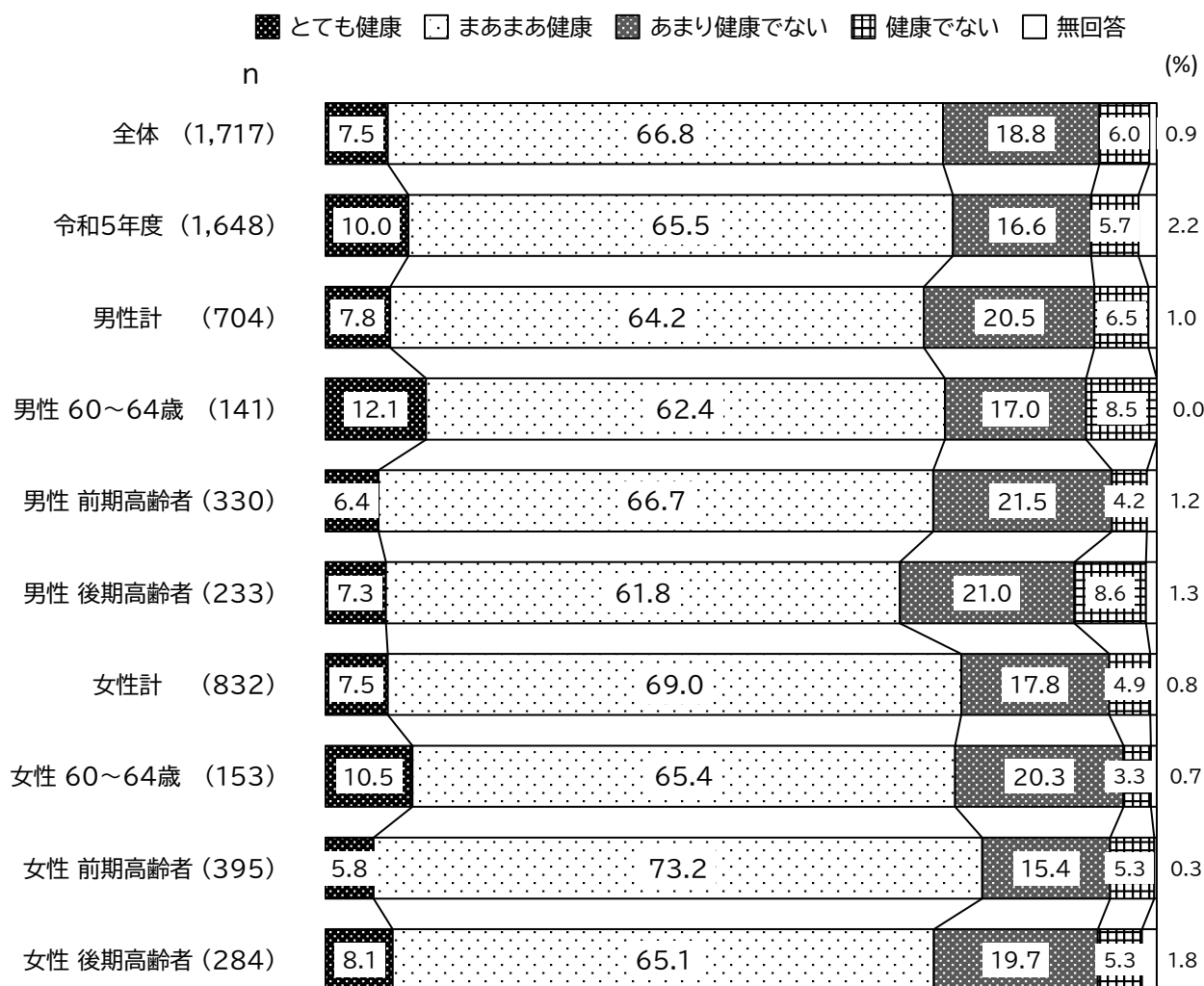
健康に対する自己認識については、「とても健康」の7.5%と「まあまあ健康」の66.8%を合わせた『健康』が74.3%、「あまり健康でない」の18.8%と「健康でない」の6.0%を合わせた『不健康』が24.8%となっている。

性別では、大きな違いはみられない。

性年代別で見ると、男性では年代が高くなるほど『健康』が低くなっている。女性は前期高齢者では『健康』(79.0%)が全体の傾向よりも高く、「とても健康」(5.8%)は全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表3-3-1 健康に対する自己認識:性年代別



(2)心配ごとや悩みごとの状況

①現在の心配ごとや悩みごと

問20 あなたには、現在次のような心配ごとや悩みがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

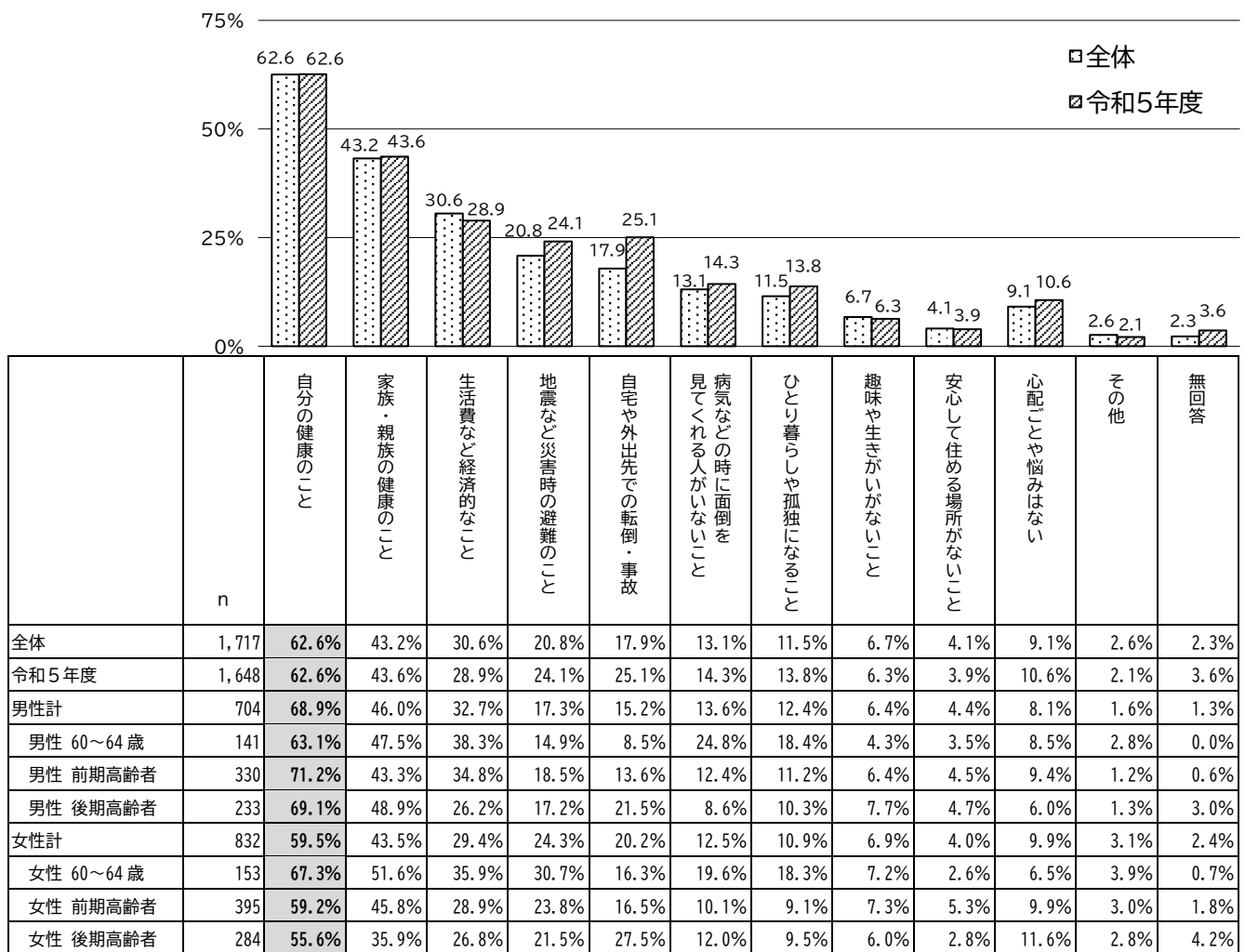
現在の心配ごとや悩みごとについては、「自分の健康のこと」が62.6%と最も高く、次いで「家族・親族の健康のこと」が43.2%、「生活費など経済的なこと」が30.6%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「自分の健康のこと」(68.9%)が高く、女性では男性よりも「地震など災害時の避難のこと」(24.3%)、「自宅や外出先での転倒・事故」(20.2%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳では「病気などの時に面倒を見てくれる人がいないこと」(24.8%)が、女性60～64歳では「地震など災害時の避難のこと」(30.7%)が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、「自宅や外出先での転倒・事故」が7.2ポイント減少している。

図表3-3-2 現在の心配ごとや悩みごと(複数回答):性年代別



※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

②心配ごとや悩みごとの相談先

【問20で「1. 自分の健康のこと」～「10. その他」とお答えの方におうかがいします。】
 問21 心配ごとや悩みごとができた場合、誰に話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに○)

心配ごとや悩みごとの相談先については、「配偶者」が48.0%と最も高く、次いで「子ども」が39.7%、「友人・知人」が35.7%、「その他の家族・親族」が28.8%、「かかりつけ医（医師・歯科医師・看護師など）」が21.4%の順となっている。

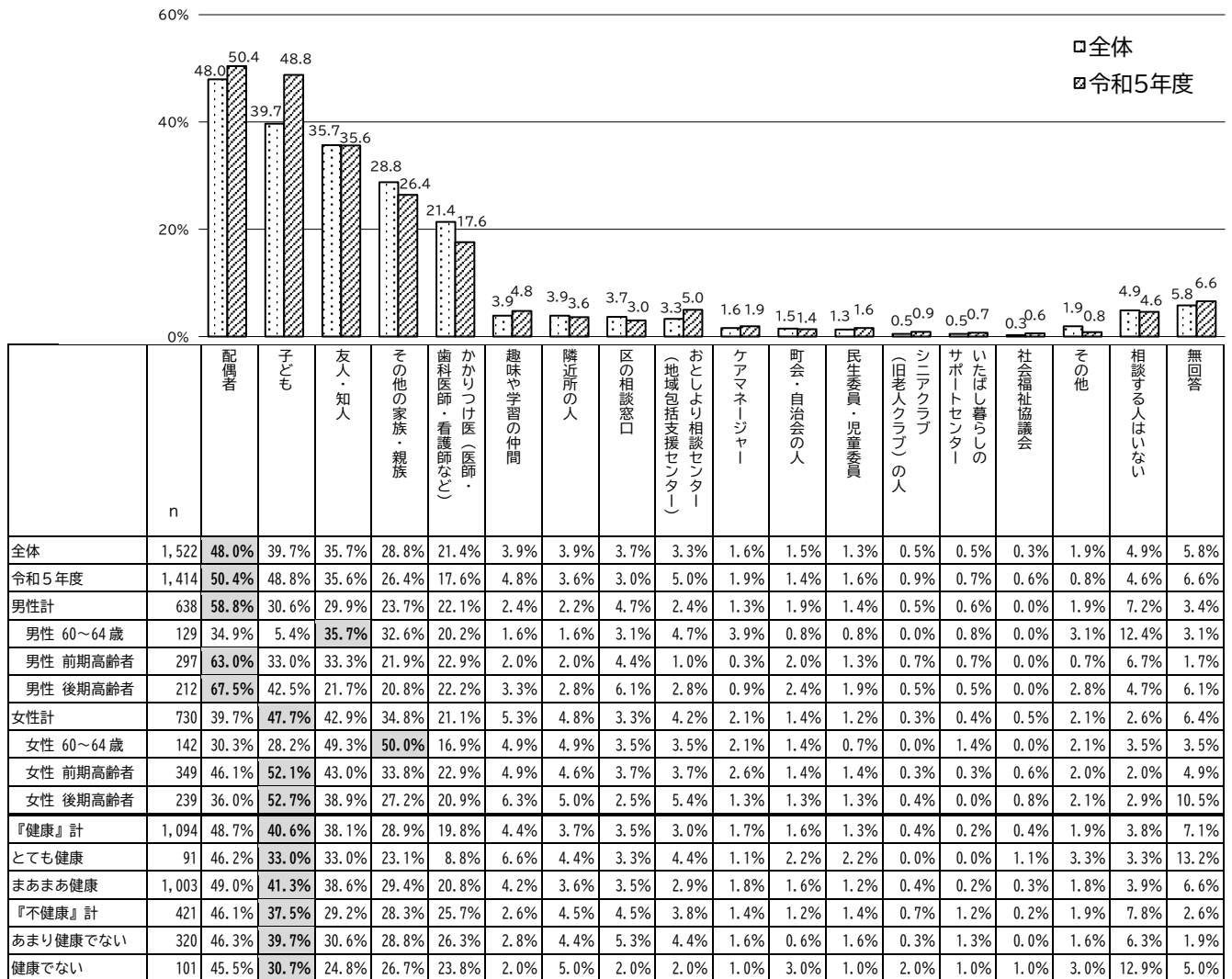
性別でみると、男性では女性よりも「配偶者」（58.8%）が高く、女性では男性よりも「子ども」（47.7%）、「友人・知人」（42.9%）、「その他の家族・親族」（34.8%）が高くなっている。

性年代別でみると、男性前期高齢者・男性後期高齢者では「配偶者」（男性前期63.0%・男性後期67.5%）が、女性60～64歳では「その他の家族・親族」（50.0%）が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「子ども」（女性前期52.1%・女性後期52.7%）が全体の傾向よりも高くなっている。

健康に対する自己認識別でみると、『不健康』（29.2%）では『健康』（38.1%）よりも「友人・知人」が8.9ポイント低くなっている。また「健康でない」では「相談する人はいない」（12.9%）が全体傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、「子ども」が9.1ポイント減少している。

図表3-3-3 心配ごとや悩みごとの相談先:性年代別・健康に対する自己認識別



※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(3)フレイルについて

①フレイルの認知度

問22 あなたは、「フレイル」という言葉を知っていますか。(〇は1つのみ)

※フレイル:年を取り、心身の活力が低下し、要介護状態に至る前段階の状態のこと。

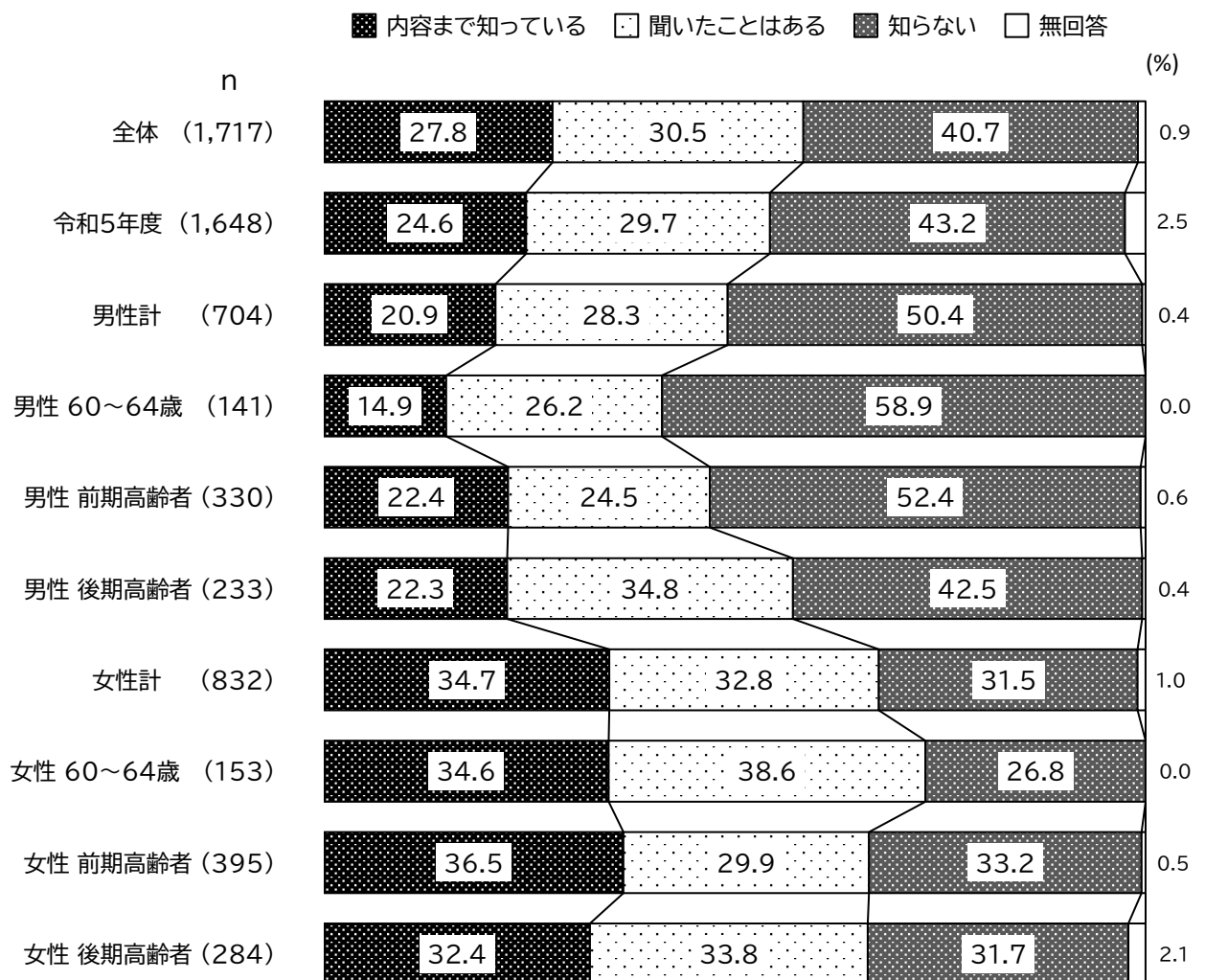
フレイルの認知度については、「内容まで知っている」の27.8%と「聞いたことはある」の30.5%を合わせた『知っている』が58.3%、「知らない」が40.7%となっている。

性別でみると『知っている』は女性（67.5%）の方が男性（49.2%）よりも18.3ポイント高くなっている。

性年代別でみると、『知っている』は男性では年代が上がるほど高くなる傾向にあり、女性では年代が上がるほど低くなる傾向にある。また、女性60～64歳では『知っている』（73.2%）が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、『知っている』が54.3%から58.3%と4ポイント高くなっている。

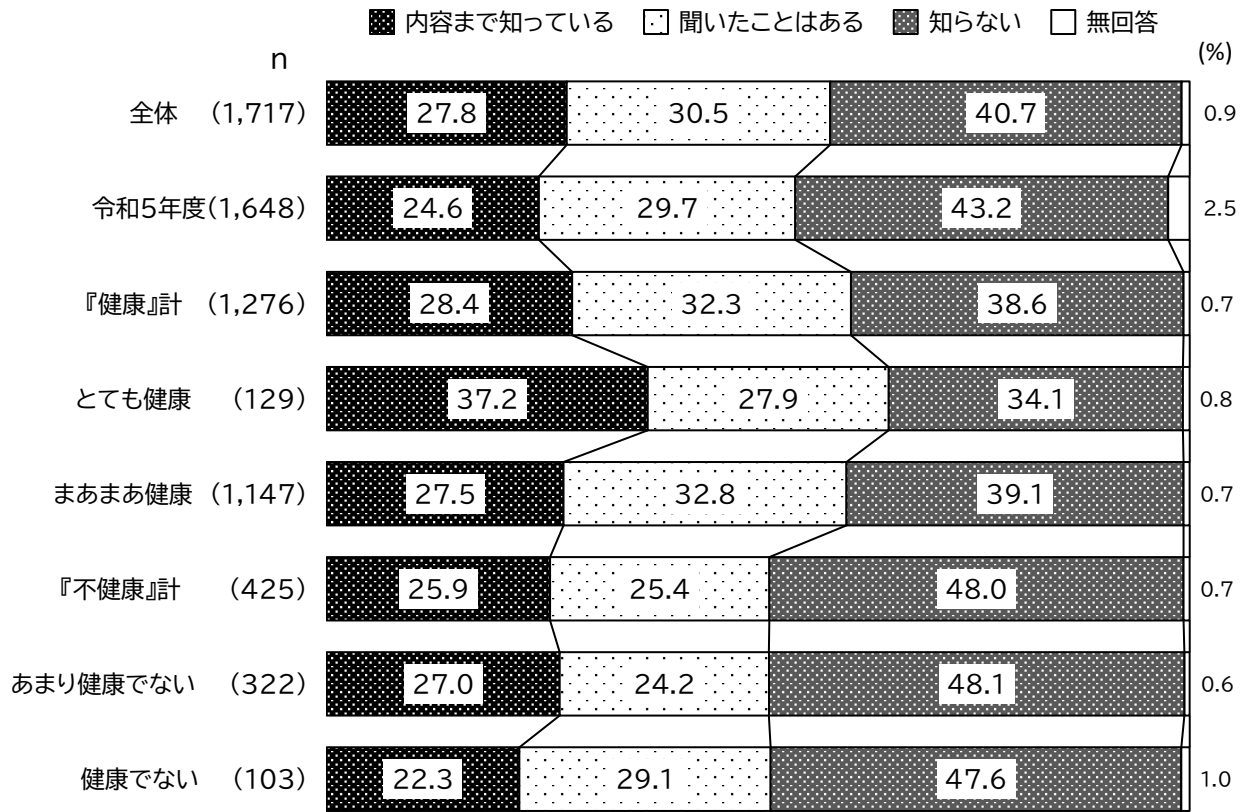
図表3-3-4 フレイルの認知度:性年代別



第3章 調査結果の詳細

健康に対する自己認識別でみると、『知っている』は『健康』(60.7%)の方が『不健康』(51.3%)よりも9.4ポイント高くなっている。また「とても健康」で『知っている』(65.1%)が最も高くなっている。

図表3-3-5 フレイルの認知度:健康に対する自己認識別



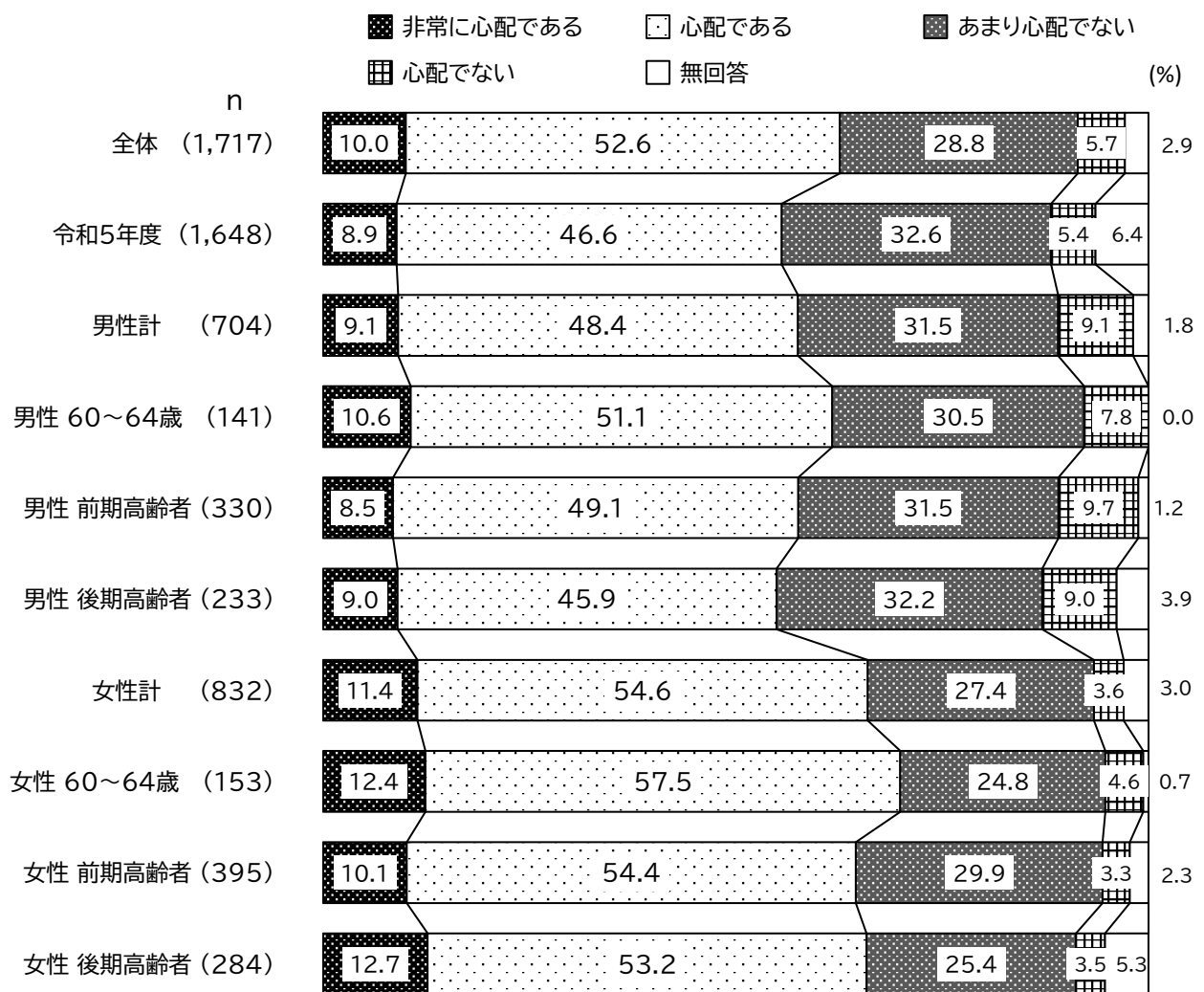
②フレイルになる心配

問23 あなたは、ご自身がフレイルになることについてどのくらい心配ですか。(○は1つのみ)

フレイルになる心配については、「非常に心配である」の10.0%と「心配である」の52.6%を合わせた『心配である』が62.6%、「あまり心配でない」の28.8%と「心配でない」の5.7%を合わせた『心配でない』が34.5%となっている。

性別でみると『心配である』は女性（66.0%）で男性（57.5%）よりも8.5ポイント高くなっている。また、性年代別でみると、女性60～64歳では『心配である』（69.9%）が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では『心配である』（54.9%）が全体の傾向よりも低くなっている。

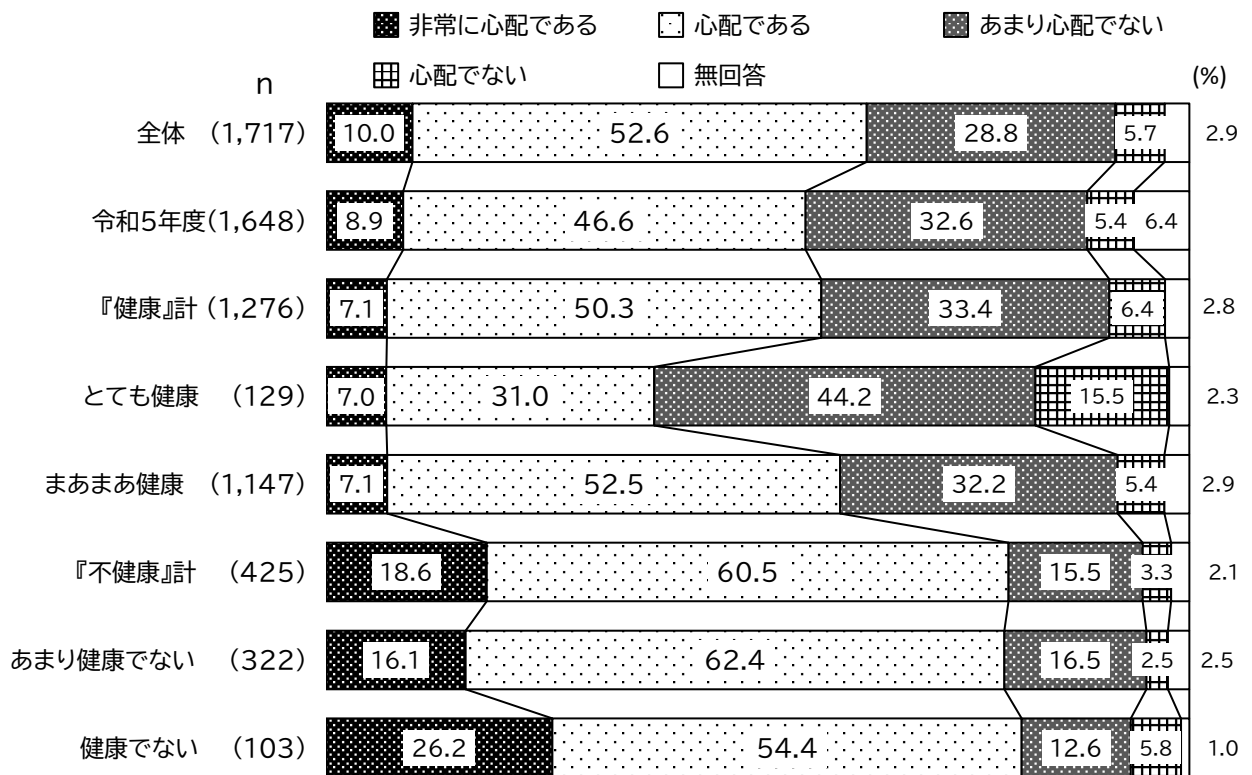
図表3-3-6 フレイルになる心配:性年代別



第3章 調査結果の詳細

健康に対する自己認識別でみると、『心配である』は『不健康』(79.1%)の方が『健康』(57.4%)よりも21.7ポイント高くなっている。

図表3-3-7 フレイルになる心配:健康に対する自己認識別



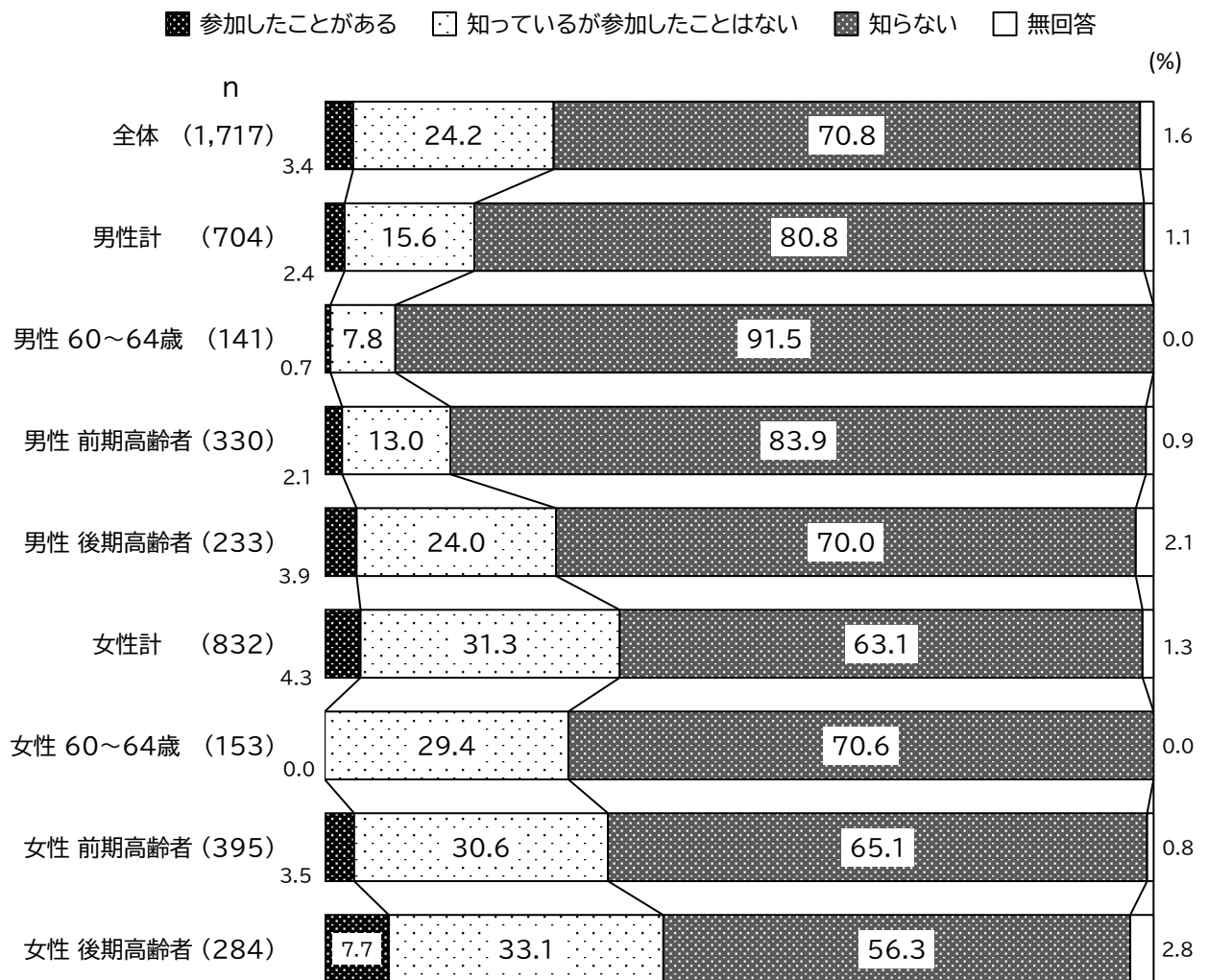
③フレイル予防の取組み

問24 あなたは、フレイルチェック測定会など、区が行っているフレイル予防の取組みを知っていますか。(〇は1つのみ)

フレイル予防の取組みについては、「参加したことがある」の3.4%と「知っているが参加したことはない」の24.2%を合わせた『知っている』が27.6%、「知らない」が70.8%となっている。

性別でみると『知っている』は女性（35.6%）が男性（18.0%）よりも17.6ポイント高くなっている。また、性年代別でみると、女性後期高齢者で『知っている』（40.8%）が全体の傾向よりも高くなっている。

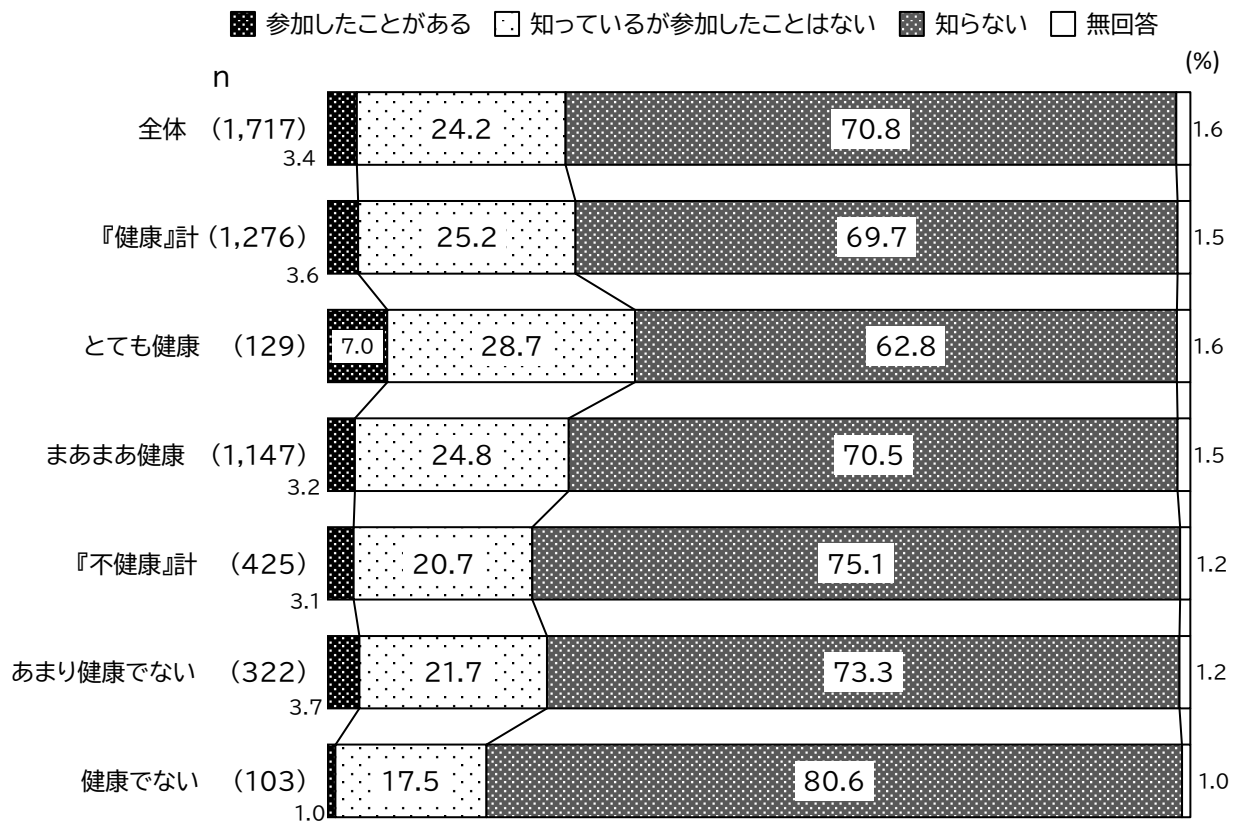
図表3-3-8 フレイル予防の取組み：性年代別



第3章 調査結果の詳細

健康に対する自己認識別でみると、『知っている』は『健康』(28.8%)の方が『不健康』(23.8%)よりも5.0ポイント高くなっている。

図表3-3-9 フレイル予防の取組み:健康に対する自己認識別



④認知症に対するイメージ

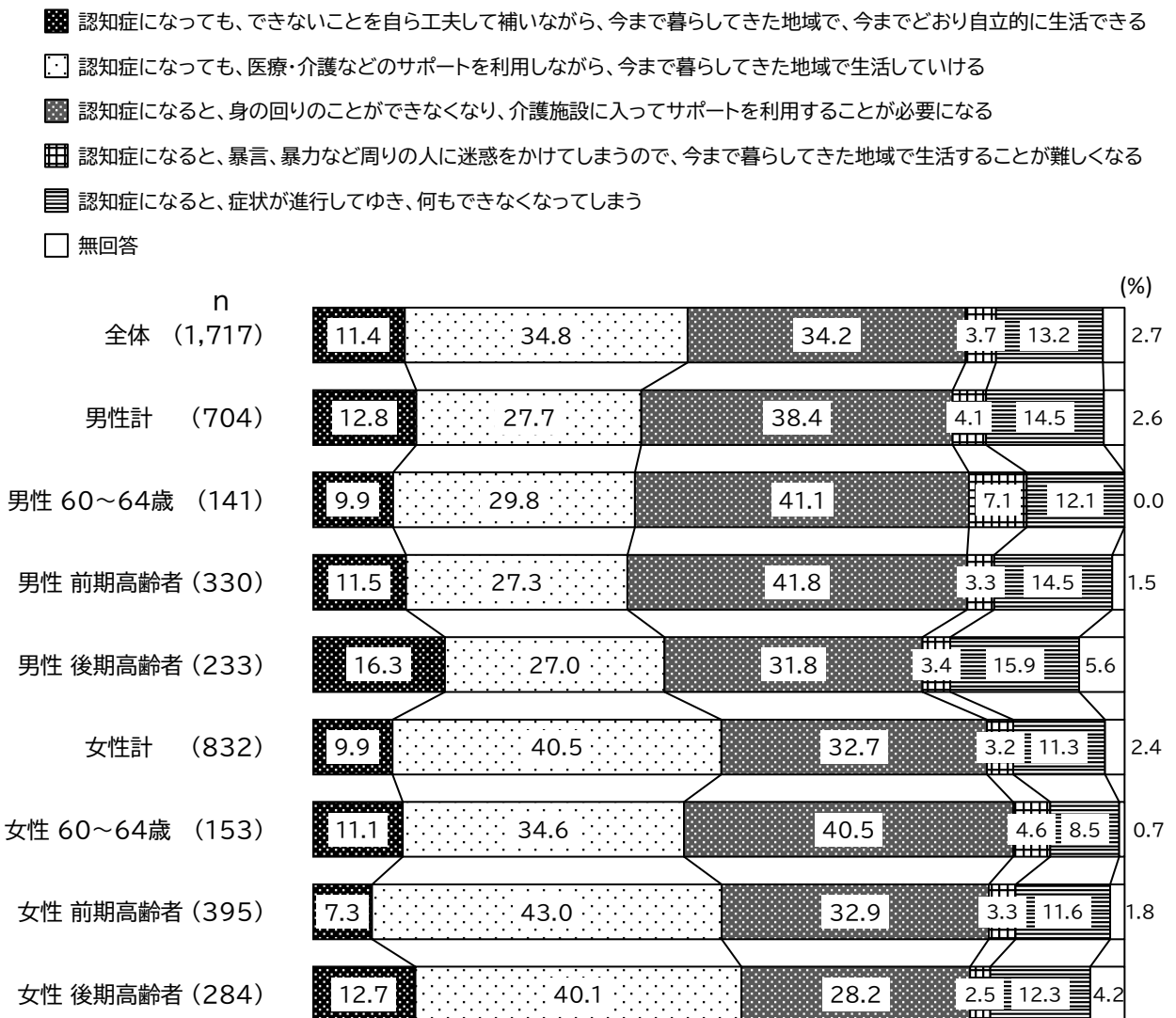
問25 あなたは、認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。(○は1つのみ)

認知症に対するイメージについては、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が34.8%で最も高く、次いで「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が34.2%となっている。

性別で見ると、男性では「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」(38.4%)が女性より高く、女性では「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」(40.5%)が男性より高くなっている。

性年代別で見ると、男性前期高齢者で「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」(41.8%)が、女性前期高齢者で「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」(43.0%)が全体の傾向よりも高くなっている。

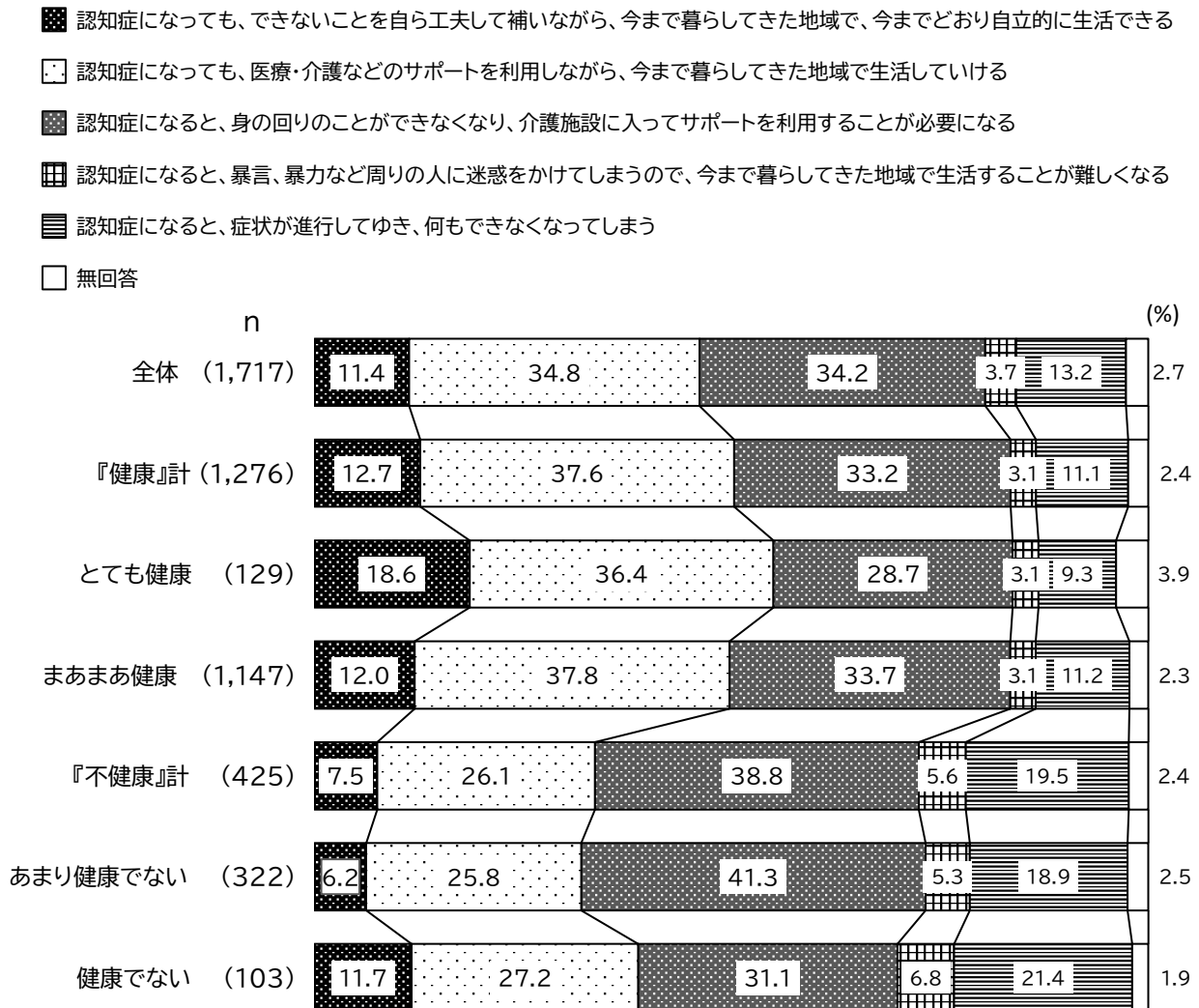
図表3-3-10 認知症に対するイメージ:性年代別



第3章 調査結果の詳細

健康に対する自己認識別でみると、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる」は「とても健康」(18.6%)で最も高く、「あまり健康でない」(6.2%)にかけて低くなっているが、「健康でない」(11.7%)で高くなっている。一方で、「健康でない」では「認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」(21.4%)が全体の傾向よりも高い。

図表3-3-11 認知症に対するイメージ:健康に対する自己認識別



4. 外出・人とのつきあいについて

(1) 外出頻度・外出の主な目的

問26 あなたが、普段、仕事・買い物・散歩・通院などで外出する頻度はどれくらいですか。また、外出の主な目的は何ですか。【外出する頻度】(○は1つのみ)【(外出する頻度が)1~4の場合、外出の主な目的】(あてはまるものすべてに○)

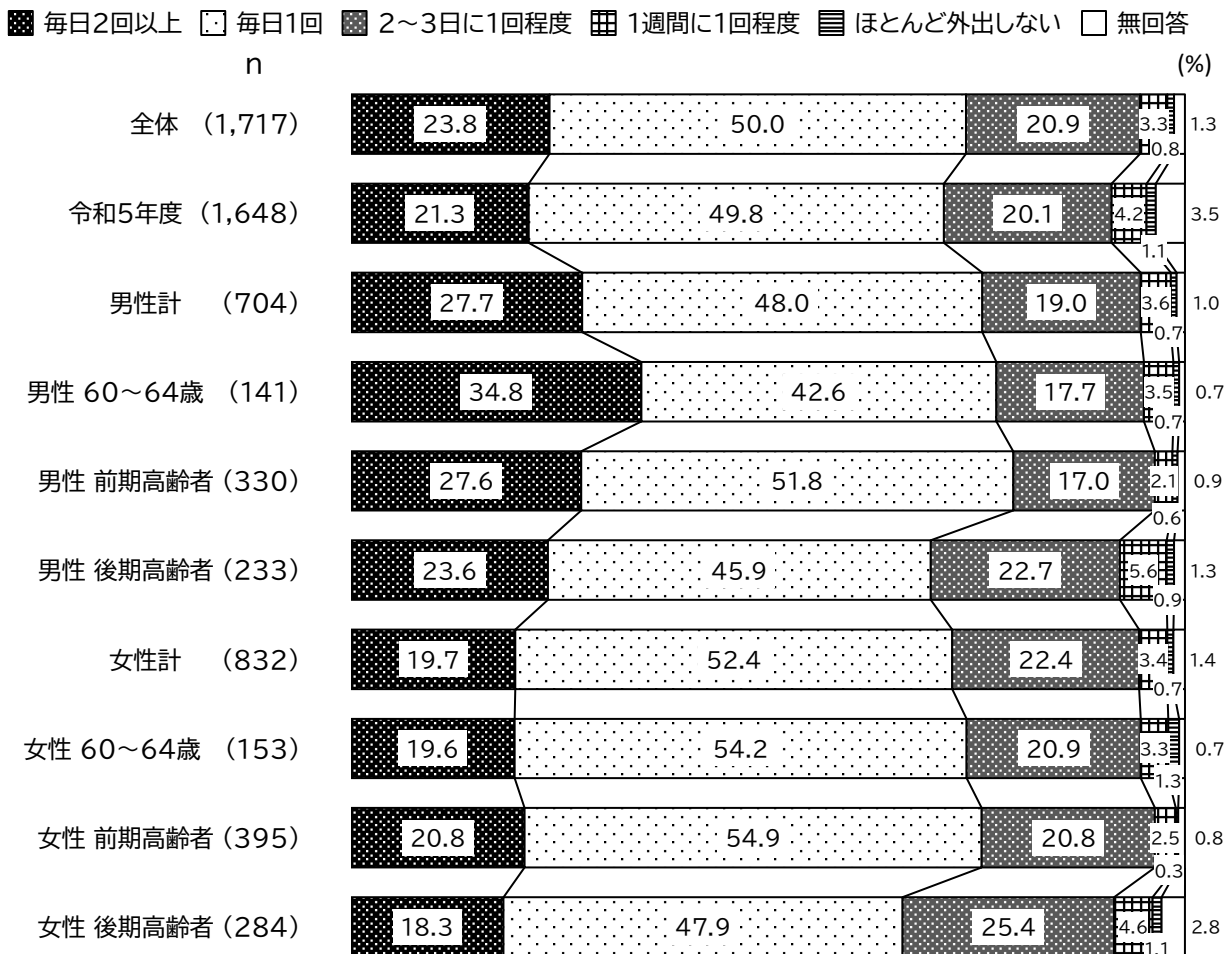
① 外出頻度

外出頻度については「毎日1回」が50.0%で最も高く、次いで「毎日2回以上」が23.8%、「2～3日に1回程度」が20.9%の順となっている。これに対して「ほとんど外出しない」は0.8%にとどまっている。

性別でみると、男性は「毎日2回以上」(27.7%)が女性より高く、女性は「毎日1回」(52.4%)が男性より高くなっている。

性年代別でみると男性60～64歳で「毎日2回以上」(34.8%)が、女性60～64歳・女性前期高齢者で「毎日1回」(女性60～64歳54.2%・女性前期54.9%)が、女性後期高齢者で「2～3日に1回程度」(25.4%)が全体の傾向よりも高く、男性前期高齢者で「2～3日に1回程度」(17.0%)、男性後期高齢者で「毎日1回」(45.9%)が全体の傾向よりも低い。男女ともに後期高齢者では外出頻度が低くなる傾向がみられる。

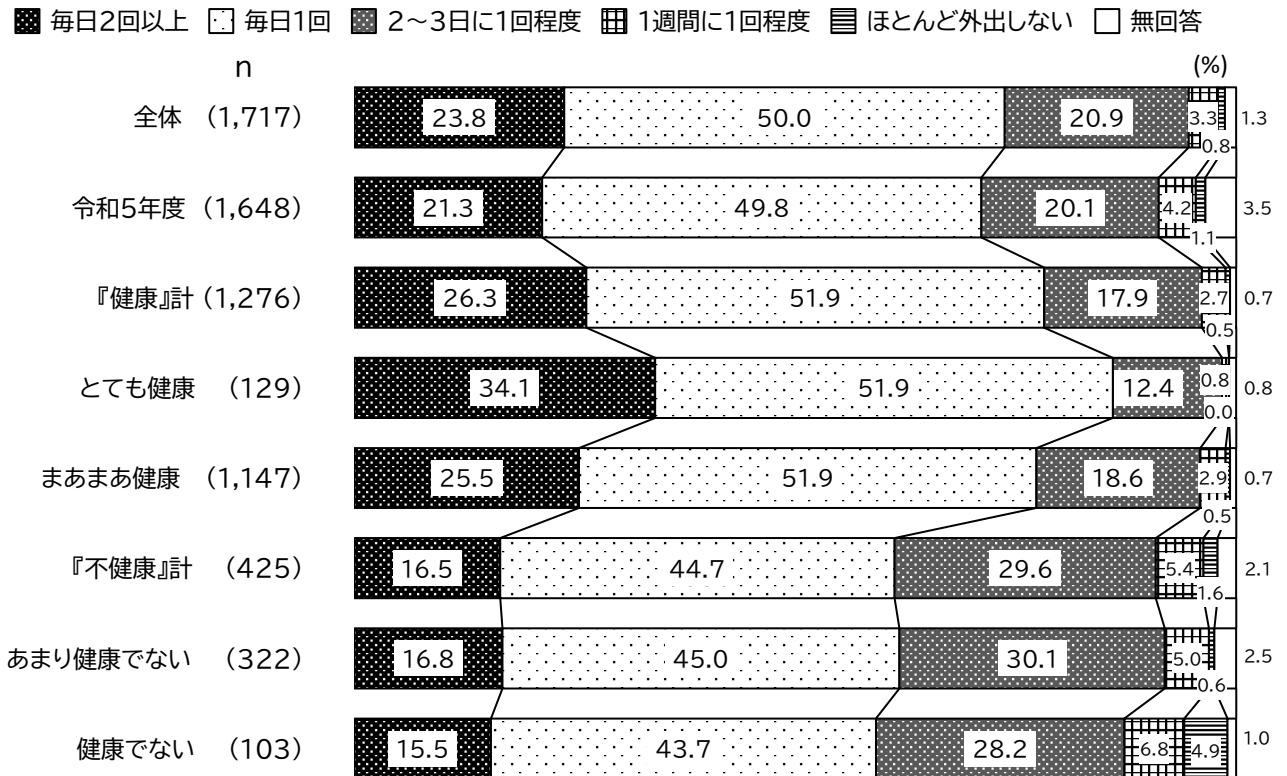
図表3-4-1 外出頻度：性年代別



第3章 調査結果の詳細

健康に対する自己認識別でみると、健康だと認識しているほど「毎日2回以上」が高くなっている。一方、「健康でない」と認識している人は、「ほとんど外出しない」(4.9%)が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-4-2 外出頻度:健康に対する自己認識別



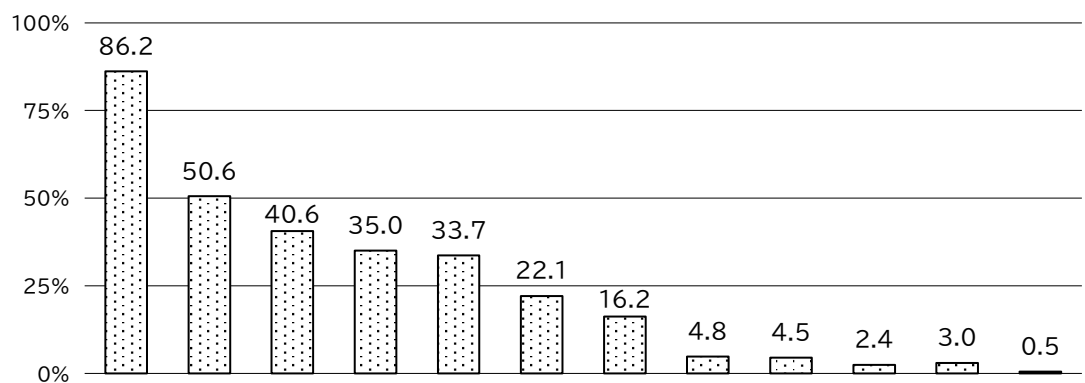
② 外出の主な目的

外出の主な目的については、「買い物」が86.2%と最も高く、次いで「運動、散歩」が50.6%、「仕事」が40.6%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「仕事」(49.4%)が高く、女性では男性よりも「友人・知人と会う」(41.6%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「仕事」(男性60～64歳66.2%・男性前期54.5%・女性60～64歳58.7%)が、女性前期高齢者では「家族・親族と会う」(24.6%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「買い物」(74.1%)が、女性後期高齢者では「仕事」(19.0%)が全体の傾向よりも低くなっている。

図表3-4-3 外出の主な目的:性年代別



	n	買い物	運動、散歩	仕事	通院やリハビリ	友人・知人と会う	趣味や学習の活動	家族・親族と会う	町会・自治会	ボランティア活動	シニアクラブ (旧老人クラブ)	その他	無回答
全体	1,681	1,449 86.2%	850 50.6%	683 40.6%	588 35.0%	566 33.7%	372 22.1%	272 16.2%	81 4.8%	75 4.5%	40 2.4%	51 3.0%	8 0.5%
令和5年度	1,573	86.8%	53.1%	31.1%	34.9%	30.5%	26.2%	17.3%	4.6%	5.0%	3.6%	2.9%	0.6%
男性計	692	80.5%	53.5%	49.4%	32.8%	25.3%	21.1%	10.3%	5.1%	4.5%	1.6%	2.3%	0.1%
男性 60～64歳	139	85.6%	41.0%	66.2%	24.5%	23.7%	19.4%	7.9%	5.8%	2.9%	0.0%	4.3%	0.0%
男性 前期高齢者	325	82.8%	54.8%	54.5%	33.2%	25.2%	20.6%	9.5%	4.0%	5.5%	2.2%	1.8%	0.3%
男性 後期高齢者	228	74.1%	59.2%	32.0%	37.3%	26.3%	22.8%	12.7%	6.1%	3.9%	1.8%	1.8%	0.0%
女性計	814	92.1%	48.2%	35.9%	35.7%	41.6%	23.0%	22.5%	4.8%	4.5%	2.7%	3.8%	0.4%
女性 60～64歳	150	92.0%	36.0%	58.7%	33.3%	45.3%	20.7%	23.3%	5.3%	2.0%	0.0%	5.3%	0.0%
女性 前期高齢者	391	92.1%	49.4%	38.9%	35.5%	38.9%	23.8%	24.6%	5.1%	4.6%	3.3%	3.8%	0.5%
女性 後期高齢者	273	92.3%	53.1%	19.0%	37.4%	43.6%	23.1%	19.0%	4.0%	5.9%	3.3%	2.9%	0.4%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

※前回調査では「シニア(老人)クラブ」としていた選択肢を、今回調査では「シニアクラブ(旧老人クラブ)」に変更している。

(2)現在やっていること・今後やりたいこと

問27 あなたのやっていることと、今後やりたいことについてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

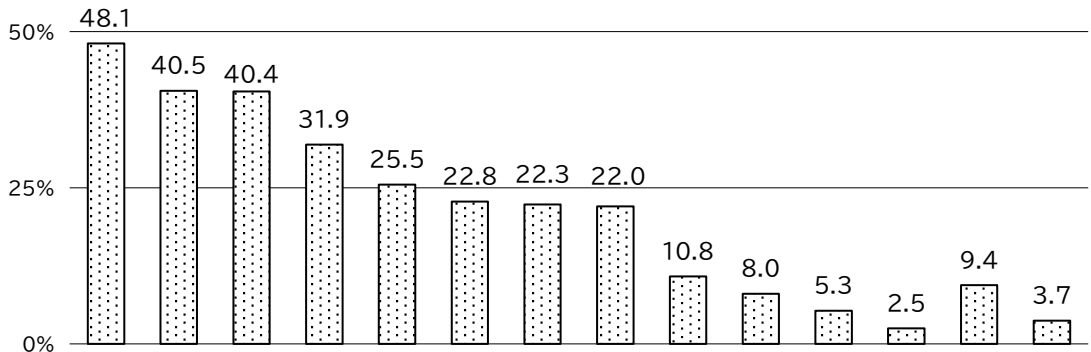
① 現在やっていること

現在やっていることについては、「散歩」が48.1%と最も高く、次いで「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞」が40.5%、「旅行・ドライブ」が40.4%の順となっている。

性別でみると男性では女性よりも「パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用）」（26.0%）が高く、女性では男性よりも「手芸・茶道・華道・踊り」（19.0%）が高くなっている。

性年代別でみると、男性60～64歳・女性60～64歳では「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞」（男性60～64歳55.3%・女性60～64歳54.2%）が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「手芸・茶道・華道・踊り」（女性前期19.2%・女性後期21.5%）が全体の傾向よりも高く、男性前期高齢者では「手芸・茶道・華道・踊り」（0.9%）が、男性後期高齢者では「映画鑑賞」（14.2%）が、女性後期高齢者では「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞」（28.5%）が全体の傾向よりも低くなっている。また、男女ともに年代が高くなるほど「散歩」、「手芸・茶道・華道・踊り」は上昇、「映画鑑賞」、「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞」は低下している。一方、「園芸・庭いじり」、「手芸・茶道・華道・踊り」はすべての年代において男性よりも女性の方が高く、「スポーツ」、「旅行・ドライブ」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-4-4 現在やっていること：性年代別



	n	散歩	テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞	旅行・ドライブ	読書	映画鑑賞	スポーツ	園芸・庭いじり	パソコン(ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用)	手芸・茶道・華道・踊り	カラオケ	犬などと散歩	登山	その他	無回答
全体	1,717	826 48.1	696 40.5	694 40.4	547 31.9	437 25.5	391 22.8	383 22.3	378 22.0	186 10.8	138 8.0	91 5.3	43 2.5	162 9.4	63 3.7
令和5年度	1,648	51.0	36.7	36.5	36.7	19.6	22.6	26.2	21.5	13.1	7.6	3.5	3.3	8.9	6.5
男性計	704	49.0	42.9	43.5	30.4	22.2	24.9	16.5	26.0	1.0	8.4	5.1	3.4	10.7	2.8
男性 60～64歳	141	35.5	55.3	48.2	24.1	27.7	22.7	14.9	22.0	0.0	5.0	6.4	4.3	14.9	0.7
男性 前期高齢者	330	49.4	46.1	49.1	32.7	25.5	27.9	14.5	27.6	0.9	7.9	6.4	5.2	9.4	2.7
男性 後期高齢者	233	56.7	30.9	32.6	30.9	14.2	21.9	20.2	26.2	1.7	11.2	2.6	0.4	9.9	4.3
女性計	832	47.6	41.0	39.5	34.5	29.6	21.0	26.7	19.6	19.0	7.5	5.4	1.9	8.5	3.7
女性 60～64歳	153	36.6	54.2	46.4	34.6	34.6	18.3	25.5	29.4	13.7	9.2	7.8	3.9	12.4	2.0
女性 前期高齢者	395	46.8	44.8	43.0	34.7	31.9	24.3	22.3	17.5	19.2	5.6	6.8	2.0	7.6	3.3
女性 後期高齢者	284	54.6	28.5	31.0	34.2	23.6	18.0	33.5	17.3	21.5	9.2	2.1	0.7	7.7	5.3

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

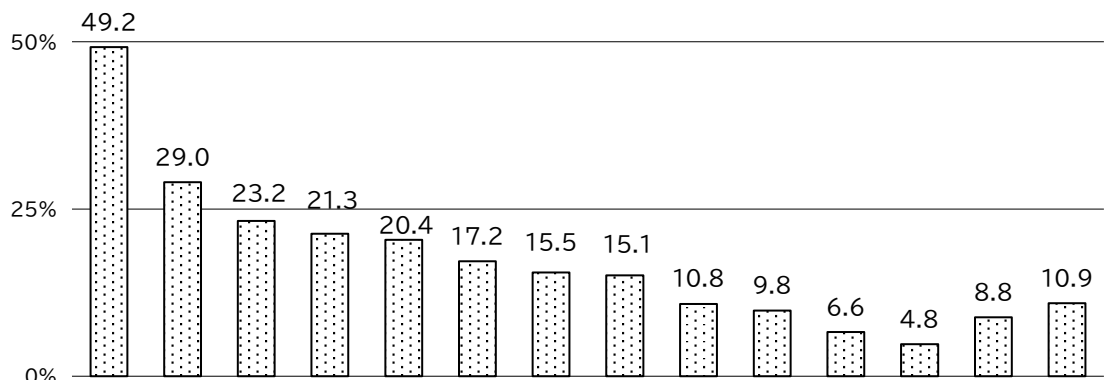
②今後やりたいこと

今後やりたいことは、「旅行・ドライブ」が49.2%と最も高く、次いで「散歩」が29.0%、「映画鑑賞」が23.2%の順となっている。

性別で見ると、男女とも「旅行・ドライブ」が最も高く、性別の差は少なくなっている。男性では女性よりも「スポーツ」(24.4%)が高く、女性では男性よりも「手芸・茶道・華道・踊り」(17.4%)が高い。

性年代別でも、いずれの性年代でも「旅行・ドライブ」が最も高い。男性前期高齢者では「スポーツ」(27.9%)が、男性後期高齢者では「散歩」(37.8%)が、女性60～64歳・女性前期高齢者では「手芸・茶道・華道・踊り」(女性60～64歳20.3%・女性前期17.0%)が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳では「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞」(23.4%)が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「旅行・ドライブ」(36.3%)が全体の傾向よりも低い。「手芸・茶道・華道・踊り」、「映画鑑賞」はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。

図表3-4-5 今後やりたいこと：性年代別



	n	旅行・ドライブ	散歩	映画鑑賞	スポーツ	読書	テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞	パソコン(ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用)	園芸・庭いじり	カラオケ	手芸・茶道・華道・踊り	登山	犬などと散歩	その他	無回答
全体	1,717	49.2	29.0	23.2	21.3	20.4	17.2	15.5	15.1	10.8	9.8	6.6	4.8	8.8	10.9
令和5年度	1,648	50.4	36.0	22.8	20.8	24.0	19.8	17.1	20.3	11.3	10.9	6.9	4.3	6.4	14.0
男性計	704	51.7	29.7	19.3	24.4	21.3	19.5	16.6	13.1	9.7	1.6	8.9	6.7	8.7	9.7
男性 60～64歳	141	53.2	20.6	17.0	23.4	21.3	23.4	13.5	12.8	5.7	2.1	11.3	7.8	13.5	5.0
男性 前期高齢者	330	58.8	27.9	23.3	27.9	23.6	20.3	18.5	11.5	9.1	1.2	10.9	7.9	7.3	9.1
男性 後期高齢者	233	40.8	37.8	15.0	20.2	18.0	15.9	15.9	15.5	12.9	1.7	4.7	4.3	7.7	13.3
女性計	832	49.8	29.2	28.2	19.5	21.4	16.3	14.9	17.7	11.5	17.4	5.4	3.0	8.8	10.6
女性 60～64歳	153	60.1	29.4	28.1	24.2	29.4	26.1	17.6	17.6	16.3	20.3	6.5	4.6	15.0	4.6
女性 前期高齢者	395	55.4	27.6	29.4	24.1	19.2	18.5	15.7	16.7	9.9	17.0	6.8	3.8	7.3	7.3
女性 後期高齢者	284	36.3	31.3	26.8	10.6	20.1	8.1	12.3	19.0	11.3	16.5	2.8	1.1	7.4	18.3

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(3) 孤独を感じる事

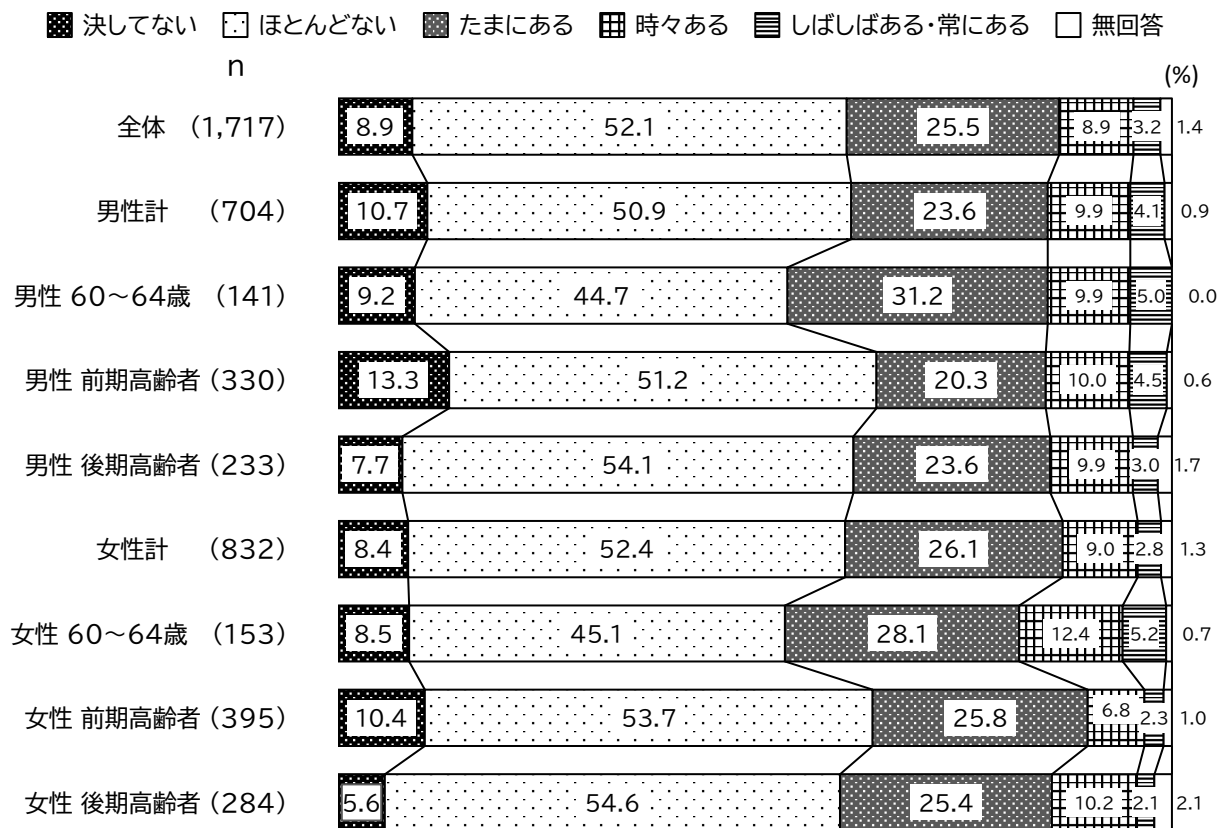
問28 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(〇は1つのみ)

孤独と感じる事については、「決してない」が8.9%、「ほとんどない」が52.1%で、これらを合わせた『孤独を感じない』が61.0%、「たまにある」の25.5%、「時々ある」の8.9%、「しばしばある・常にある」の3.2%を合計した『孤独を感じる事がある』が37.6%となっている。

性別でみると、『孤独を感じない』は男性(61.6%)、女性(60.8%)で大きな差はみられない。

性年代別でみると、『孤独を感じない』は男性60~64歳(53.9%)、女性60~64歳(53.6%)で全体の傾向より低く、男性前期高齢者・女性前期高齢者(男性前期64.5%・女性前期64.1%)で全体の傾向よりも高くなっている。男性後期高齢者、女性後期高齢者では、あまり違いは見られない。

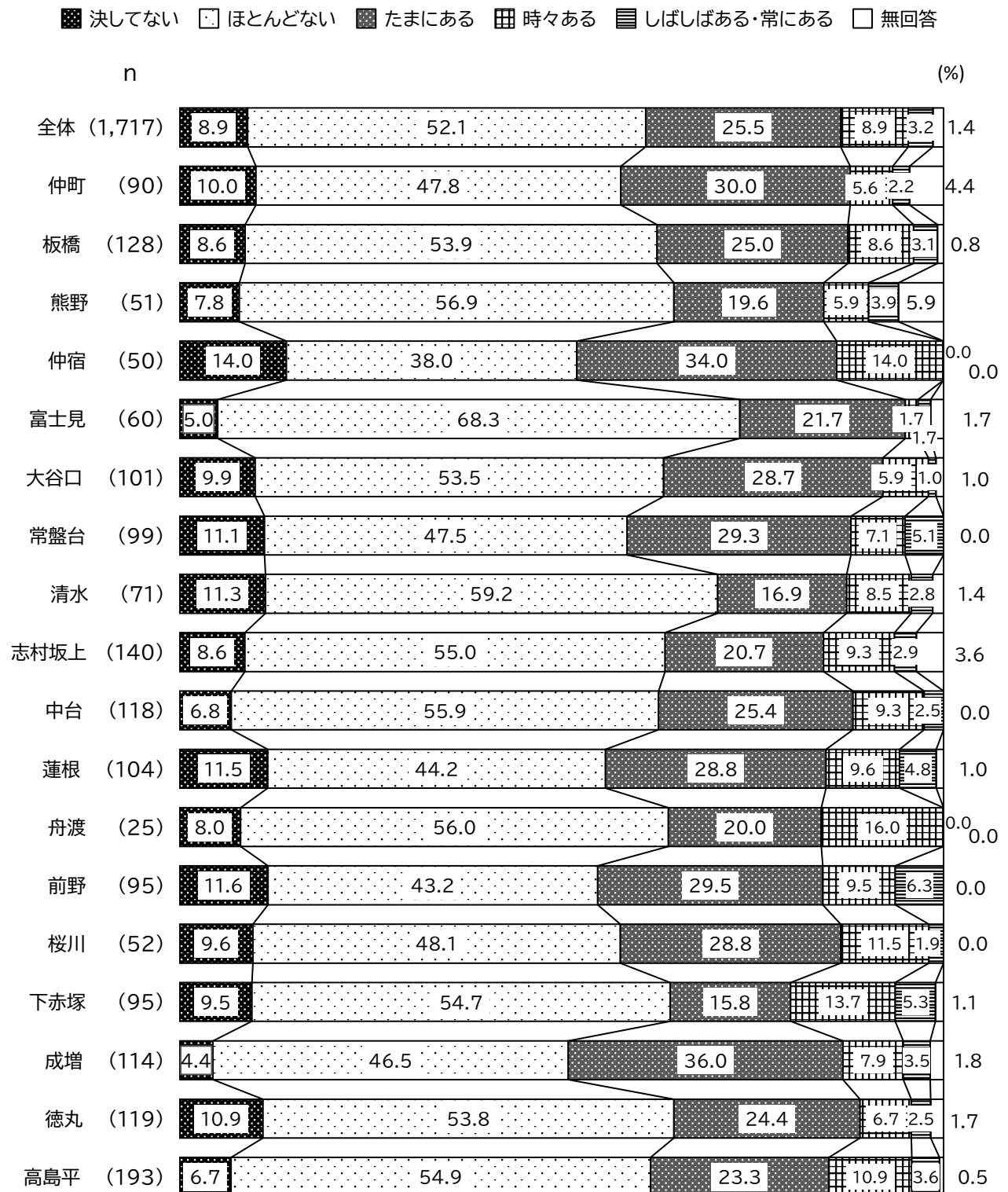
図表3-4-6 孤独を感じる事:性年代別



地区別でみると、『孤独を感じない』は富士見（73.3%）が全体の傾向よりも高く、成増（50.9%）が全体の傾向よりも低い。『孤独を感じる』は仲宿（48.0%）が全体の傾向よりも高く、富士見（25.1%）が全体の傾向よりも低い。

仲宿は『孤独を感じる』（48.0%）が最も高く、『孤独を感じない』（52.0%）が成増に次いで低いが、「決してない」（14.0%）は全地区の中で最も高くなっている。

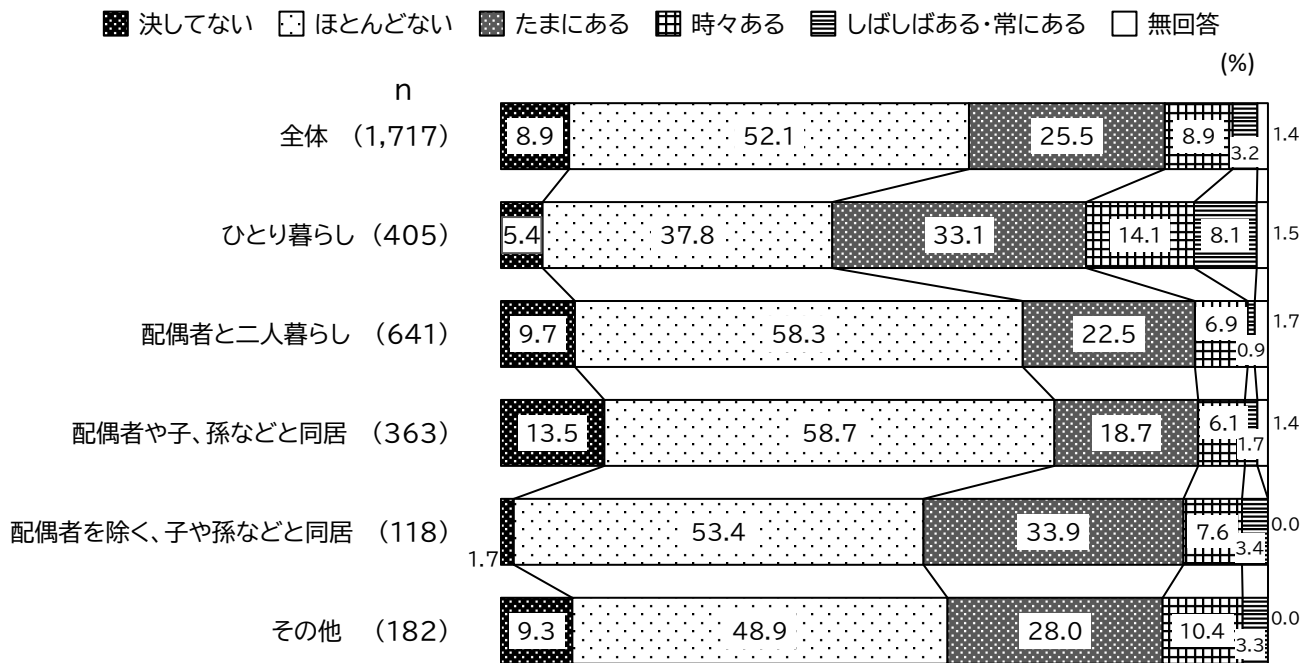
図表3-4-7 孤独を感じること:地区別



第3章 調査結果の詳細

世帯構成別でみると、『孤独を感じない』は「配偶者や子、孫など同居」(72.2%)が全体の傾向よりも高く、「ひとり暮らし」(43.2%)が全体の傾向よりも低い。『孤独を感じる』は「ひとり暮らし」(55.3%)が最も高く、次いで「配偶者を除く、子や孫など同居」(44.9%)が高くなっている。

図表3-4-8 孤独を感じること:世帯構成別



(4)近所づきあいの程度

①近所づきあいの程度

問29 あなたは、近所の人とどの程度おつきあいをされていますか。(○は1つのみ)

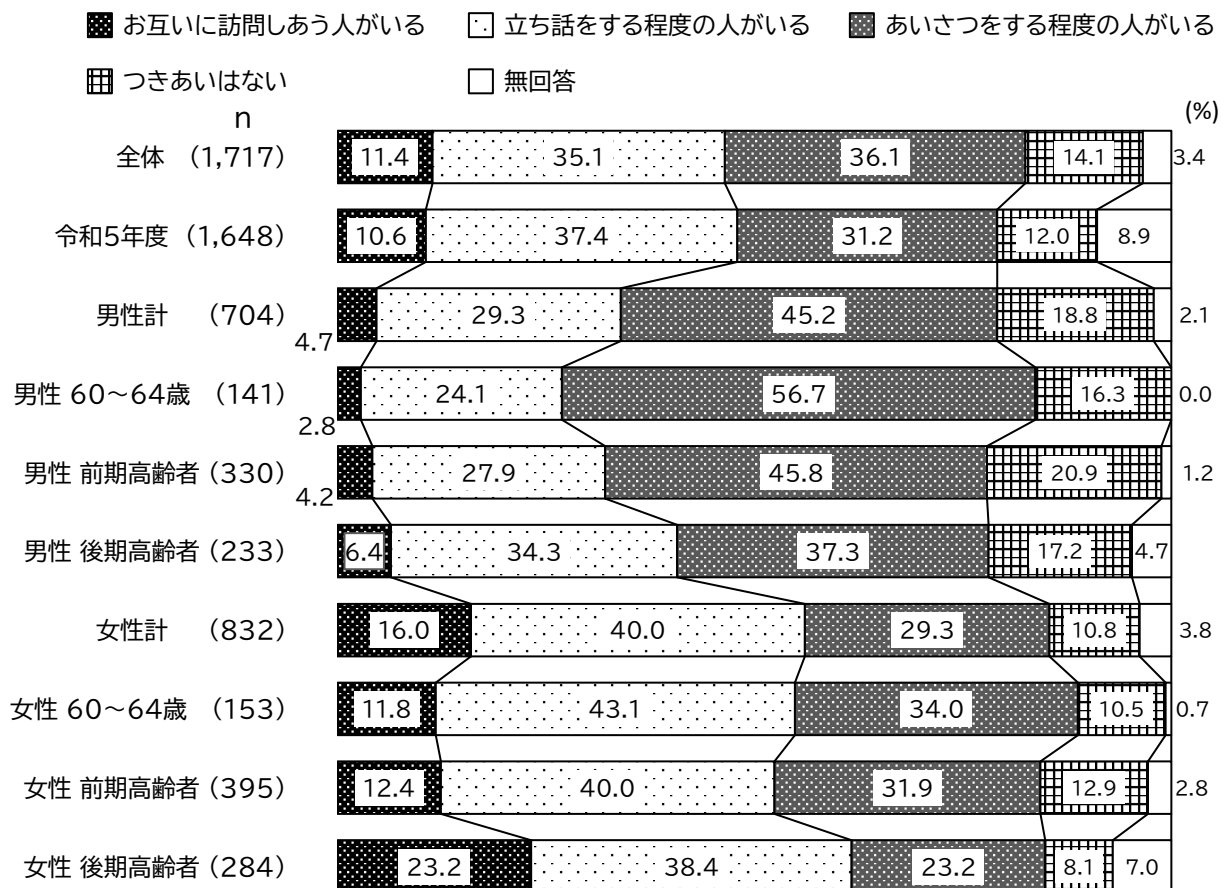
近所づきあいの程度について、つきあいがあると回答している人の中では、「あいさつをする程度の人がいる」が36.1%で最も高く、次いで「立ち話をする程度の人がいる」が35.1%、「お互いに訪問しあう人がある」が11.4%の順となっている。一方、「つきあいはない」は14.1%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「あいさつをする程度の人がいる」(45.2%)が高く、女性では男性よりも「お互いに訪問しあう人がある」(16.0%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「あいさつをする程度の人がいる」(男性60～64歳56.7%・男性前期45.8%)が、女性60～64歳・女性前期高齢者では「立ち話をする程度の人がある」(女性60～64歳43.1%・女性前期40.0%)が、女性後期高齢者では「お互いに訪問しあう人がある」(23.2%)が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、「あいさつをする程度の人がある」が4.9ポイント高く、「立ち話をする程度の人がある」より高くなっている。

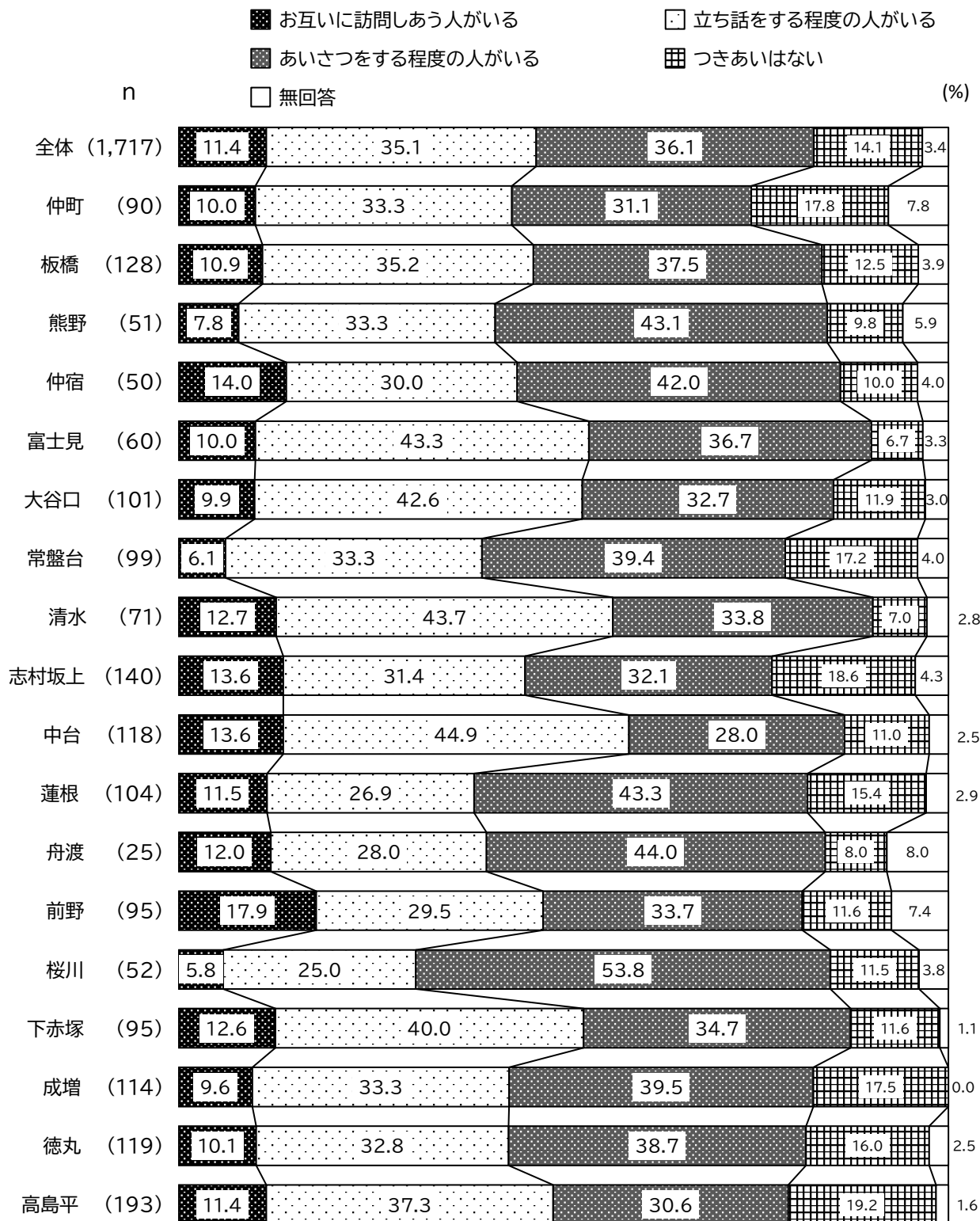
図表3-4-9 近所づきあいの程度:性年代別



第3章 調査結果の詳細

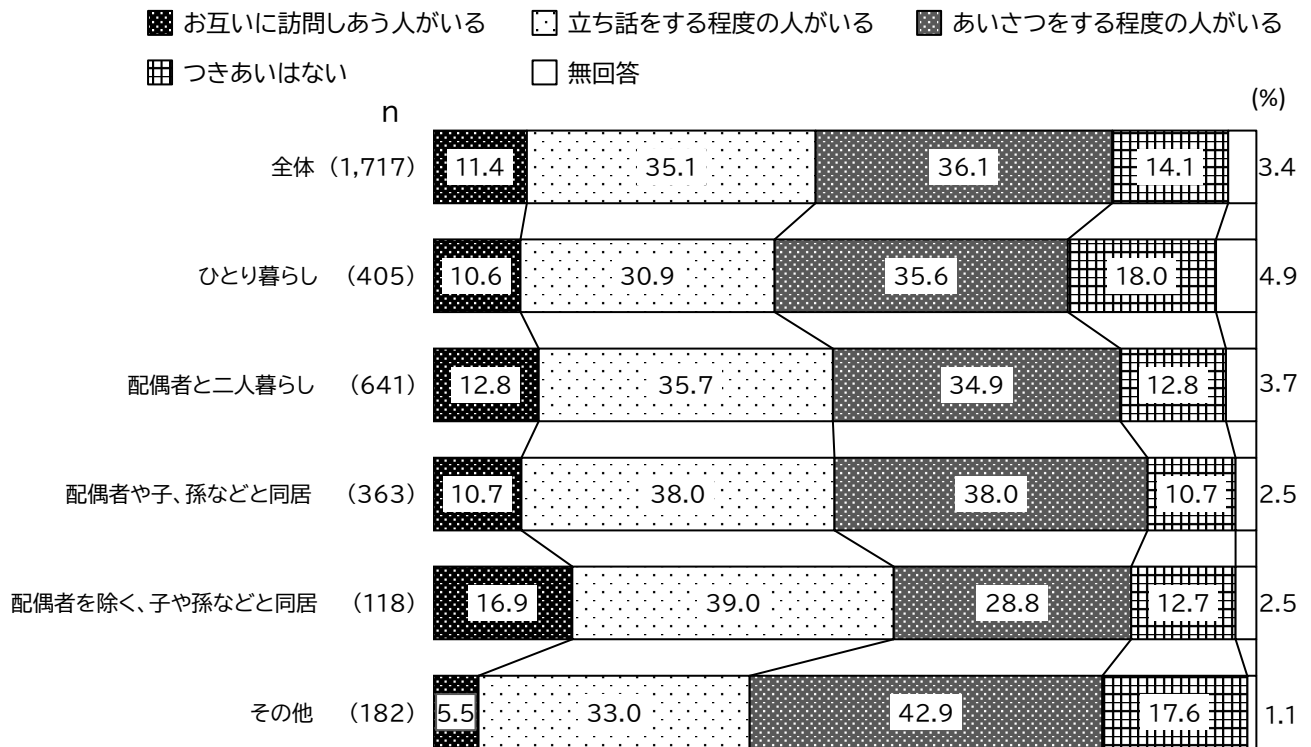
地区別でみると、「お互いに訪問しあう人がいる」は前野（17.9%）で、「立ち話をする程度の人がある」は中台（44.9%）で、「あいさつをする程度の人がある」は桜川（53.8%）で、「つきあいはない」は高島平（19.2%）で、それぞれ他の地区と比べて高くなっている。

図表3-4-10 近所づきあいの程度:地区別



世帯構成別でみると、「ひとり暮らし」では「つきあいはない」(18.0%)が、「配偶者を除く、子や孫など同居」では「お互いに訪問しあう人がいる」(16.9%)が、全体の傾向よりも高く、「配偶者や子、孫など同居」では「つきあいはない」(10.7%)が全体の傾向よりも低くなっている。「配偶者と二人暮らし」では、全体の傾向との違いがあまりみられない。

図表3-4-11 近所づきあいの程度:世帯構成別



②近所づきあいがない理由

【問29で「4. つきあいはない」とお答えの方におうかがいします。】

問30 おつきあいのない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

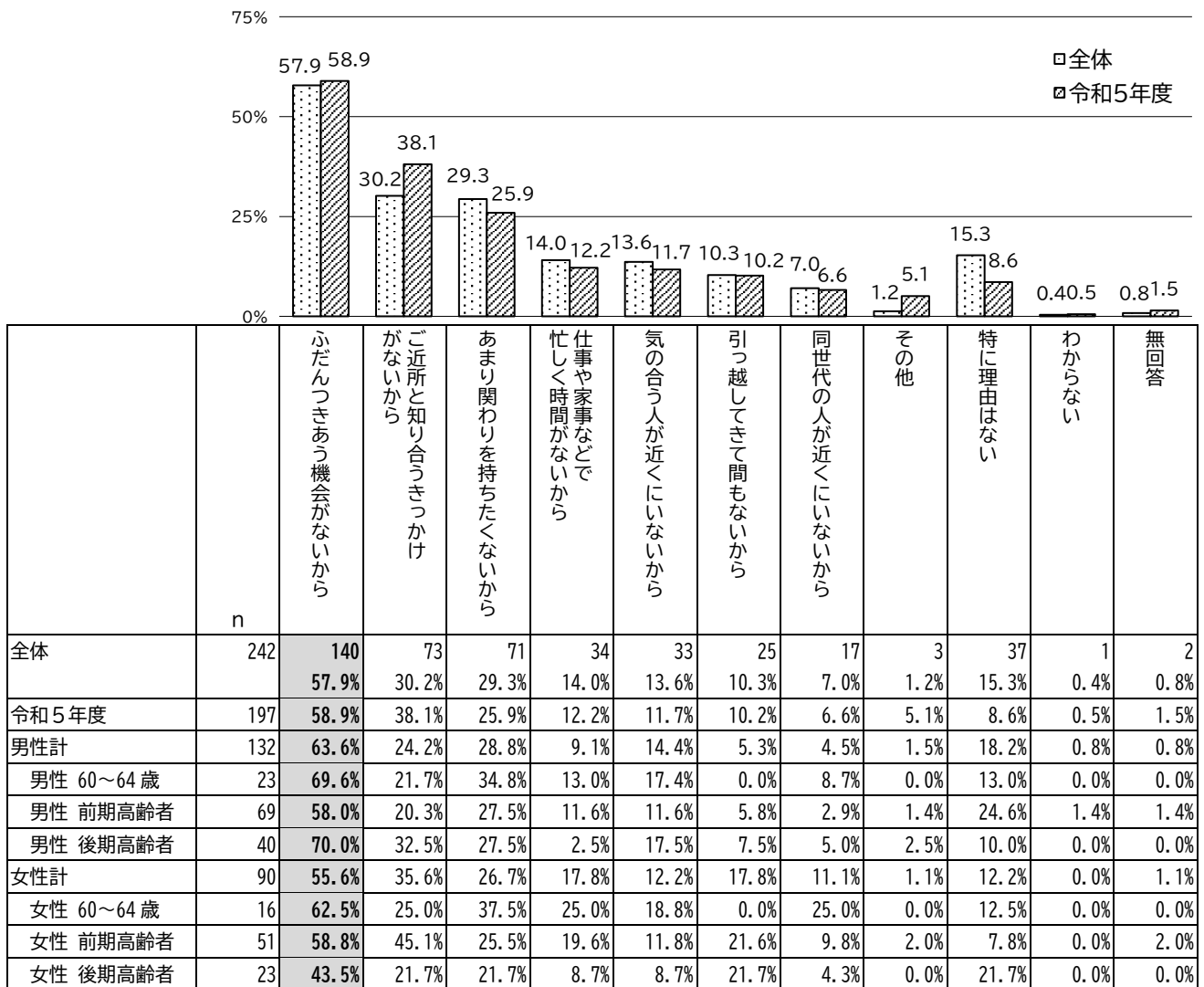
近所づきあいがない理由については、「ふだんつきあう機会がないから」が57.9%と最も高く、次いで「ご近所と知り合うきっかけがないから」が30.2%、「あまり関わりを持ちたくないから」が29.3%の順となっている。

性別でみると、男性では女性よりも「ふだんつきあう機会がないから」(63.6%)が、女性では男性よりも「引っ越してきて間もないから」(17.8%)、「ご近所と知り合うきっかけがないから」(35.6%)が高くなっている。

性年代別でみると、男性60～64歳・男性後期高齢者では「ふだんつきあう機会がないから」(男性60～64歳69.6%・男性後期70.0%)が、女性60～64歳では「同世代の人が近くにいないから」(25.0%)が、女性前期高齢者では「ご近所と知り合うきっかけがないから」(45.1%)が全体の傾向よりも高く、男性前期高齢者では「ご近所と知り合うきっかけがないから」(20.3%)が、女性後期高齢者では「ふだんつきあう機会がないから」(43.5%)が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「ご近所と知り合うきっかけがないから」が7.9ポイント低く、「特に理由はない」が6.7ポイント高くなっている。

図表3-4-12 近所づきあいがない理由:性年代別



※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(5)友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度

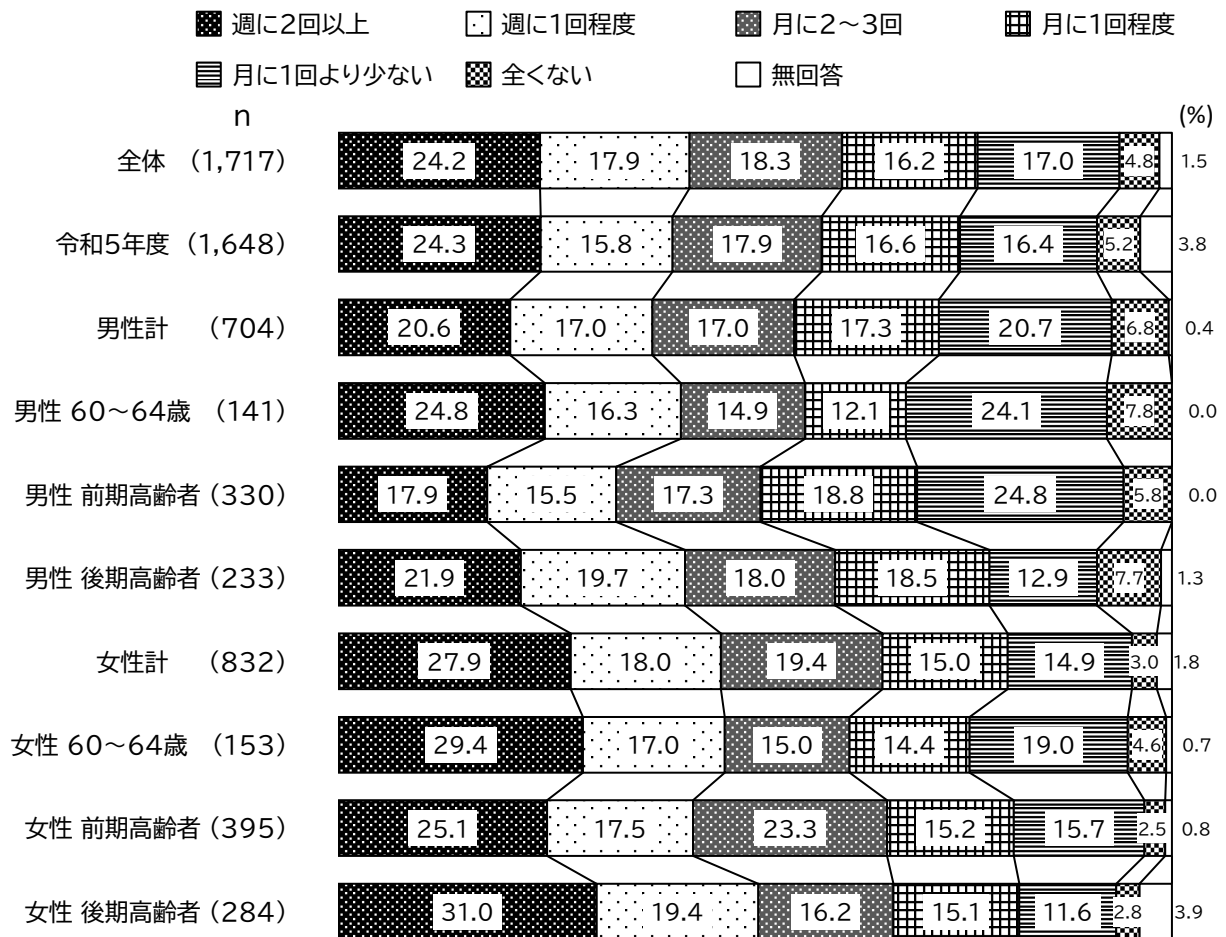
問31 あなたが、友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つのみ)

友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度については、「週に2回以上」が24.2%と最も高く、次いで「月に2～3回」が18.3%、「週に1回程度」が17.9%の順となっている。

性別でみると、男性では女性よりも「月に1回より少ない」(20.7%)が高く、女性では男性よりも「週に2回以上」(27.9%)が高くなっている。

性年代別でみると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「月に1回より少ない」(男性60～64歳24.1%・男性前期24.8%)が、女性60～64歳・女性後期高齢者では「週に2回以上」(女性60～64歳29.4%・女性後期31.0%)が、女性前期高齢者では「月に2～3回」(23.3%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「月に1回より少ない」(12.9%)が全体の傾向よりも低くなっている。また、「月に1回より少ない」「全くない」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-4-13 友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度：性年代別



(6)友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度

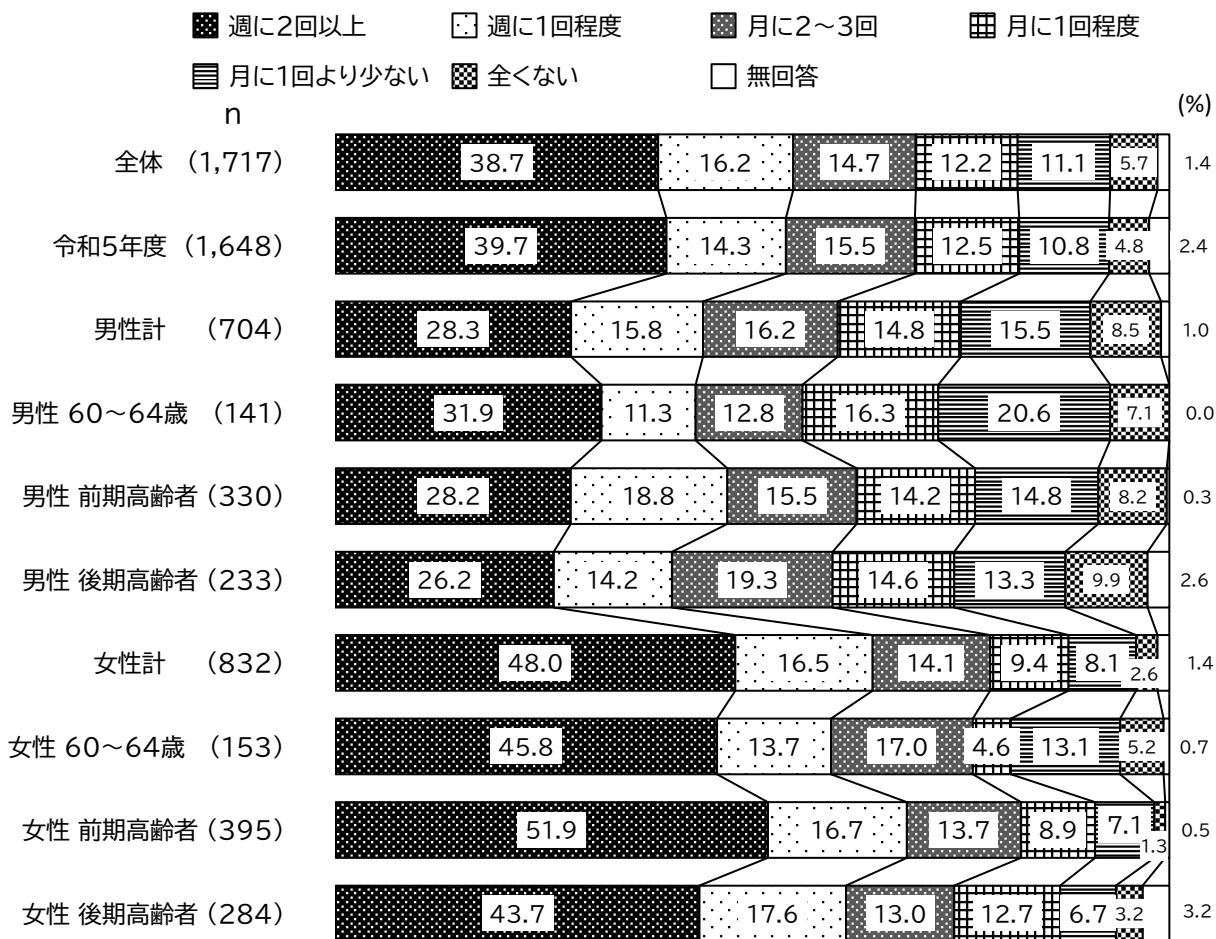
問32 あなたが、友人・知人・別居の家族・親戚と電話やメール、手紙をやりとりする頻度はどれくらいですか。(〇は1つのみ)

友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度については、「週に2回以上」が38.7%と最も高く、次いで「週に1回程度」が16.2%、「月に2～3回」が14.7%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「月に1回より少ない」(15.5%)が高く、女性では男性よりも「週に2回以上」(48.0%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳では「月に1回より少ない」(20.6%)が、女性前期高齢者では「週に2回以上」(51.9%)が全体の傾向よりも高く、男性前期高齢者・男性後期高齢者では「週に2回以上」(男性前期28.2%・男性後期26.2%)が、女性60～64歳では「月に1回程度」(4.6%)が全体の傾向よりも低くなっている。また、「月に1回より少ない」、「全くない」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

図表3-4-14 友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度:性年代別



(7) 予定がなくても気軽に行ける場所

① 予定がなくても気軽に行ける場所の有無

問33 あなたは、特に予定がなくても気軽に行ける場所がありますか。どのくらいあるかをお答えください。(〇は1つのみ)

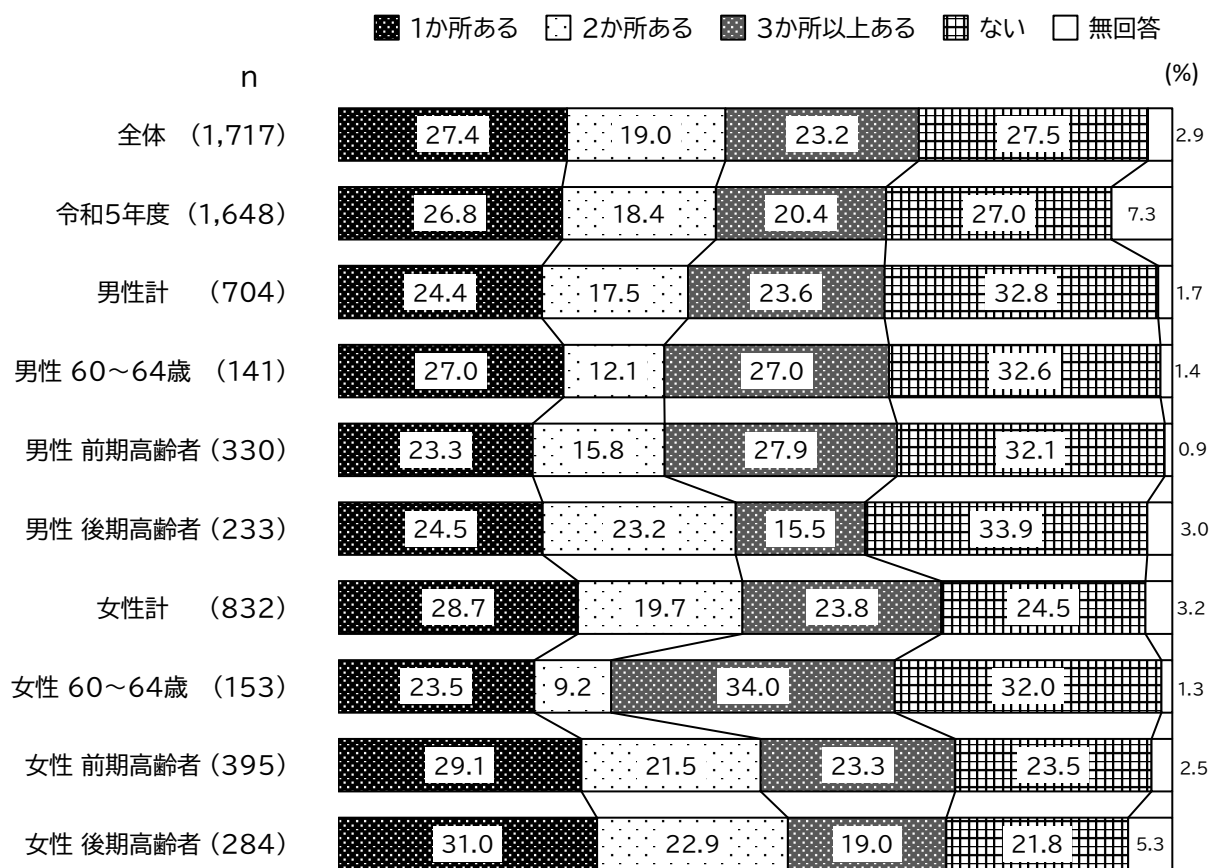
予定がなくても気軽に行ける場所の有無については、気軽に行ける場所があると回答している人の中では、「1か所ある」が27.4%と最も高く、次いで「3か所以上ある」が23.2%、「2か所ある」が19.0%の順となっており、「1か所ある」「2か所ある」「3か所以上ある」を合わせた『気軽に行ける場所がある』は69.6%となっている。一方、「ない」は27.5%となっている。

性別でみると、『気軽に行ける場所がある』は女性(72.2%)が男性(65.5%)より高くなっている。

性年代別でみると、男性前期高齢者・女性60～64歳では「3か所以上ある」(男性前期27.9%・女性60～64歳34.0%)が全体の傾向よりも高く、男性60～64歳は「2か所ある」(12.1%)が、男性後期高齢者では「3か所以上ある」(15.5%)が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「ない」(女性前期23.5%・女性後期21.8%)が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、『気軽に行ける場所がある』が4.0ポイント高くなっている。

図表3-4-15 予定がなくても気軽に行ける場所の有無:性年代別



第3章 調査結果の詳細

② 予定がなくても気軽に行ける具体的な場所

【問33で「1. 1か所ある」「2. 2か所ある」「3. 3か所以上ある」とお答えの方に、その場所について
 おうかがいします。】

問34 それはどのような場所ですか。1か所だけ具体的に記入ください。

記入例：〇〇喫茶、△△図書館、□□公園など

予定がなくても気軽に行ける具体的な場所については、「図書館」が195件と最も多く、次いで「公園」が158件、「喫茶店」が93件の順となっている。

前回調査と比較すると、8位までは順位の多少の入れ替わりはあるもののほとんど変化がないが、「遊技場（パチンコ等）」が前回17位から今回12位、「ゴルフ練習場・ゴルフ場」が前回23位から今回17位に上がり、「美術館・博物館・動植物園」が前回11位から今回20位、「健康ランド・スーパー銭湯・温泉」が前回15位から今回24位に下がっている。また、「教会・寺社仏閣・お墓」が18位で新たに挙がっている。

図表3-4-16 予定がなくても気軽に行ける具体的な場所(自由回答)

(今回調査)

順位	記入内容	件数
1	図書館	195
2	公園	158
3	喫茶店	93
4	デパート・大型商業施設	87
5	家族・親類の家	67
5	スポーツクラブ・スポーツジム	67
7	店舗・買い物施設	60
8	友人・知人の家	45
9	その他	36
10	飲食店・レストラン	33
11	スーパーマーケット	26
12	居酒屋	25
12	遊技場(パチンコ等)	25
14	体育館・プール	22
15	趣味の活動場所	20
15	カラオケ・カラオケ喫茶・スナック	20
17	ゴルフ練習場・ゴルフ場	19
18	ふれあい館	16
18	教会・寺社仏閣・お墓	16
20	美術館・博物館・動植物園	13
21	町会・自治会・シニアクラブの集会所	9
21	勤務先・職場	9
23	映画館	8
24	健康ランド・スーパー銭湯・温泉	7
24	川・土手・海・山・湖	7

(前回調査)

順位	記入内容	件数
1	公園	286
2	図書館	264
3	喫茶店	99
4	家族・親類の家	93
5	デパート・大型商業施設	84
6	友人・知人の家	77
7	スポーツクラブ・スポーツジム	68
8	店舗・買い物施設	60
9	飲食店・レストラン	51
10	スーパーマーケット	42
11	美術館・博物館・動植物園	41
12	その他	32
13	趣味の活動場所	31
14	居酒屋	22
15	健康ランド・スーパー銭湯・温泉	18
15	体育館・プール	18
17	遊技場(パチンコ等)	15
18	カラオケ・カラオケ喫茶・スナック	14
19	映画館	13
19	川・土手	13
21	町会・自治会・シニアクラブの集会所	12
21	ふれあい館	12
23	ゴルフ練習場・ゴルフ場	11
24	勤務先・職場	10

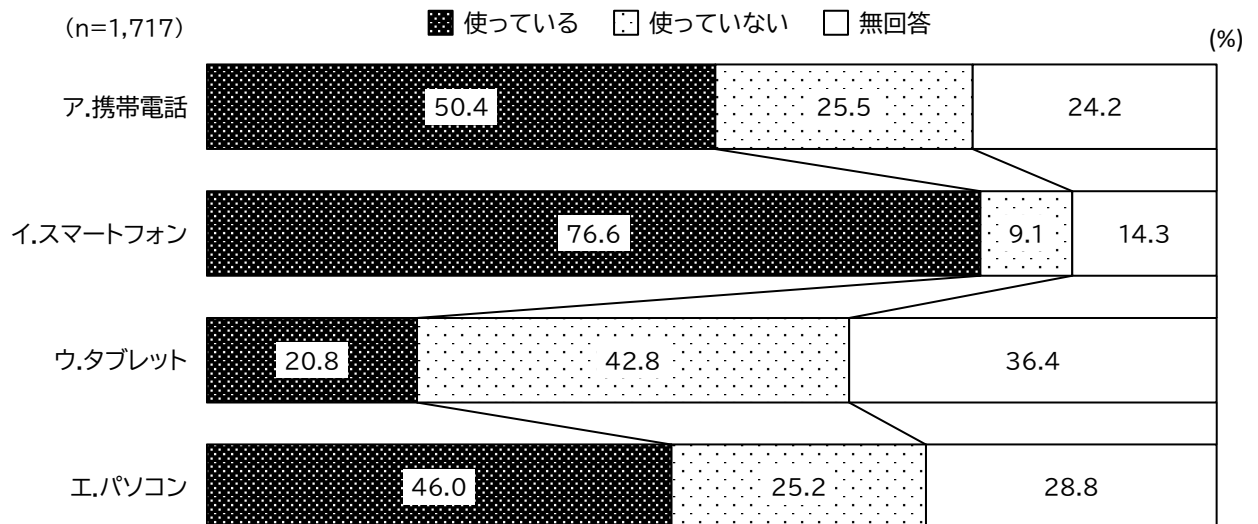
5. 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用について

(1) 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況

問35 あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどを使っていますか。(それぞれ〇は1つ)

携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況について、現在「使っている」割合をみると、「スマートフォン」(76.6%)が最も高く、次いで「携帯電話」(50.4%)、「パソコン」(46.0%)、「タブレット」(20.8%)の順となっている。

図表3-5-1 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況



第3章 調査結果の詳細

① 携帯電話

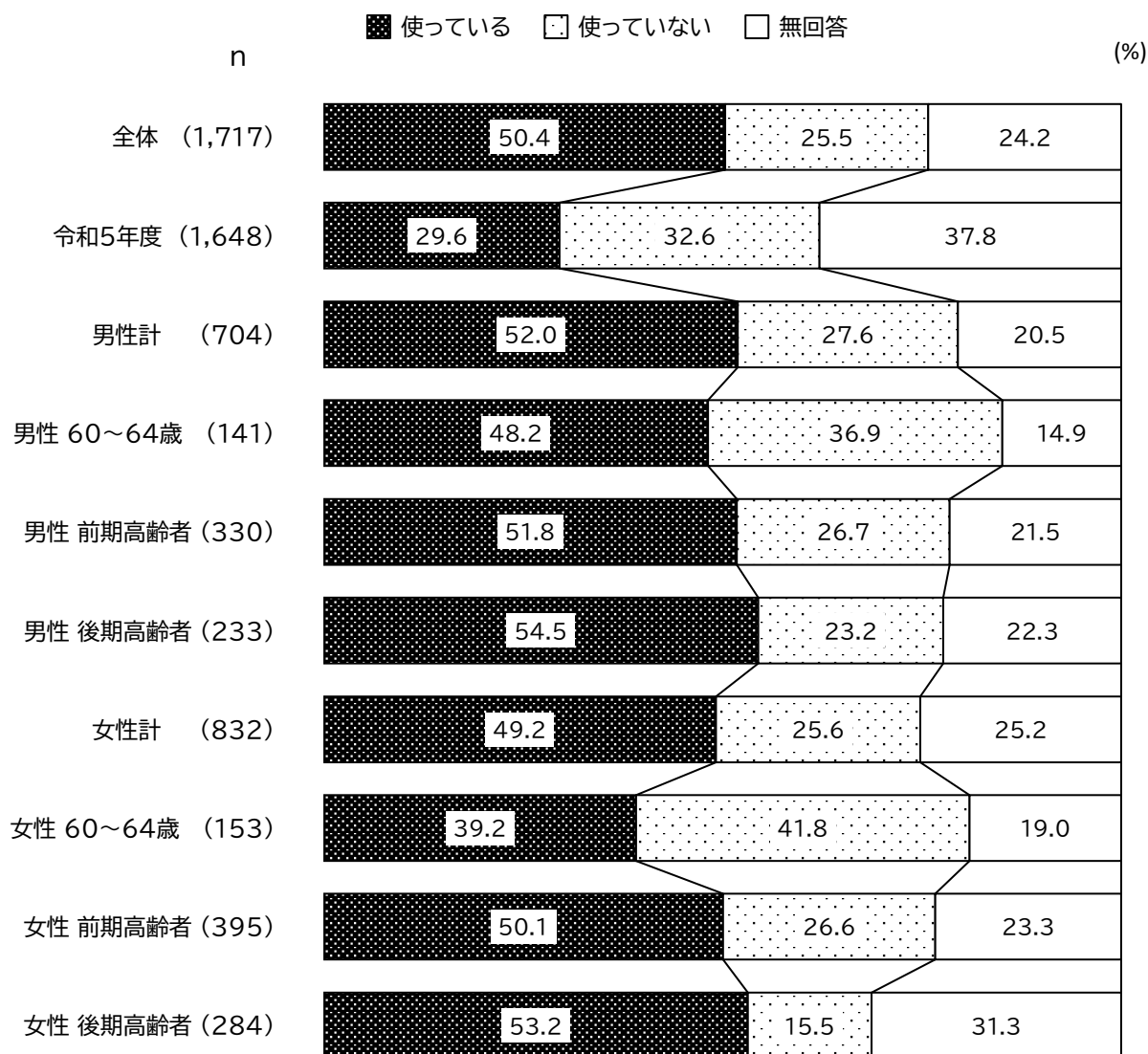
携帯電話については、「使っている」が50.4%、「使っていない」が25.5%となっている。

性別で見ると、「使っている」の割合は男性（52.0%）が女性（49.2%）を上回っている。

性年代別で「使っている」の割合をみると、男性後期高齢者（54.5%）で全体の傾向より高くなっている一方で、女性60～64歳（39.2%）で全体の傾向より低くなっている。

前回調査と比較すると、「使っている」（前回29.6%・今回50.4%）が20.8ポイント上昇している。

図表3-5-2 携帯電話の利用状況:性年代別

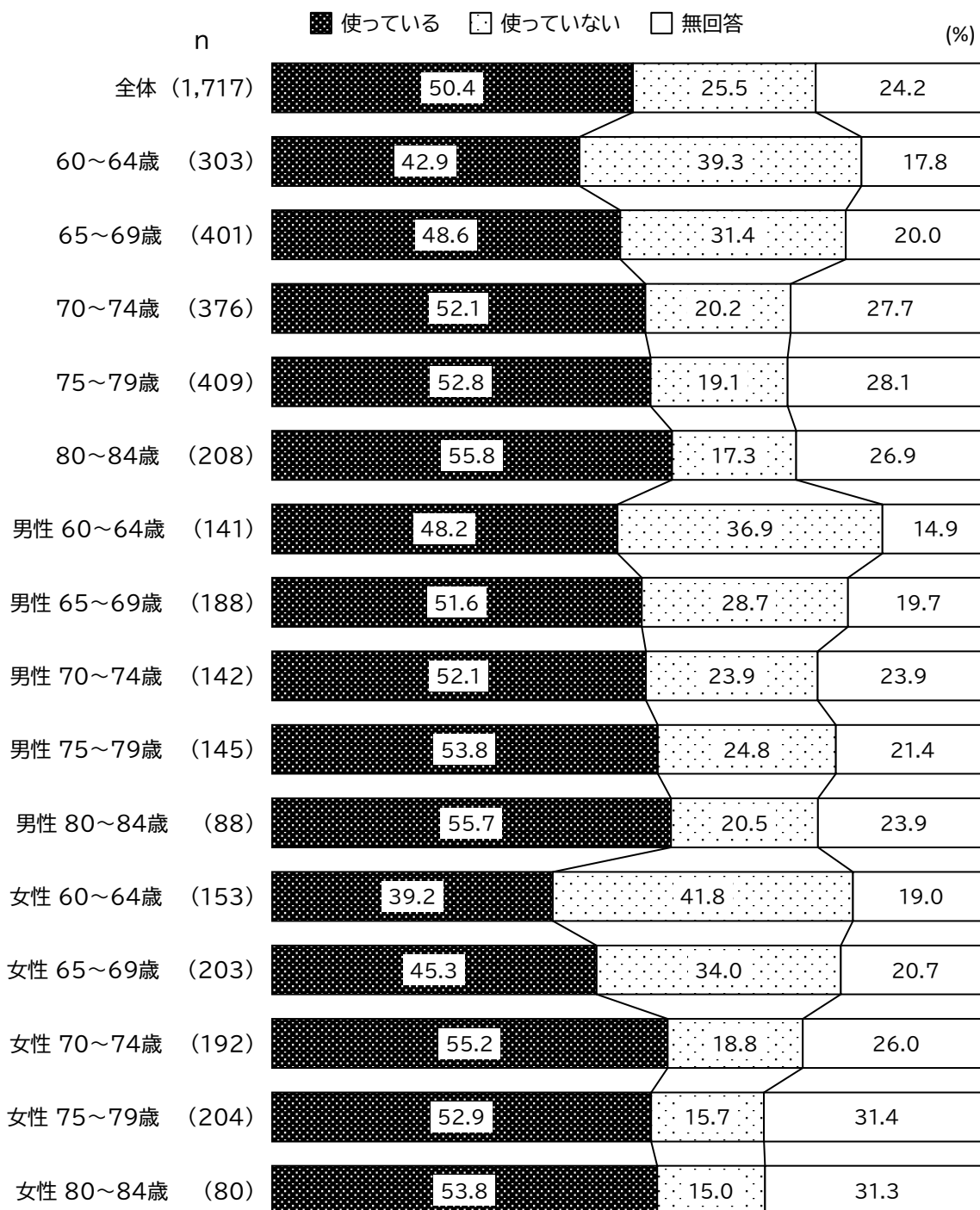


※前回調査では「今年（2023年）から」「それより前から」としていた選択肢を、今回調査では「使っている」に変更している。

詳細な年齢区分別で「使っている」の割合をみると、80～84歳（55.8%）で最も高く、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

詳細な性年齢区分別で「使っている」の割合をみると、男性80～84歳（55.7%）・女性70～74歳（55.2%）で、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。「使っていない」では男性60～64歳（36.9%）・女性60～64歳（41.8%）が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-5-3 携帯電話の利用状況:性年代別(詳細)



※前回調査では「今年（2023年）から」「それより前から」としていた選択肢を、今回調査では「使っている」に変更している。

第3章 調査結果の詳細

② スマートフォン

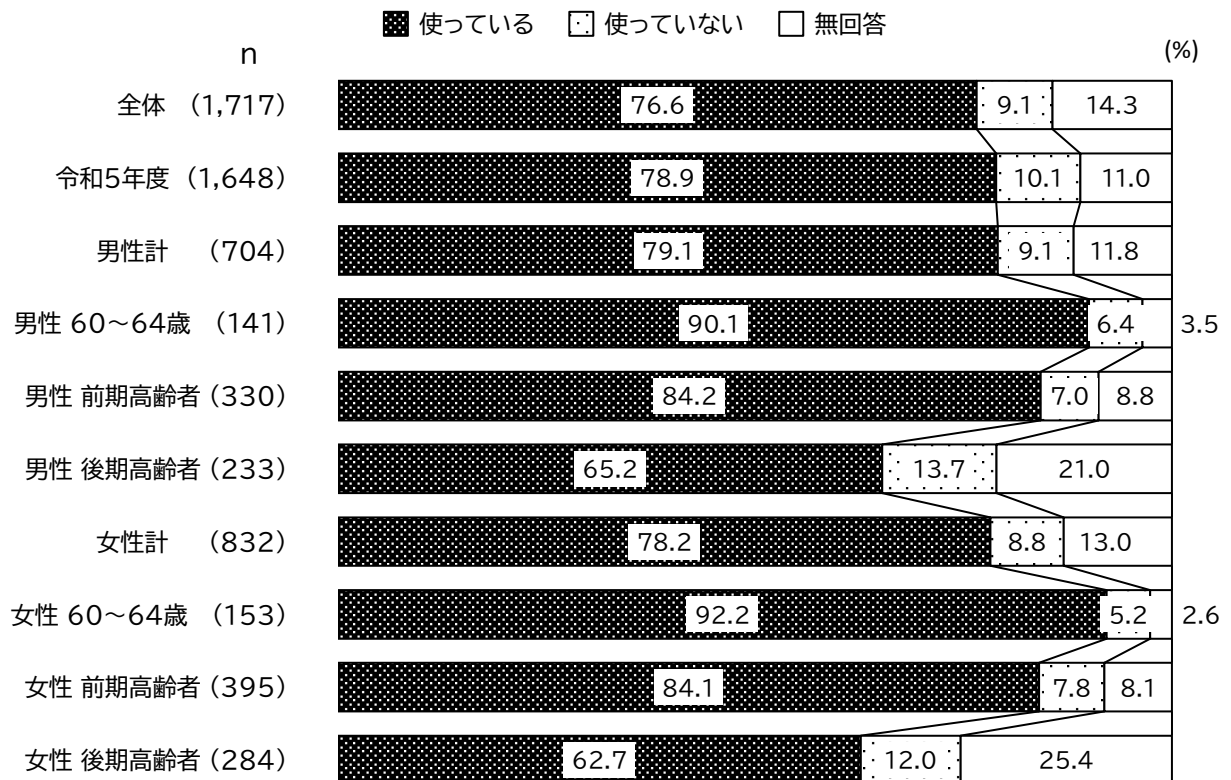
スマートフォンについては、「使っている」が76.6%、「使っていない」が9.1%となっている。

性別で見ると、「使っている」の割合は男性（79.1%）と女性（78.2%）で大きな差はみられない。

性年代別で「使っている」の割合をみると、女性60～64歳（92.2%）、男性60～64歳（90.1%）で全体の傾向より高くなっている。男女ともに年代が高くなるほど「使っている」の割合が低くなる傾向となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表3-5-4 スマートフォンの利用状況:性年代別

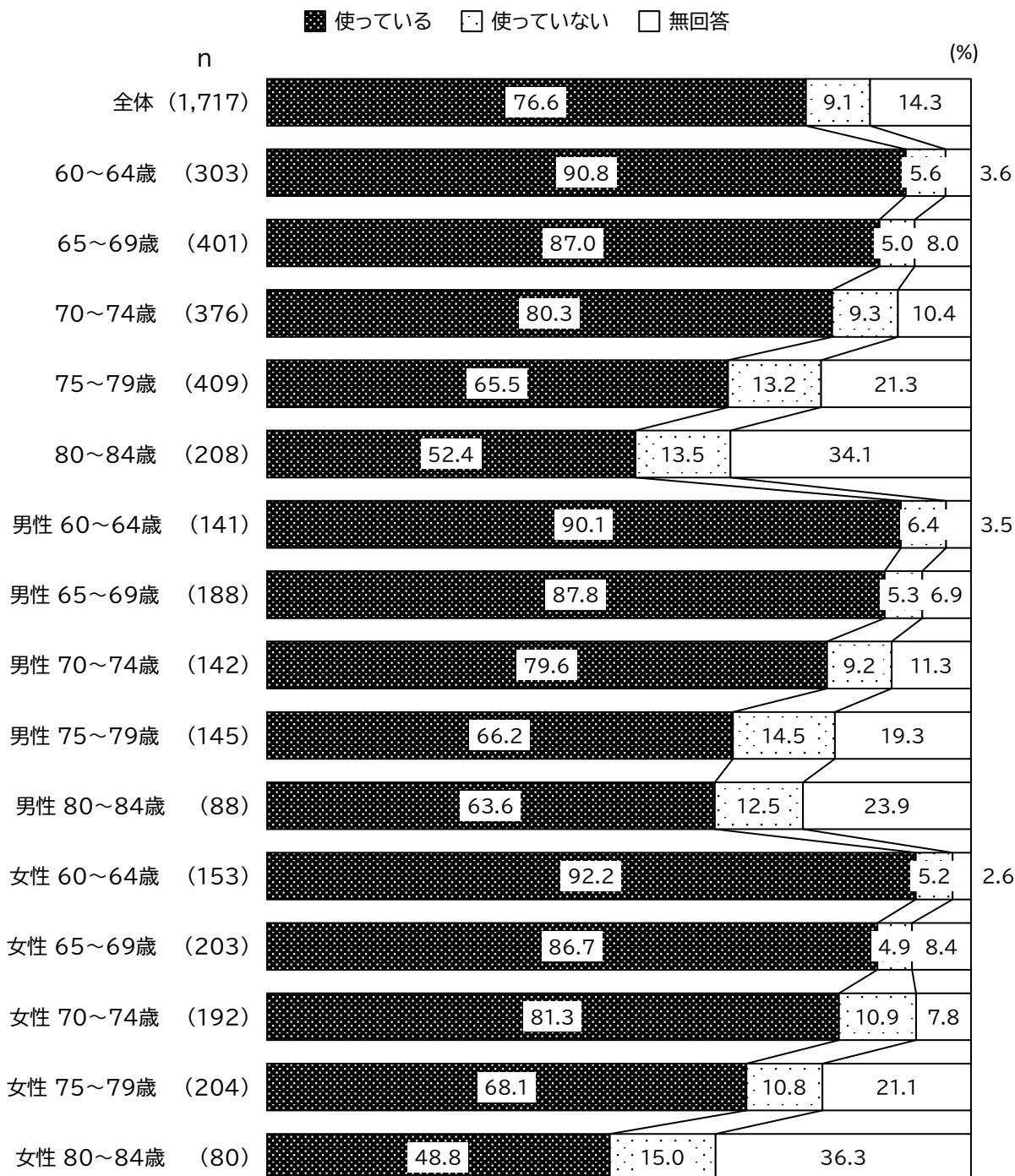


※前回調査では「今年（2023年）から」「それより前から」としていた選択肢を、今回調査では「使っている」に変更している。

詳細な年齢区分別で「使っている」の割合をみると、60～64歳（90.8%）が、全体の傾向よりも高くなっている。

詳細な性年齢区分別で「使っている」の割合をみると、男性60～64歳（90.1%）・女性60～64歳（92.2%）が、全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-5-5 スマートフォンの利用状況:性年代別(詳細)



※前回調査では「今年（2023年）から」「それより前から」としていた選択肢を、今回調査では「使っている」に変更している。

第3章 調査結果の詳細

③ タブレット

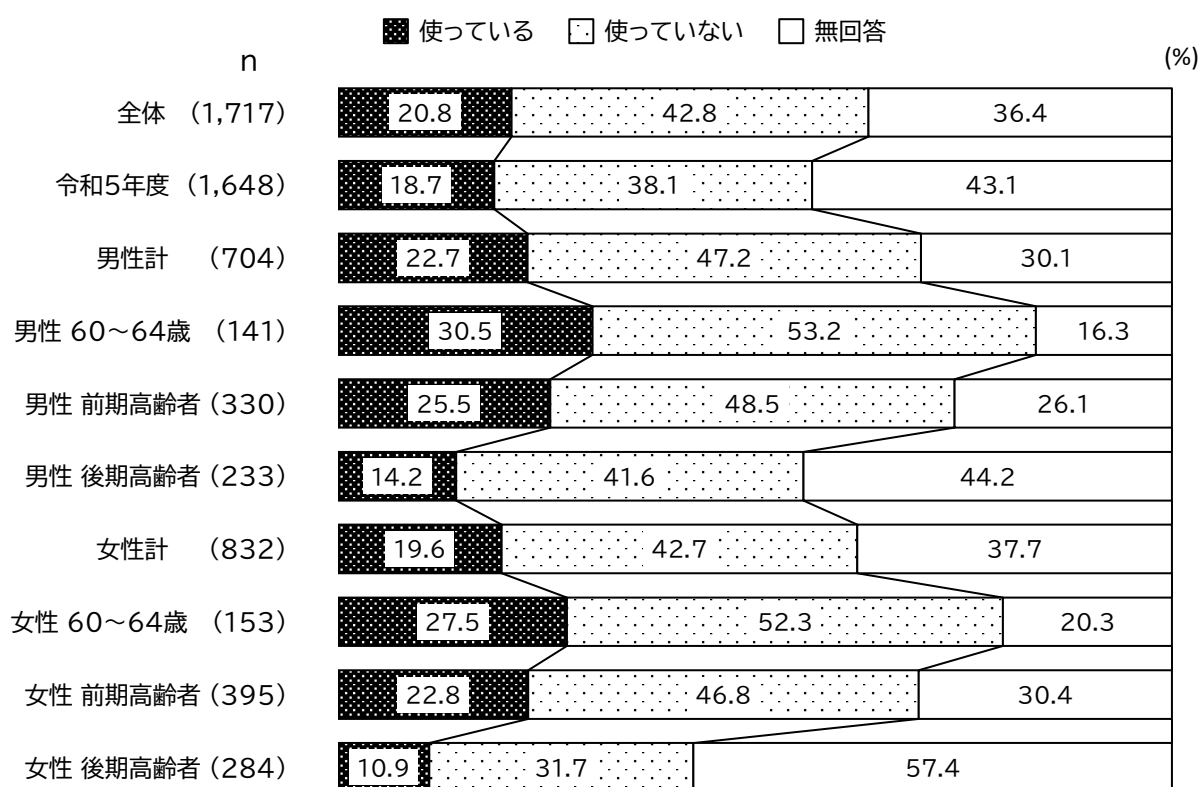
タブレットについては、「使っている」が20.8%、「使っていない」が42.8%となっている。

性別で「使っている」割合をみると、男性（22.7%）では女性（19.6%）よりもやや高いものの、大きな差はみられない。

性年代別で「使っている」の割合をみると、男性60～64歳（30.5%）、女性60～64歳（27.5%）、で全体の傾向より高くなっている。男女ともに年代が高くなるほど「使っている」の割合が低くなる傾向となっている。

前回調査と比較すると、あまり差はみられない。

図表3-5-6 タブレットの利用状況:性年代別



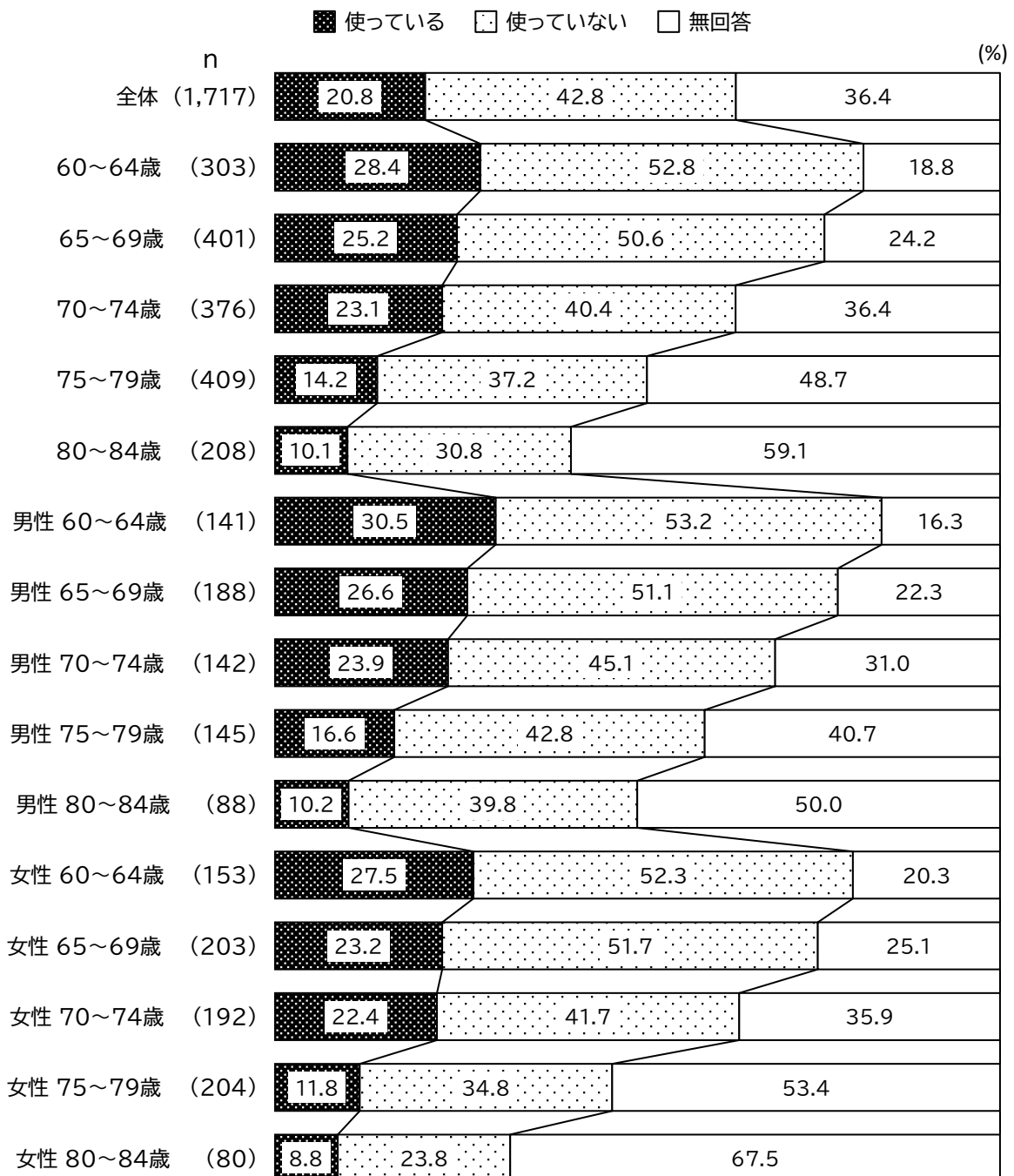
※前回調査では「今年（2023年）から」「それより前から」としていた選択肢を、今回調査では「使っている」に変更している。

詳細な年齢区分別で「使っている」の割合をみると、60～64歳（28.4%）・65～69歳（25.2%）が、全体の傾向よりも高くなっている。

詳細な性年齢区分別で「使っている」の割合をみると、男性60～64歳（30.5%）・女性60～64歳（27.5%）が、全体の傾向よりも高くなっている。

男女ともに年代が低くなるほど「使っている」の割合が高くなっている。なお「使っていない」割合も年代が低くなるほど高い傾向で、年代が高いほど「無回答」の割合が高くなる傾向であり、タブレットそのものの認知度が低い可能性がある。

図表3-5-7 タブレットの利用状況:性年代別(詳細)



※前回調査では「今年（2023年）から」「それより前から」としていた選択肢を、今回調査では「使っている」に変更している。

④ パソコン

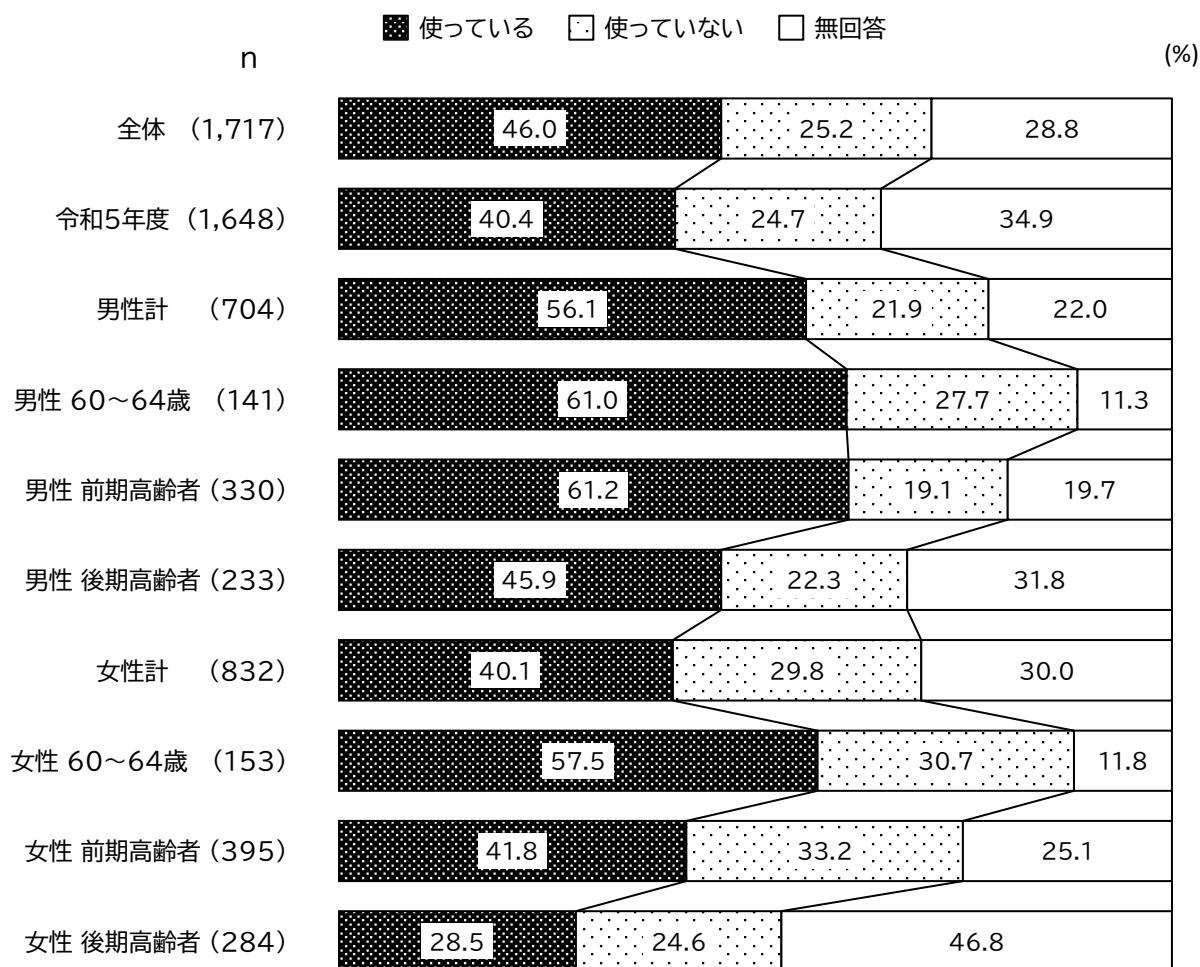
パソコンについては、「使っている」が46.0%、「使っていない」が25.2%となっている。

性別で「使っている」の割合をみると、男性（56.1%）が女性（40.1%）を上回っている。

性年代別で「使っている」の割合をみると、男性前期高齢者（61.2%）、男性60～64歳（61.0%）、女性60～64歳（57.5%）で全体の傾向より高くなっている。

前回調査と比較すると、「使っている」（前回40.4%・今回46.0%）が5.6ポイント上昇している。

図表3-5-8 パソコンの利用状況:性年代別

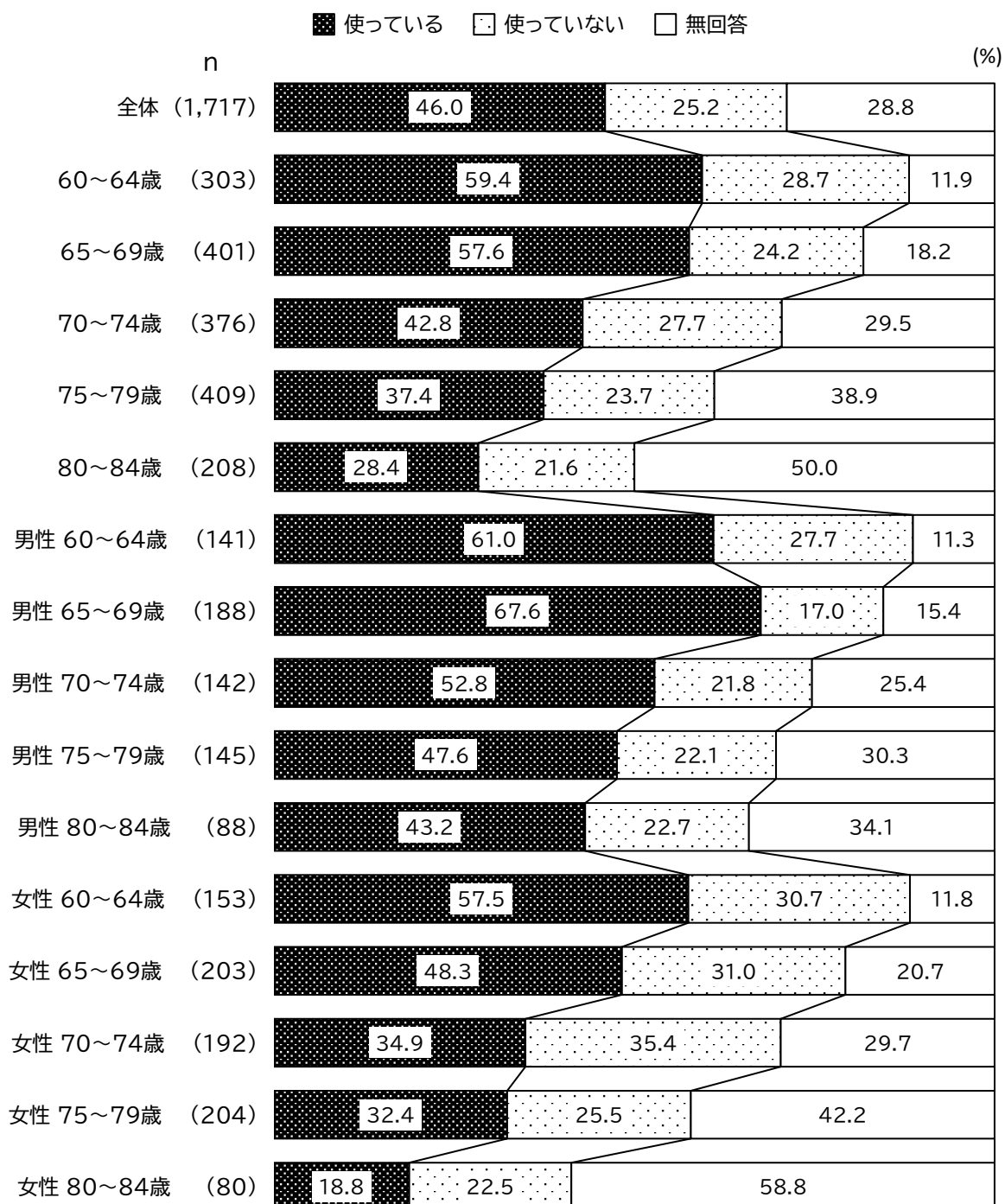


※前回調査では「今年（2023年）から」「それより前から」としていた選択肢を、今回調査では「使っている」に変更している。

詳細な年齢区分別で「使っている」の割合をみると、60～64歳（59.4%）・65～69歳（57.6%）が全体の傾向よりも高くなっている。

詳細な性年齢区分別で「使っている」の割合をみると、男性60～64歳（61.0%）・男性65～69歳（67.6%）・女性60～64歳（57.5%）が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-5-9 パソコンの利用状況:性年代別(詳細)



※前回調査では「今年（2023年）から」「それより前から」としていた選択肢を、今回調査では「使っている」に変更している。

⑤ 携帯電話のみの利用者

携帯電話を「使っている」と回答し、スマートフォン・タブレット・パソコンについては「使っていない」と回答した対象者、または携帯電話にのみ回答し、携帯電話を「使っている」と回答した対象者を「携帯電話のみ利用者」、すべて無回答の場合は「無回答」とした。

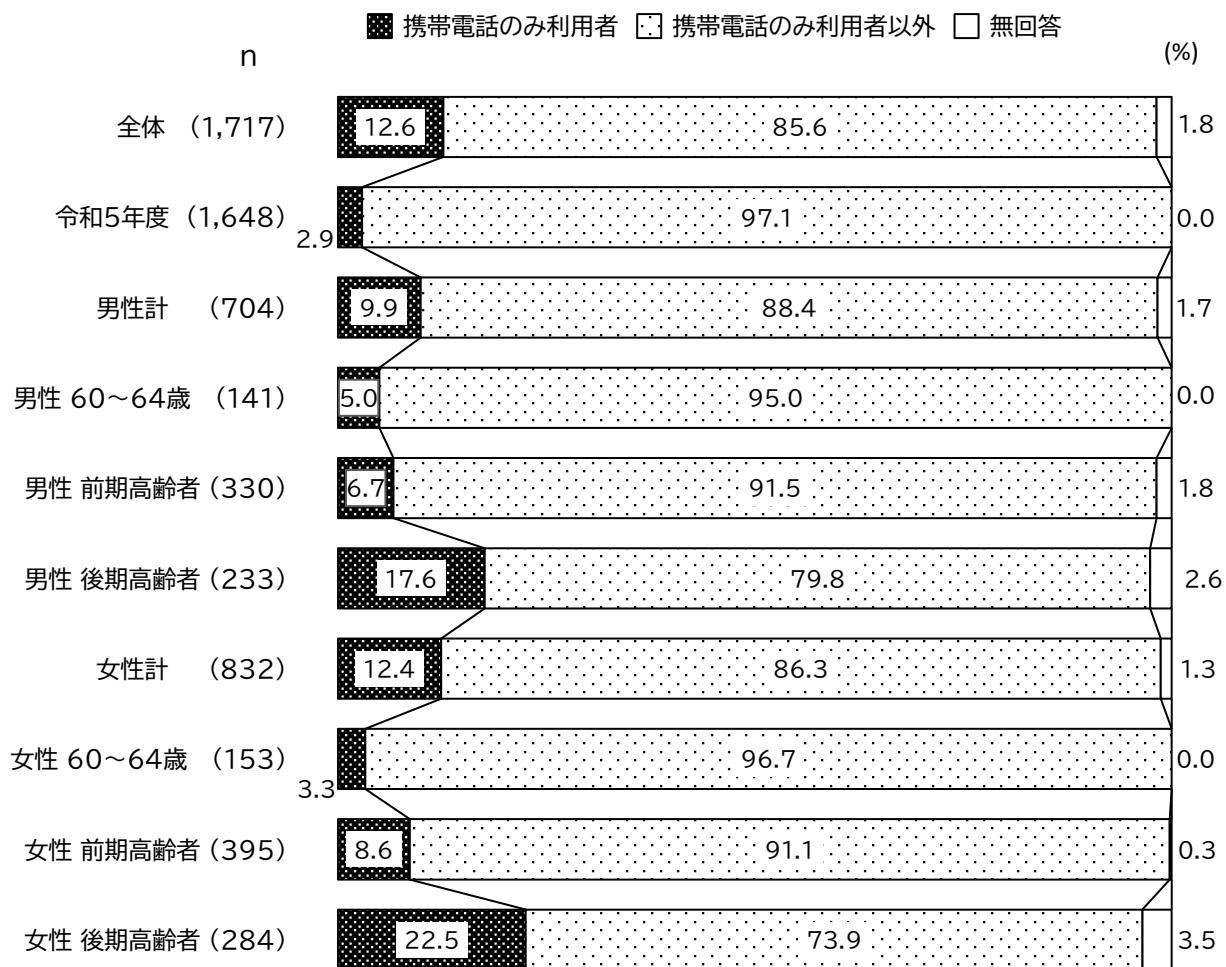
(前回調査と基準が異なるため、前回調査分は参考値とする)

「携帯電話のみ利用者」は12.6%となっている。

性別で見ると、女性は男性よりも携帯電話のみ使用している割合が高い。

性年代別で見ると、男女ともに年代が上がるほど「携帯電話のみ利用者」が高くなっている。

図表3-5-10 携帯電話のみの利用者:性年代別



(2)携帯電話・スマートフォン・パソコンなどで行っていること

① 行っている内容

【問35で1つ以上「1」とお答えの方におうかがいします。】

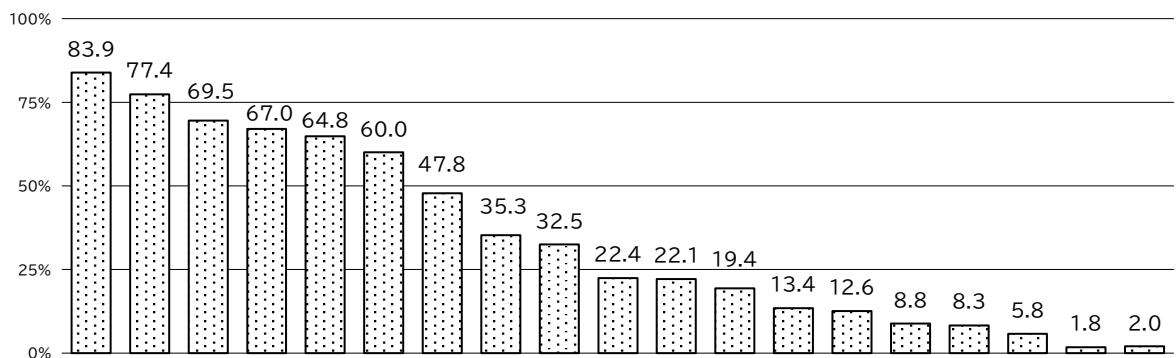
問36 問35で「1」と回答したもので、どのようなことを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

携帯電話・スマートフォン・パソコンなどで行っていることは、「通話をする事」(83.9%)が最も高く、次いで「メールでやりとりすること」(77.4%)、「写真を撮影すること」(69.5%)の順となっている。

性別でみると男性では女性よりも「ニュースを読むこと」(63.9%)が高く、女性では男性よりも「写真を撮影すること」(77.0%)、「ラインでやりとりすること」(74.7%)が高くなっている。

性年代別でみると、「ネットショッピングをすること」で男性60～64歳(52.2%)・女性60～64歳(53.3%)が高く、女性後期高齢者(15.3%)で低くなっている。また、「決済サービスを利用すること」・「ネットショッピングをすること」は、男女ともに年代が高くなるほど低くなる傾向となっている。

図表3-5-11 :携帯電話・スマートフォン・パソコンなどで行っている内容:性年代別(詳細)



	n	通話をする事	メールでやりとりすること	写真を撮影すること	ラインでやりとりすること	インターネットで検索すること	ニュースを読むこと	動画をみる事	ネットショッピングをすること	決済サービスを利用すること	健康管理に関する事	ゲームをする事	ビデオ通話をする事	予約等をする事	給付金申請やワクチン接種	インスタグラムを利用すること	X(旧ツイッター)を利用すること	フェイスブックを利用すること	オンライン講座を受講すること	その他	無回答
全体	1,631	1,368 83.9%	1,263 77.4%	1,133 69.5%	1,092 67.0%	1,057 64.8%	978 60.0%	780 47.8%	576 35.3%	530 32.5%	366 22.4%	361 22.1%	317 19.4%	218 13.4%	206 12.6%	143 8.8%	136 8.3%	95 5.8%	29 1.8%	32 2.0%	
男性計	671	81.5%	74.7%	62.1%	59.8%	68.6%	63.9%	50.1%	39.5%	36.4%	21.3%	18.3%	13.6%	14.8%	11.0%	8.9%	11.2%	5.4%	2.1%	1.5%	
男性 60～64歳	138	79.0%	76.1%	62.3%	62.3%	76.1%	66.7%	63.8%	52.2%	47.1%	18.8%	27.5%	8.0%	15.2%	20.3%	16.7%	16.7%	7.2%	2.2%	1.4%	
男性 前期高齢者	319	80.6%	77.1%	66.5%	69.6%	74.6%	68.3%	53.0%	42.6%	41.7%	23.2%	16.0%	18.2%	19.1%	12.2%	9.7%	11.9%	6.0%	1.6%	1.6%	
男性 後期高齢者	214	84.6%	70.1%	55.6%	43.5%	54.7%	55.6%	36.9%	26.6%	21.5%	20.1%	15.9%	10.3%	7.9%	3.3%	2.8%	6.5%	3.3%	2.8%	1.4%	
女性計	797	84.9%	81.2%	77.0%	74.7%	64.1%	58.2%	47.9%	34.3%	31.1%	24.5%	26.2%	25.6%	13.8%	15.1%	8.9%	6.5%	6.3%	1.5%	2.6%	
女性 60～64歳	150	81.3%	81.3%	76.7%	74.7%	77.3%	63.3%	62.0%	53.3%	52.0%	24.7%	34.0%	24.0%	26.7%	30.7%	17.3%	12.0%	10.0%	4.7%	3.3%	
女性 前期高齢者	386	84.5%	81.3%	80.8%	81.9%	70.7%	64.0%	54.7%	39.6%	34.2%	26.4%	30.3%	32.1%	14.8%	17.1%	10.4%	7.3%	7.5%	1.3%	1.8%	
女性 後期高齢者	261	87.7%	80.8%	71.6%	64.0%	46.7%	46.7%	29.9%	15.3%	14.6%	21.5%	15.7%	16.9%	5.0%	3.1%	1.9%	2.3%	2.3%	0.0%	3.4%	

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

② 利用頻度

【問35で1つ以上「1」とお答えの方におうかがいします。】

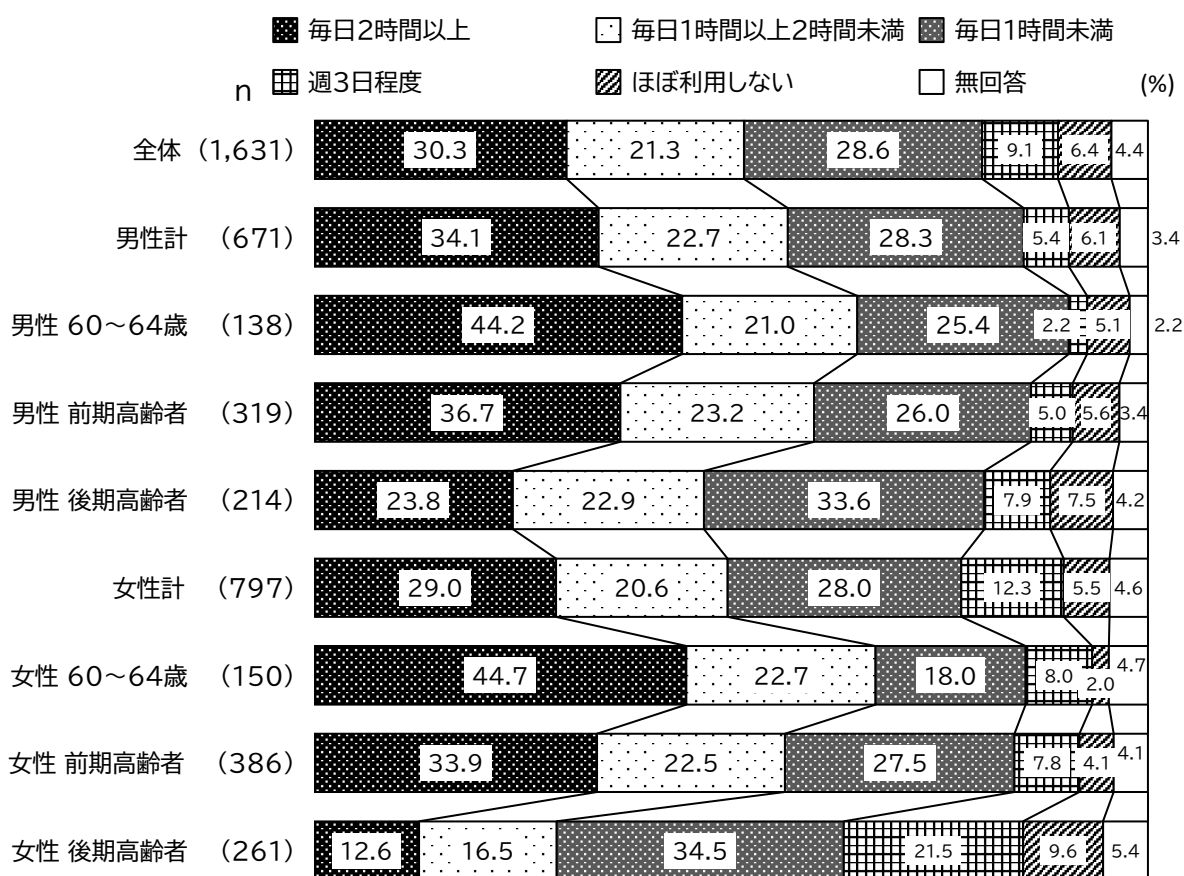
問37 あなたは、問35で「1」と回答したもののうち、最も利用頻度の高いものについて、どのくらい利用していますか。(〇は1つのみ)

携帯電話・スマートフォン・パソコンなどのうち最も利用頻度の高いものをどのくらい利用しているかについては、「毎日2時間以上」が30.3%で最も高く、次いで「毎日1時間以上2時間未満」(28.6%)、「毎日1時間以上2時間未満」(21.3%)の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「毎日2時間以上」(34.1%)が特に高くなっている。女性では男性よりも「週3日程度」(12.3%)が高くなっている。

性年代別で見ると、「毎日2時間以上」が女性60~64歳(44.7%)・男性60~64歳(44.2%)がほぼ同じ割合で全体の傾向よりも特に高くなっている。

図表3-5-12 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用頻度：性年代別



(3)携帯電話・スマートフォン・パソコンなどについての希望

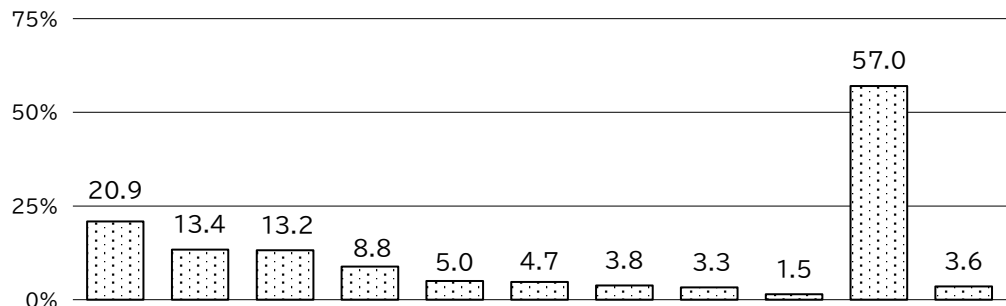
問38 あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどの利用に関して、どんなことを希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

携帯電話・スマートフォン・パソコンなどについての、希望があるものでは「スマートフォンの使い方を教えてほしい」(20.9%)が最も高く、「インターネットの利用上の注意を教えてほしい」(13.4%)、「パソコンの使い方を教えてほしい」(13.2%)の順となっている。なお「特に希望することはない」が57.0%で6割近くとなっている。

性別で見ると男性では女性より「ラインの使い方を教えてほしい」(7.1%)、「メールの使い方を教えてほしい」(4.8%)が高く、女性では男性より「インターネットの利用上の注意を教えてほしい」(14.7%)、「オンライン会議システム(ズームなど)の使い方を教えてほしい」(5.5%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性後期高齢者・女性後期高齢者では「スマートフォンの使い方を教えてほしい」(男性後期29.2・女性後期23.2%)が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-5-13 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどについての希望・性年代別



	n	スマートフォン の使い方を 教えてほしい	インターネット の利用上の 注意を 教えてほしい	パソコン の使い方を 教えてほしい	SNS(フェイスブック、X(旧ツイッター)、 インスタグラムなど)の 使い方を 教えてほしい	ライン の使い方を 教えてほしい	オンライン会議システム(ズームなど)の 使い方を 教えてほしい	メール の使い方を 教えてほしい	ホームページ(ウェブサイト)や動画 を見る方法を 教えてほしい	その他	特に希望 すること はない	無回答
全体	1,717	359 20.9%	230 13.4%	226 13.2%	151 8.8%	86 5.0%	81 4.7%	65 3.8%	57 3.3%	25 1.5%	979 57.0%	61 3.6%
男性計	704	21.6%	13.4%	12.9%	8.7%	7.1%	3.8%	4.8%	2.8%	1.0%	60.2%	2.4%
男性 60~64歳	141	17.7%	8.5%	14.2%	6.4%	5.0%	4.3%	4.3%	3.5%	0.7%	70.9%	1.4%
男性 前期高齢者	330	17.9%	14.2%	11.8%	10.3%	6.1%	3.3%	3.3%	2.4%	1.2%	61.2%	2.1%
男性 後期高齢者	233	29.2%	15.0%	13.7%	7.7%	9.9%	4.3%	7.3%	3.0%	0.9%	52.4%	3.4%
女性計	832	19.6%	14.7%	13.7%	9.5%	3.0%	5.5%	2.2%	4.0%	2.2%	55.5%	3.1%
女性 60~64歳	153	17.6%	12.4%	14.4%	9.2%	3.3%	6.5%	1.3%	1.3%	3.3%	61.4%	2.0%
女性 前期高齢者	395	17.7%	17.2%	15.9%	11.4%	2.8%	6.8%	1.3%	5.3%	1.8%	54.4%	2.0%
女性 後期高齢者	284	23.2%	12.3%	10.2%	7.0%	3.2%	3.2%	3.9%	3.5%	2.1%	53.9%	5.3%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

6. 地域活動などへの参加状況について

(1) 過去1年間に参加した活動・今後新たに参加したい活動

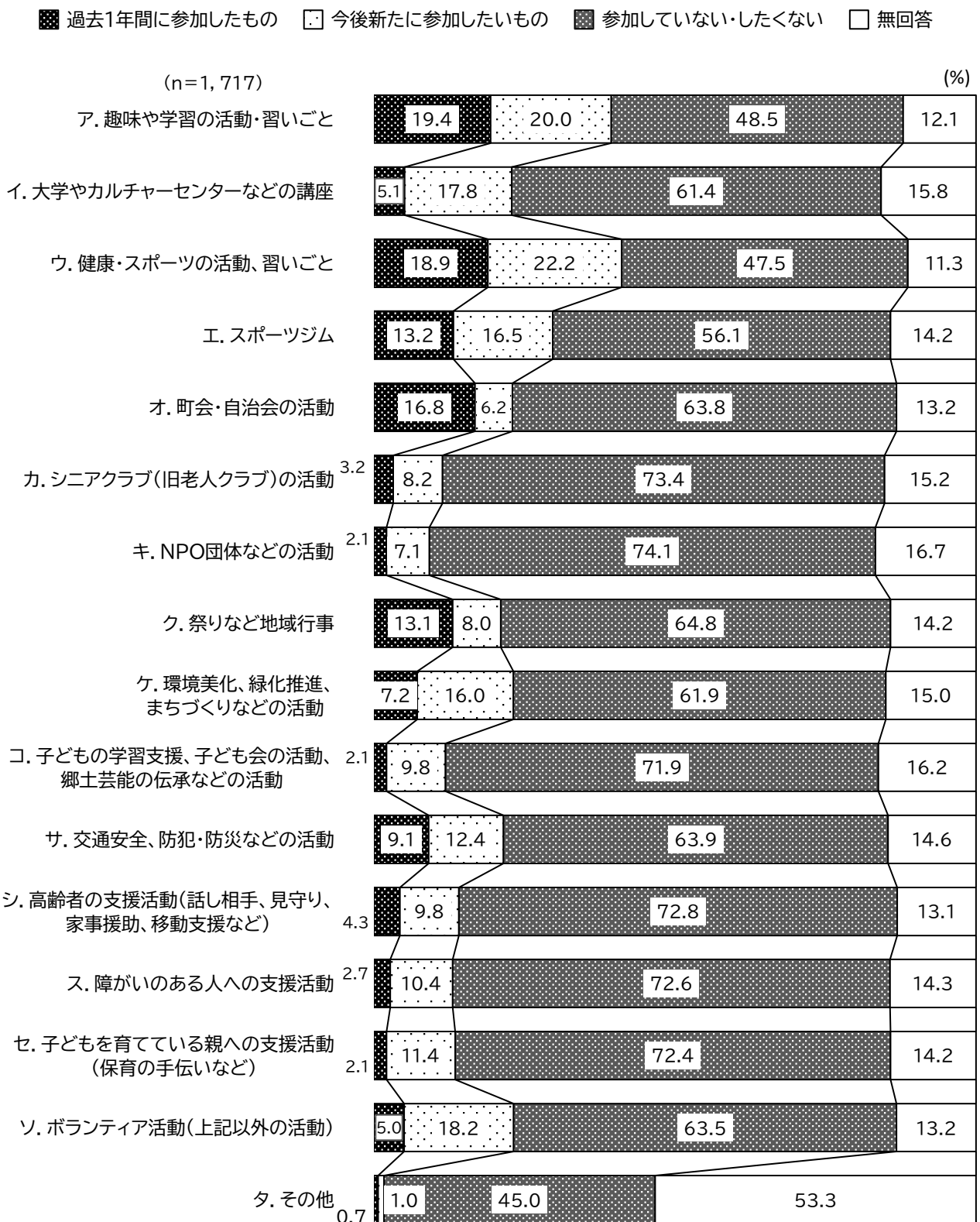
問39 あなたは過去1年間に、個人・団体で次のような活動に参加したことがありますか(手伝いも含む)。また、「今後新たに参加したいもの」はありますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

過去1年間に参加した活動及び今後新たに参加したい活動について、「過去1年間に参加したもの」では、「趣味や学習の活動・習いごと(語学・料理・音楽・囲碁・俳句など)」が19.4%で最も高く、次いで「健康・スポーツの活動、習いごと(体操・ゲートボール・ダンスなど)」が18.9%、「町会・自治会の活動」が16.8%の順となっている。

「今後新たに参加したいもの」では、「健康・スポーツの活動、習いごと」が22.2%で最も高く、次いで「趣味や学習の活動・習いごと」が20.0%、「ボランティア活動」が18.2%の順となっている。

なお、いずれかの選択肢に「過去1年間に参加したもの」と回答した人は831人(48.4%)、すべての選択肢に「参加していない・したくない」と回答した人は312人(18.2%)、それ以外の人は574人(33.4%)であった。

図表3-6-1 過去1年間に参加した活動・今後新たに参加したい活動



第3章 調査結果の詳細

①趣味や学習の活動・習いごと(語学・料理・音楽・囲碁・俳句など)

趣味や学習の活動・習いごとについては、「過去1年間に参加したもの」が19.4%、「今後新たに参加したいもの」が20.0%となっている。

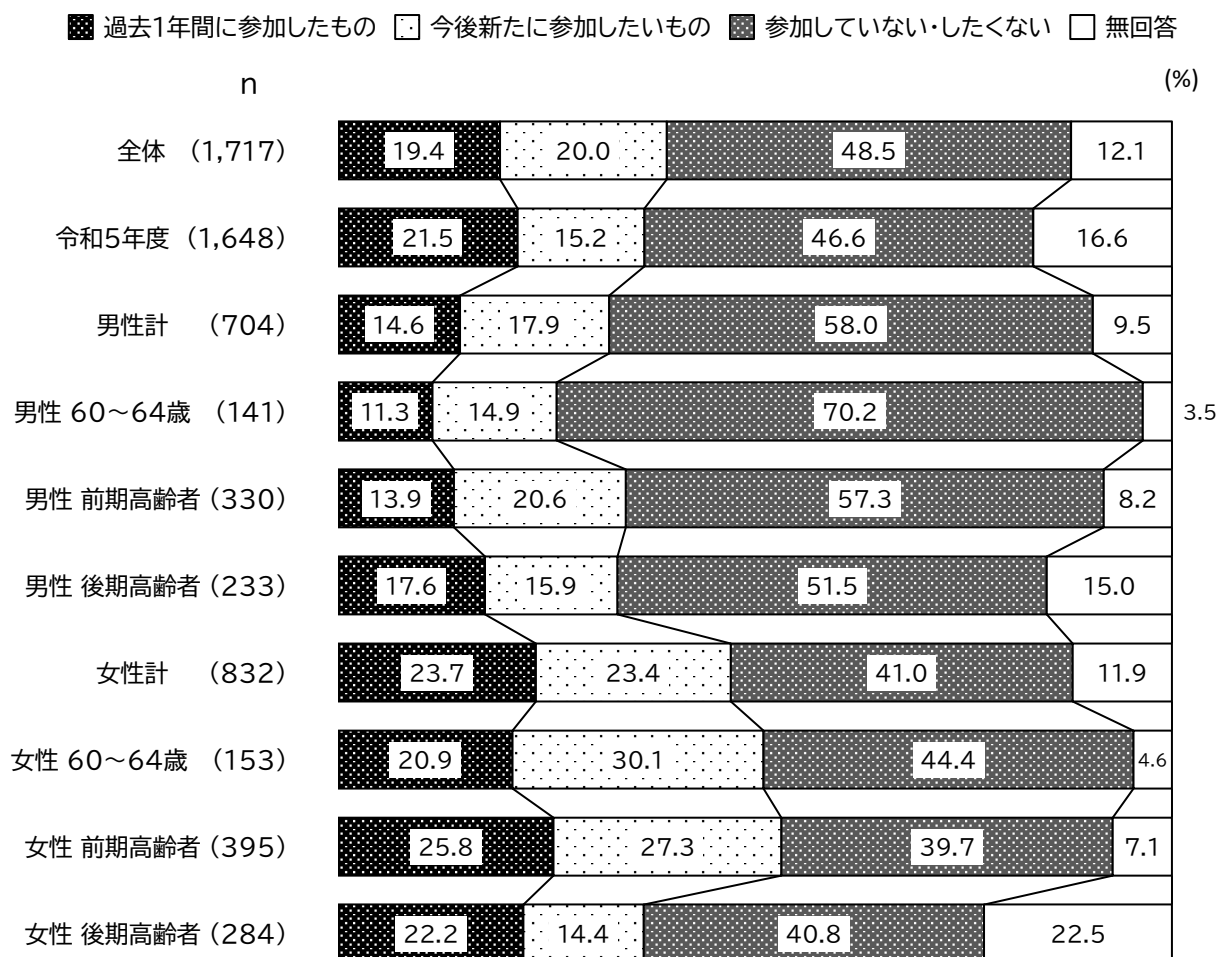
性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(58.0%)が高く、女性では男性よりも「過去1年間に参加したもの」(23.7%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「参加していない・したくない」(男性60～64歳70.2%・男性前期57.3%)が、女性60～64歳・女性前期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(女性60～64歳30.1%・女性前期27.3%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(15.9%)が、女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(40.8%)が全体の傾向よりも低くなっている。

また、「過去1年間に参加したもの」はすべての年代において男性よりも女性の方が高く、「参加していない・したくない」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。

前回調査と比較すると、「今後新たに参加したいもの」(前回15.2%・今回20.0%)が4.8ポイント上昇している。

図表3-6-2 趣味や学習の活動・習いごとへの参加状況・参加意向:性年代別



②大学やカルチャーセンターなどの講座

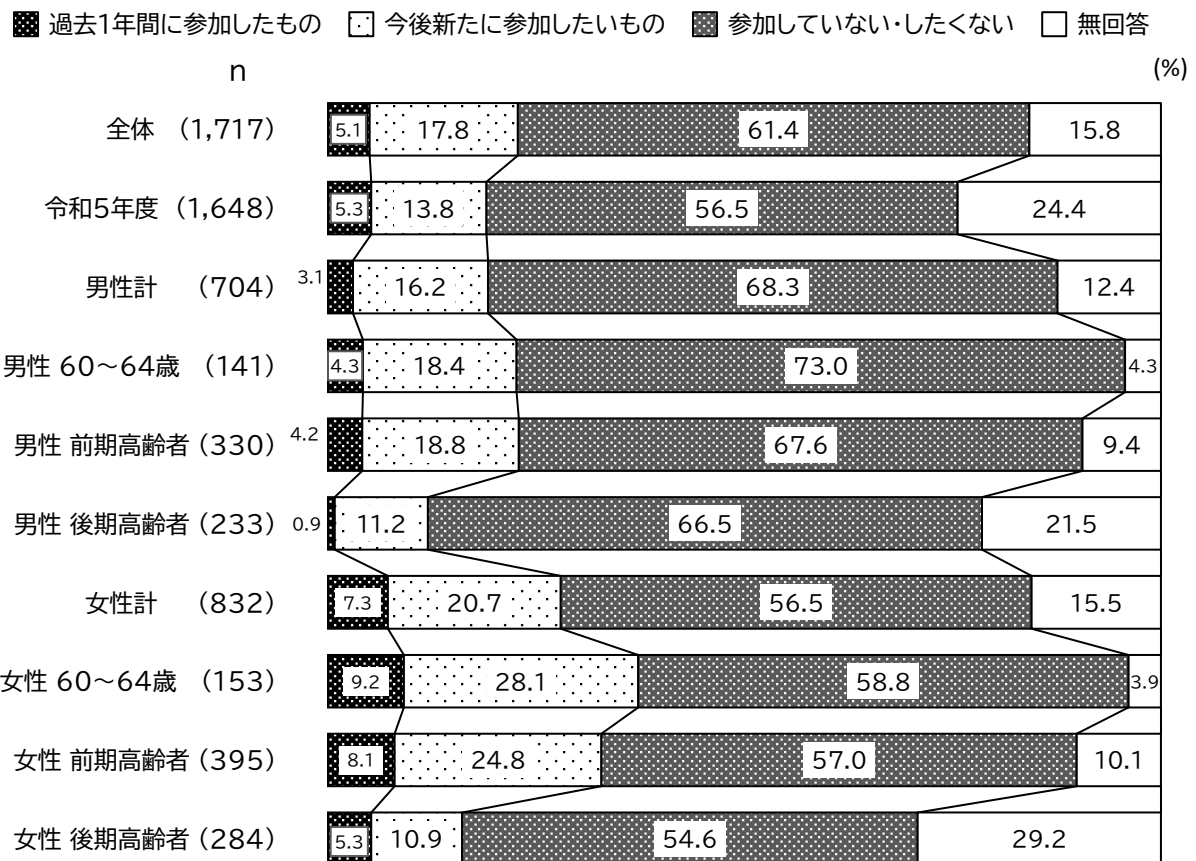
大学やカルチャーセンターなどの講座については、「過去1年間に参加したもの」が5.1%、「今後新たに参加したいもの」が17.8%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(68.3%)が高く、女性では男性よりも「過去1年間に参加したもの」(7.3%)、「今後新たに参加したいもの」(20.7%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「参加していない・したくない」(男性60～64歳73.0%・男性前期67.6%)が、女性60～64歳・女性前期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(女性60～64歳28.1%・女性前期高齢者24.8%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者・女性後期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(男性後期11.2%・女性後期10.9%)が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「今後新たに参加したいもの」(前回13.8%・今回17.8%)が4.0ポイント高く、「参加していない・したくない」(前回56.5%・今回61.4%)が4.9ポイント高くなっている。

図表3-6-3 大学やカルチャーセンターなどの講座への参加状況・参加意向:性年代別



③健康・スポーツの活動、習いごと(体操・ゲートボール・ダンスなど)

健康・スポーツの活動、習いごとについては、「過去1年間に参加したもの」が18.9%、「今後新たに参加したいもの」が22.2%となっている。

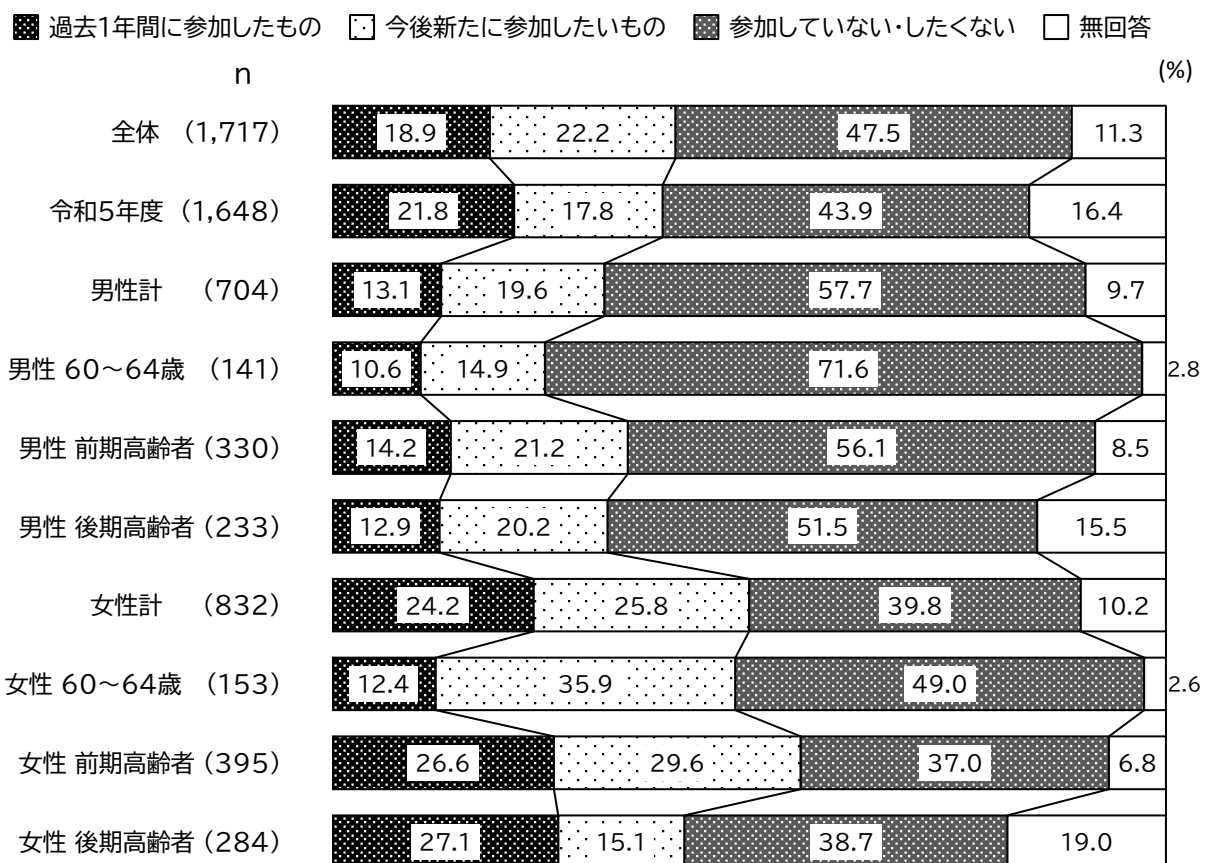
性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(57.7%)が高く、女性では男性よりも「過去1年間に参加したもの」(24.2%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「参加していない・したくない」(男性60～64歳71.6%・男性前期56.1%)が、女性60～64歳では「今後新たに参加したいもの」(35.9%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「過去1年間に参加したもの」(12.9%)が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(女性前期37.0%・女性後期38.7%)で全体の傾向よりも低くなっている。

また、「過去1年間に参加したもの」はすべての年代において男性よりも女性の方が高く、「参加していない・したくない」はすべての年代において女性よりも男性の方が高くなっている。「今後新たに参加したいもの」は女性では加齢に伴い低下している。

前回調査と比較すると、「過去1年間に参加したもの」(前回21.8%・今回18.9%)が2.9ポイント低く、「今後新たに参加したいもの」(前回17.8%・今回22.2%)が4.4ポイント高くなっている。

図表3-6-4 健康・スポーツの活動、習いごとへの参加状況・参加意向:性年代別



④スポーツジム

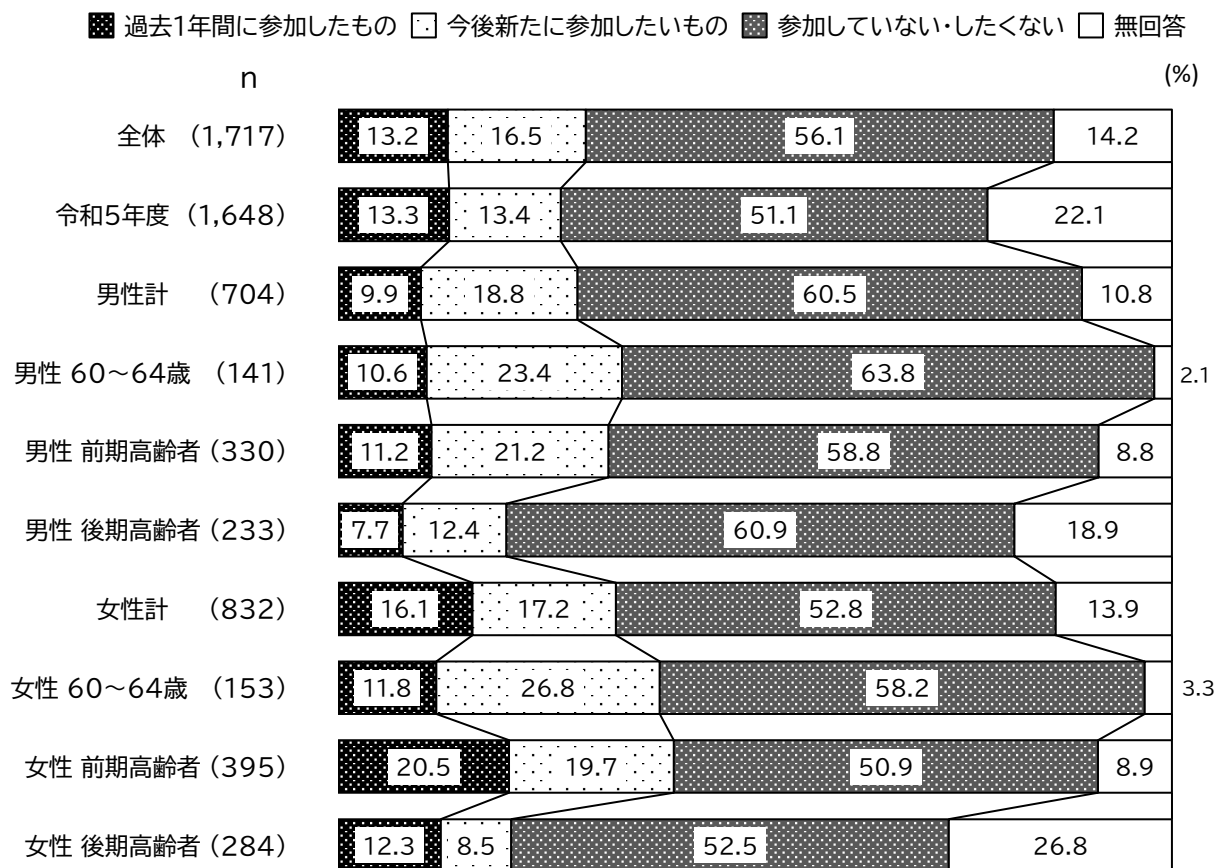
スポーツジムについては、「過去1年間に参加したもの」が13.2%、「今後新たに参加したいもの」が16.5%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(60.5%)が高く、女性では男性よりも「過去1年間に参加したもの」(16.1%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳で「参加していない・したくない」(63.8%)が、男性前期高齢者・女性60～64歳では「今後新たに参加したいもの」(男性前期21.2%・女性60～64歳26.8%)が、女性前期高齢者では「過去1年間に参加したもの」(20.5%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「過去1年間に参加したもの」(7.7%)が、女性後期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(8.5%)が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「参加していない・したくない」(前回51.1%・今回56.1%)が5.0ポイント高くなっている。

図表3-6-5 スポーツジムへの参加状況・参加意向:性年代別



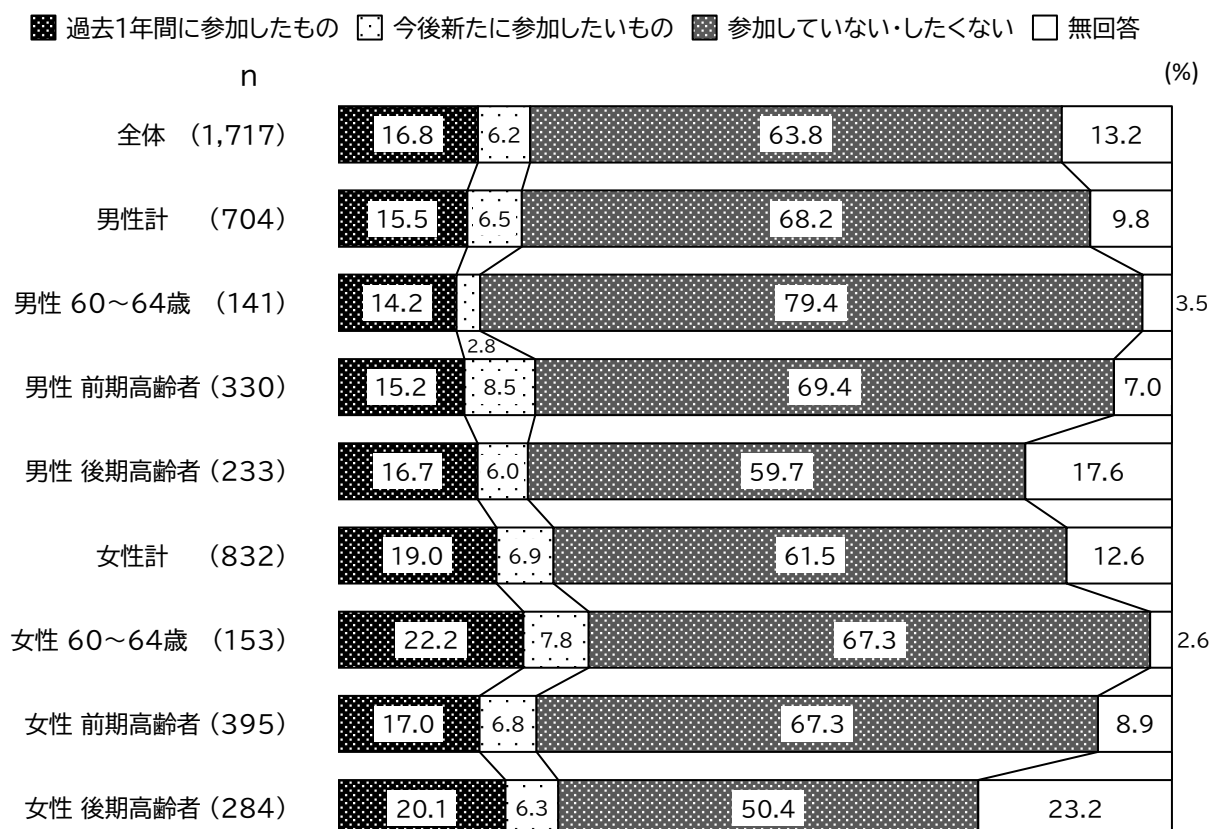
⑤町会・自治会の活動

町会・自治会の活動については、「過去1年間に参加したもの」が16.8%、「今後新たに参加したいもの」が6.2%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(68.2%)が高く、女性では男性よりも「過去1年間に参加したもの」(19.0%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳では「参加していない・したくない」(79.4%)が、女性60～64歳では「過去1年間に参加したもの」(22.2%)が、全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(50.4%)が全体の傾向よりも低くなっている。その他の性年代別では、あまり差はみられない。

図表3-6-6 町会・自治会の活動への参加状況・参加意向:性年代別



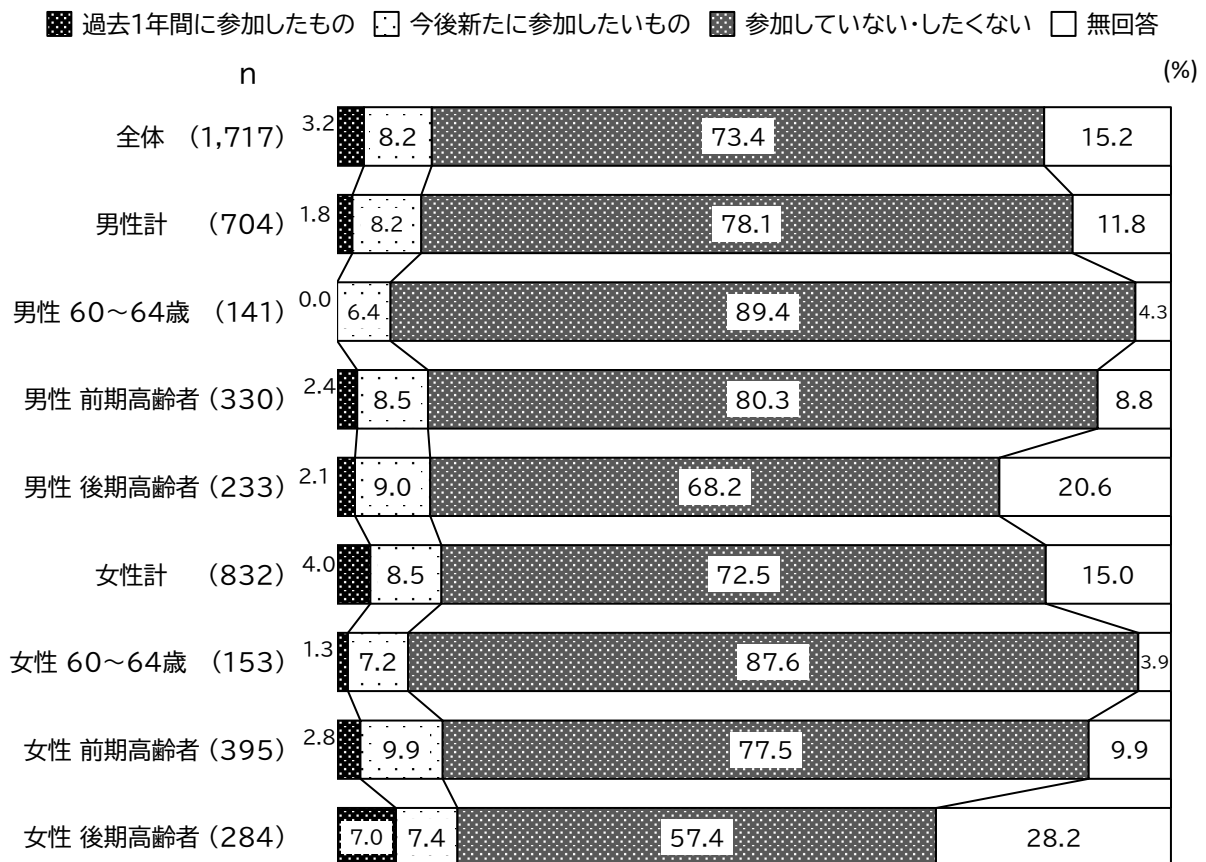
⑥シニアクラブ(旧老人クラブ)の活動

シニアクラブ(旧老人クラブ)の活動については、「過去1年間に参加したもの」が3.2%、「今後新たに参加したいもの」が8.2%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(78.1%)が高く、女性では男性よりも「過去1年間に参加したもの」(4.0%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60~64歳・男性前期高齢者・女性60~64歳・女性前期高齢者では「参加していない・したくない」(男性60~64歳89.4%・男性前期80.3%・女性60~64歳87.6%・女性前期77.5%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者・女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(男性後期68.2%・女性後期57.4%)が全体の傾向よりも低くなっている。女性後期高齢者では「過去1年間に参加したもの」(7.0%)が他の性年代別と比べて最も高い。

図表3-6-7 シニアクラブ(旧老人クラブ)への参加状況・参加意向:性年代別



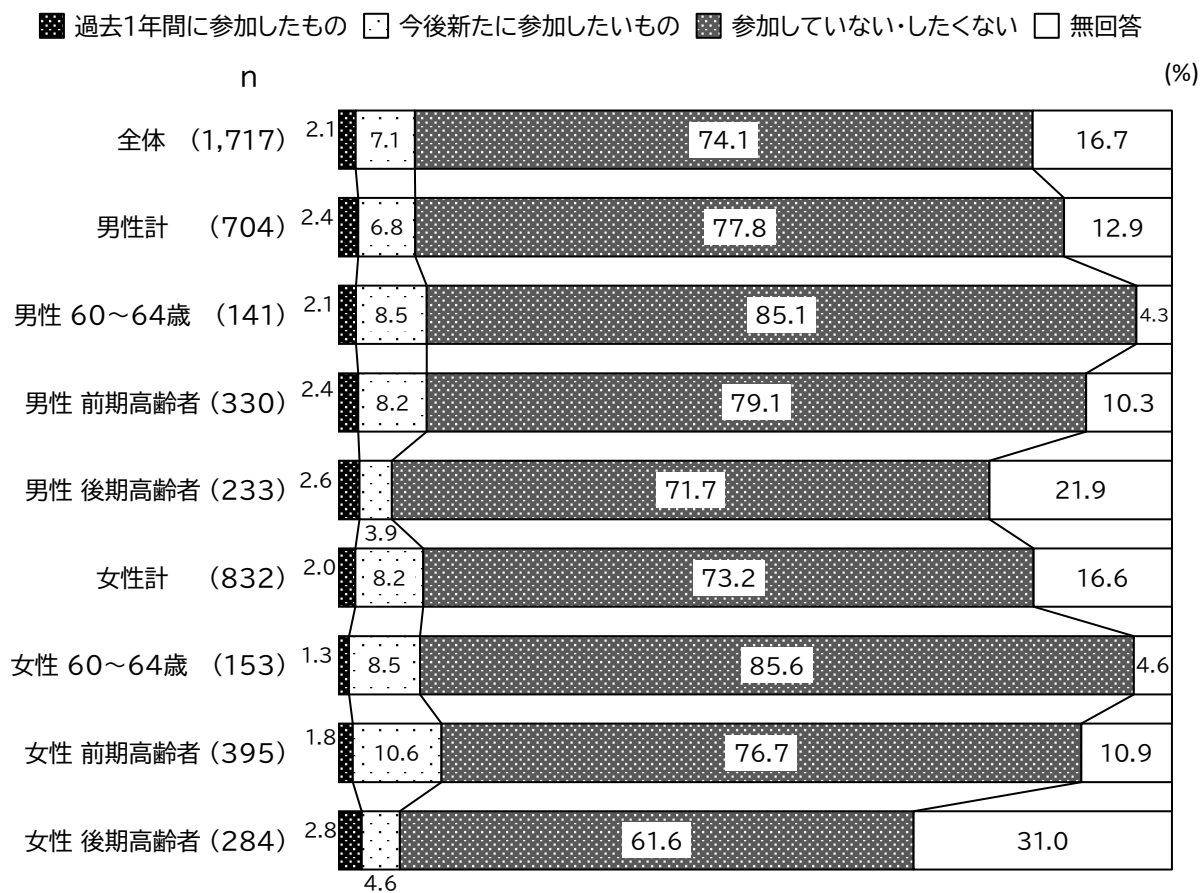
⑦NPO団体などの活動

NPO団体などの活動については、「過去1年間に参加したもの」が2.1%、「今後新たに参加したいもの」が7.1%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(77.8%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・女性60～64歳では「参加していない・したくない」(男性60～64歳85.1%・女性60～64歳85.6%)が、女性前期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(10.6%)が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(61.6%)が全体の傾向よりも低くなっている。

図表3-6-8 NPO団体などの活動への参加状況・参加意向:性年代別



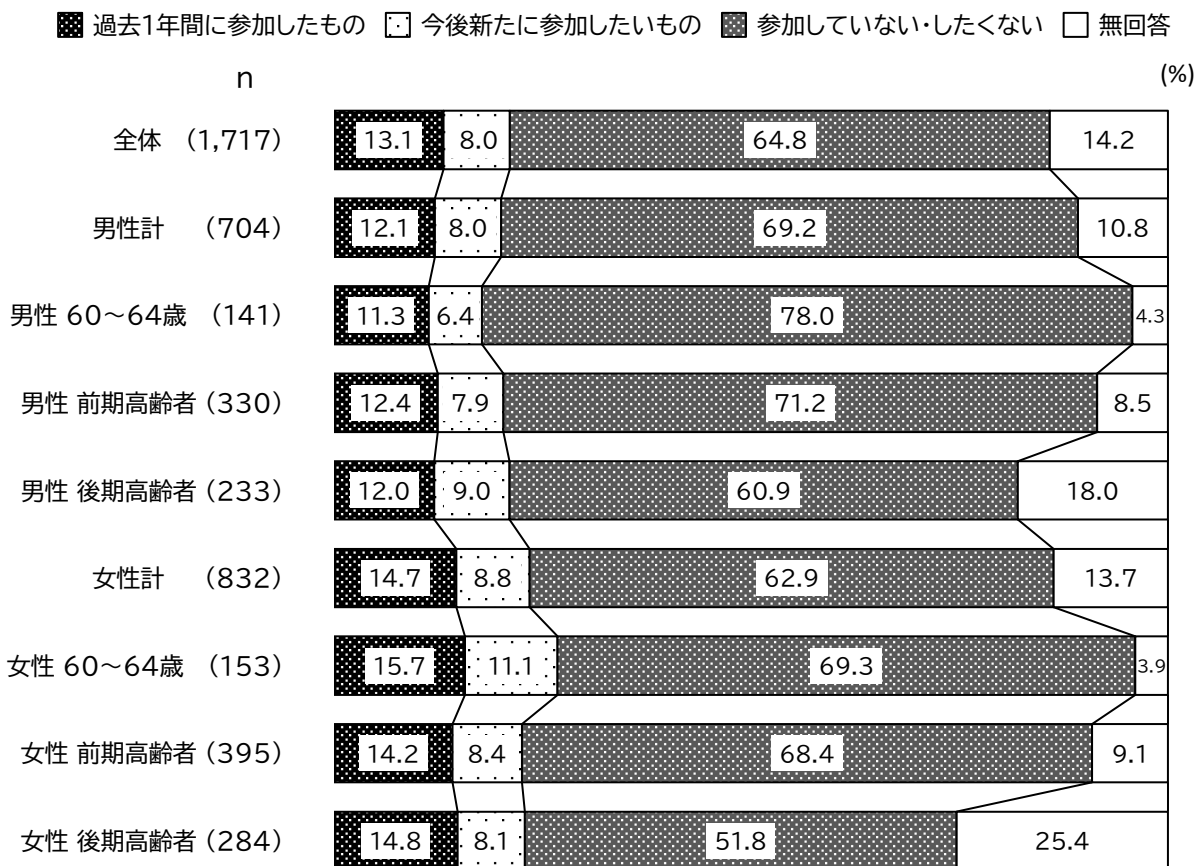
⑧祭りなど地域行事

祭りなど地域行事については、「過去1年間に参加したもの」が13.1%、「今後新たに参加したいもの」が8.0%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(69.2%)が高く、女性では男性よりも「過去1年間に参加したもの」(14.7%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳で「参加していない・したくない」(78.0%)が、女性60～64歳で「過去1年間に参加したもの」(15.7%)が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(51.8%)が全体の傾向よりも低くなっている。その他の性年代別では、あまり差はみられない。

図表3-6-9 祭りなど地域行事への参加状況・参加意向:性年代別



⑨環境美化、緑化推進、まちづくりなどの活動

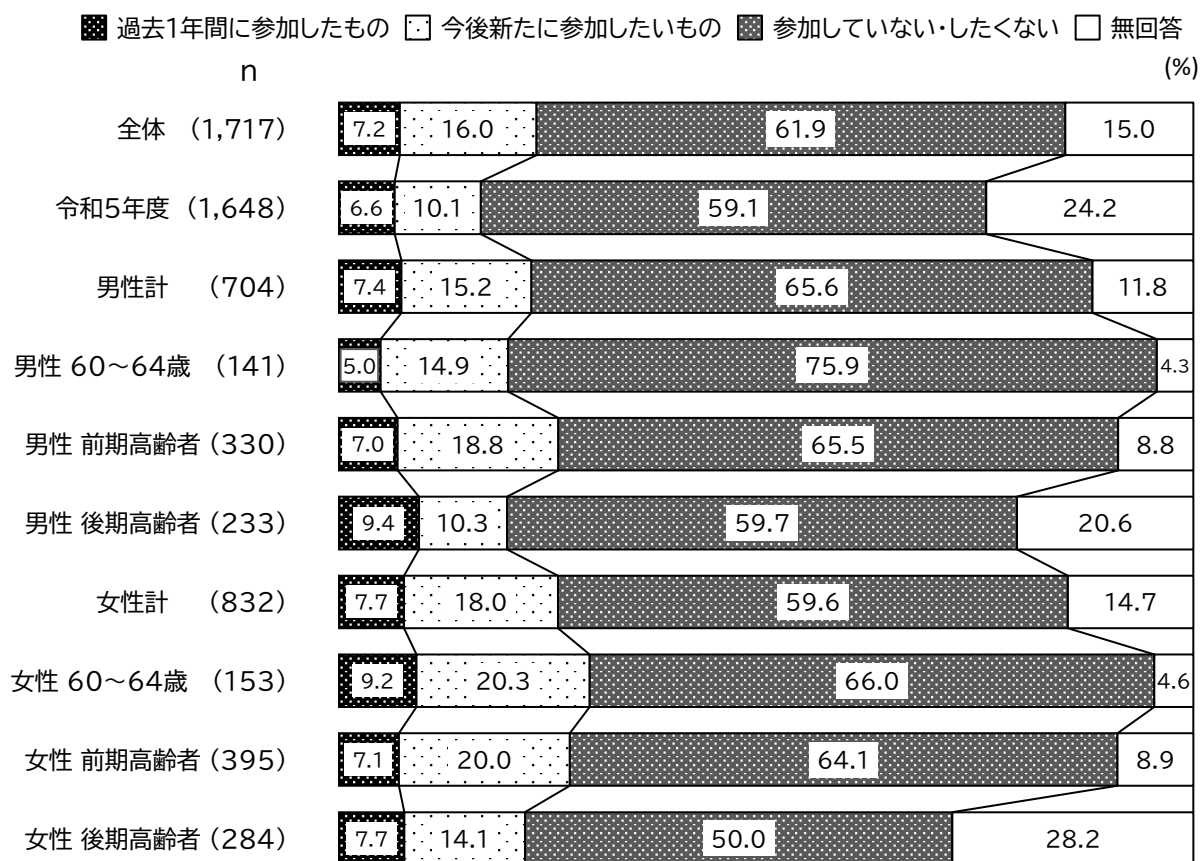
環境美化、緑化推進、まちづくりなどの活動については、「過去1年間に参加したもの」が7.2%、「今後新たに参加したいもの」が16.0%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(65.6%)が高く、女性では男性よりも「今後新たに参加したいもの」(18.0%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「参加していない・したくない」(男性60～64歳75.9%・男性前期65.5%)が、女性60～64歳・女性前期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(女性60～64歳20.3%・女性前期20.0%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者・女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(男性後期59.7%・女性後期50.0%)で全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「今後新たに参加したいもの」(前回10.1%・今回16.0%)が5.9ポイント高くなっている。

図表3-6-10 環境美化、緑化推進、まちづくりなどの活動への参加状況・参加意向：性年代別



⑩子どもの学習支援、子ども会の活動、郷土芸能の伝承などの活動

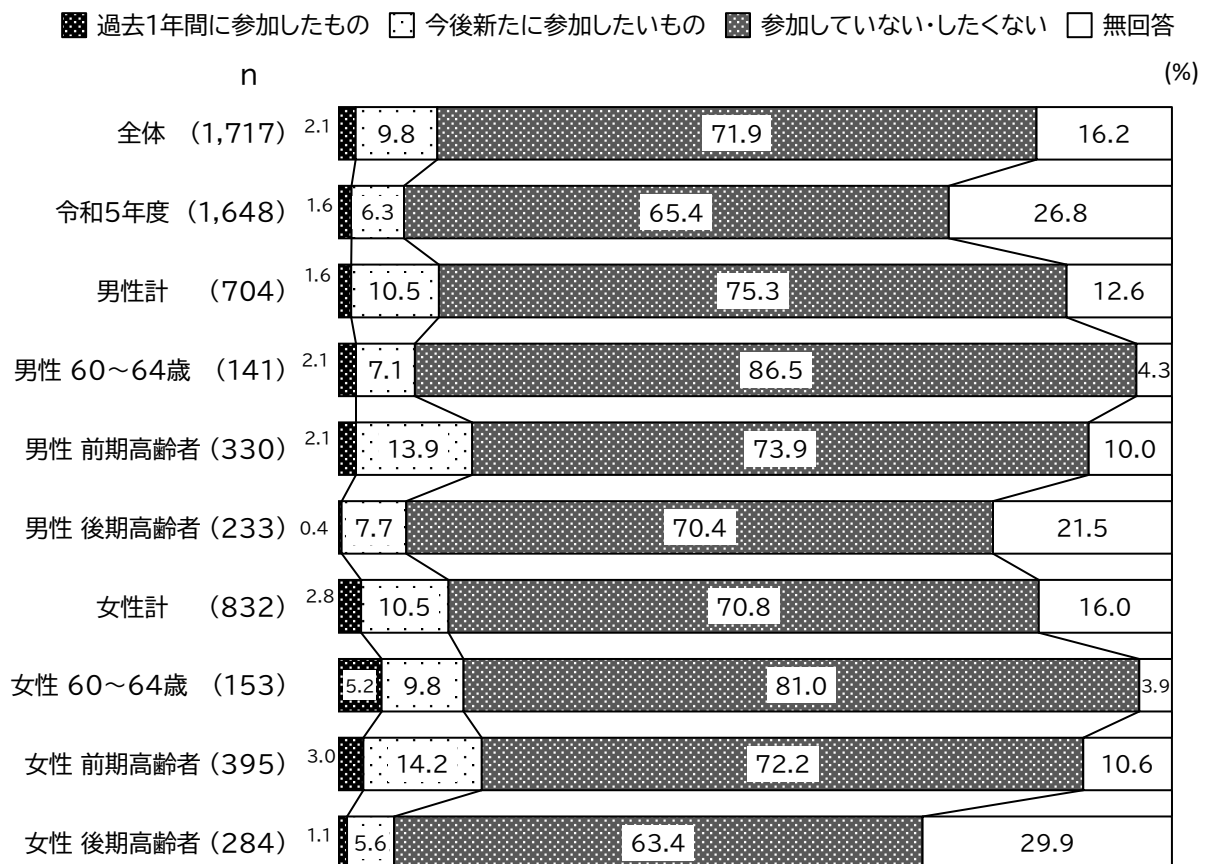
子どもの学習支援、子ども会の活動、郷土芸能の伝承などの活動については、「過去1年間に参加したもの」が2.1%、「今後新たに参加したいもの」が9.8%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(75.3%)が高く、女性では男性よりも「過去1年間に参加したもの」(2.8%)が高くなっている。

また、性年代別で見ると、「参加していない・したくない」は、男性60～64歳(86.5%)・女性60～64歳(81.0%)で、「今後新たに参加したいもの」は、女性前期高齢者(14.2%)・男性前期高齢者(13.9%)で、全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(7.7%)が、女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(63.4%)が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「今後新たに参加したいもの」(前回6.3%・今回9.8%)が3.5ポイント、「参加していない・したくない」(前回65.4%・今回71.9%)が6.5ポイント高くなっている。

図表3-6-11 子どもの学習支援、子ども会の活動、郷土芸能の伝承などの活動への参加状況・参加意向：性年代別



①交通安全、防犯・防災などの活動

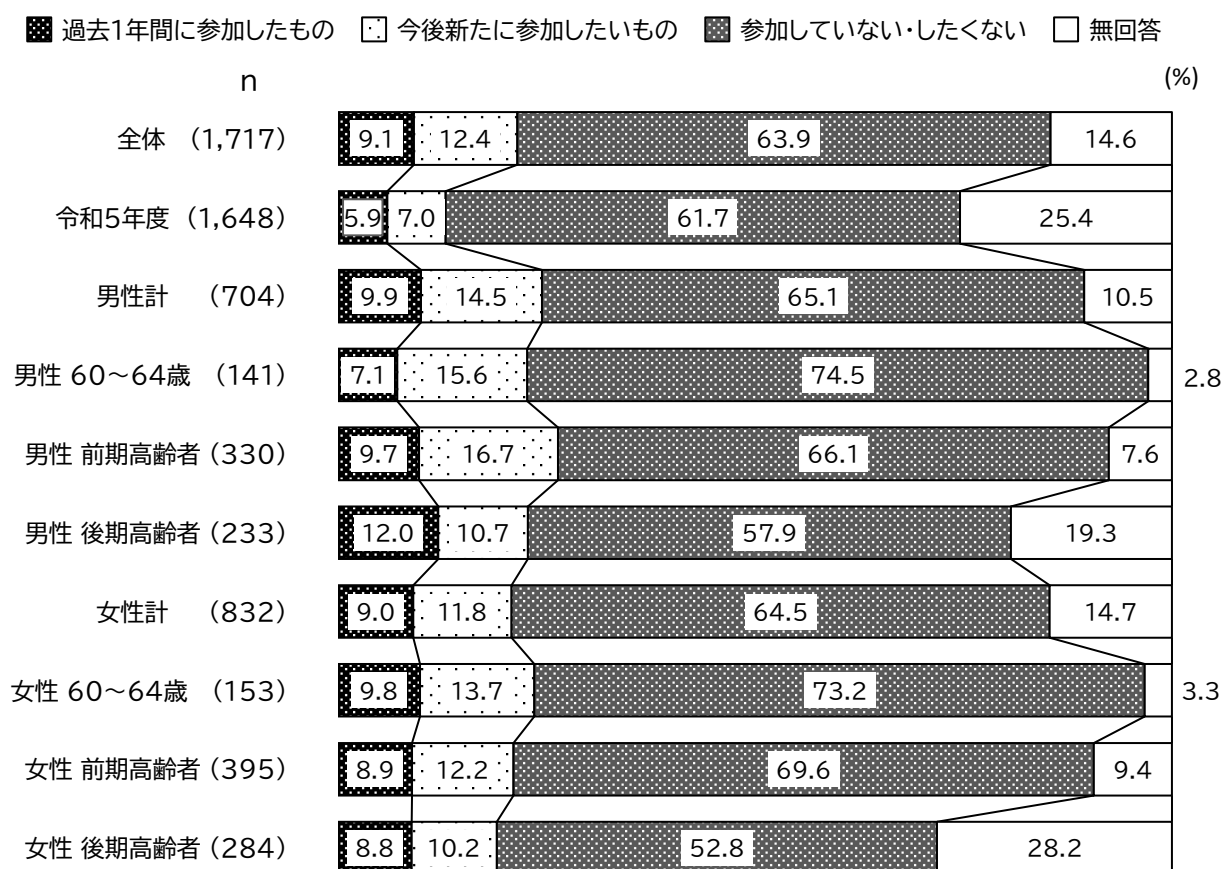
交通安全、防犯・防災などの活動については、「過去1年間に参加したもの」が9.1%、「今後新たに参加したいもの」が12.4%となっている。

性別で見ると、男性では「今後新たに参加したいもの」(14.5%)がやや高いものの、大きな違いはみられない。

性年代別で見ると、男性60～64歳・女性60～64歳では「参加していない・したくない」(男性60～64歳74.5%・女性60～64歳73.2%)が、男性前期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(16.7%)が全体の傾向よりも高く、女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(52.8%)が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「過去1年間に参加したもの」(前回5.9%・今回9.1%)が3.2ポイント、「今後新たに参加したいもの」(前回7.0%・今回12.4%)が5.4ポイント高くなっている。

図表3-6-12 交通安全、防犯・防災などの活動への参加状況・参加意向：性年代別



⑫高齢者の支援活動(話し相手、見守り、家事援助、移動支援など)

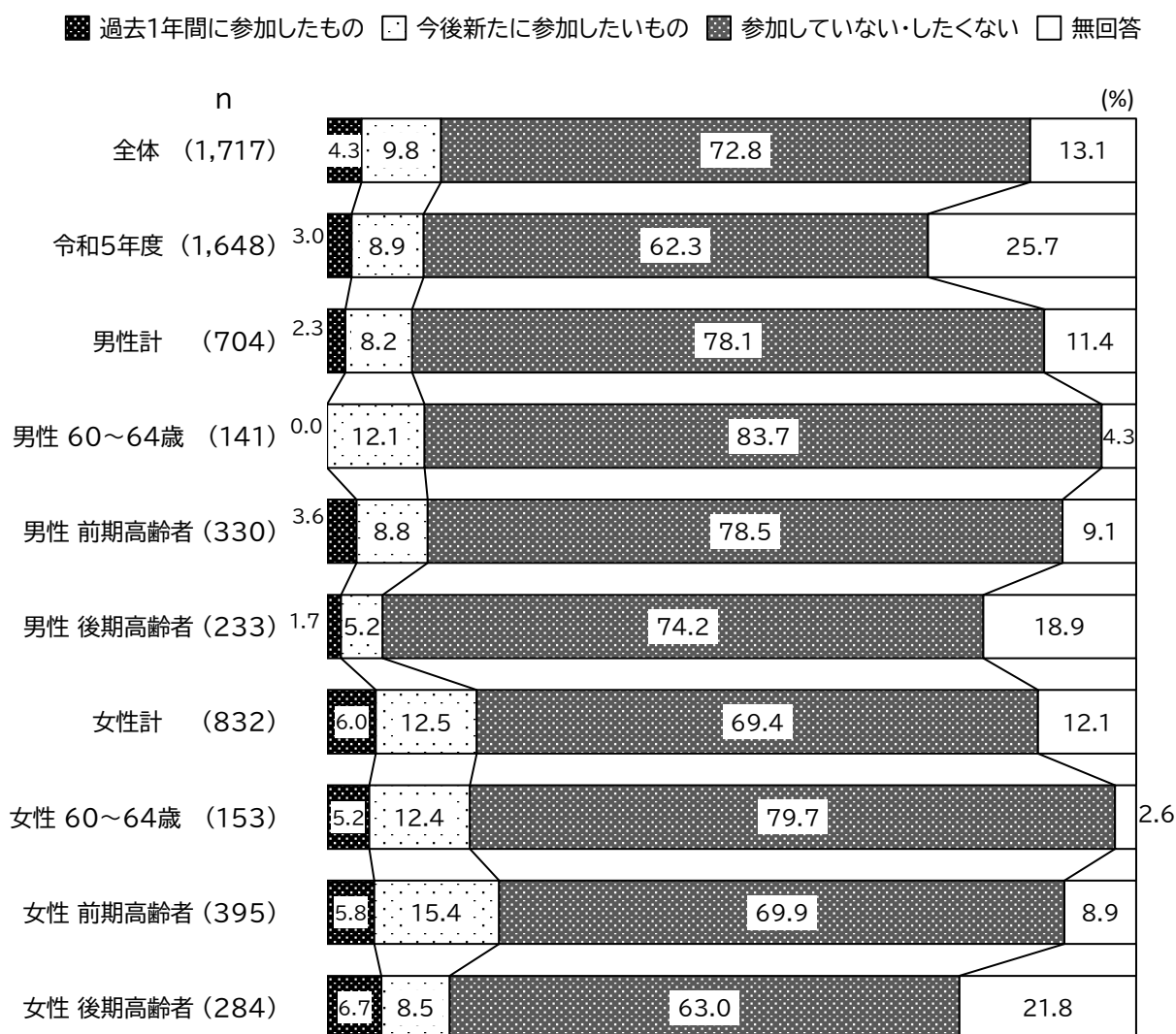
高齢者の支援活動については、「過去1年間に参加したもの」が4.3%、「今後新たに参加したいもの」が9.8%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(78.1%)が高く、女性では男性よりも「過去1年間に参加したもの」(6.0%)、「今後新たに参加したいもの」(12.5%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では「参加していない・したくない」(男性60～64歳83.7%・男性前期78.5%・女性60～64歳79.7%)が、女性前期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(15.4%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(5.2%)が、女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(63.0%)が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「参加していない・したくない」(前回62.3%・今回72.8%)が10.5ポイント高くなっている。

図表3-6-13 高齢者の支援活動への参加状況・参加意向:性年代別



⑬障がいのある人への支援活動

障がいのある人への支援活動については、「過去1年間に参加したもの」が2.7%、「今後新たに参加したいもの」が10.4%となっている。

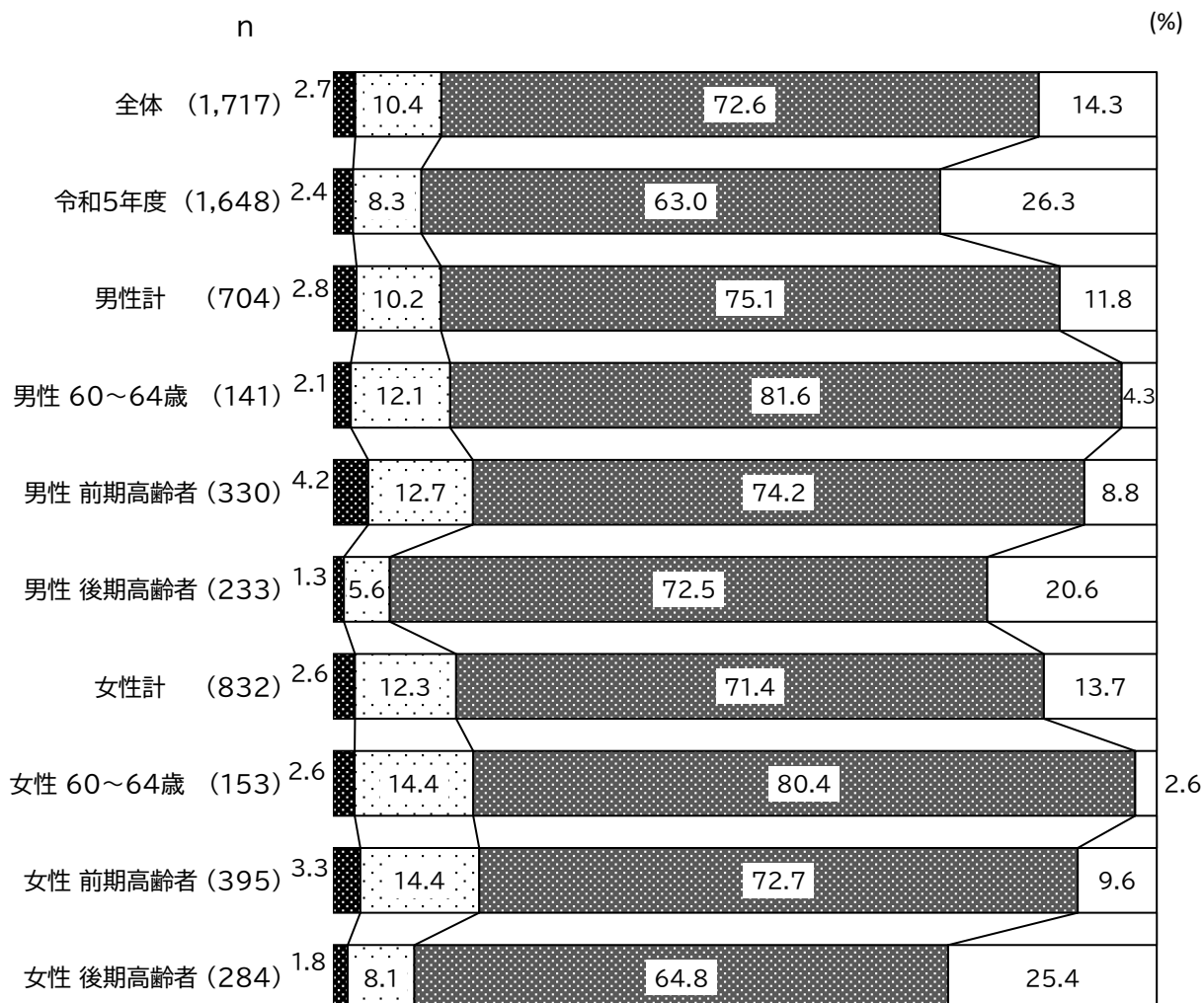
性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(75.1%)が高く、女性では男性よりも「今後新たに参加したいもの」(12.3%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・女性60～64歳では「参加していない・したくない」(男性60～64歳81.6%・女性60～64歳80.4%)が、男性前期高齢者・女性前期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(男性前期12.7%・女性前期14.4%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(5.6%)が、女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(64.8%)が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、「参加していない・したくない」(前回63.0%・今回72.6%)が9.6ポイント高くなっている。

図表3-6-14 障がいのある人への支援活動への参加状況・参加意向:性年代別

■ 過去1年間に参加したもの □ 今後新たに参加したいもの ■ 参加していない・したくない □ 無回答



⑭子どもを育てている親への支援活動(保育の手伝いなど)

子どもを育てている親への支援活動については、「過去1年間に参加したもの」が2.1%、「今後新たに参加したいもの」が11.4%となっている。

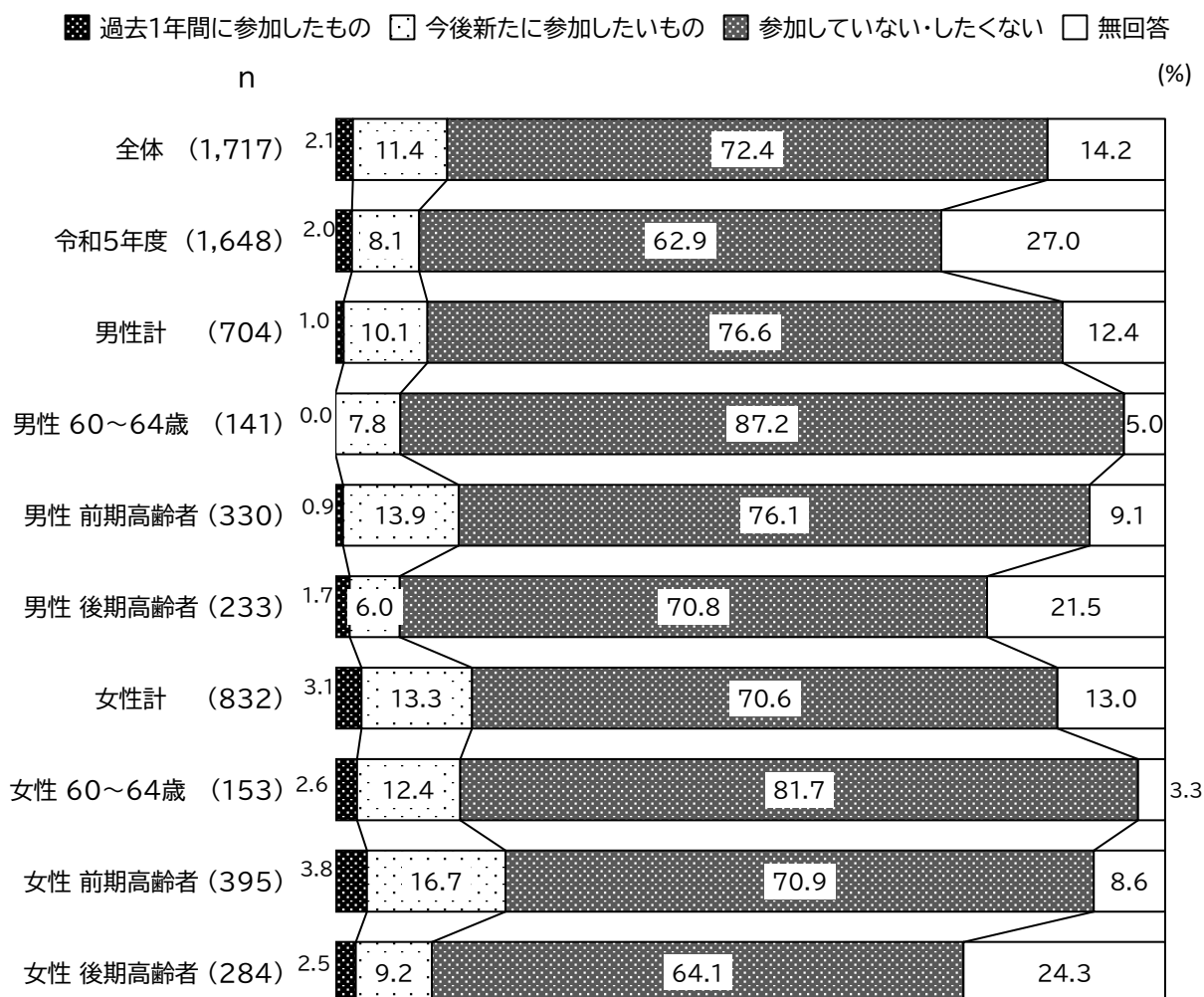
性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(76.6%)が高く、女性では男性よりも「今後新たに参加したいもの」(13.3%)が高くなっている。

また、性年代別で見ると、男性60～64歳・女性60～64歳では「参加していない・したくない」(男性60～64歳87.2%・女性60～64歳81.7%)が、男性前期高齢者・女性前期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(男性前期13.9%・女性前期16.7%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(6.0%)が、女性後期高齢者では「参加していない・したくない」(64.1%)が全体の傾向よりも低くなっている。

また、男女ともに年代が高くなるほど「参加していない・したくない」が低くなる傾向となっている。

前回調査と比較すると、「参加していない・したくない」(前回62.9%・今回72.4%)が9.5ポイント高くなっている。

図表3-6-15 子どもを育てている親への支援活動への参加状況・参加意向:性年代別



⑮ ボランティア活動

ボランティア活動については、「過去1年間に参加したもの」が5.0%、「今後新たに参加したいもの」が18.2%となっている。

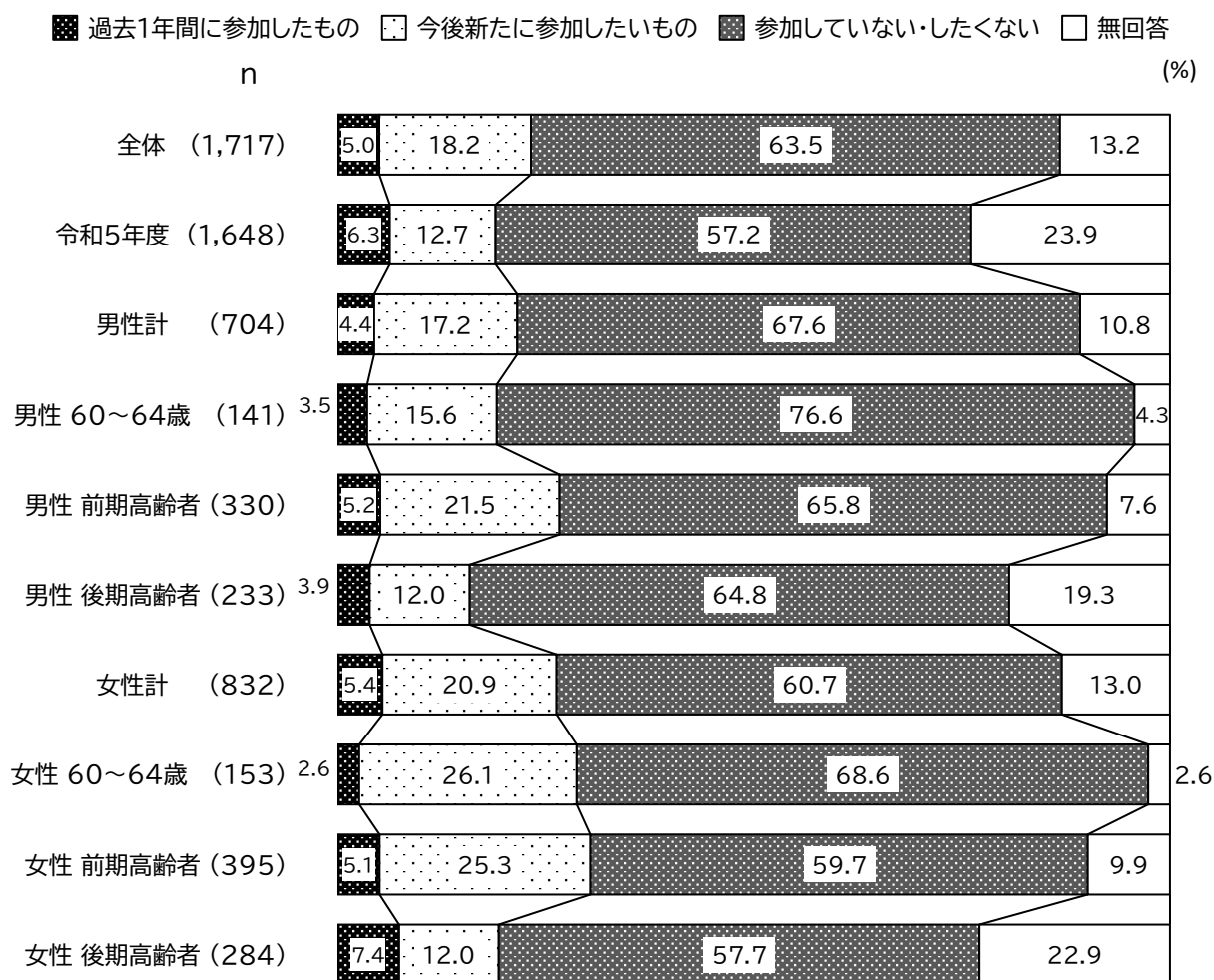
性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(67.6%)が高く、女性では男性よりも「今後新たに参加したいもの」(20.9%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳では「参加していない・したくない」(76.6%)が、男性前期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(21.5%)、「参加していない・したくない」(65.8%)が、女性60～64歳・女性前期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(女性60～64歳26.1%・女性前期25.3%)が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者・女性後期高齢者では「今後新たに参加したいもの」(男性後期12.0%・女性後期12.0%)で全体の傾向よりも低くなっている。

「今後新たに参加したいもの」は女性では年代が高くなるほど低くなっている。

前回調査と比較すると、「参加していない・したくない」(前回57.2%・今回63.5%)が6.3ポイント高くなっている。

図表3-6-16 ボランティア活動への参加状況・参加意向：性年代別



⑩その他の活動

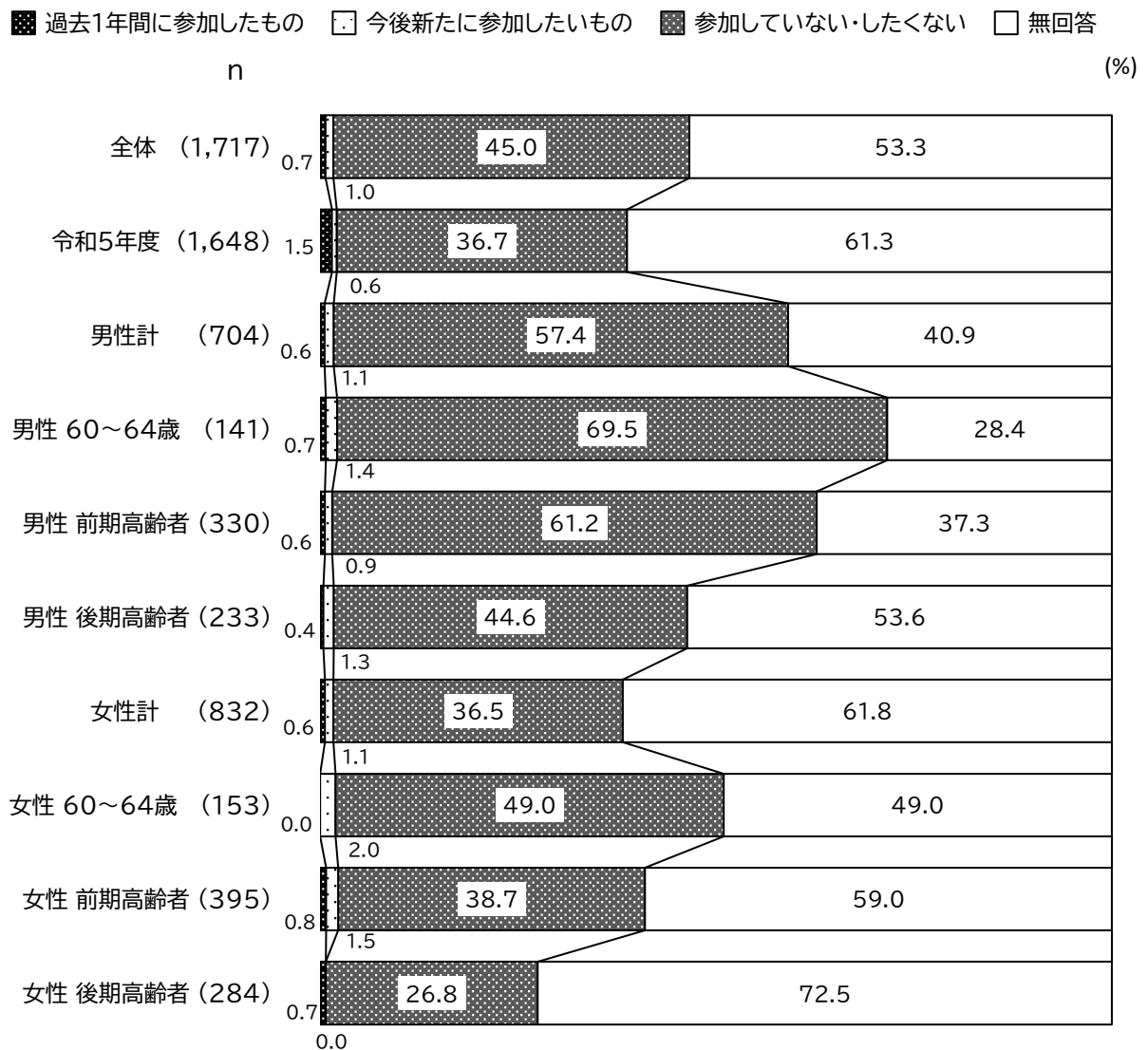
その他の活動については、「過去1年間に参加したもの」が0.7%、「今後新たに参加したいもの」が1.0%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「参加していない・したくない」(57.4%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者では「参加していない・したくない」(男性60～64歳69.5%・男性前期61.2%)が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、「参加していない・したくない」(前回36.7%・今回45.0%)が8.3ポイント高くなっている。

図表3-6-17 その他の活動への参加状況・参加意向:性年代別



(2) 過去1年間に参加した活動を始めたきっかけ

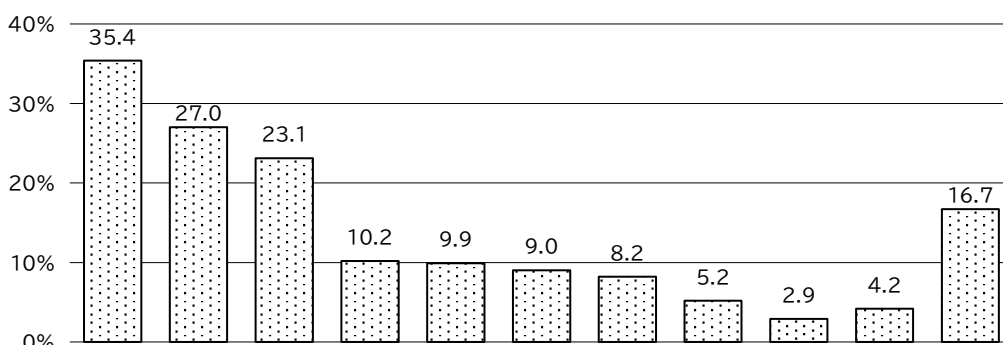
【問39で1つ以上「1」とお答えの方におうかがいします。】

問40 それらの活動を始めたきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

過去1年間に参加した活動を始めたきっかけについては、「個人の意思（自分がやりたいことや、問題意識・解決したい課題がある）」が35.4%と最も高く、次いで「友人・知人の勧め」が27.0%、「町会・自治会からの誘い」が23.1%の順となっている。

性別で見ると、大きな違いはみられない。性年代別で見ると、女性前期高齢者で「個人の意思（自分がやりたいことや、問題意識・解決したい課題がある）」（42.0%）が全体傾向より高く、男性60～64歳で「友人・知人の勧め」（16.7%）が低くなっている。

図表3-6-18 過去1年間に参加した活動を始めたきっかけ:性年代別



	n	個人の意思 (自分がやりたいことや、問題意識・解決したい課題がある)	友人・知人の勧め	町会・自治会からの誘い	町会・自治会、シニアクラブ (旧老人クラブ)、活動団体からの情報 (広報紙、ホームページその他)	区からの情報 (「広報いたばし」、区ホームページその他)	家族の勧め	活動団体からの呼びかけ	シニアクラブ (旧老人クラブ) からの誘い	その他	特にない	無回答
全体	831	294 35.4%	224 27.0%	192 23.1%	85 10.2%	82 9.9%	75 9.0%	68 8.2%	43 5.2%	24 2.9%	35 4.2%	139 16.7%
男性計	291	36.8%	23.7%	26.1%	9.6%	7.2%	11.3%	11.7%	3.1%	3.4%	5.8%	15.5%
男性 60～64歳	54	37.0%	16.7%	22.2%	1.9%	7.4%	3.7%	13.0%	0.0%	3.7%	13.0%	16.7%
男性 前期高齢者	138	40.6%	23.9%	26.1%	7.2%	5.8%	15.2%	13.0%	5.1%	3.6%	5.1%	11.6%
男性 後期高齢者	99	31.3%	27.3%	28.3%	17.2%	9.1%	10.1%	9.1%	2.0%	3.0%	3.0%	20.2%
女性計	460	36.3%	28.3%	22.0%	11.1%	11.5%	7.0%	6.7%	5.7%	2.8%	3.3%	17.6%
女性 60～64歳	77	35.1%	22.1%	31.2%	9.1%	10.4%	6.5%	7.8%	1.3%	2.6%	6.5%	9.1%
女性 前期高齢者	219	42.0%	30.1%	19.6%	7.8%	13.7%	8.2%	5.0%	3.7%	2.7%	4.1%	16.4%
女性 後期高齢者	164	29.3%	28.7%	20.7%	16.5%	9.1%	5.5%	8.5%	10.4%	3.0%	0.6%	23.2%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(3)活動に参加していない理由・活動に参加するきっかけになると思うこと

①活動に参加していない理由

【問39でア～タのすべてに「3」とお答えの方におうかがいします。】

問41 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

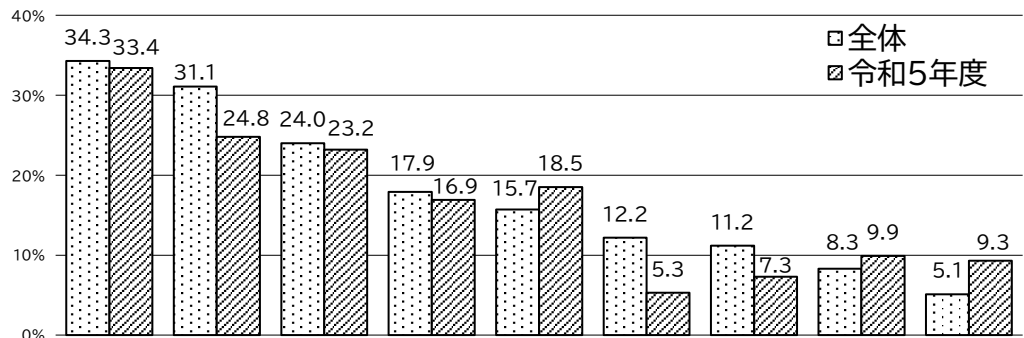
活動に参加していない理由は、「あまり関わりを持ちたくない」が34.3%と最も高く、次いで「仕事や家事で忙しく時間がない」が31.1%、「やりたい活動がない」が24.0%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「仕事や家事で忙しく時間がない」(35.0%)、「あまり関わりを持ちたくない」(37.4%)が高く、女性では男性よりも「家族の介護や世話がある」(19.6%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・男性前期高齢者・女性60～64歳では、「仕事や家事で忙しく、時間がない」(男性60～64歳46.5%・男性前期40.2%・女性60～64歳38.5%)が、男性後期高齢者・女性前期高齢者では「あまり関わりを持ちたくない」(男性後期39.5%・女性前期34.9%)が、女性後期高齢者では「自分や家族が健康ではない」(30.2%)が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、「仕事や家事で忙しく時間がない」(前回24.8%・今回31.1%)が6.3ポイント高くなっている。

図表3-6-19 活動に参加していない理由:性年代別



	n	あまり関わりを持ちたくない	仕事や家事で忙しく時間がない	やりたい活動がない	自分や家族が健康ではない	何をしたいのかわからない	家族の介護や世話がある	気の合う人がいない	その他	無回答
全体	312	107 34.3%	97 31.1%	75 24.0%	56 17.9%	49 15.7%	38 12.2%	35 11.2%	26 8.3%	16 5.1%
令和5年度	302	33.4%	24.8%	23.2%	16.9%	18.5%	5.3%	7.3%	9.9%	9.3%
男性計	163	37.4%	35.0%	26.4%	16.6%	18.4%	8.0%	9.8%	8.0%	4.3%
男性 60～64歳	43	32.6%	46.5%	25.6%	18.6%	18.6%	14.0%	16.3%	4.7%	0.0%
男性 前期高齢者	82	39.0%	40.2%	30.5%	13.4%	19.5%	6.1%	8.5%	7.3%	4.9%
男性 後期高齢者	38	39.5%	10.5%	18.4%	21.1%	15.8%	5.3%	5.3%	13.2%	7.9%
女性計	112	30.4%	27.7%	23.2%	21.4%	13.4%	19.6%	14.3%	10.7%	3.6%
女性 60～64歳	26	30.8%	38.5%	26.9%	15.4%	3.8%	34.6%	11.5%	7.7%	0.0%
女性 前期高齢者	43	34.9%	32.6%	23.3%	16.3%	16.3%	20.9%	16.3%	11.6%	7.0%
女性 後期高齢者	43	25.6%	16.3%	20.9%	30.2%	16.3%	9.3%	14.0%	11.6%	2.3%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

②活動に参加するきっかけになると思うこと

【問39でア～タのすべてに「3」とお答えの方におうかがいします。】

問42 参加するきっかけになると思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

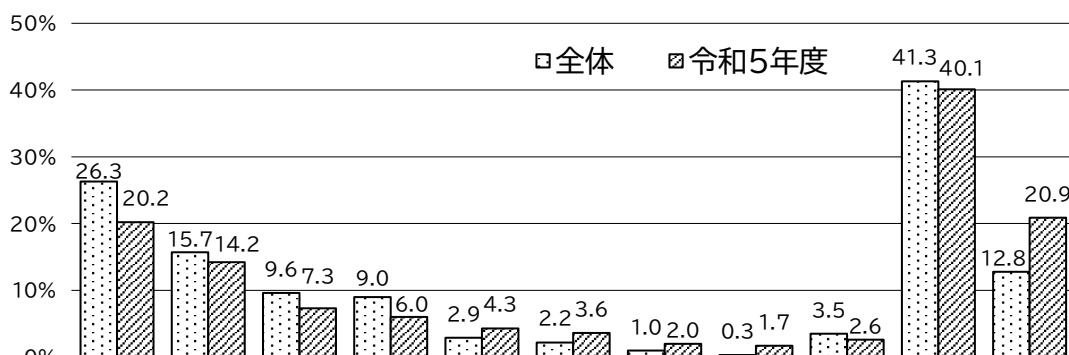
活動に参加するきっかけになると思うことについては、「きっかけになりそうなものはない」が41.3%と最も高く、次いで「自分がやりたいことをみつけること」が26.3%、「友人・知人の勧め」が15.7%の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「区からの情報」(12.9%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・女性60～64歳では「自分がやりたいことをみつけること」(男性60～64歳34.9%・女性60～64歳30.8%)で全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、「自分がやりたいことをみつけること」(前回20.2%・今回26.3%)が6.1ポイント高くなっている。

図表3-6-20 活動に参加するきっかけになると思うこと



	n	自分がやりたいことをみつけること	友人・知人の勧め	家族の勧め	区からの情報(広報誌、ホームページその他)	町会・自治会、シニアクラブ(旧老人クラブ)、活動団体からの情報(広報誌、ホームページその他)	町会・自治会からの誘い	シニアクラブ(旧老人クラブ)からの誘い	活動団体からの呼びかけ	その他	きっかけになりそうなものはない	無回答
全体	312	82 26.3%	49 15.7%	30 9.6%	28 9.0%	9 2.9%	7 2.2%	3 1.0%	1 0.3%	11 3.5%	129 41.3%	40 12.8%
令和5年度	302	20.2%	14.2%	7.3%	6.0%	4.3%	3.6%	2.0%	1.7%	2.6%	40.1%	20.9%
男性計	163	26.4%	16.6%	9.8%	12.9%	3.1%	3.1%	1.2%	0.0%	3.7%	42.9%	8.6%
男性 60～64歳	43	34.9%	16.3%	4.7%	11.6%	2.3%	4.7%	2.3%	0.0%	2.3%	37.2%	7.0%
男性 前期高齢者	82	28.0%	19.5%	11.0%	13.4%	4.9%	3.7%	1.2%	0.0%	3.7%	42.7%	7.3%
男性 後期高齢者	38	13.2%	10.5%	13.2%	13.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	50.0%	13.2%
女性計	112	22.3%	15.2%	8.9%	4.5%	2.7%	1.8%	0.9%	0.9%	4.5%	42.0%	16.1%
女性 60～64歳	26	30.8%	7.7%	11.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	42.3%	11.5%
女性 前期高齢者	43	18.6%	16.3%	7.0%	4.7%	4.7%	2.3%	0.0%	2.3%	2.3%	48.8%	18.6%
女性 後期高齢者	43	20.9%	18.6%	9.3%	0.0%	2.3%	2.3%	2.3%	0.0%	7.0%	34.9%	16.3%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(4)シニアクラブ(旧老人クラブ)の認知・加入状況

①シニアクラブ(旧老人クラブ)の認知・加入状況

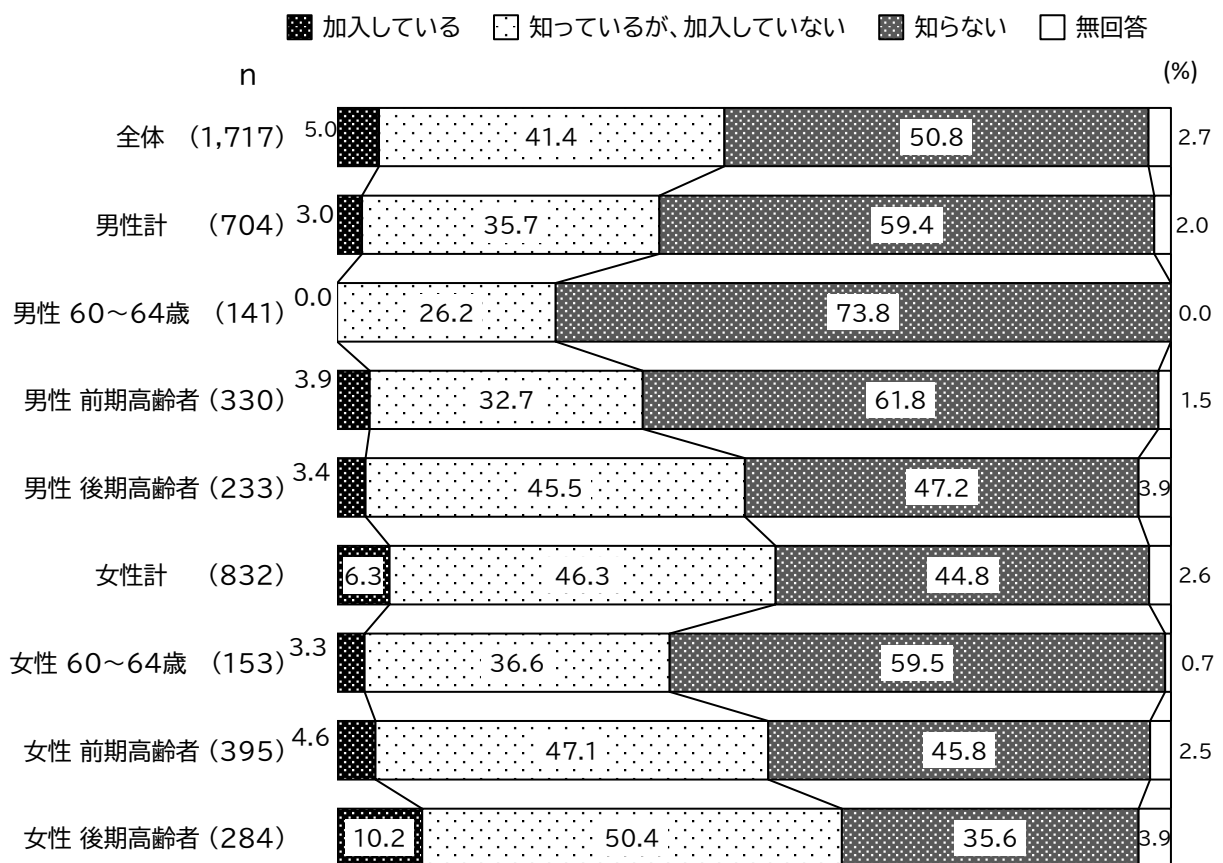
問43 あなたは、シニアクラブ(旧老人クラブ:区内の60歳以上の方が加入できる自主的な組織で、教養の向上・健康の増進・社会奉仕を目的として様々な活動を行っています。)を知っていますか。(〇は1つのみ)

シニアクラブ(旧老人クラブ)の認知・加入状況については、「加入している」が5.0%、「知っているが、加入していない」が41.4%、これらを合わせた『知っている』が46.4%となっている。これに対して「知らない」が50.8%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「知らない」(59.4%)が高く、女性では男性よりも『知っている』(52.6%)が高くなっている。

性年代別で見ると、女性後期高齢者は「加入している」(10.2%)、「知っているが、加入していない」(50.4%)、これらを合わせた『知っている』は60.6%で全体の傾向よりも高くなっている。男性60~64歳は「知らない」が73.8%で全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-6-21 シニアクラブ(旧老人クラブ)への加入状況:性年代別



②シニアクラブ(旧老人クラブ)に加入していない理由

【問43で「2. 知っているが、加入していない」とお答えの方におうかがいします。】

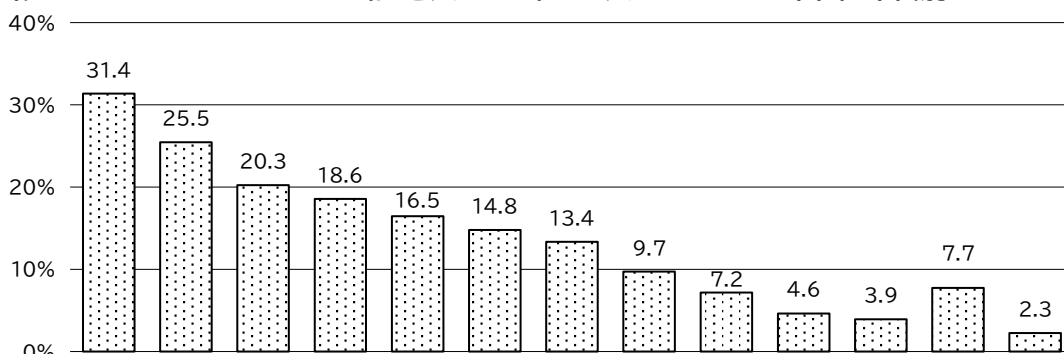
問44 加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

シニアクラブ(旧老人クラブ)に加入していない理由については、「仕事などで忙しいから」が31.4%で最も高く、「会員同士の間人間関係がわずらわしいから」(25.5%)、「活動内容に魅力を感じないから」(20.3%)の順となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「仕事などで忙しいから」(39.0%)、「活動内容に魅力を感じないから」(23.1%)が全体の傾向より高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・女性60～64歳では「仕事などで忙しいから」(男性60～64歳59.5%・女性60～64歳58.9%)が、女性後期高齢者では「会員同士の間人間関係がわずらわしいから」(28.7%)が全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-6-22 シニアクラブ(旧老人クラブ)に加入していない理由:性年代別



	n	仕事などで忙しいから	会員同士の間人間関係がわずらわしいから	活動内容に魅力を感じないから	役員などを引き受けるのがわずらわしいから	健康上の理由	家の近くのシニアクラブ(旧老人クラブ)を知らないから	他の団体・サークル活動で忙しいから	加入の仕方がわからないから	抵抗があるから	シニア(老人)という名称に	同年代の会員が少ないから	若い世代と交流できないから	その他	無回答
全体	711	223 31.4%	181 25.5%	144 20.3%	132 18.6%	117 16.5%	105 14.8%	95 13.4%	69 9.7%	51 7.2%	33 4.6%	28 3.9%	55 7.7%	16 2.3%	
男性計	251	39.0%	23.5%	23.1%	18.3%	17.5%	14.7%	10.8%	11.6%	8.8%	3.2%	4.4%	5.6%	1.2%	
男性 60～64歳	37	59.5%	27.0%	29.7%	32.4%	5.4%	13.5%	5.4%	8.1%	10.8%	8.1%	5.4%	5.4%	0.0%	
男性 前期高齢者	108	45.4%	22.2%	25.9%	14.8%	16.7%	16.7%	9.3%	11.1%	10.2%	3.7%	6.5%	6.5%	0.0%	
男性 後期高齢者	106	25.5%	23.6%	17.9%	17.0%	22.6%	13.2%	14.2%	13.2%	6.6%	0.9%	1.9%	4.7%	2.8%	
女性計	385	29.6%	26.5%	17.4%	17.9%	15.6%	15.3%	15.1%	9.1%	6.5%	6.2%	3.4%	9.4%	1.8%	
女性 60～64歳	56	58.9%	23.2%	21.4%	17.9%	7.1%	10.7%	5.4%	7.1%	7.1%	21.4%	3.6%	10.7%	0.0%	
女性 前期高齢者	186	31.2%	25.8%	17.2%	20.4%	14.5%	15.1%	17.2%	9.1%	8.1%	4.8%	2.2%	8.1%	1.6%	
女性 後期高齢者	143	16.1%	28.7%	16.1%	14.7%	20.3%	17.5%	16.1%	9.8%	4.2%	2.1%	4.9%	10.5%	2.8%	

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳・65～69歳では「仕事などで忙しいから」（60～64歳59.4%・65～69歳44.7%）が、70～74歳・75～79歳では「会員同士の人間関係がわずらわしいから」（70～74歳28.2%・75～79歳29.4%）で、80～84歳では「健康上の理由」（25.0%）で全体傾向より高くなっている。

詳細な性年代別でみると男性60～64歳では「仕事などで忙しいから」（59.5%）、「役員などを引き受けるのがわずらわしいから」（32.4%）が、男性70～74歳では「活動内容に魅力を感じないから」（30.0%）が、全体の傾向よりも高くなっている。また、「健康上の理由」については男性80～84歳（28.6%）・女性80～84歳（25.7%）で高くなっている。

図表3-6-23 シニアクラブ(旧老人クラブ)に加入していない理由:性年代別(詳細)

	n	仕事などで忙しいから	会員同士の人間関係がわずらわしいから	活動内容に魅力を感じないから	役員などを引き受けるのがわずらわしいから	健康上の理由	家の近くのシニアクラブ(旧老人クラブ)を知らないから	他の団体・サークル活動で忙しいから	加入の仕方がわからないから	抵抗があるから	シニア(老人)という名称に	同年代の会員が少ないから	若い世代と交流できないから	その他	無回答
全体	711	31.4%	25.5%	20.3%	18.6%	16.5%	14.8%	13.4%	9.7%	7.2%	4.6%	3.9%	7.7%	2.3%	
60～64歳	96	59.4%	24.0%	25.0%	22.9%	6.3%	12.5%	5.2%	8.3%	8.3%	15.6%	4.2%	8.3%	0.0%	
65～69歳	150	44.7%	21.3%	20.0%	20.7%	13.3%	16.7%	8.7%	8.0%	12.0%	6.0%	2.7%	8.0%	1.3%	
70～74歳	156	26.3%	28.2%	23.1%	16.7%	16.7%	14.1%	19.9%	10.9%	5.1%	2.6%	5.1%	7.1%	1.3%	
75～79歳	201	19.9%	29.4%	16.9%	17.4%	19.9%	16.9%	14.9%	10.9%	7.0%	1.5%	4.0%	8.5%	2.5%	
80～84歳	96	15.6%	20.8%	15.6%	17.7%	25.0%	12.5%	14.6%	10.4%	1.0%	2.1%	3.1%	7.3%	6.3%	
男性60～64歳	37	59.5%	27.0%	29.7%	32.4%	5.4%	13.5%	5.4%	8.1%	10.8%	8.1%	5.4%	5.4%	0.0%	
男性65～69歳	58	44.8%	15.5%	22.4%	12.1%	17.2%	19.0%	6.9%	10.3%	12.1%	5.2%	1.7%	10.3%	0.0%	
男性70～74歳	50	46.0%	30.0%	30.0%	18.0%	16.0%	14.0%	12.0%	12.0%	8.0%	2.0%	12.0%	2.0%	0.0%	
男性75～79歳	64	31.3%	28.1%	18.8%	12.5%	18.8%	14.1%	12.5%	12.5%	10.9%	0.0%	0.0%	4.7%	3.1%	
男性80～84歳	42	16.7%	16.7%	16.7%	23.8%	28.6%	11.9%	16.7%	14.3%	0.0%	2.4%	4.8%	4.8%	2.4%	
女性60～64歳	56	58.9%	23.2%	21.4%	17.9%	7.1%	10.7%	5.4%	7.1%	7.1%	21.4%	3.6%	10.7%	0.0%	
女性65～69歳	91	45.1%	24.2%	18.7%	25.3%	11.0%	15.4%	9.9%	6.6%	12.1%	6.6%	3.3%	6.6%	2.2%	
女性70～74歳	95	17.9%	27.4%	15.8%	15.8%	17.9%	14.7%	24.2%	11.6%	4.2%	3.2%	1.1%	9.5%	1.1%	
女性75～79歳	108	16.7%	30.6%	15.7%	16.7%	18.5%	19.4%	16.7%	10.2%	4.6%	1.9%	5.6%	11.1%	1.9%	
女性80～84歳	35	14.3%	22.9%	17.1%	8.6%	25.7%	11.4%	14.3%	8.6%	2.9%	2.9%	2.9%	8.6%	5.7%	

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

7. 事業について

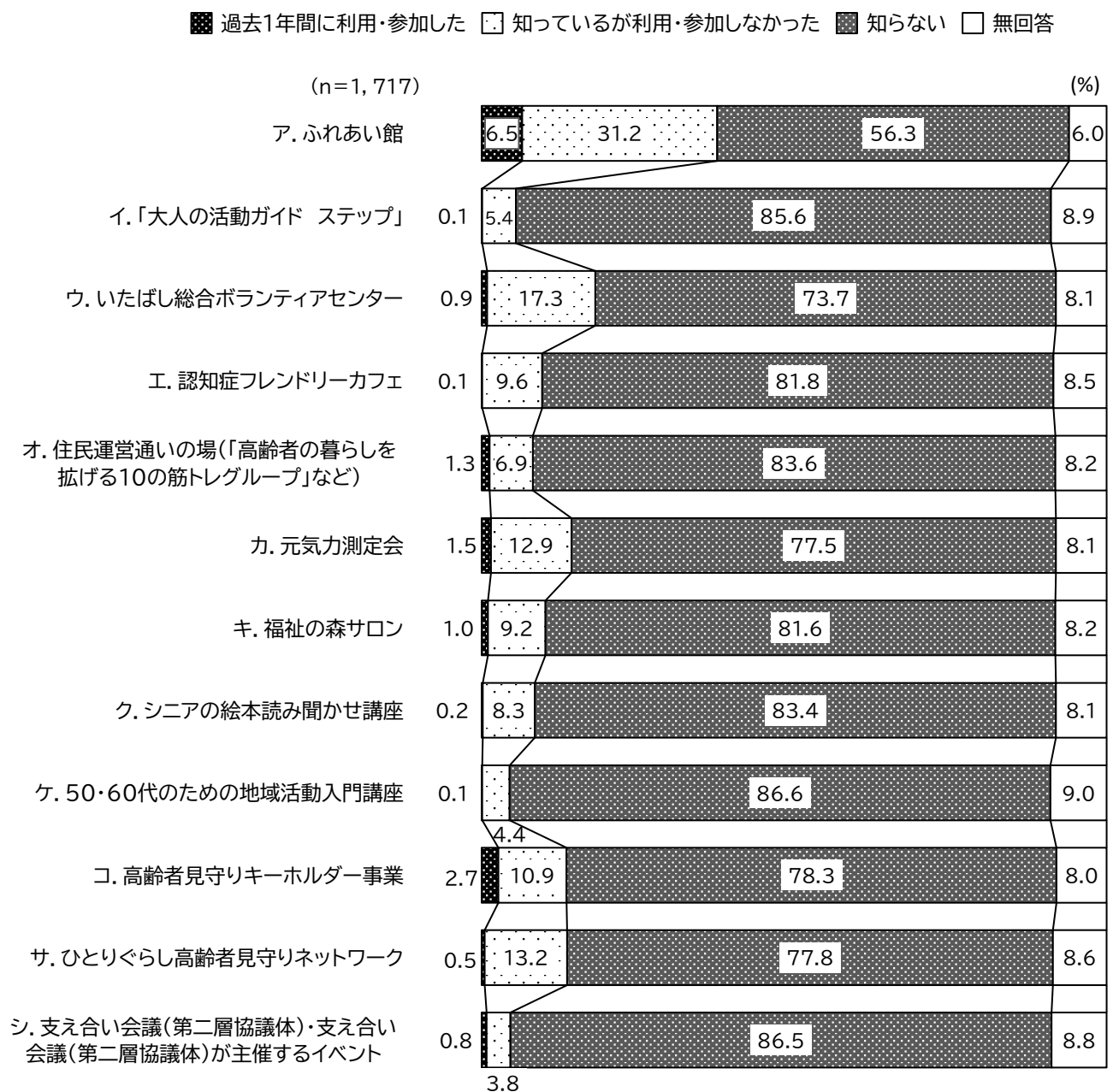
(1) 事業に対する認知度・利用または参加状況

問45 あなたは、次の事業を知っていますか。また、過去1年間に利用・参加したものはありますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は一つ)

事業に対する認知度・利用または参加状況について、「過去1年間に利用・参加した」「知っているが利用・参加しなかった」を合わせた『認知度』は、「ふれあい館」が37.7%で最も高く、次いで「いたばし総合ボランティアセンター」が18.2%、「元気力測定会」が14.4%の順となっている。

また、「過去1年間に利用・参加した」では、「ふれあい館」が6.5%と最も高く、次いで「高齢者見守りキーホルダー事業」が2.7%の順となっている。

図表3-7-1 事業に対する認知度・利用または参加状況



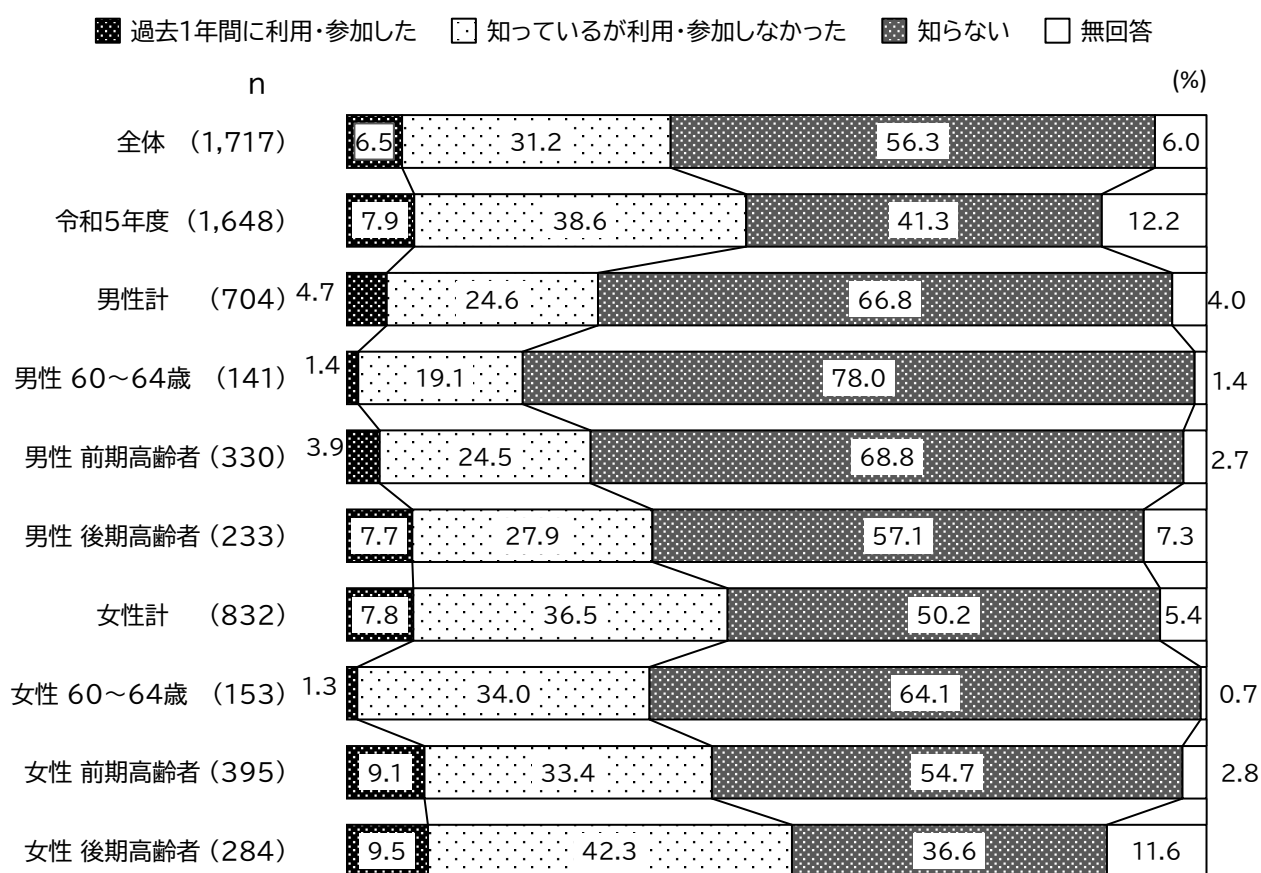
①ふれあい館

ふれあい館については、『認知度』が37.7%、「過去1年間に利用・参加した」が6.5%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（44.3%）の方が男性（29.3%）よりも15.0ポイント高く、「過去1年間に利用・参加した」においても女性（7.8%）の方が男性（4.7%）よりも3.1ポイント高くなっている。

性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（51.8%）、女性前期高齢者（42.5%）、男性後期高齢者（35.6%）、女性60～64歳（35.3%）、男性前期高齢者（28.4%）、男性60～64歳（20.5%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者（9.5%）、女性前期高齢者（9.1%）、男性後期高齢者（7.7%）、男性前期高齢者（3.9%）、男性60～64歳（1.4%）、女性60～64歳（1.3%）の順となっている。

図表3-7-2 ふれあい館に対する認知度・利用状況：性年代別



第3章 調査結果の詳細

②「大人の活動ガイド ステップ」(冊子版またはWEB版)

「大人の活動ガイド ステップ」については、『認知度』が5.5%、「過去1年間に利用・参加した」が0.1%となっている。

性別では、『認知度』と「過去1年間に利用・参加した」の両方で男女に大きな違いはみられない。

性年代別で見ると、『認知度』は女性前期高齢者(6.3%)、女性後期高齢者(6.3%)、男性後期高齢者(5.6%)、男性前期高齢者(4.8%)、男性60~64歳(2.8%)、女性60~64歳(2.0%)の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性60~64歳(0.7%)、男性前期高齢者(0.3%)の順となっている。

図表3-7-3 「大人の活動ガイド ステップ」に対する認知度・参加状況:性年代別



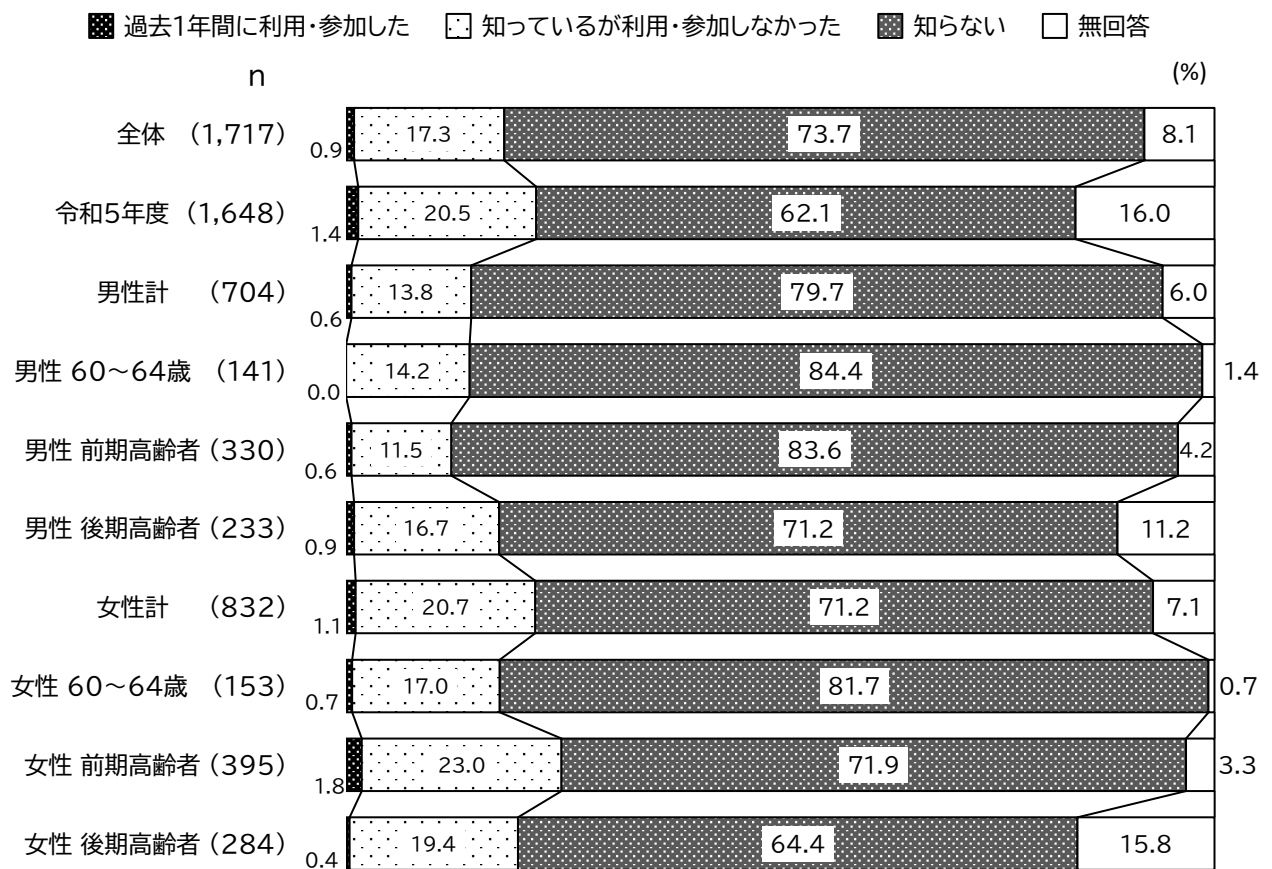
③いたばし総合ボランティアセンター

いたばし総合ボランティアセンターについては、『認知度』が18.2%、「過去1年間に利用・参加した」が0.9%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（21.8%）の方が男性（14.4%）よりも7.4ポイント高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」でも女性（1.1%）が男性（0.6%）より高くなっている。

性年代別で見ると、『認知度』は女性前期高齢者（24.8%）、女性後期高齢者（19.8%）、女性60～64歳（17.7%）、男性後期高齢者（17.6%）、男性60～64歳（14.2%）、男性前期高齢者（12.1%）の順に高くなっている。一方、「過去1年間に利用・参加した」は女性前期高齢者（1.8%）、男性後期高齢者（0.9%）、女性60～64歳（0.7%）、男性前期高齢者（0.6%）、女性後期高齢者（0.4%）の順に高くなっている。

図表3-7-4 いたばし総合ボランティアセンターに対する認知度・利用状況:性年代別



第3章 調査結果の詳細

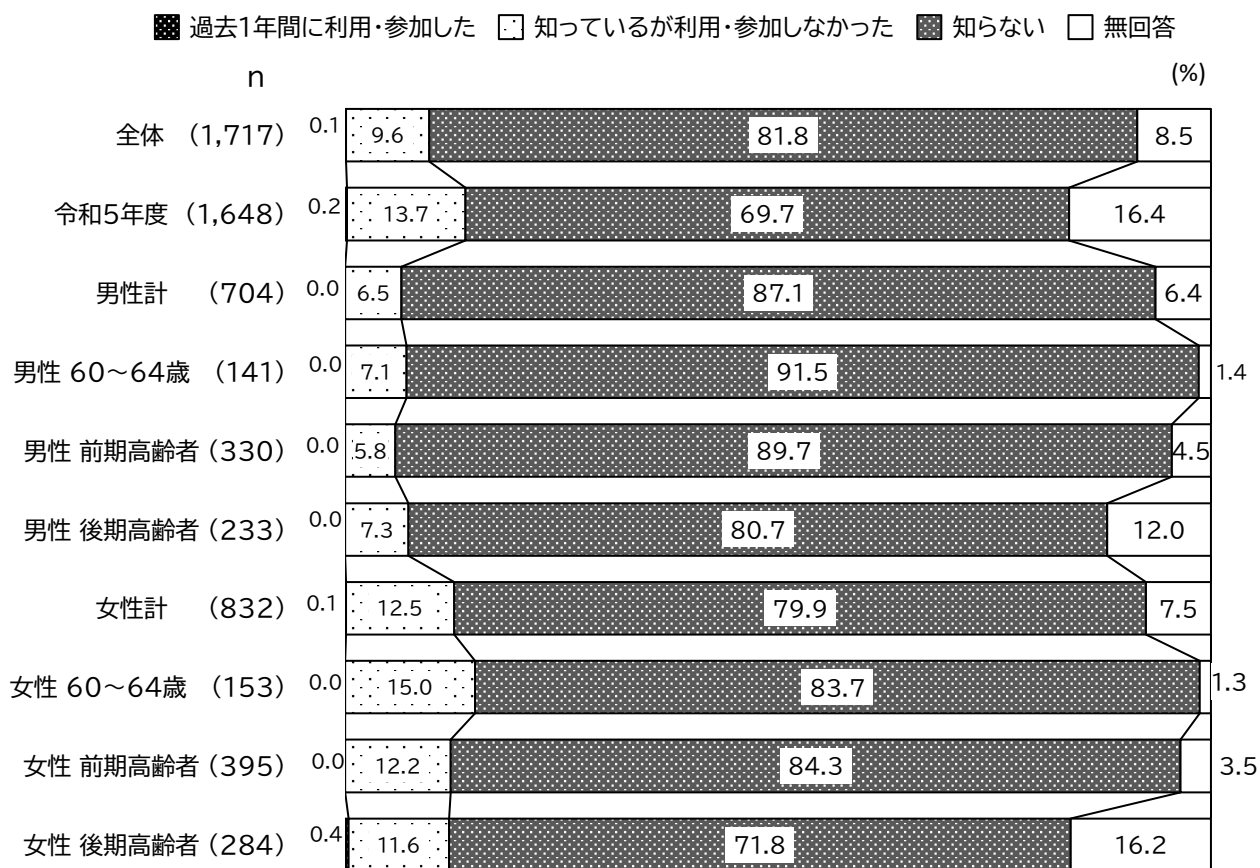
④認知症フレンドリーカフェ

認知症フレンドリーカフェについては、『認知度』が9.7%、「過去1年間に利用・参加した」が0.1%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（12.6%）の方が男性（6.5%）よりも6.1ポイント高くなっている。

性年代別で見ると、『認知度』は女性60～64歳（15.0%）、女性前期高齢者（12.2%）、女性後期高齢者（12.0%）、男性後期高齢者（7.3%）、男性60～64歳（7.1%）、男性前期高齢者（5.8%）の順に高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者が0.4%となっている。

図表3-7-5 認知症フレンドリーカフェに対する認知度・利用状況：性年代別



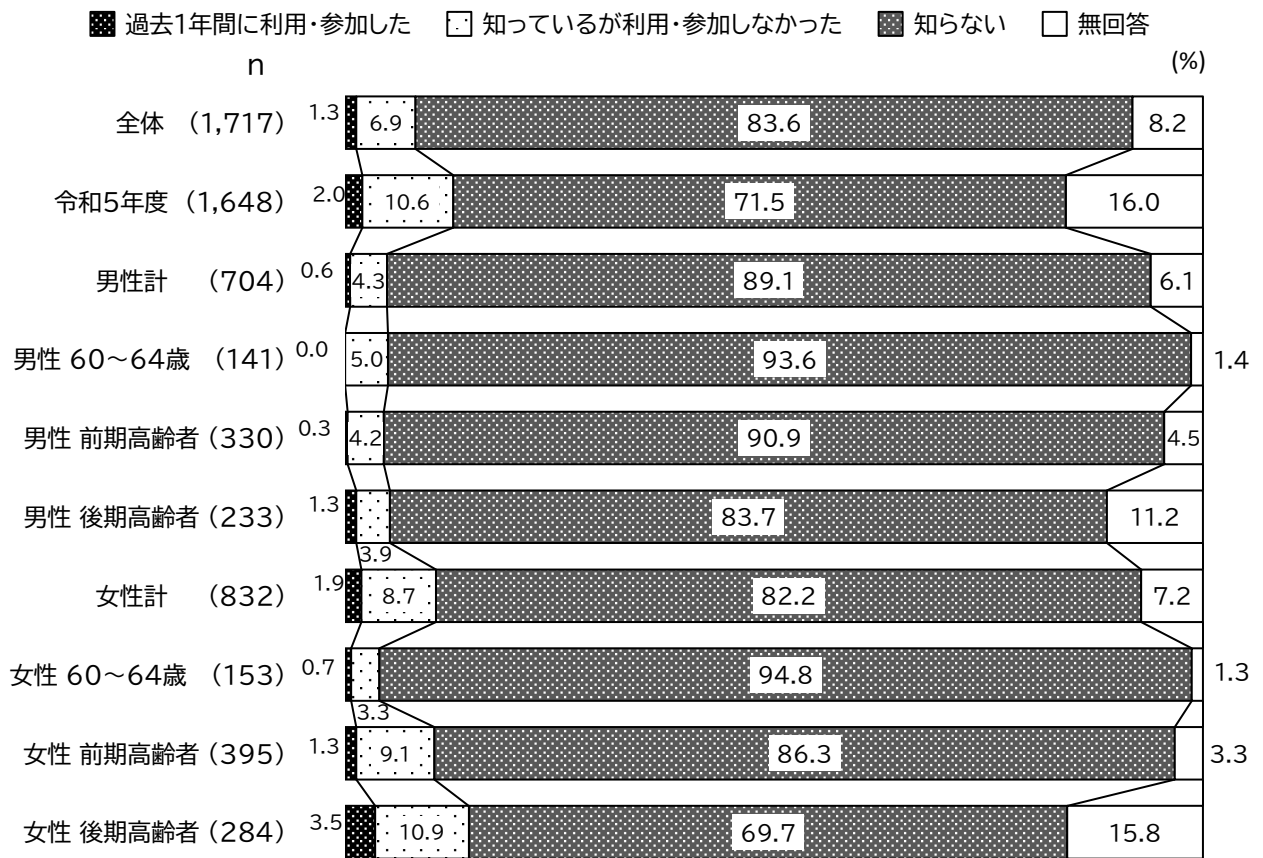
⑤住民運営通いの場(「高齢者の暮らしを拓げる10の筋トレグループ」など)

住民運営通いの場については、『認知度』が8.2%、「過去1年間に利用・参加した」が1.3%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性(10.6%)の方が男性(4.9%)よりも5.7ポイント高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」でも女性(1.9%)が男性(0.6%)よりも高くなっている。

性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者(14.4%)、女性前期高齢者(10.4%)、男性後期高齢者(5.2%)、男性60~64歳(5.0%)、男性前期高齢者(4.5%)、女性60~64歳(4.0%)の順に高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者(3.5%)、女性前期高齢者(1.3%)、男性後期高齢者(1.3%)、女性60~64歳(0.7%)、男性前期高齢者(0.3%)の順に高くなっている。

図表3-7-6 住民運営通いの場に対する認知度・参加状況:性年代別



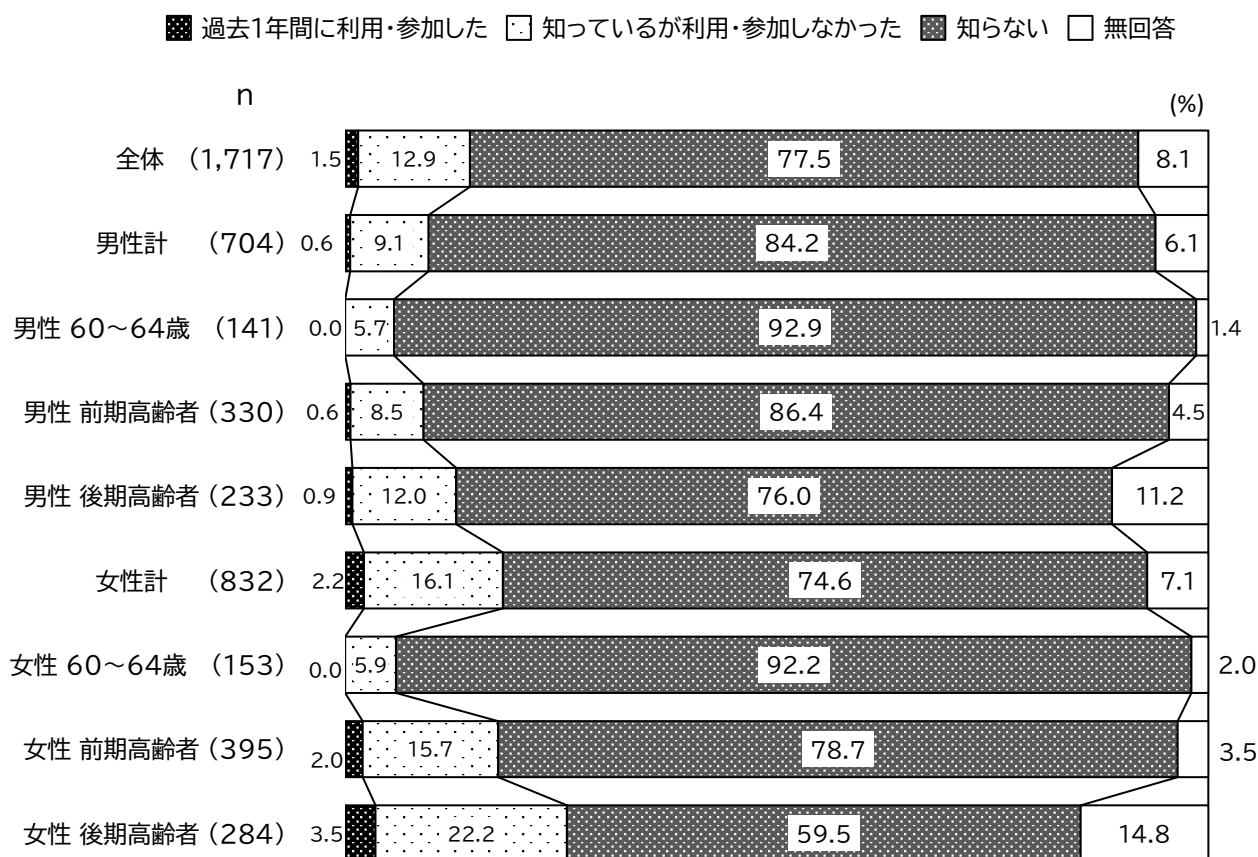
⑥元気力測定会

元気力測定会については、『認知度』が14.4%、「過去1年間に利用・参加した」が1.5%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（18.3%）の方が男性（9.7%）よりも8.6ポイント高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」でも女性（2.2%）が男性（0.6%）より高くなっている。

性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（25.7%）、女性前期高齢者（17.7%）、男性後期高齢者（12.9%）、男性前期高齢者（9.1%）、女性60～64歳（5.9%）、男性60～64歳（5.7%）の順に高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」は、女性後期高齢者（3.5%）、女性前期高齢者（2.0%）、男性後期高齢者（0.9%）、男性前期高齢者（0.6%）の順に高くなっている。

図表3-7-7 元気力測定会に対する認知度・利用状況：性年代別



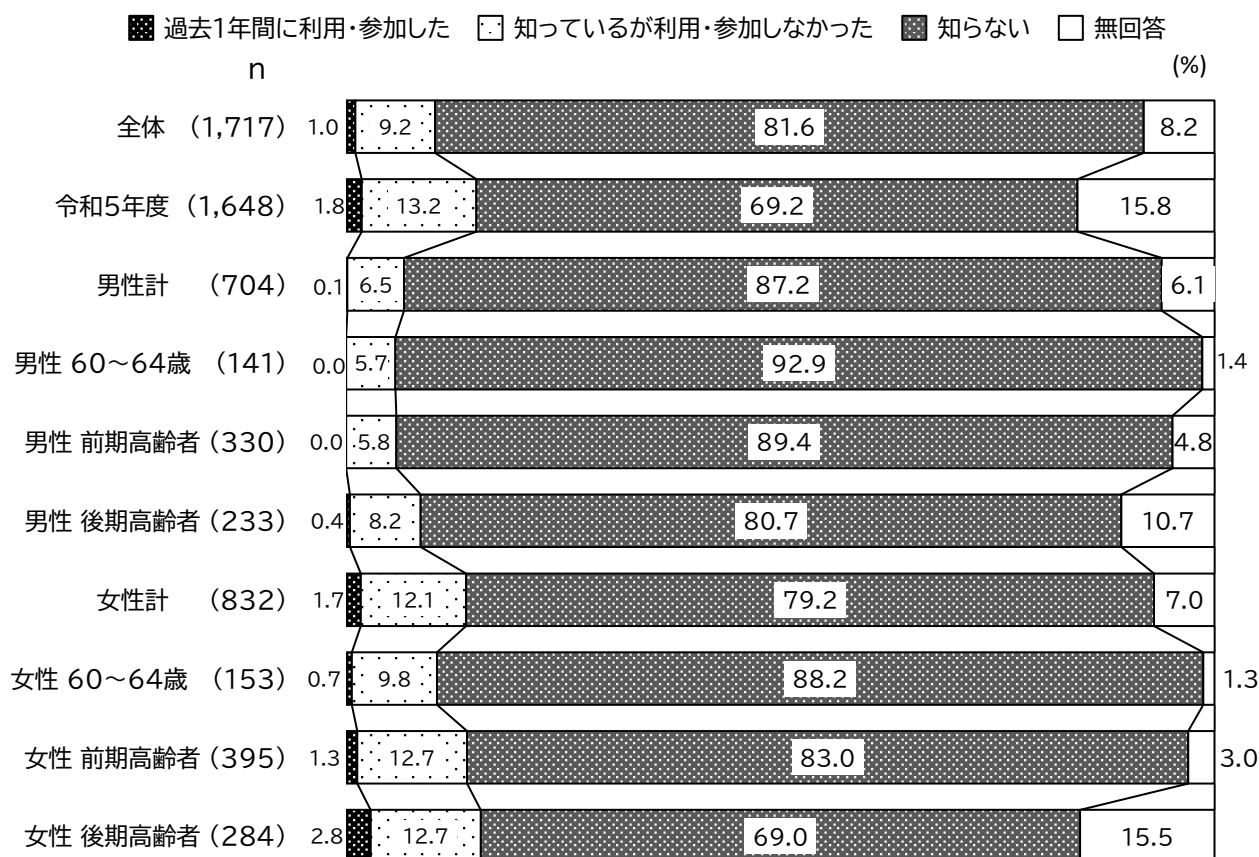
⑦福祉の森サロン

福祉の森サロンについては、『認知度』が10.2%、「過去1年間に利用・参加した」が1.0%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（13.8%）の方が男性（6.6%）よりも7.2ポイント高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」でも女性（1.7%）が男性（0.1%）より高くなっている。

性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（15.5%）、女性前期高齢者（14.0%）、女性60～64歳（10.5%）、男性後期高齢者（8.6%）、男性前期高齢者（5.8%）、男性60～64歳（5.7%）の順に高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者（2.8%）、女性前期高齢者（1.3%）、女性60～64歳（0.7%）、男性後期高齢者（0.4%）の順に高くなっている。

図表3-7-8 福祉の森サロンに対する認知度・利用状況:性年代別



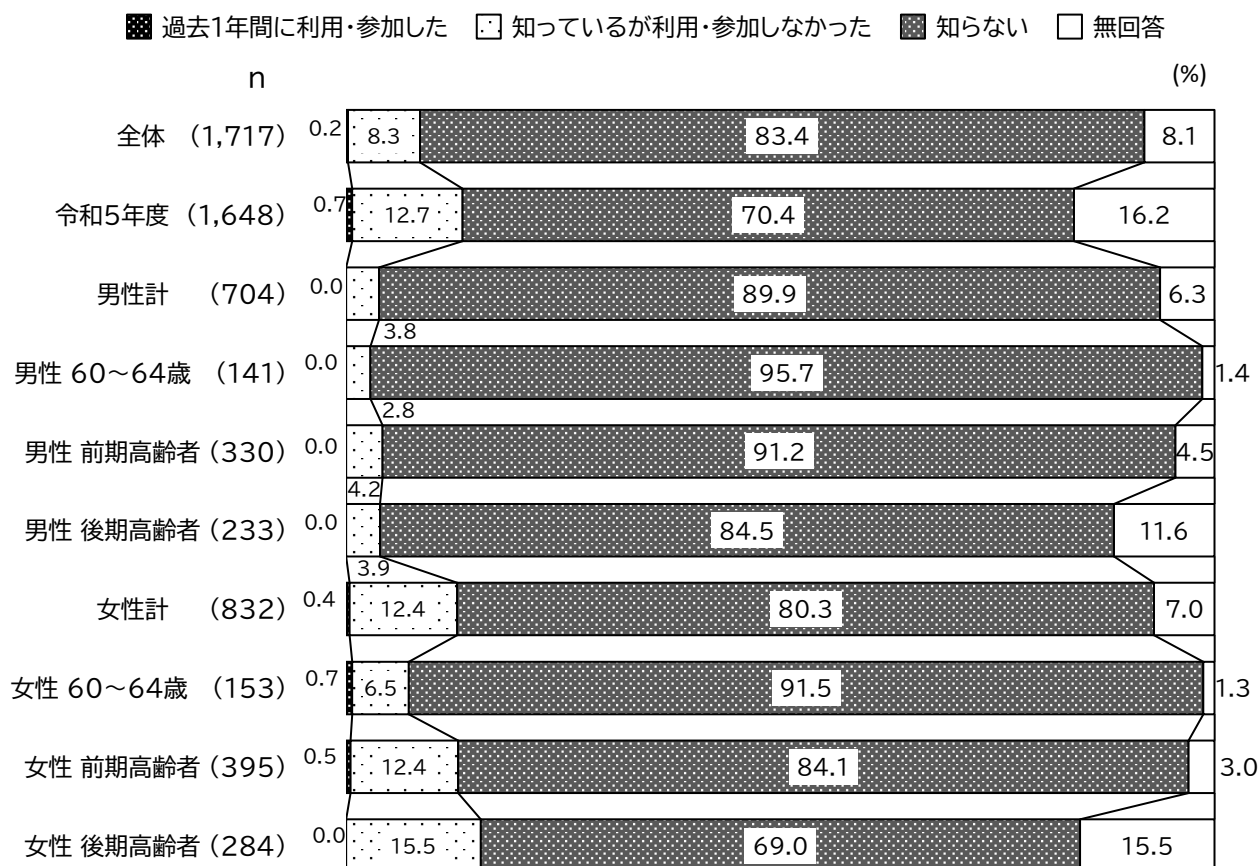
⑧シニアの絵本読み聞かせ講座

シニアの絵本読み聞かせ講座については、『認知度』が8.5%、「過去1年間に利用・参加した」が0.2%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（12.8%）の方が男性（3.8%）よりも9.0ポイント高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」では、女性は0.4%であるのに対して、男性は0.0%となっている。

性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（15.5%）、女性前期高齢者（12.9%）、女性60～64歳（7.2%）、男性前期高齢者（4.2%）、男性後期高齢者（3.9%）、男性60～64歳（2.8%）の順となっている。「過去1年間に利用・参加した」は女性60～64歳（0.7%）、女性前期高齢者（0.5%）のみで他の性年代はいずれも0.0%となっている。

図表3-7-9 シニアの絵本読み聞かせ講座に対する認知度・利用状況：性年代別



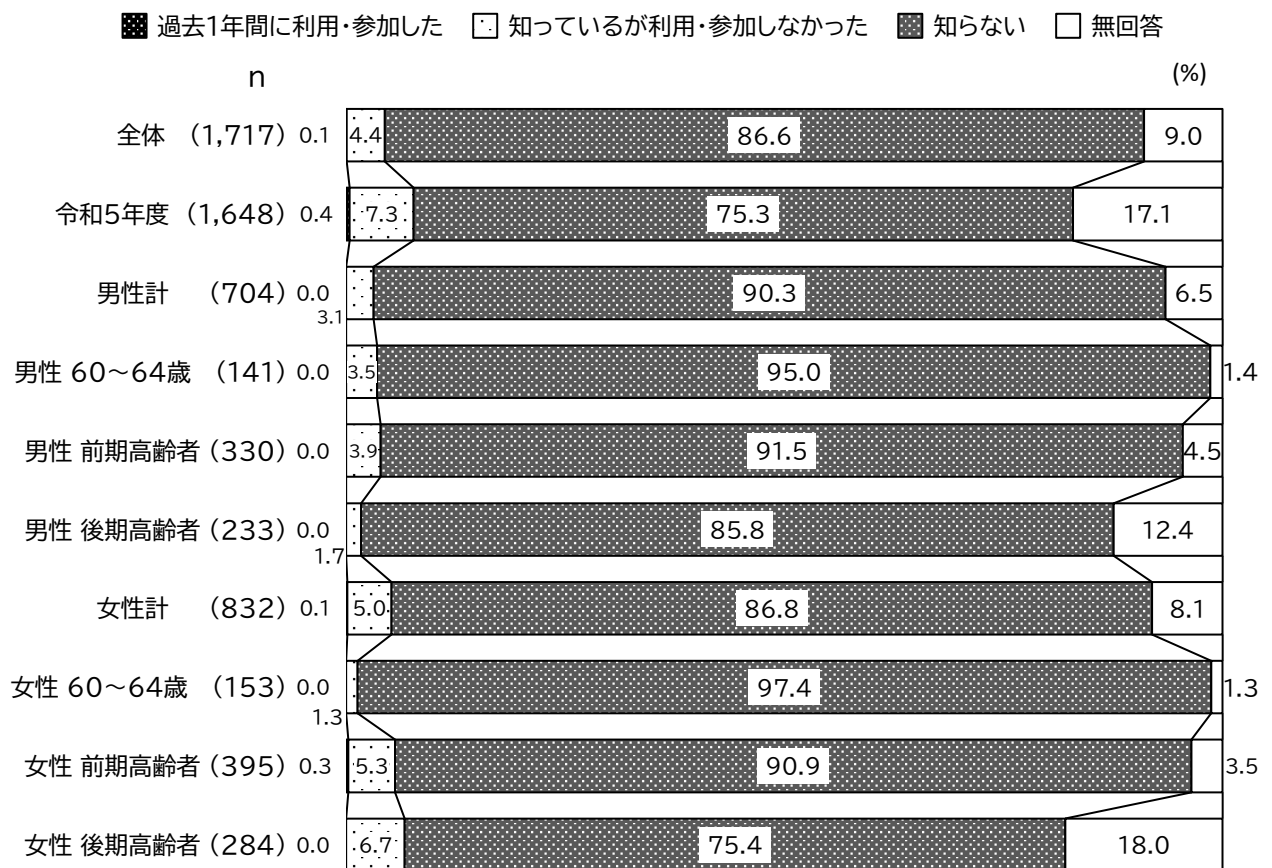
⑨50・60代のための地域活動入門講座

50・60代のための地域活動入門講座については、『認知度』が4.5%、「過去1年間に利用・参加した」が0.1%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（5.1%）の方が男性（3.1%）よりも2.0ポイント高くなっている。

性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（6.7%）、女性前期高齢者（5.6%）、男性前期高齢者（3.9%）、男性60～64歳（3.5%）、男性後期高齢者（1.7%）、女性60～64歳（1.3%）の順に高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」は女性前期高齢者（0.3%）のみとなっている。

図表3-7-10 50・60代のための地域活動入門講座に対する認知度・利用状況：性年代別



第3章 調査結果の詳細

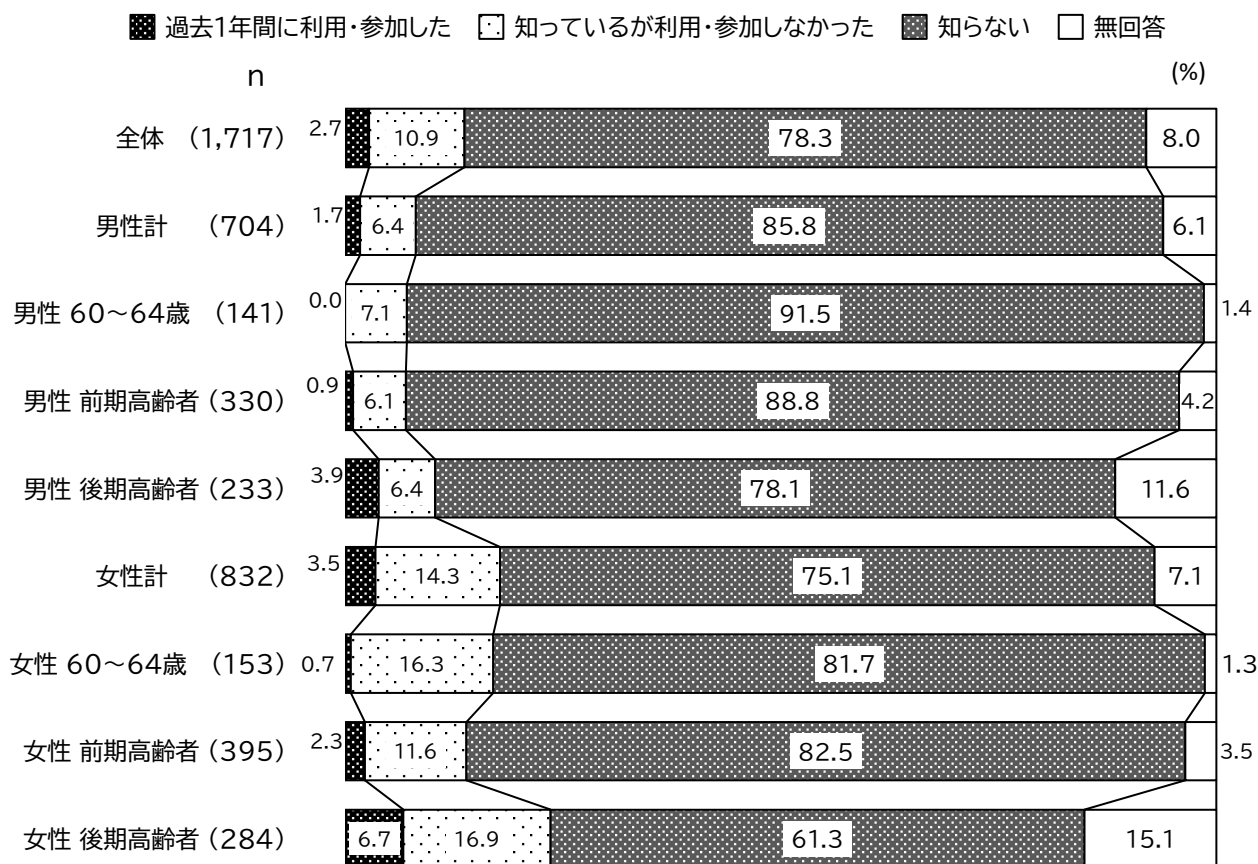
⑩高齢者見守りキーホルダー事業

高齢者見守りキーホルダー事業については、『認知度』が13.6%、「過去1年間に利用・参加した」が2.7%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（17.8%）の方が男性（8.1%）よりも9.7ポイント高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」でも女性（3.5%）の方が男性（1.7%）よりも高くなっている。

性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（23.6%）、女性60～64歳（17.0%）、女性前期高齢者（13.9%）、男性後期高齢者（10.3%）、男性60～64歳（7.1%）、男性前期高齢者（7.0%）の順に高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者（6.7%）、男性後期高齢者（3.9%）、女性前期高齢者（2.3%）の順となっている。

図表3-7-11 高齢者見守りキーホルダー事業に対する認知度・利用状況：性年代別



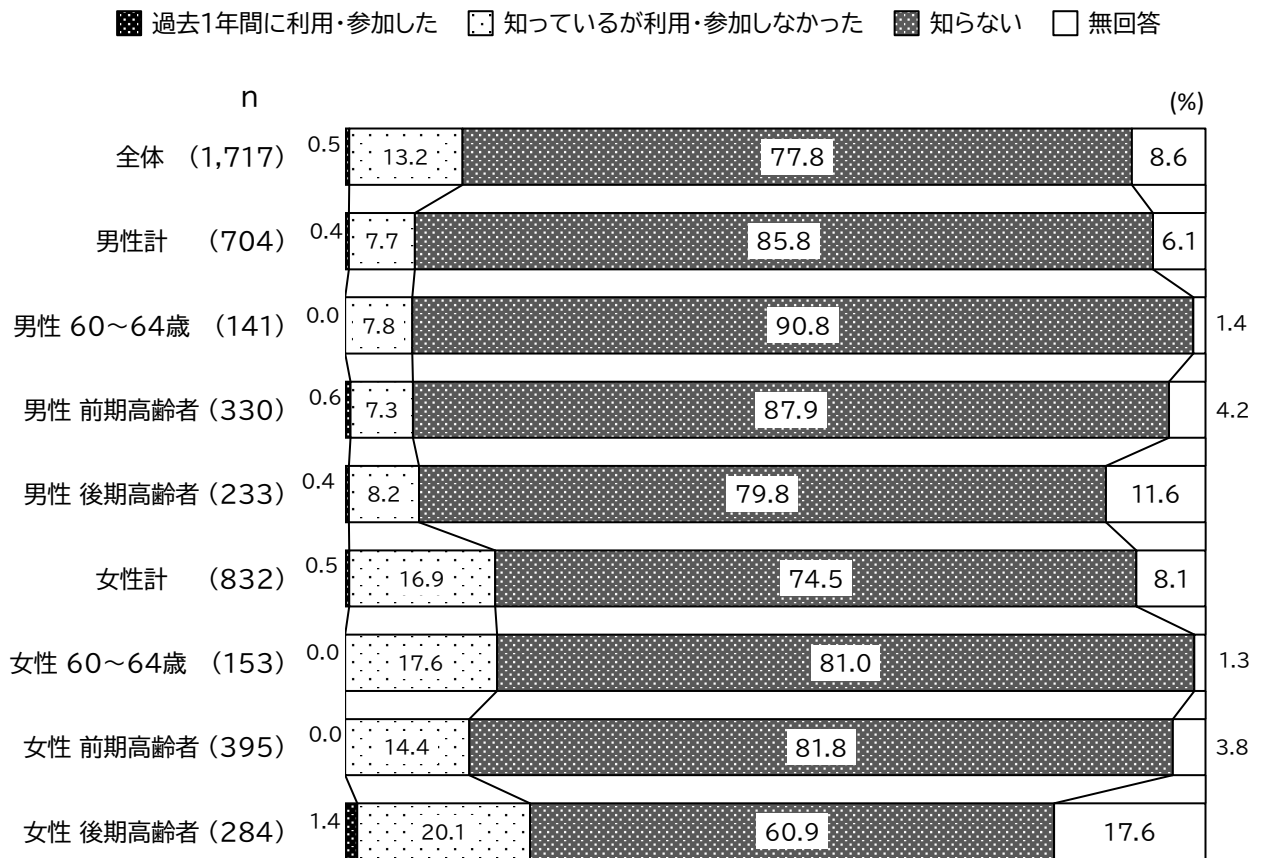
①ひとりぐらし高齢者見守りネットワーク

ひとりぐらし高齢者見守りネットワークについては、『認知度』が13.7%、「過去1年間に利用・参加した」が0.5%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性（17.4%）の方が男性（8.1%）よりも9.3ポイント高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」では女性（0.5%）と男性（0.4%）で差は大きくない。

性年代別で見ると、『認知度』は女性後期高齢者（21.5%）、女性60～64歳（17.6%）、女性前期高齢者（14.4%）、男性後期高齢者（8.6%）、男性前期高齢者（7.9%）、男性60～64歳（7.8%）の順に高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者（1.4%）、男性前期高齢者（0.6%）、男性後期高齢者（0.4%）の順に高くなっている。

図表3-7-12 ひとりぐらし高齢者見守りネットワークに対する認知度・利用状況：性年代別



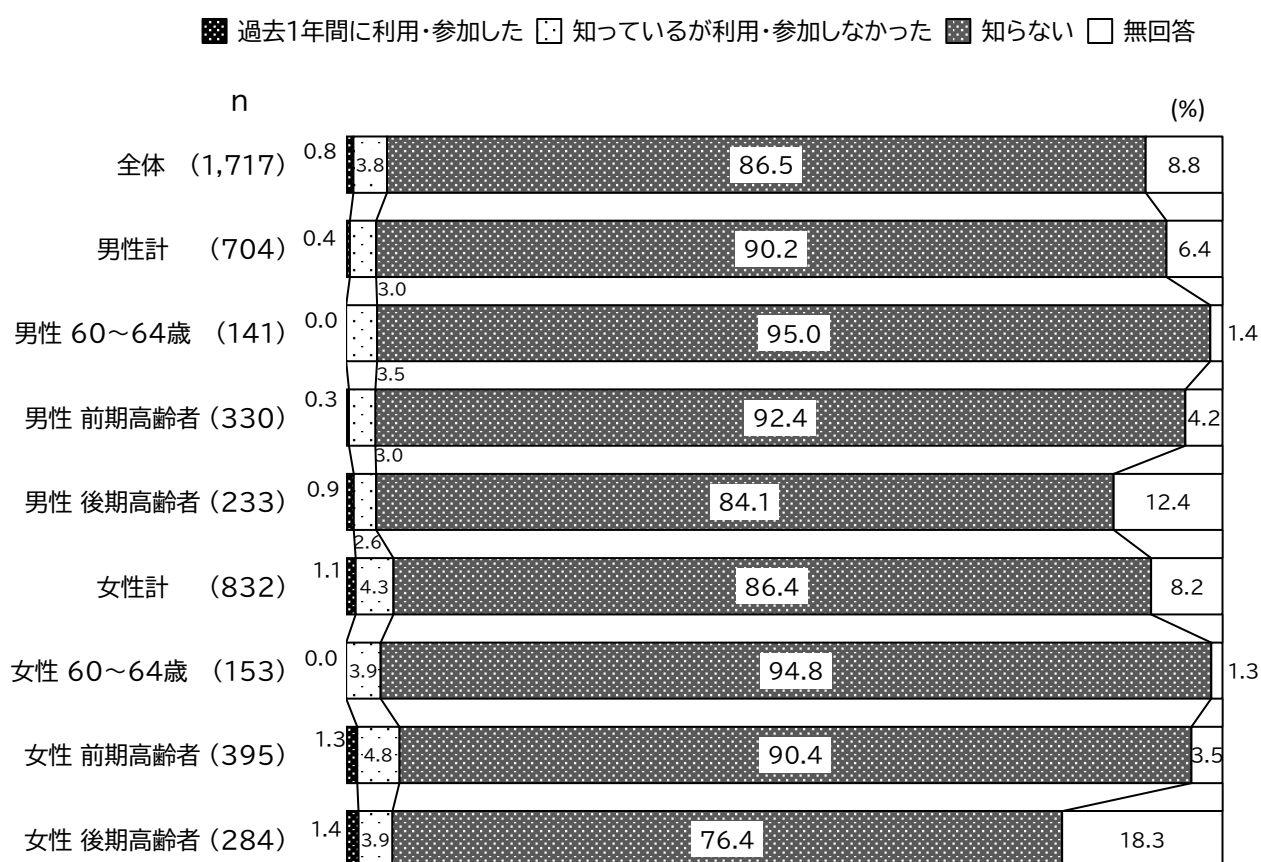
⑫ 支え合い会議(第二層協議体)、支え合い会議(第二層協議体)が主催するイベント

支え合い会議(第二層協議体)、支え合い会議(第二層協議体)が主催するイベントについては、『認知度』が4.6%、「過去1年間に利用・参加した」が0.8%となっている。

性別で見ると、『認知度』では女性(5.4%)の方が、男性(3.4%)よりも2.0ポイント高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」についても女性(1.1%)の方が、男性(0.4%)よりも高くなっている。

性年代別で見ると、『認知度』は女性前期高齢者(6.1%)、女性後期高齢者(5.3%)、女性60~64歳(3.9%)、男性60~64歳(3.5%)、男性後期高齢者(3.5%)、男性前期高齢者(3.3%)の順に高くなっている。「過去1年間に利用・参加した」は女性後期高齢者(1.4%)、女性前期高齢者(1.3%)、男性後期高齢者(0.9%)、男性前期高齢者(0.3%)の順に高くなっている。

図表3-7-13 支え合い会議(第二層協議体)、支え合い会議(第二層協議体)が主催するイベントに対する認知度・利用状況:性年代別



(2)事業を知った情報源

【問45で1つ以上「1」とお答えの方におうかがいします。】

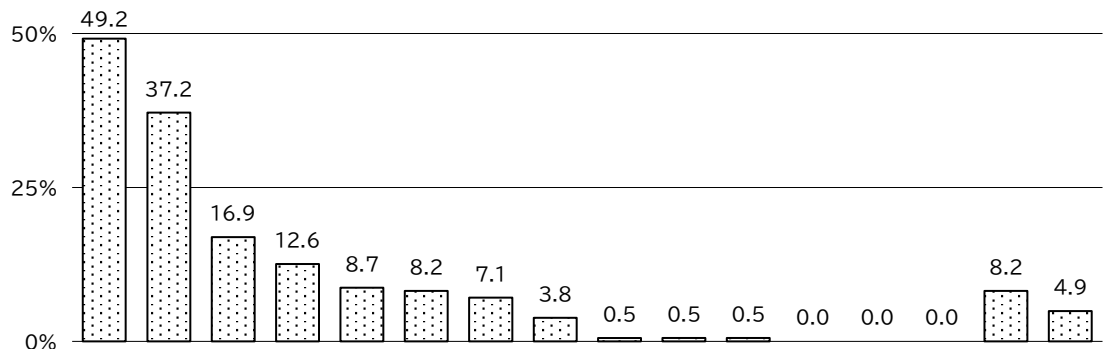
問46 利用・参加した事業を何で知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

事業を知った情報源については、「広報いたばし」が49.2%と最も高く、次いで「友人・知人から」が37.2%、「掲示板ポスター」が16.9%の順となっている。

性別で見ると、女性では男性よりも「区施設に置いてあるチラシ」(10.2%)が高くなっている。

性年代別は、それぞれの調査対象者数が少ないため取り上げないこととした。

図表3-7-14 事業を知った情報源:性年代別



	n	広報いたばし	友人・知人から	掲示板ポスター	回覧板	区ホームページ	区施設に置いてあるチラシ	「高齢者・シニア世代生活ガイドブック」(手紙、メールなど)	区からの個別の案内	板橋区ライン公式	ヤフーくらし	「大人の活動ガイド ステップ」	板橋区フェイスブック	板橋区X(旧ツイッター)公式	板橋区インスタグラム公式	その他	無回答
全体	183	90 49.2%	68 37.2%	31 16.9%	23 12.6%	16 8.7%	15 8.2%	13 7.1%	7 3.8%	1 0.5%	1 0.5%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 8.2%	9 4.9%
男性計	54	46.3%	33.3%	18.5%	16.7%	11.1%	1.9%	9.3%	3.7%	0.0%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	3.7%
男性 60～64歳	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
男性 前期高齢者	21	47.6%	28.6%	23.8%	23.8%	14.3%	0.0%	9.5%	4.8%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%
男性 後期高齢者	31	45.2%	38.7%	16.1%	12.9%	9.7%	3.2%	9.7%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.9%	3.2%
女性計	108	48.1%	39.8%	16.7%	11.1%	8.3%	10.2%	7.4%	4.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	5.6%
女性 60～64歳	5	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性 前期高齢者	53	45.3%	32.1%	13.2%	11.3%	11.3%	7.5%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.3%	7.5%
女性 後期高齢者	50	52.0%	48.0%	22.0%	12.0%	4.0%	14.0%	12.0%	6.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	4.0%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(3)事業への参加による効果

【問45で1つ以上「1」とお答えの方におうかがいします。】

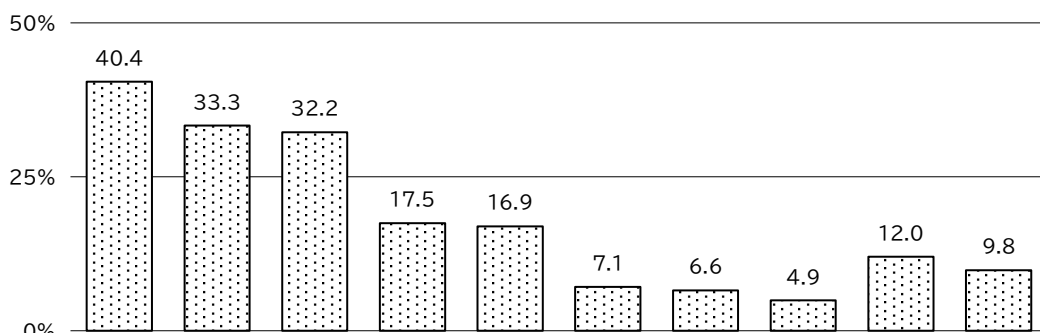
問47 これらの事業に参加することでどんな効果があったと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

事業への参加による効果については、「知り合い・仲間ができた」が40.4%と最も高く、次いで「健康に気をつけるようになった」が33.3%、「出かけることが増えた」が32.2%の順となっている。一方、「特に効果はない」は12.0%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「出かけることが増えた」(35.2%)が高く、女性では男性よりも「知り合い・仲間ができた」(50.0%)が高くなっている。

性年代別は、それぞれの調査対象者数が少ないため取り上げないこととした。

図表3-7-15 事業への参加による効果:性年代別



	n	知り合い・仲間ができた	健康に気をつけるようになった	出かけることが増えた	教養を深めることができた	自分のしている地域の活動やボランティア活動に役立った	地域の活動や、ボランティア活動を始めた	区のほかの事業にも参加するようになった	その他	特に効果はない	無回答
全体	183	74 40.4%	61 33.3%	59 32.2%	32 17.5%	31 16.9%	13 7.1%	12 6.6%	9 4.9%	22 12.0%	18 9.8%
男性計	54	22.2%	27.8%	35.2%	14.8%	13.0%	7.4%	3.7%	9.3%	14.8%	7.4%
男性 60~64歳	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
男性 前期高齢者	21	14.3%	33.3%	33.3%	19.0%	23.8%	0.0%	4.8%	4.8%	14.3%	4.8%
男性 後期高齢者	31	29.0%	25.8%	38.7%	9.7%	6.5%	12.9%	3.2%	12.9%	12.9%	9.7%
女性計	108	50.0%	36.1%	30.6%	20.4%	21.3%	6.5%	8.3%	2.8%	10.2%	9.3%
女性 60~64歳	5	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
女性 前期高齢者	53	45.3%	30.2%	26.4%	13.2%	20.8%	9.4%	7.5%	1.9%	13.2%	9.4%
女性 後期高齢者	50	58.0%	46.0%	38.0%	28.0%	22.0%	4.0%	10.0%	4.0%	6.0%	8.0%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(4)事業に参加しない理由

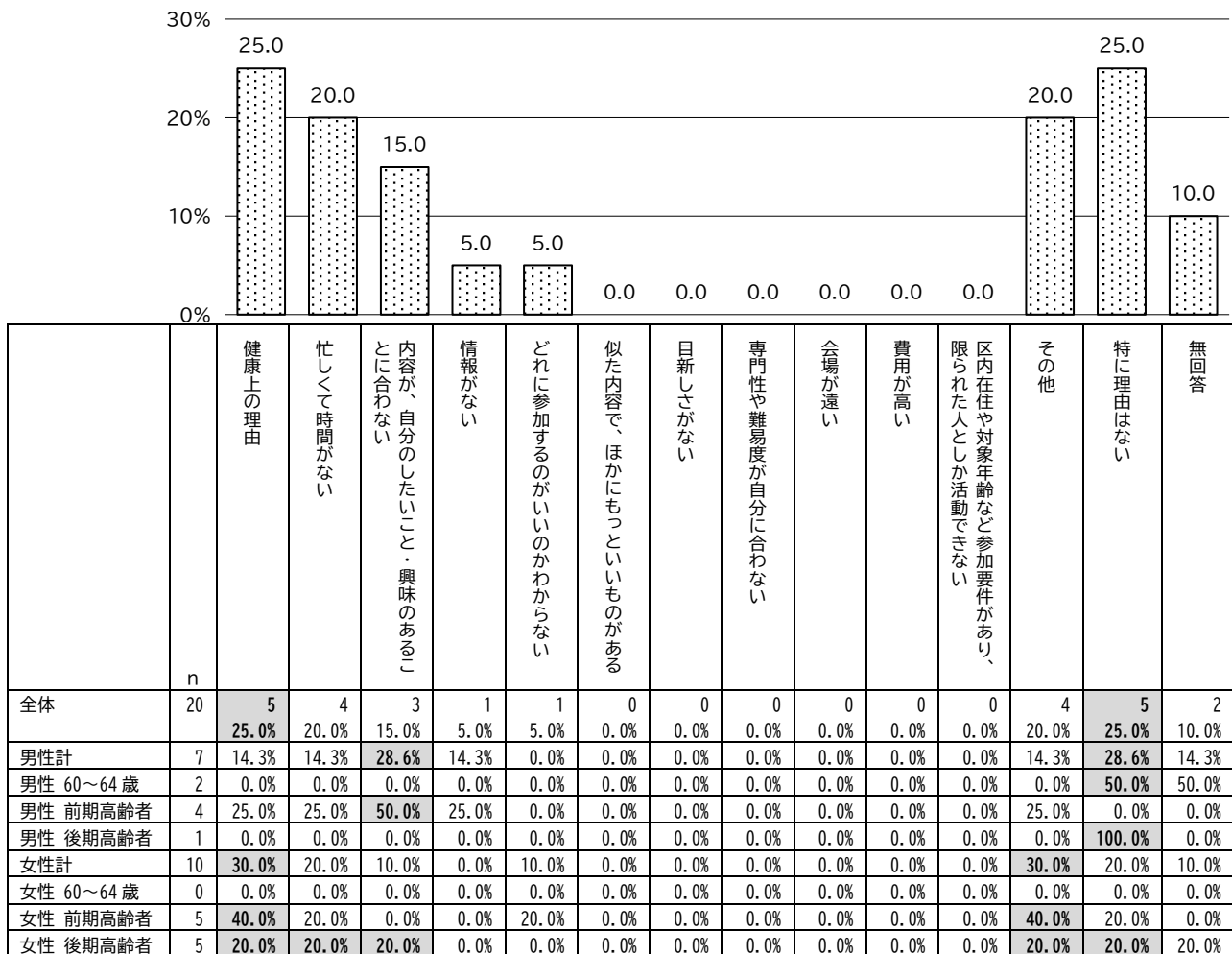
【問45ですべて「2」とお答えの方におうかがいします。】

問48 これらの事業に参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

事業に参加しない理由について、対象者数が20人と少数のため参考値であるが、「特に理由はない」(25.0%)を除くと、「健康上の理由」が25.0%と最も高く、次いで「忙しくて時間がない」が20.0%、「内容が、自分のしたいこと・興味のあることに合わない」がともに15.0%の順となっている。

性別、性年代別は、それぞれの調査対象者数が少ないため取り上げないこととした。

図表3-7-16 事業に参加しない理由:性年代別



※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(5)事業に参加するときに重視すること

問49 あなたはこれらの事業に参加するとき、どんなことを重視しますか。
上位3つに○をつけてください。(○は3つまで)

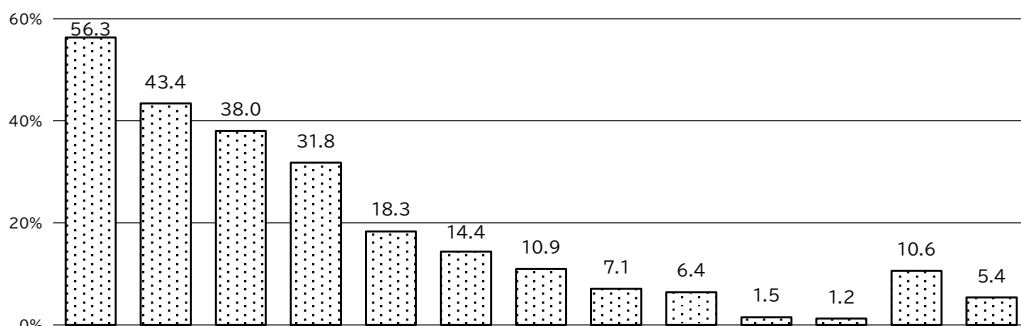
事業に参加するときに重視することについて、重視することがあると回答している人の中では、「自分のしたいこと・興味のあることに役立つ内容である」が56.3%と最も高く、次いで「健康に役立つ」が43.4%、「会場が近い」が38.0%の順となっている。一方、「重視していることはない」は10.6%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「重視していることはない」(14.1%)が高く、女性では男性よりも「会場が近い」(44.4%)が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳で「費用がかからない・安い」(37.6%)が、女性60～64歳では「自分のしたいこと・興味のあることに役立つ内容である」(77.1%)が、女性後期高齢者「健康に役立つ」(46.5%)が全体の傾向よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、「費用がかからない・安い」が7.6ポイント、「健康に役立つ」が4.8ポイント、「同じ年代の人と活動できる」が3.6ポイントの順に上昇している。

図表3-7-17 事業に参加するときに重視すること:性年代別



	n	自分のしたいこと・興味のあることに役立つ内容である	健康に役立つ	会場が近い	費用がかからない・安い	教養を深めることができる	区の事業なので安心して参加できる	同じ年代の人と活動できる	違う年代の人と活動できる	専門性や難易度が自分に合っている	ほかにはない内容である	その他	重視していることはない	無回答
全体	1,717	56.3	43.4	38.0	31.8	18.3	14.4	10.9	7.1	6.4	1.5	1.2	10.6	5.4
令和5年度	1,648	53.0	38.6	34.7	24.2	17.6	13.3	7.3	5.6	5.5	1.5	1.5	9.4	12.0
男性計	704	55.5	42.3	30.0	31.3	18.9	8.4	8.8	7.4	7.5	1.6	1.8	14.1	6.1
男性 60～64歳	141	55.3	34.0	29.8	37.6	22.7	9.2	7.8	3.5	7.8	1.4	2.1	17.7	2.1
男性 前期高齢者	330	59.7	43.9	32.1	33.0	20.0	7.9	8.2	9.1	8.2	2.4	2.1	11.5	5.2
男性 後期高齢者	233	49.8	45.1	27.0	24.9	15.0	8.6	10.3	7.3	6.4	0.4	1.3	15.5	9.9
女性計	832	58.7	44.6	44.4	31.7	18.3	20.0	13.0	6.9	5.8	1.3	0.8	7.8	3.7
女性 60～64歳	153	77.1	34.0	37.3	36.6	15.0	17.6	13.7	3.9	3.9	1.3	1.3	10.5	0.0
女性 前期高齢者	395	64.6	47.3	47.3	31.6	21.5	19.2	11.4	5.8	7.1	1.5	0.0	7.3	2.3
女性 後期高齢者	284	40.5	46.5	44.0	29.2	15.5	22.2	14.8	9.9	4.9	1.1	1.8	7.0	7.7

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

8. 今後の取り組みについて

(1) 今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいもの

問50 あなたは、今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいものについて、取り組みたい・心がけたいものがあると回答している人の中では、「体を動かす（ウォーキングや体操など）」が49.3%と最も高く、次いで「友人・知人との交流」が45.9%、「趣味の活動（主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど）」が35.1%の順となっている。なお「特になし」は11.6%である。

性別で見ると、男性では女性よりも「インターネットの活用」（19.2%）が高く、女性では男性よりも「体を動かす（ウォーキングや体操など）」（53.7%）、「友人・知人との交流」（53.4%）が高くなっている。

性年代別で見ると、男性60～64歳・女性60～64歳では「仕事、就職活動」（男性60～64歳25.5%・女性60～64歳27.5%）が全体の傾向よりも高くなっている。女性60～64歳・女性前期高齢者・女性後期高齢者では「友人・知人との交流」（女性60～64歳54.9%・女性前期53.9%・女性後期51.8%）が全体の傾向よりも高く、男性後期高齢者では「体を動かす（ウォーキングや体操など）」（40.3%）が全体の傾向よりも低くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

第3章 調査結果の詳細

図表3-8-1 今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいもの：性年代別

	n	体を動かす(ウォーキングや体操など)	友人・知人との交流	趣味の活動(主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど)	子や孫など、家族・親族(同居していない場合を含む)との交流	趣味の活動(主に自宅で行うもの：読書、オンラインで行うものなど)	配偶者や親など、家族・親族(同居していない場合を含む)のケア、介護	近所のおつきあい	学習活動(講座・講習会、学習サークルなど)	インターネットの活用	家屋や庭の維持、メンテナンス(日曜大工、庭いじりなど)
全体	1,717	49.3%	45.9%	35.1%	34.0%	19.5%	17.7%	15.1%	14.7%	14.7%	14.2%
令和5年度	1,648	43.4%	40.8%	31.3%	33.9%	14.9%	11.7%	13.8%	11.1%	11.2%	11.5%
男性計	704	46.2%	38.9%	31.4%	33.1%	19.6%	17.8%	12.9%	11.5%	19.2%	15.2%
男性 60～64歳	141	43.3%	31.9%	29.8%	22.7%	19.1%	23.4%	11.3%	7.8%	17.7%	19.1%
男性 前期高齢者	330	51.5%	40.3%	32.7%	36.4%	23.0%	16.4%	10.0%	14.2%	23.0%	13.6%
男性 後期高齢者	233	40.3%	41.2%	30.5%	34.8%	15.0%	16.3%	18.0%	9.9%	14.6%	15.0%
女性計	832	53.7%	53.4%	39.7%	35.2%	20.7%	18.0%	16.6%	18.8%	12.1%	13.5%
女性 60～64歳	153	49.7%	54.9%	47.1%	34.0%	27.5%	22.9%	16.3%	17.0%	20.3%	20.3%
女性 前期高齢者	395	59.5%	53.9%	40.5%	36.2%	19.7%	21.8%	14.4%	22.3%	13.2%	11.6%
女性 後期高齢者	284	47.9%	51.8%	34.5%	34.5%	18.3%	10.2%	19.7%	14.8%	6.3%	12.3%

	n	仕事、就職活動	新しい仲間やネットワークづくり	ボランティア活動	町会・自治会の活動	シニアクラブ(旧老人クラブ)の活動	資格の取得	左記外で取り組んでみたい、やりたいもの・こと	特になし	無回答
全体	1,717	13.3%	9.7%	8.8%	6.3%	5.3%	4.7%	1.0%	11.6%	2.2%
令和5年度	1,648	10.0%	5.6%	8.0%	6.0%	5.0%	1.5%	0.7%	12.7%	10.7%
男性計	704	14.5%	9.5%	7.8%	7.5%	4.7%	4.8%	0.6%	13.2%	2.1%
男性 60～64歳	141	25.5%	9.9%	6.4%	5.0%	1.4%	7.8%	0.7%	15.6%	0.7%
男性 前期高齢者	330	16.7%	10.6%	10.3%	6.7%	5.2%	5.5%	0.3%	12.7%	1.8%
男性 後期高齢者	233	4.7%	7.7%	5.2%	10.3%	6.0%	2.1%	0.9%	12.4%	3.4%
女性計	832	13.3%	10.8%	10.1%	6.1%	5.9%	5.0%	1.4%	8.8%	1.8%
女性 60～64歳	153	27.5%	16.3%	6.5%	7.2%	1.3%	10.5%	1.3%	4.6%	0.0%
女性 前期高齢者	395	15.7%	12.9%	11.6%	5.8%	5.8%	5.3%	1.3%	8.6%	1.3%
女性 後期高齢者	284	2.5%	4.9%	9.9%	6.0%	8.5%	1.8%	1.8%	11.3%	3.5%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

詳細な年齢区分別でも、いずれの年代、性年代も「体を動かす（ウォーキングや体操など）」あるいは「友人・知人との交流」が最も高くなっている。

図表3-8-2 今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいもの：性年代別（詳細）

	n	体を動かす (ウォーキングや体操など)	友人・知人との交流	趣味の活動(主に外出して行うもの: 習い事、趣味のサークル活動、 旅行やイベントなど)	子や孫など、家族・親族 (同居していない場合を含む) との交流	趣味の活動(主に自宅で行うもの: 読書、オンラインで行うものなど)	配偶者や親など、家族・親族 (同居していない場合を含む) のケア、介護	ご近所とおつきあい	学習活動(講座・講習会、 学習サークルなど)	インターネットの活用	家屋や庭の維持、メンテナンス (日曜大工、庭いじりなど)
全体	1,717	49.3%	45.9%	35.1%	34.0%	19.5%	17.7%	15.1%	14.7%	14.7%	14.2%
60～64歳	303	46.5%	44.2%	38.6%	28.4%	22.8%	24.4%	14.2%	12.2%	18.5%	19.8%
65～69歳	401	59.9%	47.4%	34.9%	38.4%	20.9%	22.4%	12.0%	16.7%	19.5%	14.0%
70～74歳	376	50.5%	47.3%	38.8%	33.5%	21.3%	15.7%	13.0%	19.9%	15.4%	11.2%
75～79歳	409	44.3%	42.5%	32.3%	35.5%	16.4%	12.2%	15.2%	14.2%	10.0%	12.0%
80～84歳	208	42.8%	49.5%	30.8%	32.7%	15.9%	13.9%	26.4%	7.2%	8.2%	16.8%
男性 60～64歳	141	43.3%	31.9%	29.8%	22.7%	19.1%	23.4%	11.3%	7.8%	17.7%	19.1%
男性 65～69歳	188	53.2%	41.0%	27.1%	38.3%	20.7%	18.1%	10.1%	11.7%	23.4%	13.8%
男性 70～74歳	142	49.3%	39.4%	40.1%	33.8%	26.1%	14.1%	9.9%	17.6%	22.5%	13.4%
男性 75～79歳	145	40.0%	37.2%	31.0%	36.6%	13.8%	17.2%	11.7%	12.4%	15.9%	15.2%
男性 80～84歳	88	40.9%	47.7%	29.5%	31.8%	17.0%	14.8%	28.4%	5.7%	12.5%	14.8%
女性 60～64歳	153	49.7%	54.9%	47.1%	34.0%	27.5%	22.9%	16.3%	17.0%	20.3%	20.3%
女性 65～69歳	203	66.5%	52.7%	40.9%	37.9%	21.2%	26.1%	13.3%	21.2%	15.8%	13.3%
女性 70～74歳	192	52.1%	55.2%	40.1%	34.4%	18.2%	17.2%	15.6%	23.4%	10.4%	9.9%
女性 75～79歳	204	46.1%	48.5%	34.3%	34.8%	19.6%	9.3%	16.7%	16.7%	6.9%	10.3%
女性 80～84歳	80	52.5%	60.0%	35.0%	33.8%	15.0%	12.5%	27.5%	10.0%	5.0%	17.5%

	n	仕事、就職活動	新しい仲間や ネットワークづくり	ボランティア活動	町会・自治会の活動	シニアクラブ (旧老人クラブ)の活動	資格の取得	左記以外で取り組んでみたい、 やりたいもの・こと	特になし	無回答
全体	1,717	13.3%	9.7%	8.8%	6.3%	5.3%	4.7%	1.0%	11.6%	2.2%
60～64歳	303	26.1%	12.9%	6.3%	6.3%	1.3%	9.2%	1.0%	10.2%	0.3%
65～69歳	401	19.0%	12.5%	10.2%	5.0%	3.0%	7.2%	1.0%	7.0%	1.7%
70～74歳	376	13.3%	10.4%	10.9%	6.6%	7.4%	3.2%	0.5%	14.6%	1.1%
75～79歳	409	3.9%	6.4%	7.6%	4.9%	3.4%	2.0%	1.0%	13.4%	3.2%
80～84歳	208	2.9%	5.8%	8.7%	11.5%	14.9%	1.9%	2.4%	12.5%	5.8%
男性 60～64歳	141	25.5%	9.9%	6.4%	5.0%	1.4%	7.8%	0.7%	15.6%	0.7%
男性 65～69歳	188	17.0%	11.7%	10.6%	5.3%	2.7%	6.9%	0.5%	9.0%	2.7%
男性 70～74歳	142	16.2%	9.2%	9.9%	8.5%	8.5%	3.5%	0.0%	17.6%	0.7%
男性 75～79歳	145	6.9%	6.9%	4.1%	8.3%	1.4%	2.1%	0.0%	13.1%	3.4%
男性 80～84歳	88	1.1%	9.1%	6.8%	13.6%	13.6%	2.3%	2.3%	11.4%	3.4%
女性 60～64歳	153	27.5%	16.3%	6.5%	7.2%	1.3%	10.5%	1.3%	4.6%	0.0%
女性 65～69歳	203	20.7%	13.3%	10.3%	4.9%	3.4%	6.9%	1.5%	4.9%	1.0%
女性 70～74歳	192	10.4%	12.5%	13.0%	6.8%	8.3%	3.6%	1.0%	12.5%	1.6%
女性 75～79歳	204	1.5%	5.4%	9.3%	2.9%	5.4%	2.5%	2.0%	12.3%	3.4%
女性 80～84歳	80	5.0%	3.8%	11.3%	13.8%	16.3%	0.0%	1.3%	8.8%	3.8%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(2)板橋区に充実を希望する支援施策

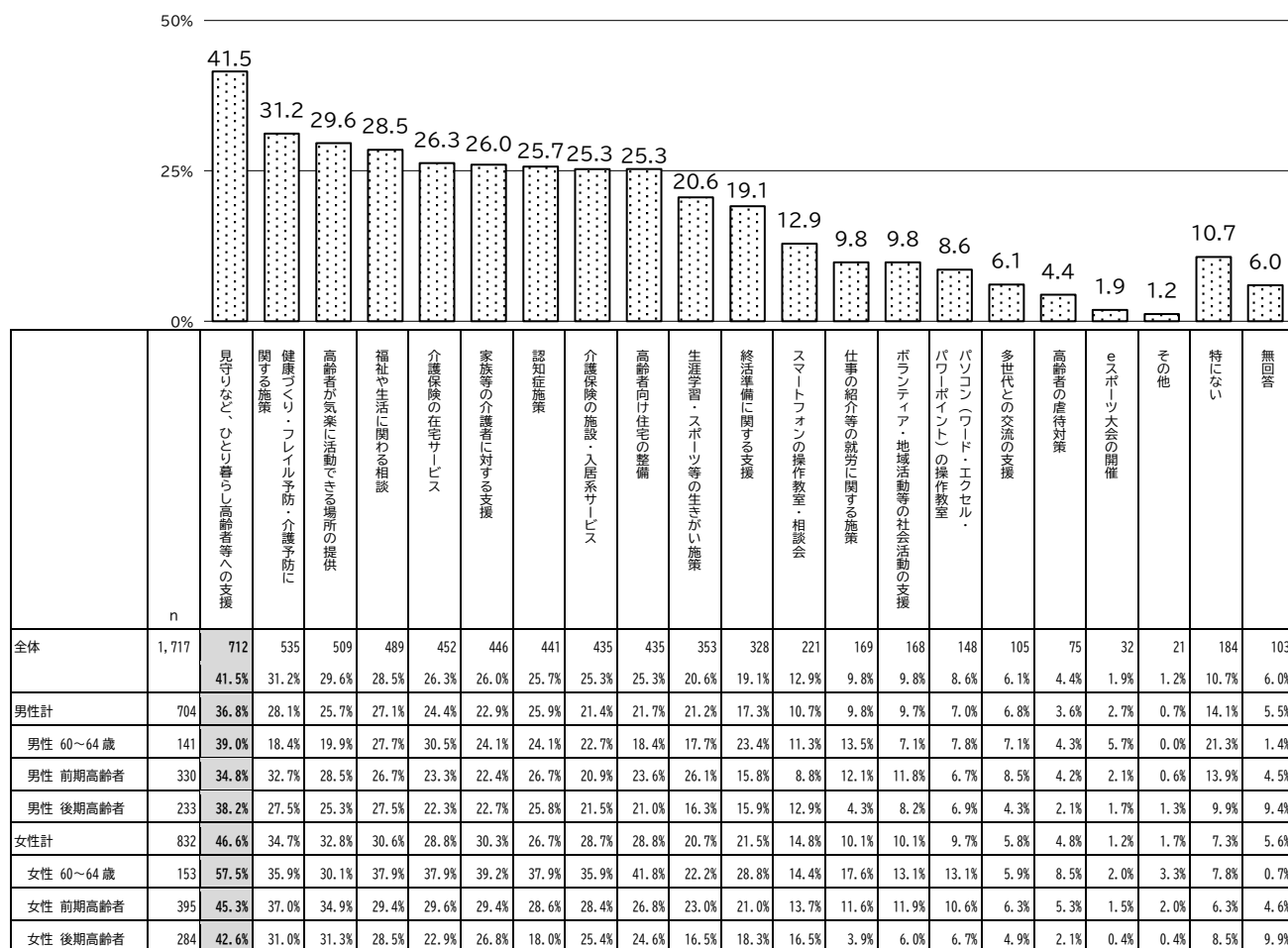
問51 あなたは、板橋区にどのような高齢者施策の充実を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

板橋区に行ってほしいと思う高齢者施策について、充実を希望する施策があると回答している人の中では、「見守りなど、ひとり暮らし高齢者等への支援」が41.5%で最も高く、次いで「健康づくり・フレイル予防・介護予防に関する施策」が31.2%、「高齢者が気楽に活動できる場所の提供」が29.6%の順となっている。一方、「特にない」は10.7%となっている。

性別で見ると、男性では女性よりも「特にない」(14.1%)が高く、女性では男性よりも「見守りなど、ひとり暮らし高齢者等への支援」(46.6%)が高くなっている。

性年代別でも「見守りなど、ひとり暮らし高齢者等への支援」がいずれも高いが、「介護保険の在宅サービス」が女性60～64歳(37.9%)、男性60～64歳(30.5%)で全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-8-3 板橋区に充実を希望する高齢者施策:性年代別



※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

(3)生きがいについて

①現在感じている生きがいの程度

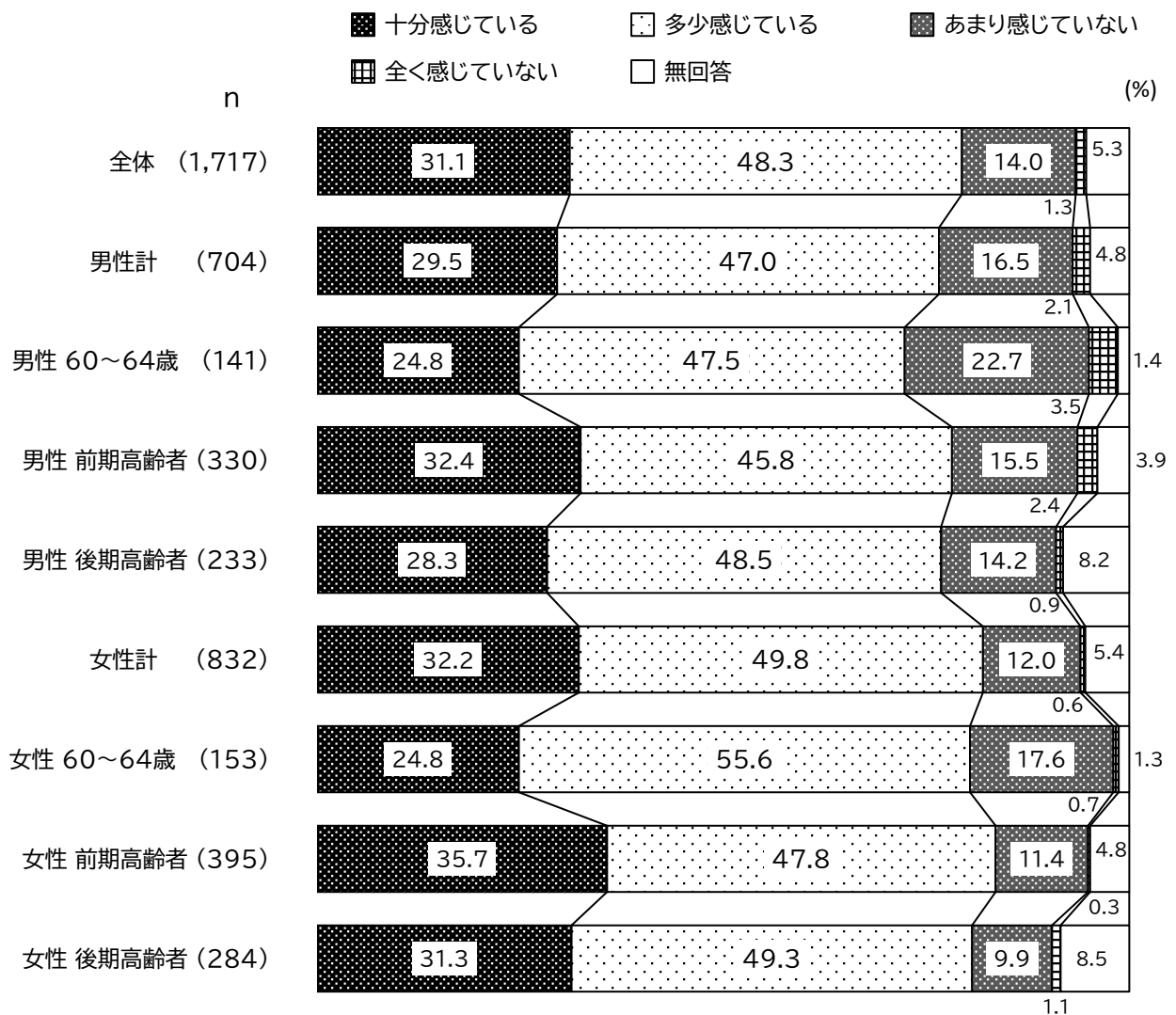
問52 あなたは、現在、どの程度生きがいを感じていますか。(○は1つのみ)

現在感じている生きがいの程度について、「十分感じている」の31.1%と「多少感じている」の48.3%を合わせた『感じている』が79.4%、「あまり感じていない」の14.0%と「全く感じていない」の1.3%を合わせた『感じていない』が15.3%となっている。

性別で見ると、『感じている』が女性（82.0%）の方が男性（76.5%）より5.5ポイント高くなっている。

性年代別で見ると、女性前期高齢者では『感じている』（83.5%）が最も高くなっている。一方で男性60～64歳では『感じている』が72.3%で最も低くなっている。

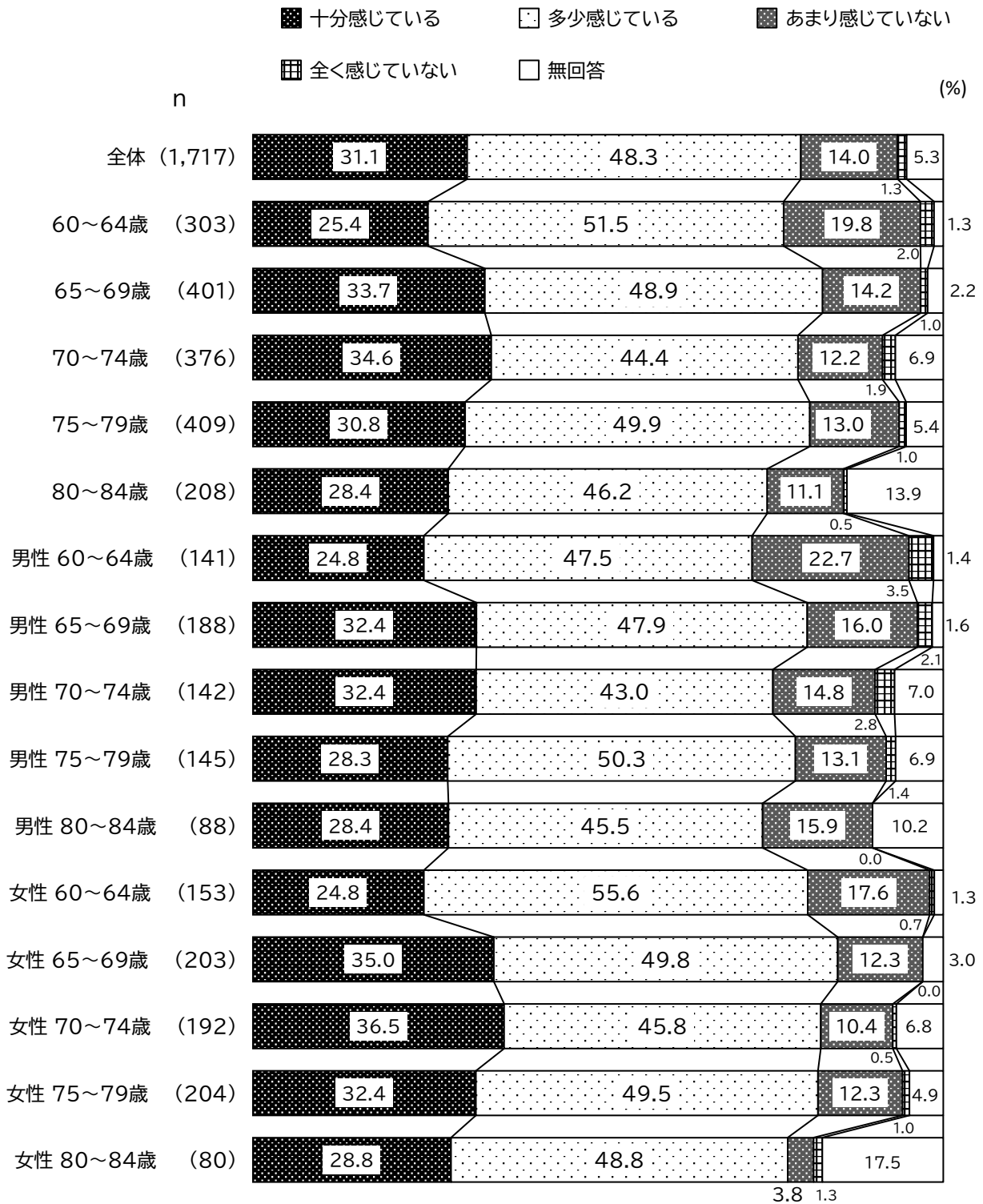
図表3-8-4 現在感じている生きがいの程度:性年代別



第3章 調査結果の詳細

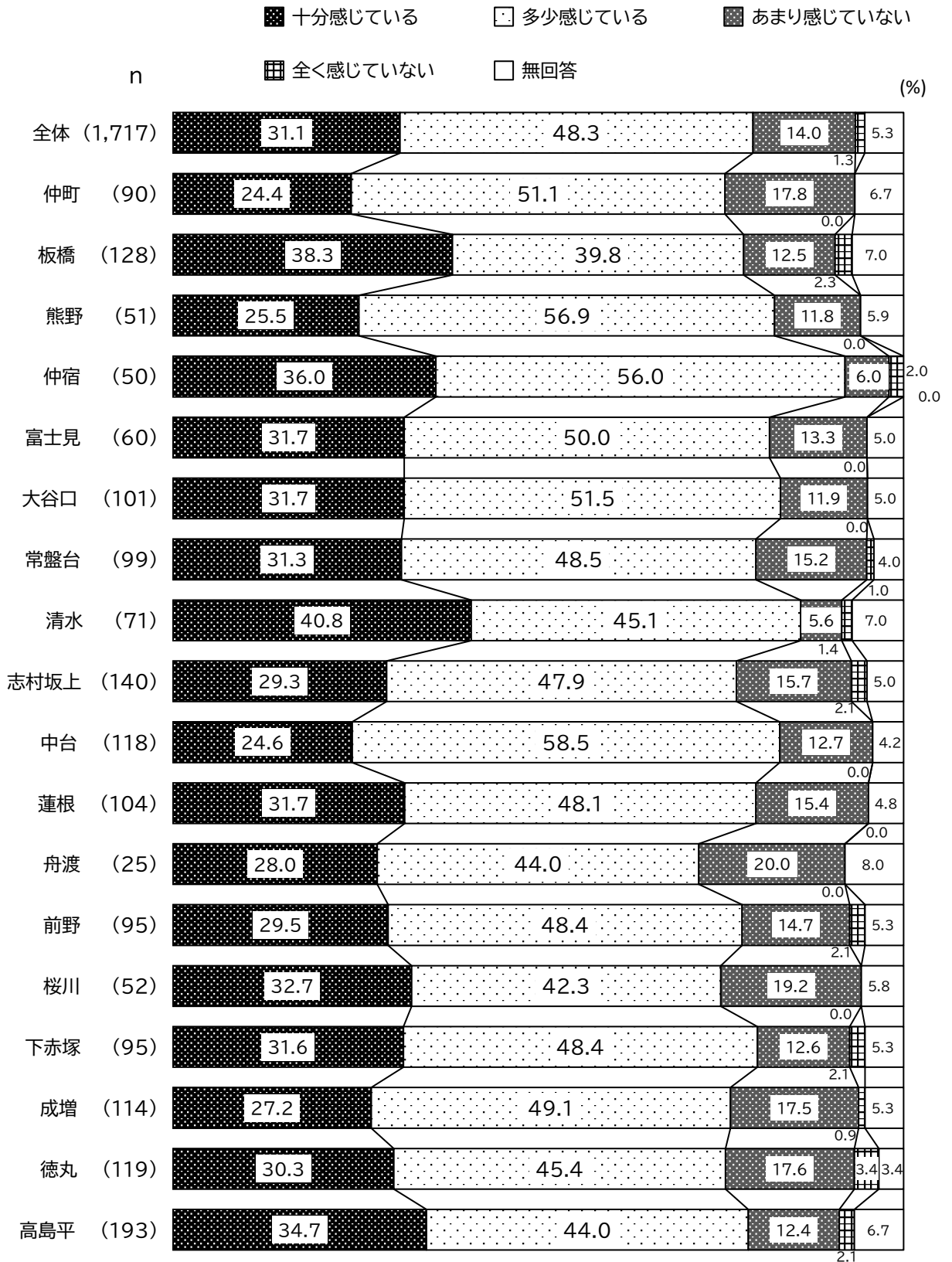
詳細な性年齢区分別で見ると、『感じていない』が男性60～64歳（26.2%）、女性60～64歳（18.3%）で、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。『感じている』の割合はいずれの年代でも女性が高くなっている。

図表3-8-5 現在感じている生きがいの程度:性年代別(詳細)



地区別でみると、『感じている』は仲宿（92.0%）・清水（85.9%）・大谷口（83.2%）・中台（83.1%）で、他の地区と比べて高くなっている。

図表3-8-6 現在感じている生きがいの程度:地区別



第3章 調査結果の詳細

②生きがいを感じる時

【問52で「1. 十分感じている」「2. 多少感じている」とお答えの方におうかがいします。】

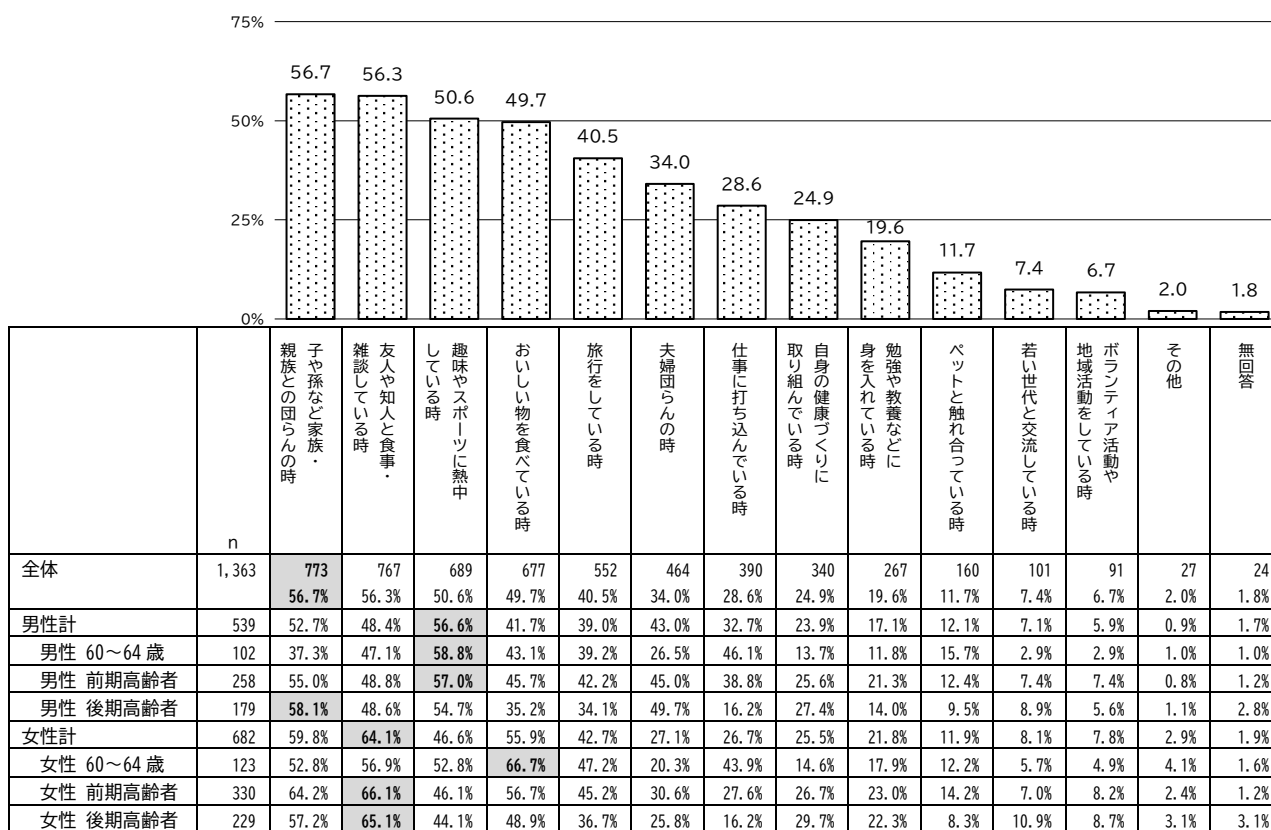
問53 どんな時に生きがいを感じますか。(あてはまるものすべてに○)

生きがいを感じる時については、「子や孫など家族・親族との団らんの時」が56.7%、「友人や知人と食事・雑談している時」が56.3%とほぼ同じ割合となっており、次いで「趣味やスポーツに熱中している時」が50.6%、「おいしい物を食べている時」が49.7%の順となっている。

性別でみると、男性では女性よりも「趣味やスポーツに熱中している時」(56.6%)、「夫婦団らんの時」(43.0%)、「仕事に打ち込んでいる時」(32.7%)が高く、女性では男性よりも「友人や知人と食事・雑談している時」(64.1%)、「おいしい物を食べている時」(55.9%)が高くなっている。

性年代別でみると、男性60～64歳・女性60～64歳では「仕事に打ち込んでいる時」(男性60～64歳46.1%・女性60～64歳43.9%)が、女性60～64歳では「おいしい物を食べている時」(66.7%)が、男性前期高齢者・男性後期高齢者では「夫婦団らんの時」(男性前期45.0%・男性後期49.7%)が、男性後期高齢者では「子や孫など家族・親族との団らんの時」(58.1%)が、女性前期高齢者・女性後期高齢者では「友人や知人と食事・雑談している時」(女性前期66.1%・女性後期65.1%)で全体の傾向よりも高くなっている。

図表3-8-7 生きがいを感じる時:性年代別



※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「趣味やスポーツに熱中している時」(56.2%)、「仕事に打ち込んでいる時」(44.6%)が、65～69歳では「仕事に打ち込んでいる時」(40.8%)が、70～74歳は「勉強や教養などに身を入れている時」(27.3%)が、75～79歳は「自身の健康づくりに取り組んでいる時」(28.8%)が、80～84歳は「子どもや孫などの家族・親戚との団らんの時」(62.6%)が全体の傾向よりも高くなっている。

詳細な性年齢区分別でみると、女性60～64歳・女性65～69歳では「おいしい物を食べている時」(女性60～64歳66.7%・女性65～69歳63.4%)が、女性70～74歳・女性75～79歳・女性80～84歳では「友人や知人と食事・雑談している時」(女性70～74歳70.9%・女性75～79歳64.7%・女性80～84歳66.1%)が全体の傾向よりも高くなっている。

また、「夫婦団らんの時」はすべての年代において女性よりも男性の方が高く、「友人や知人と食事・雑談している時」「おいしい物を食べている時」はすべての年代において男性よりも女性の方が高くなっている。

図表3-8-8 生きがいを感じる時:性年代別(詳細)

	n	子や孫など家族・親戚との団らんの時	友人や知人と食事・雑談している時	趣味やスポーツに熱中している時	おいしい物を食べている時	旅行をしている時	夫婦団らんの時	仕事に打ち込んでいる時	自身の健康づくりに取り組んでいる時	勉強や教養などに身を入れている時	ペットと触れ合っている時	若い世代と交流している時	ボランティア活動や地域活動をしている時	その他	無回答
全体	1,363	56.7%	56.3%	50.6%	49.7%	40.5%	34.0%	28.6%	24.9%	19.6%	11.7%	7.4%	6.7%	2.0%	1.8%
60～64歳	233	45.5%	51.9%	56.2%	54.9%	42.9%	23.6%	44.6%	14.2%	14.6%	14.2%	4.3%	3.9%	2.6%	1.7%
65～69歳	331	60.7%	54.1%	47.1%	56.8%	43.2%	37.5%	40.8%	23.9%	18.1%	13.9%	8.5%	6.3%	1.5%	1.5%
70～74歳	297	58.9%	62.0%	54.5%	46.8%	43.8%	35.7%	22.2%	29.3%	27.3%	12.1%	5.7%	9.4%	2.0%	1.0%
75～79歳	330	56.4%	54.8%	48.8%	46.4%	37.3%	36.4%	17.0%	28.8%	19.1%	9.1%	10.0%	6.7%	2.4%	2.7%
80～84歳	155	62.6%	59.4%	44.5%	40.0%	32.3%	34.2%	14.8%	27.7%	18.1%	7.1%	8.4%	6.5%	1.3%	1.9%
男性 60～64歳	102	37.3%	47.1%	58.8%	43.1%	39.2%	26.5%	46.1%	13.7%	11.8%	15.7%	2.9%	2.9%	1.0%	1.0%
男性 65～69歳	151	59.6%	45.0%	53.0%	48.3%	41.7%	45.7%	47.7%	24.5%	17.9%	13.9%	7.9%	4.6%	0.7%	0.7%
男性 70～74歳	107	48.6%	54.2%	62.6%	42.1%	43.0%	43.9%	26.2%	27.1%	26.2%	10.3%	6.5%	11.2%	0.9%	1.9%
男性 75～79歳	114	56.1%	44.7%	53.5%	40.4%	38.6%	49.1%	18.4%	28.1%	14.0%	10.5%	10.5%	5.3%	1.8%	2.6%
男性 80～84歳	65	61.5%	55.4%	56.9%	26.2%	26.2%	50.8%	12.3%	26.2%	13.8%	7.7%	6.2%	6.2%	0.0%	3.1%
女性 60～64歳	123	52.8%	56.9%	52.8%	66.7%	47.2%	20.3%	43.9%	14.6%	17.9%	12.2%	5.7%	4.9%	4.1%	1.6%
女性 65～69歳	172	61.0%	61.6%	41.3%	63.4%	44.8%	30.2%	36.0%	22.7%	18.6%	13.4%	9.3%	7.6%	1.7%	2.3%
女性 70～74歳	158	67.7%	70.9%	51.3%	49.4%	45.6%	31.0%	18.4%	31.0%	27.8%	15.2%	4.4%	8.9%	3.2%	0.0%
女性 75～79歳	167	55.1%	64.7%	48.5%	49.7%	37.1%	27.5%	15.0%	29.9%	22.8%	8.4%	10.2%	9.0%	3.0%	3.6%
女性 80～84歳	62	62.9%	66.1%	32.3%	46.8%	35.5%	21.0%	19.4%	29.0%	21.0%	8.1%	12.9%	8.1%	3.2%	1.6%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

第3章 調査結果の詳細

地区別でみると、「趣味やスポーツに熱中している時」は桜川（64.1%）で、「おいしい物を食べている時」は徳丸（65.6%）で、「旅行をしている時」は前野（50.0%）で、「夫婦団らんの時」は仲宿（45.7%）で、「仕事に打ち込んでいる時」は下赤塚（42.1%）でそれぞれ他の地区と比べて高くなっている。

図表3-8-9 生きがいを感じる時：地区別

	n	子や孫など家族・親族との団らんの時	友人や知人と食事・雑談している時	趣味やスポーツに熱中している時	おいしい物を食べている時	旅行をしている時	夫婦団らんの時	仕事に打ち込んでいる時	自身の健康づくりに取り組んでいる時	勉強や教養などに身を入れている時	ペットと触れ合っている時	若い世代と交流している時	ボランティア活動や地域活動をしている時	その他	無回答
全体	1,363	56.7%	56.3%	50.6%	49.7%	40.5%	34.0%	28.6%	24.9%	19.6%	11.7%	7.4%	6.7%	2.0%	1.8%
仲町	68	60.3%	55.9%	42.6%	51.5%	39.7%	39.7%	22.1%	25.0%	19.1%	10.3%	4.4%	2.9%	1.5%	1.5%
板橋	100	62.0%	52.0%	57.0%	45.0%	40.0%	39.0%	28.0%	24.0%	16.0%	21.0%	6.0%	7.0%	2.0%	3.0%
熊野	42	59.5%	50.0%	45.2%	47.6%	38.1%	19.0%	23.8%	21.4%	9.5%	16.7%	2.4%	2.4%	0.0%	2.4%
仲宿	46	45.7%	63.0%	56.5%	47.8%	32.6%	45.7%	30.4%	34.8%	26.1%	19.6%	6.5%	6.5%	0.0%	0.0%
富士見	49	44.9%	59.2%	55.1%	49.0%	40.8%	36.7%	20.4%	30.6%	16.3%	8.2%	6.1%	12.2%	6.1%	2.0%
大谷口	84	53.6%	57.1%	56.0%	50.0%	27.4%	27.4%	25.0%	17.9%	27.4%	8.3%	13.1%	6.0%	2.4%	2.4%
常盤台	79	60.8%	57.0%	48.1%	44.3%	36.7%	39.2%	26.6%	24.1%	26.6%	12.7%	10.1%	6.3%	2.5%	2.5%
清水	61	63.9%	55.7%	42.6%	50.8%	42.6%	37.7%	24.6%	26.2%	19.7%	8.2%	4.9%	6.6%	4.9%	0.0%
志村坂上	108	54.6%	55.6%	50.9%	45.4%	42.6%	22.2%	32.4%	18.5%	13.0%	6.5%	12.0%	5.6%	0.9%	0.9%
中台	98	60.2%	57.1%	56.1%	46.9%	48.0%	41.8%	27.6%	32.7%	22.4%	12.2%	9.2%	8.2%	1.0%	1.0%
蓮根	83	62.7%	51.8%	51.8%	51.8%	39.8%	28.9%	25.3%	26.5%	13.3%	12.0%	4.8%	10.8%	1.2%	4.8%
舟渡	18	33.3%	50.0%	55.6%	44.4%	44.4%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	11.1%	5.6%	11.1%	5.6%	0.0%
前野	74	58.1%	68.9%	39.2%	51.4%	50.0%	39.2%	28.4%	32.4%	17.6%	10.8%	6.8%	2.7%	5.4%	0.0%
桜川	39	51.3%	48.7%	64.1%	53.8%	46.2%	33.3%	33.3%	25.6%	28.2%	15.4%	10.3%	2.6%	2.6%	2.6%
下赤塚	76	55.3%	57.9%	44.7%	50.0%	46.1%	36.8%	42.1%	27.6%	22.4%	15.8%	7.9%	3.9%	2.6%	1.3%
成増	87	55.2%	58.6%	52.9%	43.7%	44.8%	31.0%	24.1%	17.2%	23.0%	10.3%	9.2%	4.6%	1.1%	2.3%
徳丸	90	60.0%	57.8%	54.4%	65.6%	44.4%	38.9%	37.8%	22.2%	21.1%	14.4%	6.7%	7.8%	0.0%	0.0%
高島平	152	54.6%	51.3%	46.7%	52.0%	32.2%	30.9%	28.3%	27.0%	18.4%	6.6%	4.6%	10.5%	1.3%	2.6%

※表側ごとに最も高い値を太字・網掛け

9. 自由意見

問54 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。

高齢者向けのサービスなどに関する自由意見については、310人からの回答があった。

主な内容としては、「その他」以外では「街の整備・建物・施設について」が49人と最も多く、次いで「サービスの拡充・要望」が44人、「情報提供・デジタル化について」が38人、「生活について」が29人の順となっている。

図表3-9 自由意見

番号	記入内容	件数
(1)	就労・仕事について	4
(2)	健康について	5
(3)	生きがい・社会参加について	20
(4)	介護保険制度・介護について	23
(5)	生活について	29
(6)	情報提供・デジタル化について	38
(7)	物価高・税金について	10
(8)	街の整備・建物・施設について	49
(9)	サービスの拡充・要望	45
(10)	アンケートに関すること	8
(11)	前掲以外の行政への要望・相談・意見等、その他	79
計		310

主な意見(抜粋)

(1)就労・仕事について

- 健康でないと、おいしい物、旅行、スポーツを楽しめません。足、腰を鍛える運動など、いっしょにできるような事、難しい動きではなく簡単な事で繰り返しできる動きのもの。区の仕事で簡単な事のボランティア、例えば封入作業など単時間のもの…。
- 短時間で仕事がしたい(欲しい)近場で。
- 生活費、あるいは高齢者の働く賃金を最低賃金以上に上げて欲しい。
- 高齢者は、きがるに臨時バイトしたがついています。ボランティアではなくお仕事で生活費のプラスにしたいのです。ばいとで社会参加でき、求人者は手が足りないときに高齢者を気軽に臨時募集できる仕組みはいかがですか。家事、軽作業、事務所清掃、事務作業、留守番など、「板橋区いますぐバイトしませんか情報」サイトをやりませんか。単純なインターネット掲示板サイトでいいと思います。参加者は登録制にして保有スキルを開示し、求人者はどんなひとか確認できるのがいいかもしれません。わたしがあったらいいなと思っていたのでかいてしまいました。新施策としていかがでしょうか。

第3章 調査結果の詳細

(2)健康について

- 私自身2年前ガンになり、5年前リューマチになり仕事が出来ず苦しんでいます。
- 今の所、生活に支障きたしてなく円滑に進んでいますが、年齢が上がるごとに認知症、病気等心配していますが、身体的、健康的に丈夫で異常なく健康を目指しています。他人に迷惑かけること無く「自立」できるだけ長く続けたいと思っています。
- 9月7日で80才になりましたがまだ現役で家事すべてをしているので、自分の時間を作り、映画友達と会って話をしたり食事をしたりが、今はそれで、過ごしています。今は、一人の行動に、かぎりがあり、60~70代の時のように一人ででかける行動の範囲が限られて来ています。でも、一人ででかける事は、今でもしています。後何年、今の体力がつづくのか不安になります。

(3)生きがい・社会参加について

- 家に閉じこもらない、誰かと交流を持てるように出来るサービス。
- 特に高齢者に向けたと言うより、町会単位でさりげなく、日々の見守り、声かけ、地域の小さい集りなど企画ができるバックアップをして欲しいと思います。
- 大変参考になりました。ありがとうございます。高齢者になるとさびしい人が多く見られます。特に男性の場合は、皆さんとふれ合いを持ちたいがそれが出きない。心の弱い気持ちが出てしまい、行動したくても勇気が出ない。ひとり行動が多くなる。
- シニアクラブとは何ですか?板橋区の広報誌に載っていますか?どんな活動をしているのか知りたい。
- 介護を受けてない方の集まりの場があればありがたいです。

(4)介護保険制度・介護について

- 介護未満で介護を遅らすサービスがあると良いと思う。現在、親の介護をしながら仕事(再雇用)をしているが、老々介護に対する介護者への支援が家族も職場も少なく孤立してしまう。介護者も幸福になれるサービスがあると助かります。
- 夫婦2人で住宅に住んでいますが、子供がいないため先が不安です。健康であれば仕事もでき収入があるため蓄えも今は少々ではありますができています。しかし、病気になった時、老々介護と収入減少が心配です。夫婦一緒に入れる介護付の格安のケアハウスやグループホームなどがあると良いといつも話しています。
- 高齢者でもホームで紙風船やぬり絵とかイヤだと言ってました。(私の母も友人の母も言っていました。)入所する時普通に歩いていた母が車イスばかりに乗せられてびっくりしました。昼間は大広間のリビングみたいな所にばかりいさせられて、タンゴが好きな母は自室では一度もCDをかけてもらえませんでした。これじゃ筋肉も落ちるし脳への刺激もなくボケて行くばかりかと。自室での飲食もなるべく駄目という事で面会では好物をたくさん持って食べさせてあげようと買って行きました。とは言え限りはありますが、私が帰る時は涙を見せる時もありました。
- 年金暮らしでやっとの生活です。介護施設(特養)に入居しやすくしてもらいたい。一般の老人施設は高額で入居できない。子供に面倒を見てもらいたくない。介護は大変だから今はなんとか健康だけど将来が不安です。
- 介護をしてる家族等の負担(時間、費用など)が少しでも軽減出来れば良いと思います。
- 父が施設に入っているが、介護要員の不足及び質の程度の低さなどを感じている。もう少し、給与を高く設定し、人材を育ててほしい。

(5)生活について

- 後期高齢者医療保険料が高額で生活を圧迫されています。日々の生活で精一杯です。
- 日々現在の給料では厳しい。妻が10月で退職して2ヶ月、生活が厳しくなって来ている。父も来年90才、母が認知症が進み(来年87才)私も後1年6ヶ月で定年、今後の生活がとても不安です。特に妻が難病申請を受けており、病院に通院(車にて)によって父・母・妻の為の経費が日々負担が増えています。職場で不満があっても我慢して家族の為ガンバッテ行きます。
- 今はなんとか1人でやって行けますが、これから先身体に何かあった時、簡単にお世話になれます様に、今からしておかなければならない事を教えて欲しいです。お願い致します。
- 一人暮らしのため認知症になった時どこにだれに相談したら良いのか心配です。
- 今はお仕事をしていますが、出来なくなった時に収入がありません。年金もないので不安です。今は娘夫婦と同居ですが、具合が悪くなった時どうすれば良いか分かりません。どこにどう相談してよいのかも分からないので不安です。
- 現在終活をしています。今は元気でゲームをし楽しく過ごしていますが独身なので死ぬ時どうなるのかと心配しています。民間の終活センターに申し込むか考え中なのですが、金額が高いので少し心配になります。(終活センターが)できれば、高額でもいいので区で運営してくれると安心します。そろそろターミナル期なので死を迎えるにあたり安心して老後を過ごすことができるようにしていただくのが一番の幸せです。(税金を使うことは全く考えてません。若い時から最後の時にそなえていますので)上記の考え方は老人はすくなくならず、みなさん思っていると思います。

(6)情報提供・デジタル化について

- 問45高齢者向けサービス事業について具体的にDM等でインターネットを活用してでもよいのでプッシュ型で広報を取りすすめてほしい。
- 毎年、防災訓練に参加して思うのですが、同じ事のくり返しで近年の災害に対して、どう行動すべきか、どこへ移動するのかなど知っておく必要があると思う。同じ年代の人達と話すのですがどういうサービスが有ることすら知らないことが多い。どの様に知っていただくか工夫が必要に思います。
- マイナンバー、板橋ペイ、スマートフォンなど使い方にこまったとき相談する所がほしい。
- 夏の暑い時期、涼しく長時間居られる場所(無料でWi-Fi有り)があれば知りたい。
- 要介護支援に関する情報提供を積極的に区のサービスとして実施して頂きたい(高齢者家族が居る世帯に対しては請求できる制度の内容、申請の仕方など)。宜しく申し上げます。
- 見る・聞く・理解するが難しくなっても、受けられるサービスのわかり易さ、手段の簡潔さ、能力に応じてのサポートが充実すれば「知らなかった」や「わかりづらかった」がなくなり、新しく生きがいを見つける手がかりも多くなるのではないかと思う。若い時よりも「自分で調べる」や「自ら気づくこと」が多少なりとも難しくなってくる。アンテナのサポートも必要ではないか。
- ほとんど知らないので周知して欲しい。まずどこへ行けば相談できるか、パンフレット等がもらえるか、入り口を教えて欲しい。

第3章 調査結果の詳細

(7)物価高・税金について

- シニア対策費用より物価高であるから、健康保険料、介護保険料、都区民税を値下げをして下さい。
- 現在は妻がいるので、楽しいし安心ですが、妻がいなくなった後を考えると不安です。現在働けていますが、年金住いになると年収120万位です。生活保ゴより明らかに少ないです。生きていけるか不安です。次から次と税金が来ると物価が上がり続けることに不安です。
- 介護保険料が高すぎる、年金生活の方にとってはたいへんです。国が負担すべき。国は若い世帯(子育て世帯)にやさしく年寄りにはきびしい。
- 高齢者向けサービスが充実するのはとてもうれしい反面、若い人の負担が多くなるのは困る。少子化の問題もあり、若い人の税や保険・年金が多額になる一方で、そちらを優先してほしいと思う。せっかくのアンケートからの充実サービスをめざしているけれど、心苦しい思いでいます。

(8)街の整備・建物・施設について

- 高齢者が安全に歩ける歩道の整備。若者の交通ルールや自転車、モペット等の走り方の教育を徹底する。危険な運転をしている人の教育をする。
- 高齢者向けサービスを実施している施設、ふれあい館等が、近くにない(成増近辺に)。近くにあると利用しやすい。または、駅(東上線)の近くにほしい。
- 高齢者のひとりぐらしでケアがある程度してもらえる住宅・多年令層との交流の場・個食孤食にならず、子ども食堂ではなく高齢者も食べられる場。
- サービスとは異なると思いますが信号機の「青」の時間が短すぎて外出することがはばかれるとの意見を聞きました。高齢者(子供も)が行動しやすい町づくりを望みます。
- モルックとかポッチャがやりたいが場所がないので室内でできる所を作ってほしい。
- 歩道の整備、煉瓦づくりの歩道で欠落部分でつまづき転倒したことがあった。
板橋区役所周辺の公園の喫煙マナーの徹底、子供や孫と遊んでいる時にでも堂々と公園内で喫煙している。看板等設置しているが、あまり効果がないように思える。自身や子供にも身体的にも悪影響です(四ツ又公園)。
- 板橋区は坂が多いので、シニア世代の方が買物に苦勞しています。ショッピングカートを押してやっと歩いている方をよく見かけます。1日に数回でいいので大型ショッピングセンターに送迎するバスが周回してくれたりいいなと思います。また、これからますますマイナンバーカードの役割が大きくなると思いますが、私の母のように(老人ホーム在住)申請したくてもできないお年寄りが多いです。出張サービスをしてほしいです。
- 区内施設や病院に行きやすい巡回バス、気軽に合唱等ができる会場(簡易防音・ピアノ)がもう少し各地域に。
- 高齢者向け住宅(低家賃)をたくさん作ってください。まず、安心して住める所ができれば、高齢者でももっと生きがいを感じる生き方ができるのではないのでしょうか。身寄りのない高齢者の入院、葬儀までをめんどうみってくれる業者を育ててくれる政策をおねがいします。
- 働けなくなったら、100%生活保護なので、外国人ばかり都営アパート入居や生活保護を優遇しないで困ってる日本人を助けてほしい。金をもっている外国人が生保や都営にはいつているのが目立つ。
- 現在、公的年金と個人年金で生活しています。民営の賃貸住宅に住んでおり、公的年金の半分近くを賃料に充てています。昨今の物価高の影響もあって贅沢は出来ず、エンゲル係数の高い生活をしています。高齢者が安く入居できる賃貸住宅があると嬉しいです。

(9)サービスの拡充・要望

- 1人暮らしの中、急に倒れた、亡くなった時他、毎日連絡をとっている人がいないので、安価で2、3日に1回生存確認をして何か異変があれば、登録された家族、知人他に連絡してもらえる様な死後速やかに発見、対応してもらえるサービスが、是非欲しいです。現在あるのであればアピールをお願いします。
- いろいろな相談事の総合窓口を設置してほしい。とりあえずそこに行けばそれぞれの問題に対して専門機関につなげてもらえるようなシステムがあると助かる。どこに行けばわからなくてもとりあえず相談できるので便利。総合窓口(例)スマホのこと→スマホの使い方講習へ。健康のこと介護のこと→おとしよりセンター、支援センター。生活のこと→福祉課などへ。
- 「子供電話相談室」ならぬ「シニア電話相談室」の様なものが有ればいいと思う。但し、相談内容に制限を持たない様「何でも」受け即答できなければ後日回答をする等の余裕をもたせられれば幸に思います。
- 大学で社会人や年配者への講座等やっているが区でたとえば世界史や日本史の講座や専門家をよんでの講演会又、落語会、音楽のイベントなど北区に比べて板橋区は少ないと思う。もっと文化、教養UPに向けて“知的好奇心”をくすぐられるサービスがほしい。舟渡に住んでますが区のサービスどこに行くにも交通が不便です。三田線沿いが多いので困る。
- 定期的な訪問及び食事のサービス(週に1回でもくばること)で生存の確認等。
- 私自身高齢者という自覚が足りませんが、高齢者にとって住み良い町づくりは…と思っています。高齢者と子どもや障害を持っている人達が交流出来る場が理想です。
- インターホン設置の援助金をお願いしたい。
- 他県から板橋区に引越してきたのでサービス等を知る機会がない。住民票の登録等などの時に説明があると嬉しいです。又、北区に近く板橋の施設が遠く、北区のサービスを受けられると大変助かります。例えば、帝京大に近いのでそのサービス等。
- 介護や認知症の講演など現地に行けないのでスマホで視聴できるようにしてほしいです。
- ペットが同居できる支援をほしい。マンション住まいで、組合規約で、同居できないので、同居できる方法を支援してほしい。
- 高齢者向けサービスにどのようなものがあるかわかっていない。年寄りだけのサービスではなく、いろいろな世代が関わるサービスがあるとよいと思う。(自分が年寄りだと認めたくない意識が働いてしまう気がする)
- なかなか難しいとは思いますが、家にいて外出されない高齢者への何らかの外出支援。傾聴や買い物など声なき声を聞いていただきたい。
- (1)緊急連絡先が書けない人に公の援助を作ってもらいたい。(2)死後の遺品整品から連絡・葬儀など生前に希望を聞いて変更があれば訂正も可能として終活のやっておくべきことを助言・アドバイスしてもらい準備を整えることができるよう手助けしてほしい。つまり…「終活登録」制度にして、ひとり暮らしの人が案心して(他者への迷惑をかける心配なしに)生活できるようにしてほしい。費用は前払い、積みたてていく、死後回収などお世話になると思ったら余った分を寄付する人もいると思うので互助の形もあるかと思います。(3)見守りで月1回の訪問がありますが私は気がすすみせん。水道を使ったら、電気をつけたらなどで安否確認はできると思います。

(10)アンケートに関すること

- 調査票は字が大きい、色もはっきり黒く大変読みやすく助かりました。
- 設問が多すぎます。当てはまらない事が多い。
- このようなアンケート調査を毎年実施して、政策に生かされればと思っております!
- 問45にて、さまざまな事業があることを知り、驚きました。

(11)前掲以外の行政への要望・相談・意見等、その他

- 妻を亡くしたばかりで、いまはなにもしたくない。
- まだまだ元気なお年よりは多いです。でも家の中に一人でいたり、孤食の人が見受けられます。子ども食堂を自宅で開いていますが、高齢者や初期認知症の人にお手伝いをお願いし子どもと一緒に食べています。そういう場が各地域にあったらと思います。
- 現在、パートタイマーとして仕事をしているのであまり実感がわからない。
- 歴史に興味を持っているので、区内の歴史的史跡や、出来事などを知りたい。
- プレミアム商品券1万円で1万3千円ぐらいにして欲しい。
- どんどん高齢者が増え、介護サービスが家庭にまかせられるようになり、健康保険料が2~3割負担になったり、さまざま高齢者にとってきびしい世の中になってきていて不安がいっぱいです。健康面でも努力だけでは無理な部分もあるので、お願いとしてはまずは、どういう事を願っているか、話をていねいに聞いてほしいです。(要望によって今はむり、部分的には出来る部分ある。ここに相談するといいななど)
- 認知症施策について、一人暮らしの方が認知症になっても周りは、すぐに気づきません。実例で自分で消防へ電話して、一晩に2回も救急車を呼んでしまうとか、洗ったシャツをストーブで乾かして、シャツを燃やして消防がかけつけると言った事は、消防は知っています。しかし区側は知りません。従って、今後は消防と医療、福祉との連携や情報共有がより深くなされることを望みます。
- 趣味が多様化している世代なので、男女平等に楽しめる盆踊りやフォークダンスなどの踊りや、スポーツゲームをしながら脳トレをする機会が増加することにより心身共に健全であることが望まれる。
- 在宅向けのヘルパーさんをお願いできる時間を5時間以上にして欲しいです。
- 高齢者向けのタクシーが呼べると良いのですが、一般のタクシーでは、車いすが積めない。
- 知人の情報で、本人感覚と違うケース、本人は困っていると言わない、認知と意識してない、けれど周りの人が気にしているだけ、家が臭う、そんな家が案外多い気がするけど…手が出せない。
- 引越しのさいに、粗大ゴミを出したのですが、自宅前はせまく、道路に出すしかありませんでした。緊急車輛などのじゃまになります。出さなければもっていかないの一点ばりです。少し考えて下さい。高すぎます。分解出来たので今回は無事終わりました。
- ふれあい館でカラオケしたいです。中止になったので。
- タクシーにシルバー料金的な物がほしい。通院が大変。(リハビリなど)
- 板橋区は高齢者の1人暮らしやご夫婦の2人暮らしが増えている様になります。そんな中、最近では外国人が空いたアパートや新設のアパートに住むのも増えていますので、外国人の犯罪などのニュースを見聞きすると、これ以上増やさないで欲しいと感じています。勿論、外国人=犯罪という事はなく、優しい外国人も多い事は承知していますが、言葉や習慣が違う人達との交流は疑心暗鬼になってしまいます。将来を考えると、大きな家などで1人1人のプライバシーも保て、シェアハウスなど、あらゆる年代の人達と暮らせるのはいいかなあと感じています。年金だけでは生活していけないので区や都や国で支援してもらえると助かります。
- デイサービスなどでグループで一つの事をするのではなく、各個人がやりたい事を選択できるようにして欲しいです。

第4章 調査結果の分析

1. 現在の暮らし向きについて

- 現在の暮らし向きについて、半数以上が「ふつう」と感じている一方、『苦しい』が『ゆとりがある』を上回っている。
- 暮らし向きが苦しい理由で最も高いのは「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため」で7割を超えている。

現在の暮らし向きについては、「ふつう」(54.6%)が最も高く、『ゆとりがある』が15.2%、『苦しい』が29.4%となっている。性年代別で見ると、男性60～64歳で「大変苦しい」(10.6%)が、女性・60～64歳で『苦しい』(33.3%)が全体傾向より高くなっている。地区別で見ると、『ゆとりがある』は舟渡(40.0%)・中台(23.7%)・徳丸(22.7%)でそれぞれ他の地区と比べて高くなっている。これに対して『苦しい』は富士見(38.4%)・前野(36.9%)・志村坂上(32.9%)でそれぞれ他の地区と比べて高くなっている。性年代による差はあまり見られなかったが、それに比べて地区による差が大きいことが分かる。(問6：図表3-1-12・図表3-1-13)

また、現在の暮らし向きが苦しい理由については、「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため」が77.2%と最も高く、次いで「賃金などの収入が減ったため」が27.4%、「税金や保険料の支払いが増えたため」が25.8%の順となっている。性別で見ると、男性では女性よりも「退職・失業などのため」(23.9%)、「低金利が続いているため」(6.2%)、「事業などの経費が増えたため」(6.7%)が高くなっている。(問7：図表3-1-14)

これらのことから、全体的な傾向としては『苦しい』は『ゆとりがある』と比べて14.2ポイント高く、暮らし向きが『苦しい』。その原因は「物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため」であることがわかるが、地区によって暮らし向きの傾向やその原因として割合が高いものが異なる。

主原因は全体の7割超が回答している物価の上昇であるのは間違いない。また、収入減や保険料なども指摘されており、対策が求められる。

2. 仕事、働くことについて

- 現在の仕事・雇用形態・働き方において、男性の多くはフルタイムで働いている、女性の多くはパートで働いているなど、男女差がみられる。
- 現在働いていない理由については、「健康上の理由」が最も高く、次いで「専業主婦・専業主夫だから」となっており、前者は男性で、後者は女性で高い傾向にある。
- 働く場合の希望する働き方は、「定期的に働きたいが、週に35時間より少なくしたい」が半数を超えており、特に女性でその傾向が強い。
- 今後働きたい、働き続けたい人は、男女ともに5～10年程度働くことを希望する人が多い。
また、今後も働く上で重視するのは「体力的に無理なく続けられること」に加え、男性では「能力の発揮」、女性では「自宅から近いこと」。その上で、現在の職種で引き続き働くことを希望する人が多い。
- 仕事を探す方法は紹介や求人広告が主。情報を提供する施設などの認知度・利用状況は「シルバー人材センター」「ハローワーク」「インターネット（求人情報サイトなど）」の割合が高い。

現在何らかの仕事をしていると回答している人は計43.0%で、このうち、男性の方が比較的割合が高いのが「会社・団体の役員、管理職」(10.4%)、「輸送、運転」(3.4%)、「建設、電気、土木」(4.8%)、「警備」(2.0%)、となっており、大きな差ではないものの性別による職業の違いがあることがわかる。(問8：図表3-2-1)

また、現在の仕事の主な雇用形態においては、男性では女性よりも「会社員・公務員」(22.3%)、「自営業、自由業」(22.8%)が、女性では男性よりも「パート・アルバイト」(53.4%)が高く、性別による明確な違いが生じている。(問9：図表3-2-3)

現在の働き方においても、男性では女性よりも「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」(54.3%)が高く、女性では男性よりも「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」(54.4%)が高くなっている。(問10：図表3-2-4)

したがって、男性は長時間仕事に集中し、女性は生活と仕事を両立させている、という役割分担があることがうかがえる。

現在の仕事をどこで探したかについて、現在就業している人の中では、「友人・知人・家族などの紹介」が21.4%と最も高く、次いで「求人情報誌や求人広告」が15.1%、「その他」が8.6%、「ハローワーク」が7.6%の順となっている。一方、「再雇用」は11.0%、「就職活動はしていない（自営業、定年前など）」が24.4%となっている。(問11：図表3-2-7)

今後の就業意向については、「今は働いておらず、今後も働く予定はない」が44.8%と最も高くなっているものの、「今も働いており、今後も働き続けたい」が36.3%、「今は働いていないが、今後働きたい」が7.6%となっている。性年代別で見ると、男性では60～64歳と前期高齢者で、女性では60～64歳で、「今も働いており、今後も働き続けたい」（男性60～64歳53.2%・男性前期51.2%・女性60～64歳57.5%）が高くなっている。(問12：図表3-2-8)

加えて、何歳まで働きたいかについて、全体の傾向では「70～74歳」が27.5%と最も高くなっており、性年代別で見ても、男性60～64歳では「65～69歳」(44.0%)が、男性前期高齢者では「75～79歳」(37.8%)が、男性後期高齢者では「80～84歳」(42.4%)、「85歳以上」(18.2%)が、女性60～64歳では「65～69歳」(37.4%)が、女性前期高齢者では「70～74歳」(47.7%)が、女性後期高齢者では「75～79歳」(33.9%)が高くなっている。このことから、男女ともにあと5～10年程度、働き続けたいと考えている人が多い傾向にあるといえる。(問13：図表3-2-9)

働くことを決めるときに重視することについては、「体力的に無理なく続けられること」が76.2%と最も高く、次いで「自宅から近いこと」が37.8%、「自分のペースで進められること」が34.3%の順となっている。詳細な年齢区分別でみると、60～64歳では「勤務日や勤務時間を選べること」(38.6%)、80～84歳では「自分の能力を發揮できること」(34.9%)が、男性65～69歳では「自分の能力を發揮できること」(40.7%)が、男性70～74歳では「自分のペースで進められること」(48.7%)が、男性75～79歳では「経験した職種であること」(36.4%)、男性80～84歳では「以前と同じ勤務先であること」(13.6%)が、女性65～69歳では「勤務日や勤務時間を選べること」(45.4%)・「自宅から近いこと」(54.6%)が、女性80～84歳では「自分の能力を發揮できること」(40.0%)が、それぞれ全体の傾向よりも高くなっている。(問14：図表3-2-10・図表3-2-11)

現在働いていない理由については、「健康上の理由」が32.1%で最も高く、次いで「専業主婦・専業主夫だから」が23.4%となっている。

性別でみると、男性は「健康上の理由」(37.5%)、「経済的余裕があるから」(21.5%)が女性よりも高く、女性は「専業主婦・専業主夫だから」(36.1%)、「家庭の事情(介護、孫の世話など)があるから」(17.6%)が男性よりも高くなっている。(問17：図表3-2-15)

また、希望する職種について現在の職業別でみると、現在の職業をそのまま継続して続けたいという回答がそれぞれの中で過半数となっている。(問15：図表3-2-14)

希望する働き方については、「定期的に働きたいが、週に35時間より少なくしたい」が56.3%で最も高く、次いで「フルタイム(おおむね週に35時間以上)」が24.7%、「不定期で働きたい」が15.9%の順となっている。性年代別でみると、男性ではいずれの年代でも「フルタイム(おおむね週に35時間以上)」が高く、女性は「定期的に働きたいが、週に35時間より少なくしたい」がいずれの年代も高い。男性、女性とも年代が上がるにしたがって「フルタイム(おおむね週に35時間以上)」は減少する傾向となっている。(問16：図表3-2-14)

これらのことから、肉体的・精神的にストレスを感じることなく働ける環境であるかどうかということ、加えて、男性では自分の能力を發揮できるかどうか、女性では通勤や勤務時間も含めて働きやすい環境かどうかを、仕事を決める上で重視しているということがわかる。

また、仕事に関する情報を提供している施設などの認知度・利用状況については、『認知度』は「ハローワーク」(認知度78.8%・利用状況21.4%・利用して就労につながった8.9%)が最も高く、次いで「シルバー人材センター」(76.5%・5.4%・2.6%)、「インターネット(求人情報サイトなど)」(56.6%・9.7%・5.4%)の順となっている。一方、施設などを実際に利用して就労につながった割合を「利用して就労につながった」÷『利用状況』で算出すると、「インターネット」が55.7%(利用して就労につながった5.4%/『利用状況』9.7%)、「WORK'S(ワークス)高島平」が50.0%(0.1%/0.2%)、「シルバー人材センター」が48.1%(2.6%/5.4%)、「ハローワーク」が41.6%(8.9%/21.4%)、「アクティブシニア就業支援センター「はつらつシニアいたばし」」が31.3%(0.5%/1.6%)、「東京しごと財団」が18.8%(0.3%/1.6%)の順となっており、認知度が高い上に実際に就労につながっているのは「インターネット」「シルバー人材センター」「ハローワーク」であるということがいえる。(問18：図表3-2-16)

健康上の理由などで働けない、働きたいと思わない人もいるが、働きたいという人はこれまでの経験を活かし、体力的に無理のないフルタイムより短い時間で、あと5～10年働きたい傾向にあるという結果になった。現在就業している人の就労のきっかけは再雇用が約1割、紹介が約2割に対して「ハローワーク」が7.6%となっており、仕事に関する情報を提供している施設等には認知度や就労へのつながりを高めることが期待される。

3. 健康について

- 健康の自己認識やフレイルに対して、女性の方が心配している傾向にあるが、認知症に対しては男性の方が重く捉えている傾向にある。
- 心配ごとや悩みごととして多いのは「自分の健康のこと」。前回調査からは「自宅や外出先での転倒・事故」が減少。また、男性は配偶者に、女性は子どもや友人、親族に、悩みを相談する傾向がある。

健康に対する自己認識については、『健康』が74.3%、『不健康』が24.8%となっており、性年代別で見ると、男性は年代が上がるほど『健康』の割合が低くなっている。(問19：図表3-3-1)

現在の心配ごとや悩みごとについては、「自分の健康のこと」が62.6%と最も高く、次いで「家族・親族の健康のこと」が43.2%、「生活費など経済的なこと」が30.6%の順となっている。前回調査と比較すると、「自宅や外出先での転倒・事故」が7.2ポイント減少している。また、性別で見ると、男性では女性よりも「自分の健康のこと」(68.9%)が高く、女性では男性よりも「地震など災害時の避難のこと」(24.3%)、「自宅や外出先での転倒・事故」(20.2%)が高くなっている。(問20：図表3-3-2)

心配ごとや悩みごとの相談先について、全体の傾向としては「配偶者」が48.0%と最も高く、次いで「子ども」が39.7%、「友人・知人」が35.7%、「その他の家族・親族」が28.8%、「かかりつけ医(医師・歯科医師・看護師など)」が21.4%の順となっている。性別で見ると、男性では女性よりも「配偶者」(58.8%)が高く、女性では男性よりも「子ども」(47.7%)・「友人・知人」(42.9%)・「その他の家族・親族」(34.8%)が高くなっている。(問21：図表3-3-7)

フレイルの認知度については、『知っている』が全体では58.3%となっており、性年代別で見ると『知っている』は男性では年代が上がるほど高くなる傾向にあり、女性では年代が上がるほど低くなる傾向にあり、男性よりも女性の方が『知っている』が高くなっている(男性49.2%・女性67.5%)。また、自身がフレイルになることについて『心配である』が全体では62.6%となっており、男性よりも女性の方が『心配である』が高くなっている(男性57.5%・女性66.0%)。フレイル予防の取り組みについては、「参加したことがある」の3.4%と「知っているが参加したことがない」の24.2%を合わせた『知っている』が27.6%、「知らない」が70.8%となっている。性別で見ると『知っている』は女性(35.6%)が男性(18.0%)よりも17.6ポイント高くなっている。(問22：図表3-3-8、問23：図表3-3-10、問24：図表3-3-12)

認知症に対するイメージについては、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が34.8%で最も高く、次いで「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が34.2%となっている。性別で見ると、男性では「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」(38.4%)が女性より高く、女性では「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」(40.5%)が男性より高くなっている。(問25：図表3-3-14)

男性よりも女性の方が、自己認識においても実際の生活上においても、不安を感じている傾向にあるが、認知症については、女性よりも男性の方が認知症を重く捉えている傾向にあるといえる。

全体の傾向としては自分や家族・親族の健康を心配しており、フレイルになる心配も感じているようである。認知症については、性別によって認識が異なっており、周知・啓発などのサポートが欠かせない。

4. 外出・人とのつきあいについて

- 外出頻度は「毎日1回」が半数、次いで「毎日2回以上」、「2～3日に1回程度」。
- 外出の目的は「買い物」が最も高く、次いで「運動、散歩」、「仕事」の順となっている。
- 「予定がなくても気軽に行ける場所がある」と回答している人の割合は69.6%。その場所としては「図書館」「公園」「喫茶店」が挙げられた。
- 男性よりも女性、前期高齢者よりも後期高齢者の方が近所とのつき合いが深い傾向となっている。また、同居家族がいる場合、配偶者と同居していない方が、近所づきあいが深い傾向にある。近所づきあいが無い理由として割合が高いのは「ふだんつきあう機会がないから」「つきあうきっかけがないから」「あまり関わりを持ちたくないから」。
- 友人・知人・別居の家族などと会ったり連絡をとったりする頻度はあまり大きな変化がない。

外出頻度について、「毎日1回」が50.0%で最も高く、次いで「毎日2回以上」が23.8%、「2～3日に1回程度」が20.9%の順となっている。これに対して「ほとんど外出しない」は0.8%にとどまっている。前回調査（2023年）と比較すると「毎日2回以上」「毎日1回」「2～3日に1回程度」の割合がそれぞれ微増しており、外出頻度は若干高くなっていることがわかる。健康に対する自己認識別でみると、健康だと認識しているほど「毎日2回以上」が高くなっている。一方、「健康でない」と認識している人は、「ほとんど外出しない」（4.9%）が全体の傾向よりも高くなっている。（問26：図表3-4-1、図表3-4-2）

外出の主な目的については、「買い物」が86.2%と最も高く、次いで「運動、散歩」が50.6%、「仕事」が40.6%の順となっている。前回調査（2023年）と比較すると、「仕事」、「友人・知人と会う」が高く、「運動、散歩」、「趣味や学習の活動」が低くなった。このことから、趣味から仕事へ、一人よりも人と会う傾向がうかがえる。（問26：図表3-4-3）

特に予定がなくても『気軽に行ける場所がある』と回答している人の割合は69.6%となっており、前回調査（65.6%）から4.0ポイント高くなっている。（問33：図表3-4-15）

気軽に行ける具体的な場所については、「図書館」が195件と最も多く、次いで「公園」が158件、「喫茶店」が93件の順となっている。前回調査と比較すると、8位までは順位の多少の入れ替わりはあるもののほとんど変化がないが、「遊技場（パチンコ等）」が前回17位から今回12位、「ゴルフ練習場・ゴルフ場」が前回23位から今回17位に上がり、「美術館・博物館・動植物園」が前回11位から今回20位、「健康ランド・スーパー銭湯・温泉」が前回15位から今回24位に下がっている。また、新しく「教会・寺社仏閣・お墓」が18位となった。そのほか「居酒屋」「カラオケ・カラオケ喫茶・スナック」「ふれあい館」の順位が上がっており、人との交流の場や、コミュニティが形成されやすい場所が増加している傾向にある。（問34：図表3-4-16）

現在やっていることについては、「散歩」が48.1%と最も高く、次いで「テレビやYouTubeなどの動画配信の鑑賞」が40.5%、「旅行・ドライブ」が40.4%の順となっている。性別でみると男性では女性よりも「パソコン（ワード・エクセル・パワーポイントの操作活用）」（26.0%）が高く、女性では男性よりも「手芸・茶道・華道・踊り」（19.0%）が高くなっている。（問27：図表3-4-4）

今後やりたいことについては、「旅行・ドライブ」が49.2%と最も高く、次いで「散歩」が29.0%、「映画鑑賞」が23.2%の順となっている。性別でみると、男女とも「旅行・ドライブ」が最も高く、性別の差は少なくなっている。男性では女性よりも「スポーツ」（24.4%）が高く、女性では男性よりも「手芸・茶道・華道・踊り」（17.4%）が高い。（問27：図表3-4-5）

孤独と感ずることについては、『孤独を感じない』が61.0%、『孤独を感じることがある』が37.6%となっている。性年代別でみると『孤独を感じない』は男性60～64歳（53.9%）、女性60～64歳（53.6%）で全体より低く、男女ともに前期高齢者で高い（男性前期64.5%・女性前期64.1%）傾向がみられる。地区別でみると、『孤独を感じない』は富士見（73.3%）が全体の傾向よりも高く、成増

第4章 調査結果の分析

(50.9%)が全体の傾向よりも低い。『孤独を感じる』は仲宿(48.0%)が全体の傾向よりも高く、富士見(25.1%)が全体の傾向よりも低い。世帯構成別でみると、『孤独を感じない』は「配偶者や子、孫など同居」(72.2%)が全体の傾向よりも高く、「ひとり暮らし」(50.9%)が全体の傾向よりも低い。『孤独を感じる』は「ひとり暮らし」(55.3%)が全体の傾向よりも高く、「配偶者や子、孫など同居」(26.5%)が全体の傾向よりも低い。(問28:図表3-4-6~図表3-4-8)

孤独は60~64歳で感じやすく、また『孤独を感じる』『孤独を感じない』それぞれ地区によって20ポイント以上差がある。また、『孤独を感じる』は同居家族がいる方が低い傾向にある。全体の傾向でも『孤独を感じる』が4割近くとなっていることは無視できない。

近所づきあいの程度について、全体の傾向としては「あいさつをする程度の人がいる」が36.1%で最も高く、次いで「立ち話をする程度の人がいる」が35.1%、「お互いに訪問しあう人がある」が11.4%の順となっている。一方、「つきあいはない」は14.1%となっている。男性では女性よりも「あいさつをする程度の人がある」(45.2%)が高く、女性では男性よりも「お互いに訪問しあう人がある」(16.0%)が高くなっており、女性の方が近所づきあいの程度が深いことがわかる。性年代別でみると、男女ともに年代が上がるほど「お互いに訪問しあう人がある」が高く、「あいさつをする程度の人がある」が低くなっており、年代が高い方が深い近所づきあいをしている傾向にある。現在居住している地区別でみると、「お互いに訪問しあう人がある」は前野(17.9%)で、「立ち話をする程度の人がある」は中台(44.9%)で、「あいさつをする程度の人がある」は桜川(53.8%)で、「つきあいはない」は高島平(19.2%)で、それぞれ他の地区と比べて高くなっている。また、世帯構成別でみると、「ひとり暮らし」では「つきあいはない」(18.0%)が、「配偶者を除く、子や孫など同居」では「お互いに訪問しあう人がある」(16.9%)が、全体の傾向よりも高く、「配偶者や子、孫など同居」では「つきあいはない」(10.7%)が全体の傾向よりも低くなっており、同居家族がいる場合には配偶者の有無が近所づきあいの深さと関連していることが推察できる。(問29:図表3-4-9~図表3-4-11)

近所づきあいが無い理由については、「ふだんつきあう機会がないから」が57.9%と最も高く、次いで「ご近所と知り合うきっかけがないから」が30.2%、「あまり関わりを持ちたくないから」が29.3%の順となっており、機会がないからつきあいをしていないという人と、そもそもつきあいをする気がない人との、二極化している傾向がうかがえる。(問30:図表3-4-12)

友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度については、「週に2回以上」が24.2%と最も高く、次いで「月に2~3回」が18.3%、「週に1回程度」が17.9%の順となっている。性別でみると、男性では女性よりも「月に1回より少ない」(15.5%)が高く、女性では男性よりも「週に2回以上」

(48.0%)が高くなっている。前回調査(2023年)と比較すると、あまり大きな差はみられない。(問31:図表3-4-13)

友人・知人・別居の家族・親戚と連絡をとる頻度については、「週に2回以上」が38.7%と最も高く、次いで「週に1回程度」が16.2%、「月に2~3回」が14.7%の順となっている。前回調査(2023年)と比較すると、あまり大きな差はみられない。(問32:図表3-4-14)

5. 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用について

- 現在使っている割合の高い電子端末は、「スマートフォン」「携帯電話」「パソコン」「タブレット」の順となっている。携帯電話・スマートフォン・タブレットでの利用率では男女差はみられないが、パソコンでは男性の方が高い利用率となっている。また、携帯電話のみを利用している人の割合は12.6%。
- 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどのうち最も利用頻度の高いものの利用頻度は、「毎日2時間以上」、「毎日1時間未満」、「毎日1時間以上2時間未満」の順。
- 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどで行っていることは、「通話をする事」、「メールでやりとりすること」、「写真を撮影すること」の順。
- 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどについての、希望があるものでは「スマートフォンの使い方を教えてほしい」、「インターネットの利用上の注意を教えてほしい」、「パソコンの使い方を教えてほしい」の順。

携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの利用状況について、現在「使っている」割合をみると、「スマートフォン」が76.6%で最も高く、次いで「携帯電話」(50.4%)、「パソコン」(46.0%)、「タブレット」(20.8%)の順となっている。また、性別による電子端末の利用状況は下記のようになっており、携帯電話・スマートフォン・タブレットでの利用率では男女差はみられないが、パソコンでは男性の方が高い利用率となっている。(問35：図表3-5-1・図表3-5-2・図表3-5-4・図表3-5-6・表3-5-8)

- ・携帯電話 (『使っている』男性50.4%・『使っている』女性49.2%)
- ・スマートフォン (男性79.1%・女性78.2%)
- ・タブレット (男性22.7%・女性19.6%)
- ・パソコン (男性56.1%・女性40.1%)

また、携帯電話を「使っている」と回答し、スマートフォン・タブレット・パソコンについては「使っていない」と回答した対象者、または携帯電話にのみ回答し、携帯電話を「使っている」と回答した対象者を「携帯電話のみ使用者」とすると、携帯電話のみの使用者は12.6%となっている。(問35：図表3-5-10)

携帯電話・スマートフォン・パソコンなどのうち最も利用頻度の高いものをどのくらい利用しているかについては、「毎日2時間以上」が30.3%で最も高く、次いで「毎日1時間未満」(28.6%)、「毎日1時間以上2時間未満」(21.3%)の順となっている。(問37：図表3-5-12)

携帯電話・スマートフォン・パソコンなどで行っていることについては、「通話をする事」(83.9%)が最も高く、次いで「メールでやりとりすること」(77.4%)、「写真を撮影すること」(69.5%)の順となっている。性別でみると、男性では女性よりも「ニュースを読むこと」(63.9%)が高く、女性では男性よりも「ラインでやりとりをする事」(74.7%)が高くなっている。(問36：図表3-5-11)

携帯電話・スマートフォン・パソコンなどについての、希望があるものでは「スマートフォンの使い方を教えてほしい」(20.9%)が最も高く、「インターネットの利用上の注意を教えてほしい」(13.4%)、「パソコンの使い方を教えてほしい」(13.2%)の順となっている。なお「特に希望することはない」が57.0%で6割近くとなっている。性別でみると男性では女性より「ラインの使い方を教えてほしい」(7.1%)、「メールの使い方を教えてほしい」(4.8%)が高く、女性では男性より「インターネットの利用上の注意を教えてほしい」(14.7%)、「ホームページ(ウェブサイト)や動画を見る方法を教えてほしい」(4.0%)が高くなっている。(問38 図表3-5-13)

約8割がスマートフォンを使用しているが、それ以外の約2割は「スマートフォンの使い方を教えてほしい」と希望しており、スマートフォンが生活に必需なものになっていることが分かる。スマートフォン等は行政からのお知らせや手続き等にも活用されているため、メディアリテラシーを伴う使い方の周知が求められる。

6. 地域活動などへの参加状況について

- 過去1年間に参加した活動や今後新たに参加したい活動で多いのは「趣味や学習の活動・習いごと」「健康・スポーツの活動、習いごと」「自治会の活動」。上記以外に今後新たに参加したいものとしては「大学やカルチャーセンターなどの講座」「スポーツジム」「環境美化、緑化推進、などの活動」が高い。
- 活動に参加していない人の理由としては、「あまり関わりを持ちたくない」「仕事や家事で忙しく時間がない」「やりたい活動がない」が挙げられている。もし活動に参加するとしたら、そのきっかけになりそうだと思うものは、「自分がやりたいことをみつけること」「友人・知人の勧め」で、これらは既に活動を始めている人の活動を始めたきっかけと共通している。
- シニアクラブ（旧老人クラブ）を『知っている』のは46.4%、そのうち加入しているのは5.0%となっている。性別でみると、男性では女性よりも「知らない」（59.4%）が高い。加入していない理由は「仕事などで忙しいから」が最も高く、「会員同士の間関係がわずらわしいから」、「活動内容に魅力を感じないから」の順となっている。

過去1年間に参加した活動・今後新たに参加したい活動については、下記の項目の割合が高くなっている。

- ・健康・スポーツの活動、習いごと（体操・ゲートボール・ダンスなど）
（過去18.9%・今後22.2%）
- ・趣味や学習の活動・習いごと（語学・料理・音楽・囲碁・俳句など）（19.4%・20.0%）
- ・スポーツジム（13.2%・16.5%）
- ・環境美化、緑化推進、などの活動（7.2%・16.0%）
- ・町会・自治会の活動（16.8%・6.2%）
- ・大学やカルチャーセンターなどの講座（5.1%・17.8%）

スポーツ活動や学習活動については、過去1年間だけでなく今後も続けていきたいという傾向が強くなっている。また、「環境美化、緑化推進、などの活動」「大学やカルチャーセンターなどの講座」は過去1年間の活動では1割未満に留まっているのに対して今後参加したい活動では1割以上に上昇しており、ボランティア活動や講座受講を行っていききたい意識が高まっている状況がうかがえる。一方、「町会・自治会の活動」は「過去1年間に参加した活動」16.8%から「今後新たに参加したいもの」は6.2%へと急激に低下している。（問39：図表3-6-1）

活動に参加していない理由は、「あまり関わりを持ちたくない」が34.3%と最も高く、次いで「仕事や家事で忙しく時間がない」が31.1%、「やりたい活動がない」が24.0%の順となっている。（問41：図表3-6-19）

また、活動に参加するきっかけになると思うことについては、「自分がやりたいことをみつけること」（26.3%）、「友人・知人の勧め」（15.7%）、「家族の勧め」（9.6%）の割合が高くなっている。（問42：図表3-6-20）

ちなみに、過去1年間に参加した活動を始めたきっかけについては、「個人的意思（自分がやりたいことや、問題意識・解決したい課題がある）」が35.4%と最も高く、次いで「友人・知人の勧め」が27.0%、「町会・自治会からの誘い」が23.1%の順となっている。性年代別でみると、女性前期高齢者で「個人的意思（自分がやりたいことや、問題意識・解決したい課題がある）」（42.0%）が全体傾向より高く、男性60～64歳で「友人・知人の勧め」（16.7%）が低くなっている。（問40：図表3-6-18）

これらのことから、活動に参加するきっかけとしては、「自分のやりたいことと合致する活動を見つけること」と「人から勧められること」という2つの要因があることがわかる。

シニアクラブ（旧老人クラブ）への認知・加入状況については、「加入している」が5.0%、「知っているが、加入していない」が41.4%、これらを合わせた『知っている』が46.4%となっている。これに対して「知らない」が50.8%となっている。性別でみると、男性では女性よりも「知らない」（59.4%）が高く、女性では男性よりも『知っている』（52.6%）が高くなっている。（問43：図表3-6-21）

シニアクラブに加入していない理由については、「仕事などで忙しいから」が31.4%で最も高く、「会員同士の人間関係がわずらわしいから」（25.5%）、「活動内容に魅力を感じないから」（20.3%）の順となっている。忙しくて時間がとれないという理由を改善するのは難しいため、それ以外の理由に着目する必要があると考える。例えば、詳細な年齢区分の性年代別でみると男性60～64歳で「仕事などで忙しいから」（59.5%）、「役員などを引き受けるのがわずらわしいから」（32.4%）が、男性70～74歳では「活動内容に魅力を感じないから」（30.0%）が、全体の傾向よりも高くなっている。また、「健康上の理由」については男性80～84歳（28.6%）・女性80～84歳（25.7%）で高くなっているなど、性別・年代別で非加入理由が異なるため、シニアクラブへの加入を促すためには、各性別・各年代に合わせた個別のアプローチが必要となると考えられる。（問44：図表3-6-22、図表3-6-23）

第4章 調査結果の分析

7. 事業について

- 事業で認知度が高いのは「ふれあい館」「いたばし総合ボランティアセンター」「元気力測定会」。ただし、「高齢者見守りキーホルダー事業」「支え合い会議（第二層協議体）・支え合い会議（第二層協議体）が主催するイベント」など、認知度が低くても、認知している人の利用参加率が比較的高い事業もある。
- 事業を知る上での情報源として最も高いのは「広報いたばし」。男性では「回覧板」、女性では「区施設に置いてあるチラシ」も高い。
- 事業に参加したことによる効果としては「知り合い・仲間ができた」「健康に気をつけるようになった」が挙げられる。
- 事業に参加する際に重視するのは、「自分のしたいことや興味のあることに役立つ内容であること」。一方、事業に参加していない人の不参加理由は「健康上の理由」であった。

事業に対する認知度・利用または参加状況について、『認知度』は、「ふれあい館」が37.7%で最も高く、次いで「いたばし総合ボランティアセンター」が18.2%、「元気力測定会」が14.4%の順となっている。「過去1年間に利用・参加した」では、「ふれあい館」が6.5%と最も高く、次いで「高齢者見守りキーホルダー事業」が2.7%の順となっている。

なお、知っている施設などを実際に利用・参加した割合を「過去1年間に利用・参加した」÷『認知度』で算出すると下記の順となっており、認知度の高さがそのまま利用・参加につながるわけではないということがわかる。（問45：図表3-7-1）

順位	項目	過去1年間に 利用・参加÷認知度	過去1年間に 利用・参加	認知度
1	高齢者見守りキーホルダー事業	19.9%	2.7%	13.6%
2	支え合い会議（第二層協議体）・支え合い会議（第二層協議体）が主催するイベント	17.4%	0.8%	4.6%
3	ふれあい館	17.2%	6.5%	37.7%
4	住民運営通いの場（「高齢者の暮らしを拓げる10の筋トレグループ」など）	15.9%	1.3%	8.2%
5	元気力測定会	10.4%	1.5%	14.4%
6	福祉の森サロン	9.8%	1.0%	10.2%
7	いたばし総合ボランティアセンター	4.9%	0.9%	18.2%
8	ひとりぐらし高齢者見守りネット	3.6%	0.5%	13.7%
9	シニアの絵本読み聞かせ口座	2.4%	0.2%	8.5%
10	50・60代のための地域活動入門講座	2.2%	0.1%	4.5%
11	「大人の活動ガイド ステップ」	1.8%	0.1%	5.5%
12	認知症フレンドリーカフェ	1.0%	0.1%	9.7%

事業を知った情報源については、「広報いたばし」が49.2%と最も高く、次いで「友人・知人から」が37.2%、「掲示板ポスター」が16.9%の順となっている。性別で見ると、大きな差はみられないが、男性では女性よりも「回覧板」（16.7%）が、女性では男性よりも「区施設に置いてあるチラシ」（10.2%）が高くなっている。（問46：図表3-7-14）

事業への参加による効果については、「知り合い・仲間ができた」が40.4%と最も高く、次いで「健康に気をつけるようになった」が33.3%、「出かけることが増えた」が32.2%の順となっている。（問47：図表3-7-15）

事業に参加するときに重視することについては、「自分のしたいこと・興味のあることに役立つ内容である」が56.3%と最も高く、次いで「健康に役立つ」が43.4%、「会場が近い」が38.0%の順となっている。(問49：図表3-7-17)

一方、事業に参加しない理由については、対象者数が20人と少数のため参考値であるが、「特に理由はない」(25.0%)を除くと、「健康上の理由」が25.0%と最も高く、次いで「忙しくて時間がない」が20.0%、「内容が、自分のしたいこと・興味のあることに合わない」がともに15.0%の順となっている。(問48：図表3-7-16)

これらのことから、事業への参加理由としては自分のしたいことや興味のあることに役立つ内容であることかどうかが重要視されている。

8. 今後の取り組みについて

- 今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいものは、「体を動かす」と「友人・知人との交流」。また、生きがいを感じるのも家族、親族や友人、知人のような「人と交流している時」、「趣味やスポーツに熱中している時」。
- 区に充実を希望する支援施策は「見守りなど、ひとり暮らし高齢者等への支援」「健康づくり・フレイル予防・介護予防に関する施策」「高齢者が気楽に活動できる場所の提供」が多くなっている。

今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいものについては、「体を動かす(ウォーキングや体操など)」が49.3%と最も高く、次いで「友人・知人との交流」が45.9%、「趣味の活動(主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど)」が35.1%の順となっている。(問50：図表3-8-1)

区に充実を希望する支援施策については、「見守りなど、ひとり暮らし高齢者等への支援」が41.5%で最も高く、次いで「健康づくり・フレイル予防・介護予防に関する施策」が31.2%、「高齢者が気楽に活動できる場所の提供」が29.6%の順となっている。(問51：図表3-8-3)

また、現在の生きがいの程度については、『感じている』が79.4%、『感じていない』が15.3%となっており、生きがいを感じる時については、「子や孫など家族・親族との団らんの時」が56.7%、「友人や知人と食事・雑談している時」が56.3%とほぼ同じ割合となっており、次いで「趣味やスポーツに熱中している時」が50.6%、「おいしい物を食べている時」が49.7%の順となっている。(問52：図表3-8-4、問53：図表3-8-7)

これらのことから、「取り組みたい・心がけたいもの」と「生きがい」には共通して「趣味やスポーツへの打ち込み」「人との交流」という2つの方向性があるということがわかる。

ひとり暮らしでは近所づきあいが少ない傾向にあるため、「見守りなど、ひとり暮らし高齢者への支援」を希望していることがうかがえる。また、「体を動かす(ウォーキングや体操など)」「趣味の活動(主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど)」に取り組みたいことから、「健康づくり・フレイル予防・介護予防に関する施策」「高齢者が気楽に活動できる場所の提供」を希望していることがうかがえる。

シニア世代の生活・健康・生きがい・仕事についてのアンケート

調 査 票

板橋区では、基本計画に掲げる「豊かな健康長寿社会」の実現に向け、皆様の生活・健康・生きがい・仕事などの状況やご意見をお聞きし、高齢者の社会参加と生きがいづくりを推進する施策に活かしていくため、この調査を実施いたします。

実施にあたり、区内在住の60歳から84歳の方（10月15日現在）3,000名を無作為に選ばせていただきました。皆様からの回答は統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外に利用いたしません。

お手数をおかけし誠に恐縮でございますが、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年11月

板橋区 長寿社会推進課

《 ご回答にあたってのお願い 》

- この調査票では、封筒の宛名のご本人を「あなた」とします。
- できる限り宛名のご本人がご回答ください。

ご本人による記入が難しい場合は、ご本人の意思に基づき、代理の方がご記入くださいますよう、ご協力をお願いいたします。

- 回答が終わりましたら、**同封の返信用封筒（切手不要）**に入れ、

11月28日（金）までに郵便ポストにご投函ください。

※返信用封筒に、住所・氏名の記入は必要ありません。

【インターネットによるご回答のご案内】

- 本調査は、インターネットによるご回答も可能です。
- 以下のURLを直接ご入力いただくか二次元コードを読み込み、画面の指示に従って、下記の『ID』と『パスワード』を入力後、各設問にご回答ください。

- URL :
- ID :
- パスワード :

※パスワードは半角英数字です。

※インターネットでご回答いただいた場合は、**紙の調査票の返送は不要**です。

【この調査についてのお問い合わせ先】

板橋区役所 健康生きがい部 長寿社会推進課 シニア活動支援係
電話：03-3579-2376 FAX：03-3579-4153

【1】あなたの年齢、お住まいの地区、世帯の状況などについて

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。○をつけてください。(○は1つのみ)

1. あなた	2. ご家族	3. その他
--------	--------	--------

問2 あなたは現在、どちらに住んでいますか。(○は1つのみ)

1. ご自宅（ショートステイ利用を含む） 2. 区内の親族などの家	問3へお進みください。 3, 4はここでアンケートは終了です。 ご協力ありがとうございました。 同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らず に投函してください。
3. 施設に入所 4. その他（入院中、区外転出、 亡くなったなど）	

問3 あなたの性別と、令和7年10月15日現在の満年齢をお答えください。
(それぞれ○は1つ)

性別	1. 男性	2. 女性	
年齢	1. 60～64歳	2. 65～69歳	3. 70～74歳
	4. 75～79歳	5. 80～84歳	

問4 あなたは、板橋区のだこの地区にお住まいですか。あてはまる地区に○をつけてください。(○は1つのみ)

1	仲町	大山町、幸町（7番～66番）、大山西町、弥生町、仲町、中板橋、大山東町（20番、56番～60番）
2	板橋	加賀1丁目、2丁目（1番～5番、12番～18番）、板橋1丁目、2丁目（1番～17番、22番～53番、56番～69番）、3・4丁目、大山東町（17番、19番、21番～25番、28番、30番～55番）
3	熊野	板橋2丁目（18番～21番、54番、55番）、大山金井町、大山東町（1番～16番、18番、26番、27番、29番）、熊野町、中丸町、幸町（1番～6番）、南町
4	仲宿	加賀2丁目（6番～11番、19番～21番）、稲荷台、仲宿、氷川町、栄町
5	富士見	本町、大和町、双葉町、富士見町
6	大谷口	大谷口1・2丁目、大谷口上町、大谷口北町、向原1～3丁目、小茂根1・2丁目
7	常盤台	上板橋1～3丁目、常盤台1～4丁目、南常盤台1・2丁目、東新町1丁目
8	清水	清水町、蓮沼町、大原町、泉町、宮本町

9	志村坂上	志村1～3丁目、小豆沢1～4丁目、坂下1丁目（1番～26番、28番）、東坂下1丁目、相生町（1番～12番11号、13番～16番）
10	中台	若木1～3丁目、中台1～3丁目、西台1丁目、2丁目（1番～30番4号、41番、42番）、3丁目（1番～46番、48番～54番）、4丁目
11	蓮根	蓮根1～3丁目、坂下1丁目（27番、29番～41番）、2丁目、3丁目、東坂下2丁目、相生町（12番12号と13号、17番～26番）
12	舟渡	舟渡1～4丁目
13	前野	前野町1～6丁目
14	桜川	小茂根3～5丁目、東山町、東新町2丁目、桜川1～3丁目
15	下赤塚	赤塚1丁目、2丁目、5丁目（1番～17番）、6～8丁目、赤塚新町1～3丁目、大門、四葉1丁目（3番10号、4番～31番）、2丁目
16	成増	赤塚3～5丁目（18番～36番）、成増1～5丁目、三園1丁目
17	徳丸	西台2丁目（30番5号～17号、31番～40番）・3丁目（47番、55番～57番）、徳丸1～8丁目、四葉1丁目（1番～3番（3番10号を除く））
18	高島平	高島平1～9丁目、新河岸1～3丁目、三園2丁目

問5 あなたの世帯の状況をお選びください。（○は1つのみ）

1. ひとり暮らし	2. 配偶者と二人暮らし	3. 配偶者や子、孫など同居
4. 配偶者を除く、子や孫など同居	5. その他	

問6 あなたの世帯の現在の暮らし向きはいかがですか。（○は1つのみ）

1. 大変ゆとりがある	2. ややゆとりがある	3. ふつう
4. やや苦しい	5. 大変苦しい	

【1, 2, 3は4ページの「問8」へお進みください。】

【問6で「4. やや苦しい」「5. 大変苦しい」とお答えの方におうかがいします。】

問7 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 賃金などの収入が減ったため	2. 退職・失業などのため
3. 事業などの経費が増えたため	
4. 物価上昇の影響等により、日常の生活費が増えたため	
5. 家や自動車を購入したため	6. 税金や保険料の支払いが増えたため
7. 低金利が続いているため	8. 特別の事情による（病気、怪我など）
9. その他（	10. 特に理由はない、わからない

【2】仕事、働くことについて

問8 あなたの現在の職業をお答えください。副業があるなど複数の仕事をお持ちの場合は、主な職業1つだけに○をつけてください。(○は1つのみ)

1. 会社・団体の役員、管理職	2. 専門技術者、教員、医療職
3. 事務	4. 販売、営業
5. 調理、洗い場	6. 管理人
7. 警備	8. 介護職
9. 理・美容、その他サービス	10. 農業
11. 製造・加工、機械整備・修理	12. 輸送、運転
13. 建設、電気、土木	14. 清掃、配達
15. その他 ()	16. 主婦・主夫 (専業)
17. 学生	18. 無職・仕事からは引退した

↳ 【16, 17, 18は5ページの「問12」へお進みください。】

【問8で「1. 会社・団体の役員、管理職」～「15. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問9 現在の仕事の主な雇用形態は次のどれにあてはまりますか。(○は1つのみ)

1. 会社員・公務員	2. 自営業・自由業	3. 会社役員
4. アルバイト・パート	5. その他 ()	

問10 あなたの現在の働き方は、どれにあてはまりますか。(○は1つのみ)

1. フルタイムで働いている (おおむね週に35時間以上)
2. 定期的に働いているが、週に35時間より少ない
3. 不定期に働いている

問11 あなたは、現在の仕事をどこで探しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 友人・知人・家族などの紹介	2. 求人情報誌や求人広告
3. アクティブシニア就業支援センター 「はつらつシニアいたばし」	4. シルバー人材センター
6. ハローワーク	5. WORK'S (ワークス) 高島平
8. インターネット (求人情報サイトなど)	7. 東京しごと財団
10. 就職活動はしていない (自営業、定年前など)	9. 再雇用
	11. その他 ()

【 すべての方におうかがいします。 】

問12 あなたは今後、働こうと思っていますか。(○は1つのみ)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 今も働いており、今後も働き続けたい | ➡ 問13～16を回答後、問18へお進みください。 |
| 2. 今は働いていないが、今後働きたい | ➡ 問13へお進みください。 |
| 3. 今は働いているが、できるだけ早く引退したい | ➡ 6ページの間18へお進みください。 |
| 4. 今は働いておらず、今後も働く予定はない | ➡ 6ページの間17へお進みください。 |

【問12で「1. 今も働いており、今後も働き続けたい」「2. 今は働いていないが、今後働きたい」とお答えの方におうかがいします。】

問13 何歳まで働きたいと思いますか。現在の仕事とは違う仕事をする場合を含みます。(○は1つのみ)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 60～64歳 | 2. 65～69歳 | 3. 70～74歳 | 4. 75～79歳 |
| 5. 80～84歳 | 6. 85歳以上 | 7. わからない | |

問14 あなたは、働くことを決めるとき、どんなことを重視しますか。上位3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 体力的に無理なく続けられること | 2. 自分のペースで進められること |
| 3. 自分の能力を発揮できること | 4. 勤務日や勤務時間を選べること |
| 5. 経験したことのある職種であること | 6. 経験したことのない職種であること |
| 7. 気心の知れた仲間がいること | 8. 以前と同じ勤務先であること |
| 9. 経験したことのある業界であること | 10. 経験したことのない業界であること |
| 11. 事業目的・経営ビジョンに共感が持てること | 12. 給料が良いこと |
| 13. 自宅から近いこと | 14. 社会の役に立つ仕事であること |

問15 あなたは、働く場合、どの職種を希望しますか。(○は1つのみ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 会社・団体の役員、管理職 | 2. 専門技術者、教員、医療職 |
| 3. 事務 | 4. 販売、営業 |
| 5. 調理、洗い場 | 6. 管理人 |
| 7. 警備 | 8. 介護職 |
| 9. 理・美容、その他サービス | 10. 農業 |
| 11. 製造・加工、機械整備・修理 | 12. 輸送、運転 |
| 13. 建設、電気、土木 | 14. 清掃、配達 |
| 15. その他 () | |

問16 あなたは、働く場合、どの働き方を希望しますか。(○は1つのみ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. フルタイム (おおむね週に35時間以上) |
| 2. 定期的に働きたいが、週に35時間より少なくしたい |
| 3. 不定期で働きたい |

【問12で「2. 今は働いていないが、今後働きたい」「4. 今は働いておらず、今後も働く予定はない」とお答えの方におうかがいします。】

問17 現在働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 専業主婦・専業主夫だから | 2. 経済的余裕があるから |
| 3. 健康上の理由 | 4. 家庭の事情(介護、孫の世話など)があるから |
| 5. 希望に合った仕事が見つからないから | 6. その他() |

【 すべての方におうかがいします。 】

問18 仕事に関する情報を提供している施設などについておうかがいします。
それぞれあてはまる番号をお選びください。(それぞれ○は1つ)

(それぞれの項目にお答えください)	つ な が つ た	利 用 し て 就 労 に	利 用 中	就 労 の た め	な か つ た	就 労 に つ な が ら	利 用 し た が	な い	利 用 し た こ と は	知 っ て い る が	知 ら な い
ア. アクティブシニア就業支援センター 「はつらつシニアいたばし」	1	2	3	4	5						
イ. シルバー人材センター	1	2	3	4	5						
ウ. WORK'S (ワークス) 高島平	1	2	3	4	5						
エ. ハローワーク	1	2	3	4	5						
オ. 東京しごと財団	1	2	3	4	5						
カ. インターネット (求人情報サイトなど)	1	2	3	4	5						

【3】健康について

問19 あなたは、普段、ご自分で健康だと思いますか。(○は1つのみ)

- | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------|
| 1. とても健康 | 2. まあまあ健康 | 3. あまり健康でない | 4. 健康でない |
|----------|-----------|-------------|----------|

問20 あなたには、現在次のような心配ごとや悩みがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 自分の健康のこと | 2. 家族・親族の健康のこと |
| 3. 病気などの時に面倒を見てくれる人がいないこと | 4. ひとり暮らしや孤独になること |
| 5. 生活費など経済的なこと | 6. 安心して住める場所がないこと |
| 7. 趣味や生きがいがないこと | 8. 自宅や外出先での転倒・事故 |
| 9. 地震など災害時の避難のこと | 10. その他 |
| 11. 心配ごとや悩みはない | () |

▶ 【11は7ページの「問22」へお進みください。】

問28 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○は1つのみ)

- | | | |
|----------|----------------|----------|
| 1. 決してない | 2. ほとんどない | 3. たまにある |
| 4. 時々ある | 5. しばしばある・常にある | |

問29 あなたは、近所の人とどの程度おつきあいをされていますか。(○は1つのみ)

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. お互いに訪問しあう人がいる | → 【1, 2, 3は「問31」へ
お進みください。】 |
| 2. 立ち話をする程度の人がいる | |
| 3. あいさつをする程度の人がいる | |
| 4. つきあいはない | |

【問29で「4. つきあいはない」とお答えの方におうかがいします。】

問30 おつきあいのない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. ふだんつきあう機会がないから | 2. あまり関わりを持ちたくないから |
| 3. 気の合う人が近くにいないから | 4. ご近所と知り合うきっかけがないから |
| 5. 仕事や家事などで忙しく時間がないから | 6. 引っ越してきて間もないから |
| 7. 同世代の人が近くにいないから | 8. その他 () |
| 9. 特に理由はない | 10. わからない |

【 すべての方におうかがいします。 】

問31 あなたが、友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度はどれくらいですか。

(○は1つのみ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 週に2回以上 | 2. 週に1回程度 |
| 3. 月に2～3回 | 4. 月に1回程度 |
| 5. 月に1回より少ない | 6. 全くない |

問32 あなたが、友人・知人・別居の家族・親戚と電話やメール、手紙をやりとりする

頻度はどれくらいですか。(○は1つのみ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 週に2回以上 | 2. 週に1回程度 |
| 3. 月に2～3回 | 4. 月に1回程度 |
| 5. 月に1回より少ない | 6. 全くない |

問33 あなたは、特に予定がなくても気軽に行ける場所がありますか。どのくらいあるかを

お答えください。(○は1つのみ)

- | | | | |
|----------|----------|------------|-------|
| 1. 1か所ある | 2. 2か所ある | 3. 3か所以上ある | 4. ない |
|----------|----------|------------|-------|

【4は10ページの「問35」へお進みください。】 ←

【問33で「1. 1か所ある」「2. 2か所ある」「3. 3か所以上ある」とお答えの方に、その場所についておうかがいします。】

問34 それはどのような場所ですか。1か所だけ具体的にご記入ください。

記入例：○○喫茶、△△図書館、□□公園など

--

【 すべての方におうかがいします。 】

問35 あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどを使っていますか。

(それぞれ○は1つ)

(それぞれの項目にお答えください)	使っている	使っていない
ア. 携帯電話	1	2
イ. スマートフォン	1	2
ウ. タブレット	1	2
エ. パソコン	1	2

【ア～エすべてに「2」とお答えの方は、11ページの「問38」へお進みください。】 ←

【問35で1つ以上「1」とお答えの方におうかがいします。】

問36 問35で「1」と回答したもので、どのようなことを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 通話をする事	2. ビデオ通話をする事
3. メールでやりとりする事	4. ラインでやりとりする事
5. フェイスブックを利用する事	6. X (旧ツイッター)を利用する事
7. インスタグラムを利用する事	8. ネットショッピングをする事
9. 動画をみる事	10. 写真を撮影する事
11. ゲームをする事	12. 健康管理に関する事
13. インターネットで検索する事	14. ニュースを読む事
15. 決済サービスを利用する事	
16. 給付金申請やワクチン接種予約等をする事	
17. オンライン講座を受講する事	
18. その他 ()	

問37 あなたは、問35で「1」と回答したもののうち、最も利用頻度の高いものについて、どのくらい利用していますか。(○は1つのみ)

1. 毎日2時間以上	2. 毎日1時間以上2時間未満
3. 毎日1時間未満	4. 週3日程度
5. ほぼ利用しない	

【問39でア～タのすべてに「3」とお答えの方におうかがいします。】

問42 参加をするきっかけになると思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 友人・知人の勧め
2. 家族の勧め
3. 町会・自治会からの誘い
4. シニアクラブ(旧老人クラブ)からの誘い
5. 活動団体からの呼びかけ
6. 区からの情報(「広報いたばし」、区ホームページその他)
7. 町会・自治会、シニアクラブ(旧老人クラブ)、活動団体からの情報(広報紙、ホームページその他)
8. 自分がやりたいことをみつけること
9. その他()
10. きっかけになりそうなものはない

【 すべての方におうかがいします。 】

問43 あなたは、シニアクラブ(旧老人クラブ：区内の60歳以上の方が加入できる自主的な組織で、教養の向上・健康の増進・社会奉仕を目的として様々な活動を行っています。)を知っていますか。(○は1つのみ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 加入している | 2. 知っているが、加入していない |
| 3. 知らない | |

▶ 【1,3は14ページの「問45」へお進みください。】

【問43で「2. 知っているが、加入していない」とお答えの方におうかがいします。】

問44 加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家の近くのシニアクラブ(旧老人クラブ)を知らないから
2. 仕事などで忙しいから
3. 他の団体・サークル活動で忙しいから
4. 健康上の理由
5. 加入の仕方がわからないから
6. シニア(老人)という名称に抵抗があるから
7. 活動内容に魅力を感じないから
8. 同年代の会員が少ないから
9. 若い世代と交流できないから
10. 会員同士の間人間関係がわずらわしいから
11. 役員などを引き受けるのがわずらわしいから
12. その他()

【 すべての方におうかがいします。 】

問45 あなたは、次の事業を知っていますか。また、過去1年間に利用・参加したものはありますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

(それぞれの項目にお答えください)	過去1年間に利用・参加した	知っているが利用・参加しなかった	知らない
ア. ふれあい館	1	2	3
イ. 「大人の活動ガイド ステップ」 (冊子版またはWEB版)	1	2	3
ウ. いたばし総合ボランティアセンター	1	2	3
エ. 認知症フレンドリーカフェ	1	2	3
オ. 住民運営通いの場(「高齢者の暮らしを 広げる10の筋トレグループ」など)	1	2	3
カ. 元気力測定会	1	2	3
キ. 福祉の森サロン	1	2	3
ク. シニアの絵本読み聞かせ講座	1	2	3
ケ. 50・60代のための地域活動入門講座	1	2	3
コ. 高齢者見守りキーホルダー事業	1	2	3
サ. ひとり暮らし高齢者見守りネットワーク	1	2	3
シ. 支え合い会議(第二層協議体)・ 支え合い会議(第二層協議体)が主催する イベント	1	2	3

① ア～シのうち1つ以上「1」とお答えの方

➡ 「問46」「問47」を回答後、16ページの「問49」へお進みください。

② ア～シすべてに「2」とお答えの方 ➡ 16ページの「問48」へお進みください。

③ 上記①②以外の方 ➡ 16ページの「問49」へお進みください。

【問45ですべて「2」とお答えの方におうかがいします。】

問48 これらの事業に参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 内容が、自分のしたいこと・興味のあることに合わない
2. 似た内容で、ほかにもっといいものがある
3. 目新しさがない
4. 専門性や難易度が自分に合わない
5. 会場が遠い
6. 費用が高い
7. 区内在住や対象年齢など参加要件があり、限られた人としてしか活動できない
8. 情報がない
9. 忙しくて時間がない
10. 健康上の理由
11. どれに参加するのがいいのかわからない
12. その他 ()
13. 特に理由はない

【 すべての方におうかがいします。 】

問49 あなたはこれらの事業に参加するとき、どんなことを重視しますか。上位3つに○をつけてください。(○は3つまで)

1. 自分のしたいこと・興味のあることに役立つ内容である
2. ほかにない内容である
3. 健康に役立つ
4. 教養を深めることができる
5. 専門性や難易度が自分に合っている
6. 会場が近い
7. 費用がかからない・安い
8. 同じ年代の人と活動できる
9. 違う年代の人と活動できる
10. 区の事業なので安心して参加できる
11. その他 ()
12. 重視していることはない

問50 あなたは、今後、今まで以上に取り組みたい・心がけたいものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子や孫など、家族・親族（同居していない場合を含む）との交流
2. 配偶者や親など、家族・親族（同居していない場合を含む）のケア、介護
3. 仕事、就職活動
4. ご近所とおつきあい
5. 友人・知人との交流
6. 新しい仲間やネットワークづくり
7. 町会・自治会の活動
8. シニアクラブ（旧老人クラブ）の活動
9. ボランティア活動
10. 学習活動（講座・講習会、学習サークルなど）
11. インターネットの活用
12. 体を動かす（ウォーキングや体操など）
13. 家屋や庭の維持、メンテナンス（日曜大工、庭いじりなど）
14. 趣味の活動（主に外出して行うもの：習い事、趣味のサークル活動、旅行やイベントなど）
15. 趣味の活動（主に自宅で行うもの：読書、オンラインで行うものなど）
16. 資格の取得
17. 前掲1～16以外で取り組んでみたい、やりたいもの・こと
()
18. 特にない

問51 あなたは、板橋区にどのような高齢者施策の充実を希望しますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 見守りなど、ひとり暮らし高齢者等への支援
2. 福祉や生活に関わる相談
3. 高齢者が気楽に活動できる場所の提供
4. 健康づくり・フレイル予防・介護予防に関する施策
5. ボランティア・地域活動等の社会活動の支援
6. 生涯学習・スポーツ等の生きがい施策
7. 仕事の紹介等の就労に関する施策
8. 認知症施策
9. 介護保険の在宅サービス
10. 介護保険の施設・入居系サービス
11. 高齢者向け住宅の整備
12. 高齢者の虐待対策
13. 家族等の介護者に対する支援
14. 多世代との交流の支援
15. スマートフォンの操作教室・相談会
16. パソコン（ワード・エクセル・パワーポイント）の操作教室
17. eスポーツ大会の開催
18. 終活準備に関する支援
19. その他（)
20. 特にない

【5】あなたご自身のことについて

問52 あなたは、現在、どの程度生きがいを感じていますか。(○は1つのみ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 十分感じている | 2. 多少感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 全く感じていない |

【3, 4は「問54」へお進みください。】

【問52で「1. 十分感じている」「2. 多少感じている」とお答えの方におうかがいします。】

問53 どんな時に生きがいを感じますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子や孫など家族・親族との団らんの時
2. 夫婦団らんの時
3. ペットと触れ合っている時
4. 仕事に打ち込んでいる時
5. 趣味やスポーツに熱中している時
6. 自身の健康づくりに取り組んでいる時
7. 友人や知人と食事・雑談している時
8. おいしい物を食べている時
9. 旅行をしている時
10. 勉強や教養などに身を入れている時
11. ボランティア活動や地域活動をしている時
12. 若い世代と交流している時
13. その他 ()

【6】その他

問54 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

お名前、ご住所は記入不要です。

同封の返信用封筒に入れて、**切手を貼らず**にポストに投函して下さい。

※返信用封筒の郵便番号「104-8782」「944」、承認番号「●●●●」、
バーコードは、アンケートの回答を株式会社リサーチワークス「板橋区シニア
アンケート調査」事務局に郵送するためのもので、個人を特定するものでは
ありません。

板橋区高齢者ニーズ調査
シニア世代の生活・健康・生きがい・仕事についての
アンケート調査報告書
令和8年3月発行

発行：板橋区健康生きがい部長寿社会推進課シニア活動支援係
〒173-8501 板橋区板橋2丁目66番1号
TEL 03(3579)2376
FAX 03(3579)4153

刊行物番号

R07-116